

はじめに

これからパソコンを学ぶお友達へ

このテキストは、初めてパソコンをするお友達、パソコンのことを知りたいと思っているお友達、そんなみんながこのテキストを使って楽しく勉強できるように作成しました。

このテキストには、パソコンの基本がいっぱいいつまっています。目標は、パソコン操作の正しい手順を覚える事と、パソコンに文字をたくさん入力できるタイピングマスターになることです。

「パソコンを勉強するのが心配、わからなかったら、どうしよう？」と思っているお友達もいると思います。先生が手助けするので、安心して下さい。

し 知りたいこと、わからないことは、なんでも、先生に質問して下さい。

パソコンは失敗しても、何度も繰り返し練習すれば、上手になります。

パソコンは知れば知るほど面白く、みんなの知識や世界をもっと広げてくれますよ。

さあ、パソコン博士への第一歩を踏み出しましょう。



保護者の方へ

本書は、パソコンに興味を持ち、パソコンを楽しく学ぶための入門書です。

お子様の年齢によっては、理解しにくい専門用語やパソコン操作が記載されている場合もありますが、無理に覚える必要はありません。

ただ、本書の手順に合わせ、一つ一つマスターすることで、パソコンへの興味が広がり、基本をしっかりと学ぶことができるテキストです。それと併用して、内容に応じた練習問題など、学習補助教材も準備しておりますので、お子様に楽しんでパソコンを学んで頂けます。また、将来に役立つパソコンのスキルを身につけることができます。

最後に、お子様と一緒にパソコンを楽しんで頂ける機会があれば、幸いです。



キャラクター紹介

* パソコンの操作を教えてくれるキャラクター・マーク

キャラクター	キャラクターの名前	キャラクターが教えてくれること
	あざらしの「アーちゃん」	パソコンの操作するところをズームにして、見やすくしてくれるよ。
	ペンギンの「ペンくん」	パソコンの重要な言葉の意味を説明してくれるよ。
	カニの「にーちゃん」	パソコンの操作で確認してほしいことや大切な説明をしてくれるよ。
	カメの「かめぞう」	少し難しいけど、知っていると、ちょっと自慢できることが説明してあるよ。
	クラゲの「ラーちゃん」	同じ操作でも、いろいろな操作の仕方があるので、それを教ってくれるよ。
	イソギンチャクの「イソちゃん」	「ALERT!!」と言って、パソコンの操作するときの注意することを教えてくれるよ。
	カメの「かめじろう」	お父さん・お母さんに読んでほしい補足説明が書いてあるよ。
	ヒントマーク	操作のヒントを教ってくれるよ。
	「こんなときどうするの」と思ったときのマーク	みんなが操作で迷ってしまいそうなところを説明しているよ。

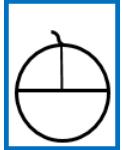
✿ かく 各レッスンのキャラクター

キャラクター	キャラクターの名前 <small>なまえ</small>	キャラクターが教えてくれること
	ジンベイザメの「ベイくん」	かく 各レッスンで学習するテーマを教えてくれるよ。
	エイの「レーくん」	かく 各レッスンで学習するテーマを教えてくれるよ。
	ヒトデの「ひーちゃん」	かく 各レッスンで学習するテーマを教えてくれるよ。
	さかなの「はーちゃん」	かく 各レッスンで学習するテーマを教えてくれるよ。
	ワニの「リーくん」	かく 各レッスンで学習するテーマを教えてくれるよ。
	たつのとしごの「たっちゃん」	かく 各レッスンで学習するテーマを教えてくれるよ。
	ペンギンの「ぎんちゃん」	かく 各レッスンで学習するテーマを教えてくれるよ。
	さかなの「じーくん」	かく 各レッスンで学習するテーマを教えてくれるよ。
	にんぎよひめ人魚姫の「メイちゃん」	かく 各レッスンで学習するテーマを教えてくれるよ。

かんじ ひょうき かん
漢字の表記に関して

テキストの本文中の漢字は、難しい漢字・簡単な漢字なのに漢字の表記でないなど、漢字の表記にはらつきがあるかもしれません。難しい漢字は、用語などで、そのまま覚えた方が、のちに役に立つという観点から使用しております。フリガナを表示していますので、ご理解下さい。

マウス操作のマークの説明

操作マーク	操作内容
	マウスを持つ図です。
	マウスを持って、マウスポインターを動かす図です。
	マウスポインターを目的のものにかきなわせるときの図です。
	マウスの左ボタンを1回押すときの図です。
	マウスの右ボタンを1回押すときの図です。
	マウスの左ボタンをすばやく2回押すときの図です。
	マウスの左ボタンを押したままの状態で、目的の場所まで、動かす図です。

キーボード表示について

キーボードの表示は、お使いのパソコンやキーボードによって、テキストと同じでない場合があります。注意しましょう。

もくじ

レッスン1 パソコンについて学びましょう

(1) パソコンはどんなことができるの？	1
(2) 機械の名前を覚えましょう	2
(3) パソコンの電源を入れましょう	3
(4) パソコンの画面について学びましょう	5
(5) パソコンの電源を切りましょう	7
（6）ここで、レッスン1の練習問題をしましょう。	9

レッスン2 マウス操作について学びましょう

(1) マウスについて学びましょう	10
(2) マウスを動かしてみましょう	12
(3) 「ポイント」してみましょう	14
(4) 「クリック」してみましょう	16
(5) 「右クリック」してみましょう	19
(6) 「ダブルクリック」してみましょう	22
(7) 「ドラッグ」してみましょう	25
（8）ここで、レッスン2の練習問題をしましょう。	27

レッスン3 画面（ウィンドウ）の基本操作

(1) [最大化]・[元に戻す]で画面の大きさを変えてみましょう	28
(2) [最小化]で画面を変えてみましょう	32
(3) 自由に画面の大きさを変えてみましょう	35
（4）ここで、レッスン3の練習問題をしましょう。	37



レッスン4 ペイントで絵を描きましょう

(1) 「ペイント」を起動しましょう.....	38
(2) 「ペイント」を終了しましょう.....	41
(3) お絵かき道具をみてみましょう.....	42
(4) 鉛筆で線を描いてみましょう.....	44
(5) 消しゴムで消してみましょう.....	46
(6) 鉛筆の太さや色を変えて、自分の名前を書きましょう.....	48
(7) 印刷してみましょう.....	51
(8) ペンの種類・太さ・色を変えて、自分のお気に入りをみつけましょう.....	55
(9) [元に戻す]・[やり直し]ボタンについて、学びましょう.....	58
(10) 図形を描いて色を塗りつぶしましょう.....	61
(11) 図形の枠線の色を変えましょう.....	65
(12) 図形を移動させましょう.....	68
（13）ここで、レッスン4の練習問題をしましょう。.....	71



レッスン5 ワード2021の操作

(1) ワードWord2021を起動、終了しましょう.....	72
（14）ここで、レッスン5の練習問題をしましょう。.....	77



レッスン6 入力の基本について学びましょう

(1) 日本語入力する基本的な流れ.....	78
(2) ローマ字を学びましょう.....	79
(3) MicrosoftIMEの基本操作.....	80
(4) 入力の位置を決めるカーソル.....	81
(5) 入力モードを確認し、ローマ字入力で、ひらがなを入力.....	82
(6) 文字を消す2つの方法.....	85
(7) 「Back Space」キーで文字を消しましょう.....	86
(8) カーソルの移動方法.....	88

（15）ここで、レッスン6の練習問題をしましょう。.....

(9) 「Delete」キーで文字を消しましょう	91
(10) 一度に全部の文字を消しましょう	92
(11) ファンクションキーでカタカナ入力	93
(12) 変換キーで漢字の入力	98
(13) 読めない難しい漢字の入力	102
(14) ファンクションキーで英数字の入力	110
(15) 記号や特別な文字の入力	118
(16) 「Shift」キーを押しながら、文字入力	128
 ここで、レッスン 6 の練習問題をしましょう。	130



レッスン7 入力の応用を学びましょう

(1) 特殊な変換機能を使って入力しましょう	131
(2) すぐに表示されない、よく使う言葉は、単語登録しましょう	136
(3) 文字を確定してから変換する方法	141
(4) 何度も同じ言葉を入力する方法	146
 ここで、レッスン 7 の練習問題をしましょう。	149



レッスン8 文書の入力を始めましょう

(1) 文節ごとに入力して変換してみましょう	150
(2) 一度に文章を入力し、正しく文節を区切りましょう	156
(3) 入力中の文章を変換前に修正する方法	161
(4) 変換中に修正する方法	164
(5) 文章に必要な句読点を入力しましょう	168
 ここで、レッスン 8 の練習問題をしましょう。	173



レッスン9 文書入力の仕上げをしましょう

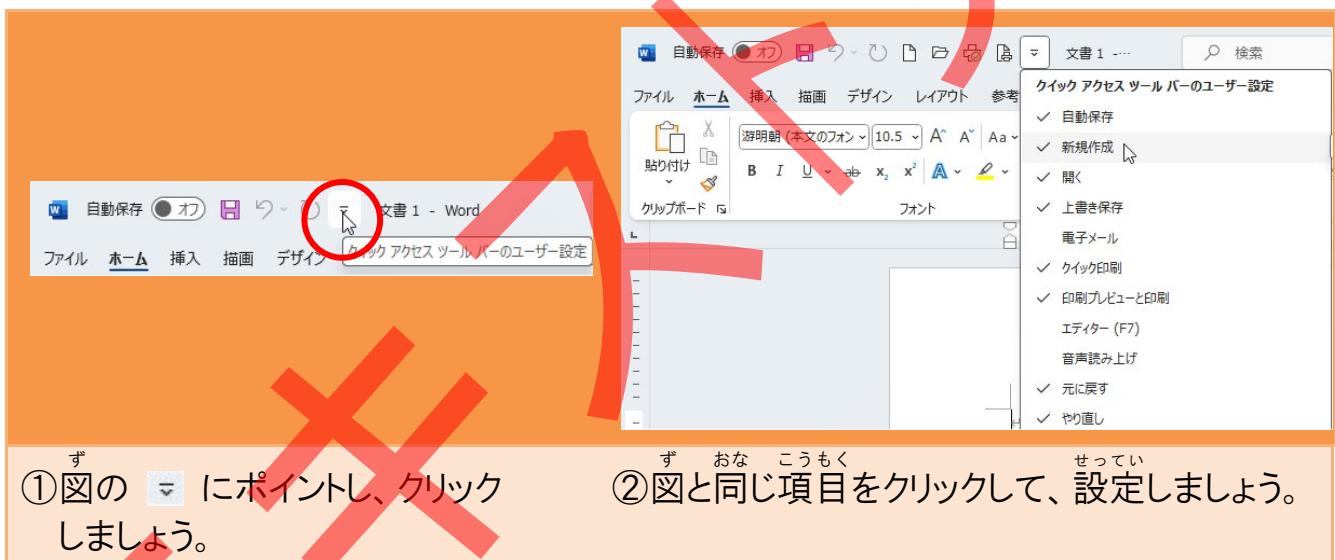
(1) 入力した文書を印刷しましょう	174
(2) 作成した文書を保存しましょう	178
(3) 文書が保存できているか確認しましょう	189

(4) ほぞん	ひら	保存したファイルを開きましょう.....	194				
(5) ほぞん	ぶんしょ	ないよう	へんこう	うわが	ほぞん	保存した文書の内容を変更して、上書き保存しましょう.....	196
(6)	と	ファイルを閉じましょう.....	198				
(7) しんき	ぶんしょ	ひら	れんしゅうもんだい	新規文書ウインドウを開きましょう.....	201		
	ここで、レッスン 9 の練習問題をしましょう。	202					

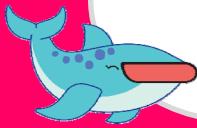
テキスト画面準備

ワードを起動後に画面に下記が表示されているか、確認しましょう。

- クイックアクセスツールバーの追加



レッスン1 (1)



まな パソコンについて学びましょう ～パソコンはどんなことができるの？～

パソコンでできること

みんながいつも言っているパソコンとは、言葉を短くして呼んでいるということを知っていますか？

正しい名前は、**パーソナルコンピューター(Personal Computer)**と言います。

では、パソコンでできることを見ていきましょう。

- ◆ 知りたいことがすばやく調べられたらいいな。

こんなときには、インターネットにおまかせ!!

(例) 遠足がある日の天気を知りたいと思えば、天気を調べられます。

大好きなキャラクターのことやスポーツなど、身近なことからいろいろ調べることができます。

- ◆ 文章や写真を本のようにきれいにまとめたいな。

こんなときは、文字や文章を編集するWordにおまかせ!!

(例) 夏休みの自由研究・学級新聞などを、きれいにわかりやすく作成することができます。

- ◆ 遠くにいるお友達・家族にすぐにお手紙・写真が届いたら、いいのにな。

こんなときは、メールにおまかせ!!

(例) メールで手紙を書いて、写真をつけて、すぐに届けることができます。



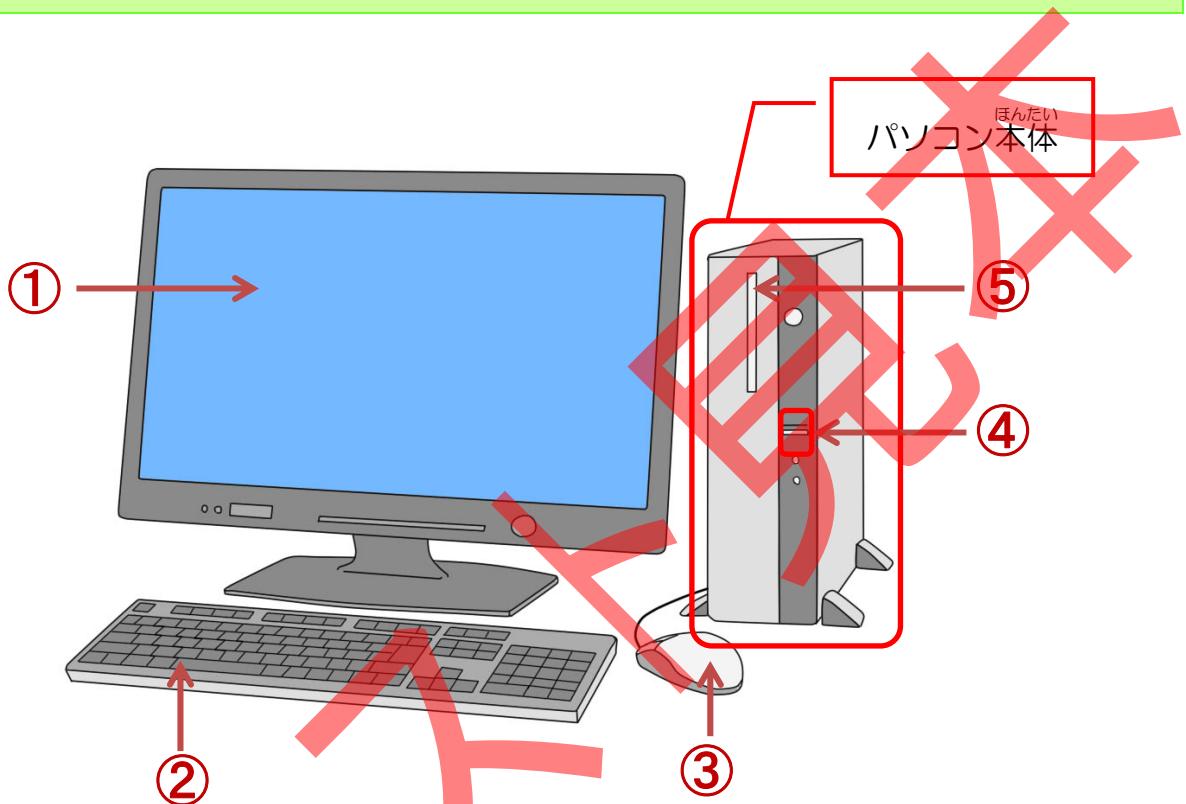
これらのこととは、パソコンでできることのほんの一部です。これから、パソコンを通じて、いろいろなことを学んでいきましょう。

レッスン1
(2)



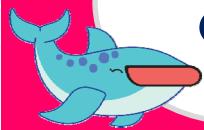
まな
パソコンについて学びましょう
きかい なまえ おぼ
～機械の名前を覚えましょう～

きかい なまえ み
機械の名前を見てみましょう



番号	名前	説明
①	ディスプレイ (モニター)	パソコン内容を表示する装置です。
②	キーボード	パソコンに数字や文字を入力、命令したりする基本的な入力装置です。
③	マウス	パソコンの代表的な入力装置です。画面に表示された機能や命令などをすることができます。
④	USBメモリーさしこみ口	データを保存するUSBメモリーのさし口です。
⑤	DVD ドライブ	パソコン周辺機器の1つで、DVDに記録されたデータを読み出す装置です。

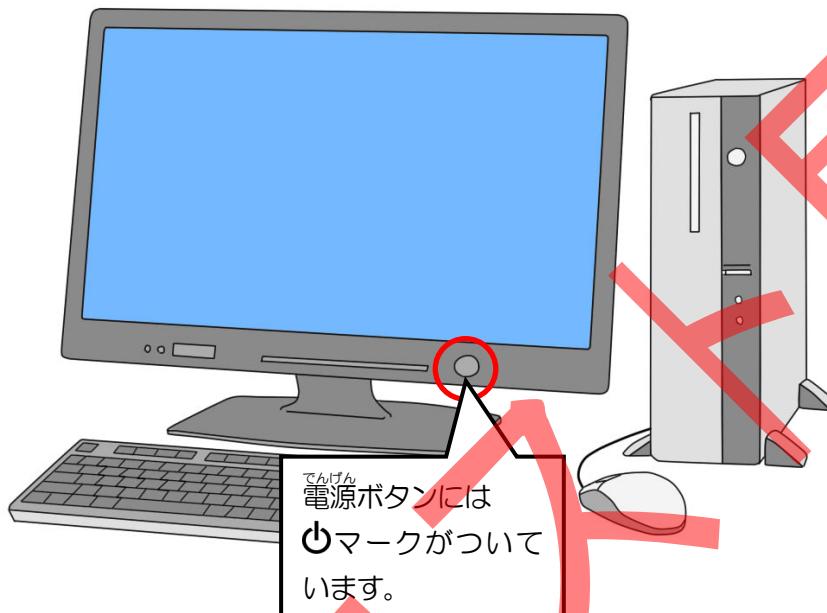
レッスン1
(3)



まな
パソコンについて学びましょう
～パソコンの電源を入れましょう～

そろそろ操作をしてみましょう

① モニターの電源を入れましょう

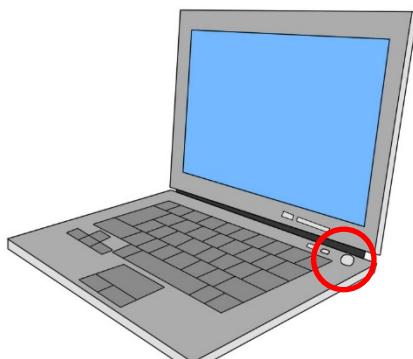


② パソコン本体の電源を入れましょう

デスクトップパソコン

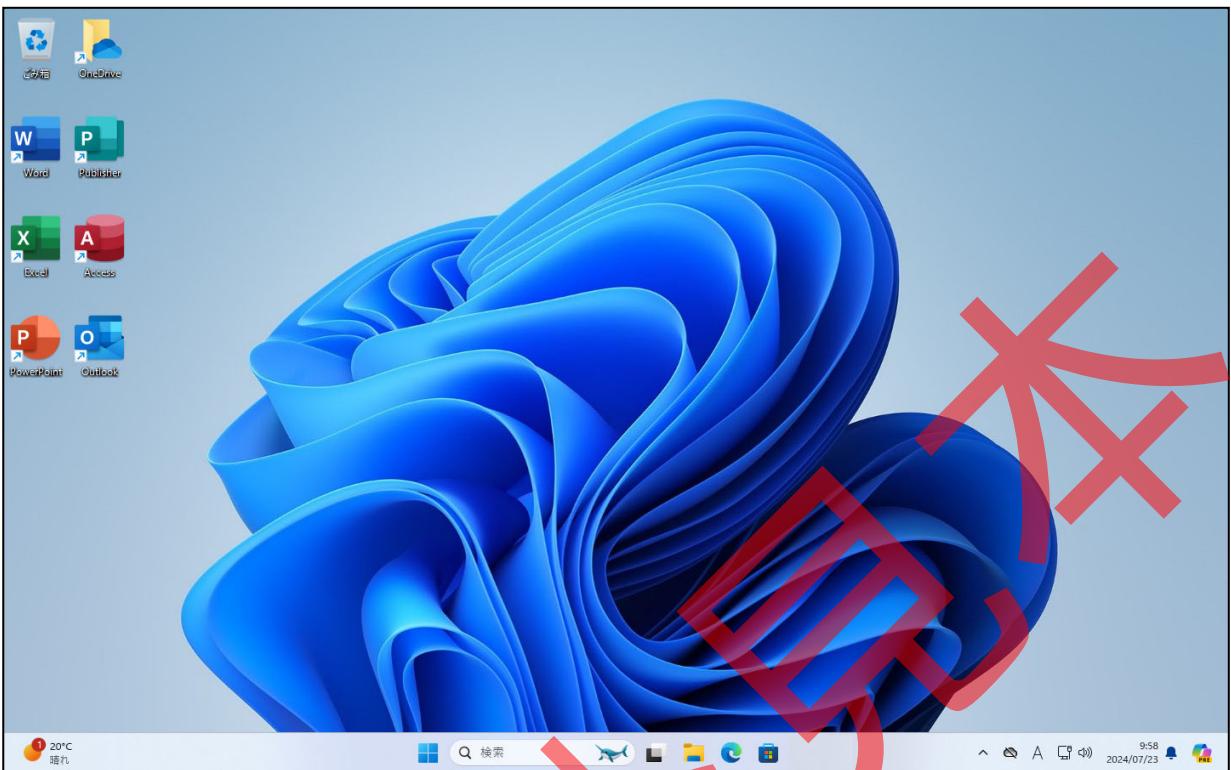


ノートパソコン

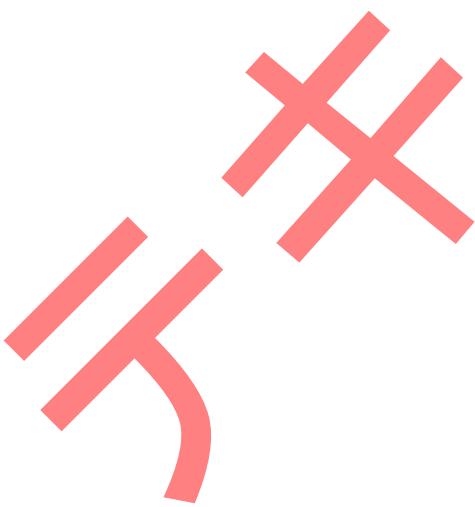


③

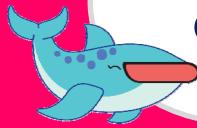
電源を入れて、しばらくして、画面が表示されることを確認しましょう



パソコンの電源を入れて、パソコンを使えるように画面が表示されるまでには、パソコンの基本的な動作に必要なプログラムを呼び出しているので、時間がかかります。



レッスン1 (4)



パソコンについて学びましょう

まな
～パソコンの画面について学びましょう～

が めん な まえ
画面の名前をみてみましょう



番号	名前	役割
①	デスクトップ	ディスプレイに表示された画面です。(=基本画面)
②	マウスポインター	マウスの動きを画面上で表示しています。指すものや状態によって形が変わります。
③	アイコン	アプリやファイルなどをわかりやすく絵柄で画面上に表示させたものです。
④	スタートボタン	パソコンでおこなう作業は、ほとんどこのボタンからはじめます。電源を切るときにも使います。
⑤	タスクバー	デスクトップ画面の下に表示されるバーのことです。いま開いている文章など、作業中のファイルやフォルダーガ表示されます。
⑥	スタートメニュー	パソコンに収まっているアプリを開いたり、電源を切ったり、パソコンのさまざまな設定をする入口になります。
⑦	ピン留め済み	スタートメニューにピン留めしているアプリの一覧がここに表示されます。
⑧	検索	パソコンでわからないことを入力すると、パソコンがそれに対して答えてくれる機能です。
⑨	すべてのアプリ	パソコンにインストールされているすべてのアプリの一覧がここに表示されます。



起動

パソコンの電源を入れてから操作できるようになるまでの動作のこと。



アプリ

文書作成や表計算など、特定の目的に使うソフトの総称。



ファイル

記録したプログラムやデータのまとめのこと。



フォルダー

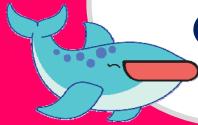
ファイルを管理しやすいように、ファイルをまとめて保存するための入れ物のこと。



インストール

アプリをパソコンで使用できるようにする作業のこと。

レッスン1 (5)

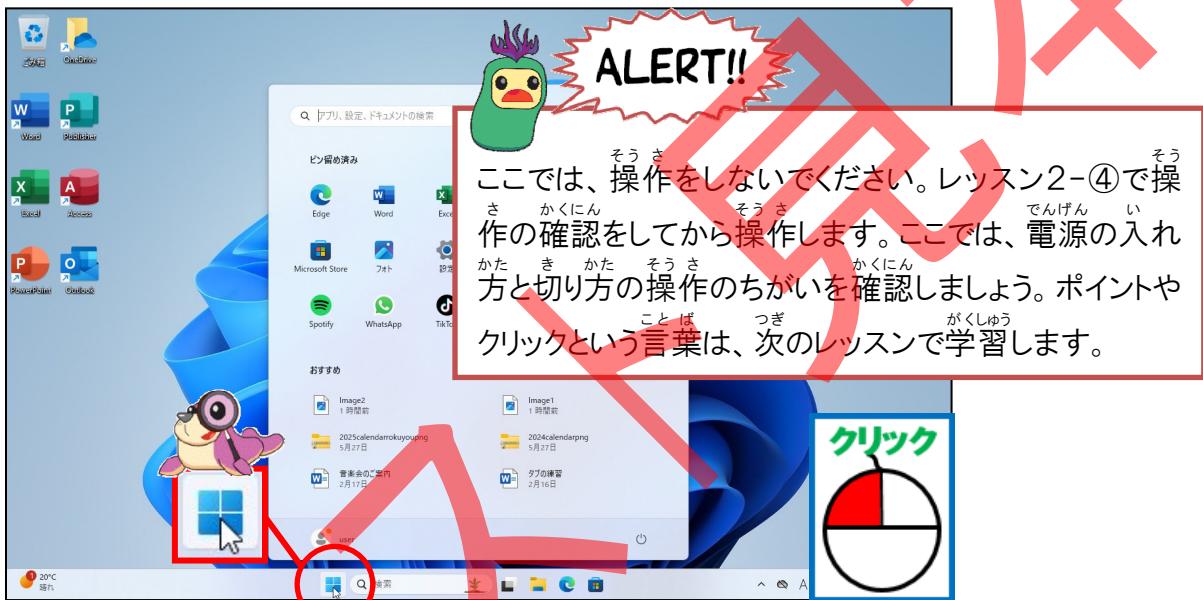


まな パソコンについて学びましょう ～パソコンの電源を切りましょう～

ここでは実際に操作はしません。レッスン2[マウス操作について学びましょう]でマウスの操作方法を学習してから操作しましょう。

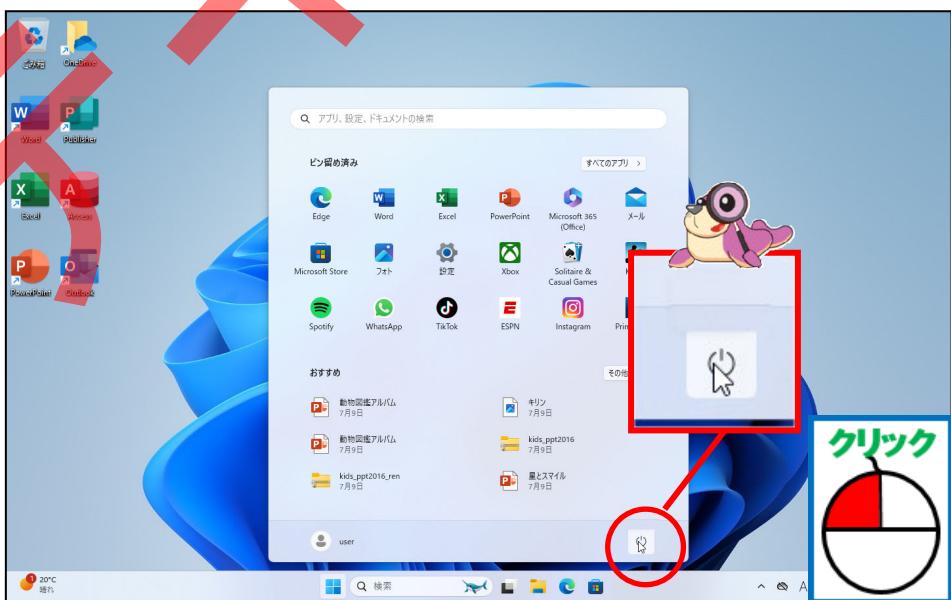
1

[スタートボタン]にポイントし、そのままクリックしましょう



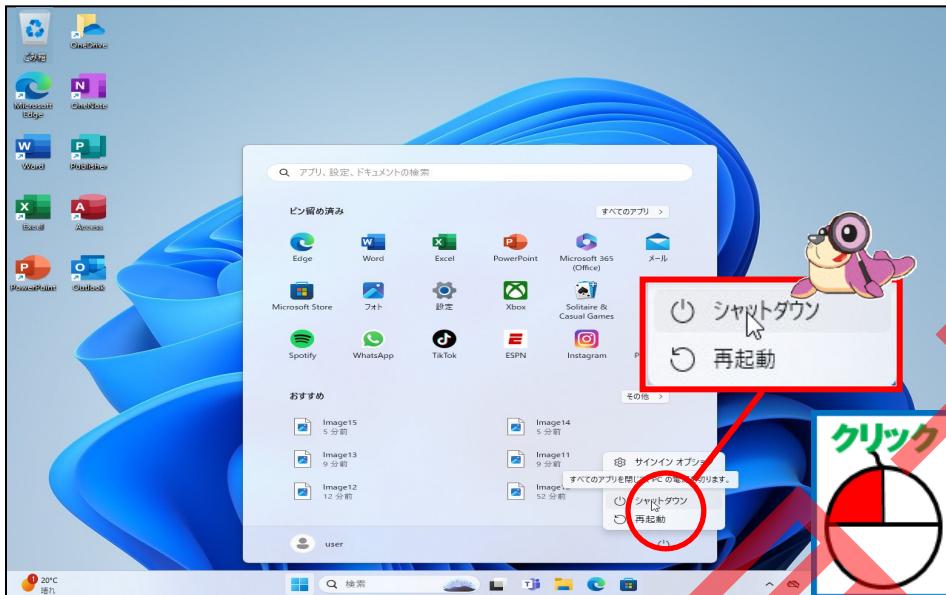
2

〔電源〕にポイントし、そのままクリックしましょう



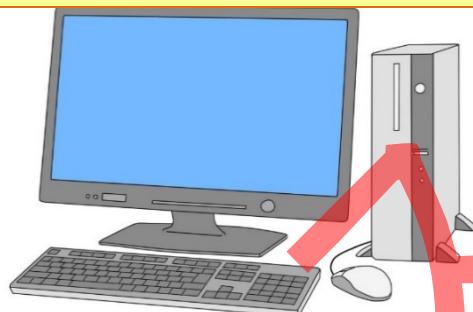
③

[シャットダウン]にポイントし、そのままクリックしましょう



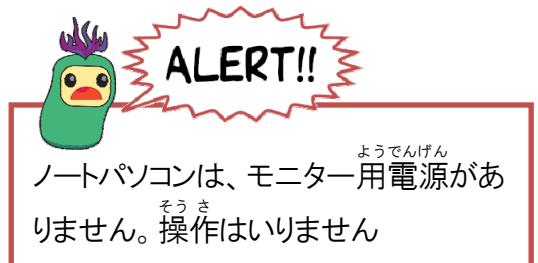
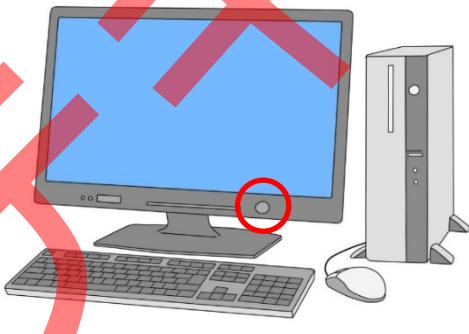
④

画面が消えたことを確認しましょう



⑤

モニターの電源を消しましょう



つぎ そうさ 次の操作のために、電源を入れておきましょう

Step up

基本的に電源の切り方は、[シャットダウン]をクリックしますが、それ以外にも電源の切り方があるので、知っておきましょう。

※ サインインオプション

□ スリープ

○ シャットダウン

○ 再起動

電源の切り方のちがい

切り方	特徴
スリープ	操作している状態のまま終了することができます。すぐにパソコン操作をしたい時に選びましょう。操作中の内容をメモリーの記憶装置に保存して、すぐに呼び出して操作できるようにしています。電源を切っても、スリープは、パソコンが少し電気を使って操作できる状態になっているので、キーボードやマウスをさわるとすぐに画面表示されます。また、操作している途中にしばらくパソコンを放置していると、自動的にスリープになるように設定してあるものもあります。ノートパソコンの場合は、フタを閉じると、スリープ設定にしてあることが多いです。
シャットダウン	電源が完全に切れた状態です。パソコンをしばらく使わないときに選びましょう。電気は、一切使っていません。
再起動	コンピューターやアプリをいったん終了してから、もう一度起動しなおすことを言います。



KEYWORD



メモリー

パソコン本体の中にあるプログラムやデータなどさまざまな情報を記憶しておく場所。



ハードディスク

磁性体の円盤(ディスク)を高速回転させ、磁気ヘッドと呼ばれる素子を通して、データを読み書きする装置です。ほとんどのパソコンに内蔵されています。通常は、ディスクとドライブが一体になっているので、ハードディスクドライブ(HDD)とほぼ同じ意味で使われています。

れんしゅうもんたい
ここで、レッスン1の練習問題をしましょう。

レッスン2 (1)

マウス操作について学びましょう

～マウスについて学びましょう～

なまえみ
名前を見てみましょう

マウスという名前がついたのは、マウスの形がある動物にしていることから名前がつけられたのだけれど、わかるかな？

ひだり
左ボタン(基本)
「クリック」するときに使います

みぎ
右ボタン
「右クリック」のときに使います

ホイールボタン
画面を上下させたいときに
使います。



ホイールとは

さゆう あいだ と つ えんばんがた ゆび お まわ
左右のボタンの間に取り付けられた円盤型のボタンのこと、指で押したり、回
したりすることによって、画面をスクロール(一画面に表示できない場合に表
示画面を上下に移動して表示する機能)することができます。

マウスの正しい持ち方



した え み 下の絵を見ながら、マウスを持ってみましょう



うえ
から

よこ
から

うら
から



じょう ず モ
マウスを上手に持てましたか？

れんしゅう うご おも も かた かくにん
これからの練習で、マウスがうまく動かないと思ったら、持ち方の確認をしてみましょう。

レッスン2 (2)

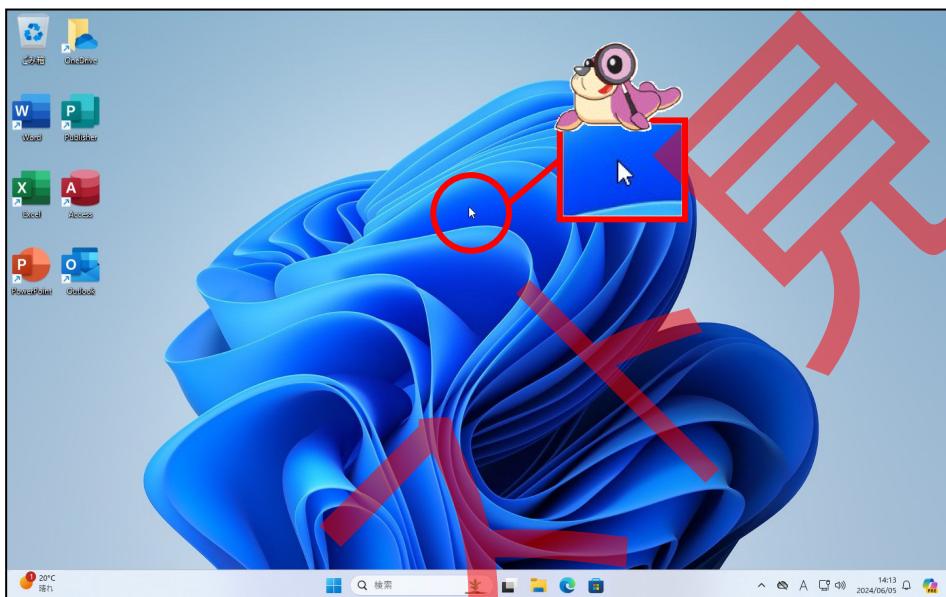
マウス操作について学びましょう

～マウスを動かしてみましょう～

操作をしてみましょう

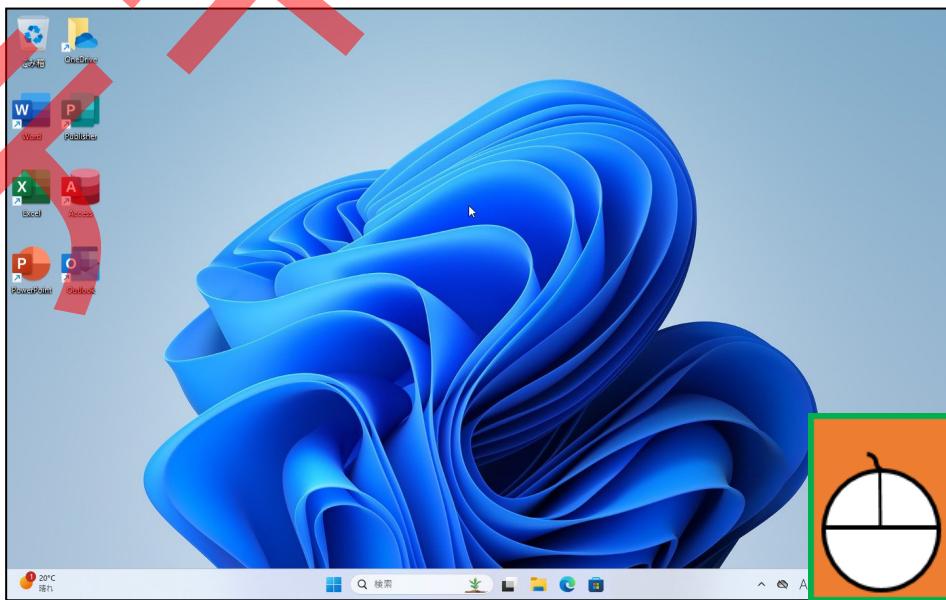
①

マウスポインターを見つけましょう



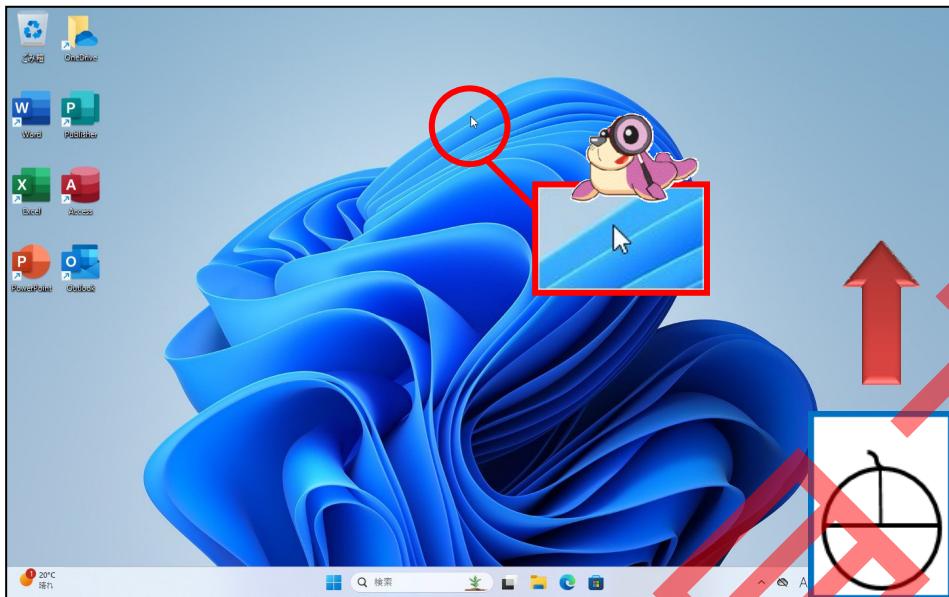
②

マウスを持ちましょう

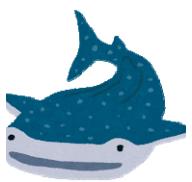
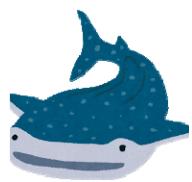
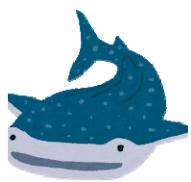


③

マウスを上に動かして、マウスポインターが同じように動いていることを確認しましょう



マウスを上に動かすと、マウスポインターが同じように上に動いています。



レッスン2 (3)

マウス操作について学びましょう ～「ポイント」してみましょう～

ポイントについて学びましょう



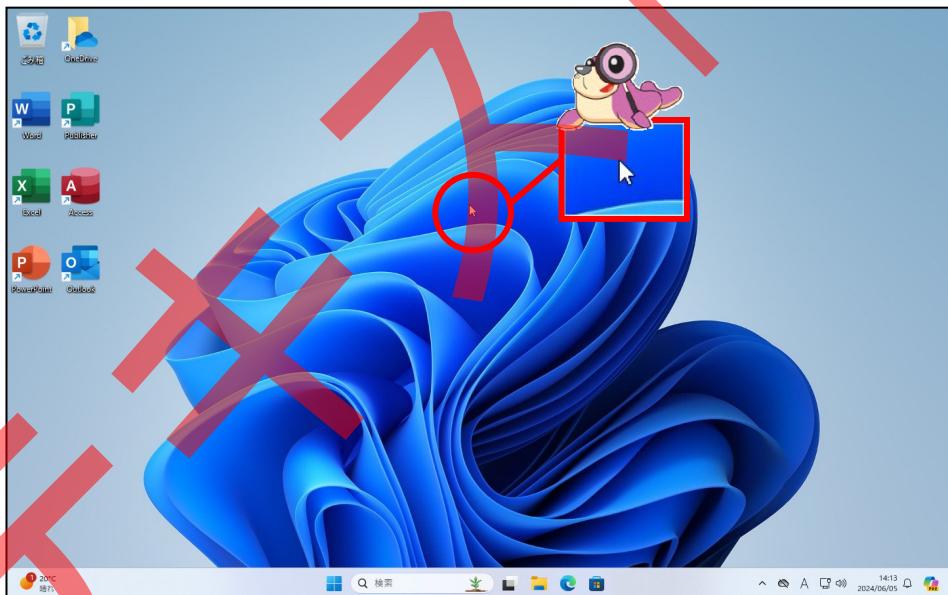
ポイントとは？

絵(アイコン)やボタンなどの操作するものに、マウスポインターをかざね合わせる操作のことを言います。

操作をしてみましょう

①

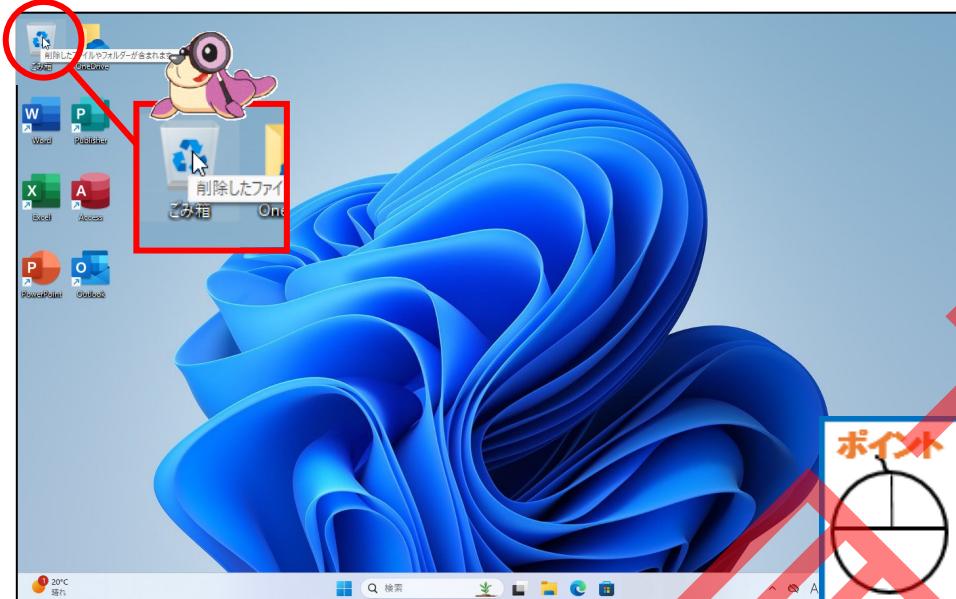
マウスポインターを見つけましょう



② マウスを持ちましょう

③

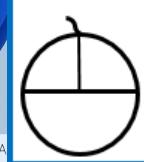
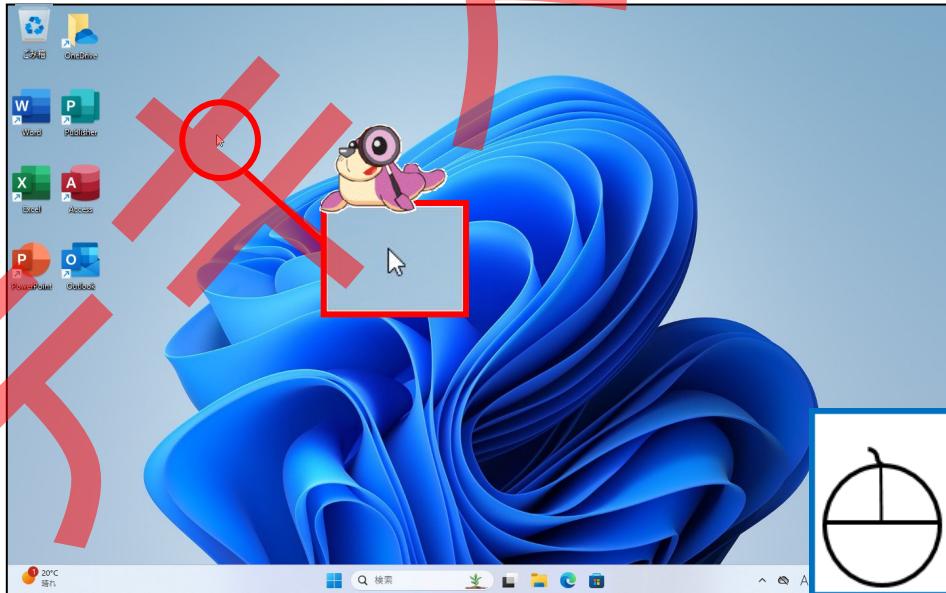
マウスポインターをごみ箱(アイコン)に**ポイント**しましょう



ごみ箱にかさね合わせると、白く色が変わります。

④

マウスポインターをごみ箱(アイコン)から**はなす**しましょう



ごみ箱からマウスポインターをはなすと、白く変わったアイコンが元に戻ります。



マウス操作について学びましょう ～「クリック」してみましょう～

クリックについて学びましょう



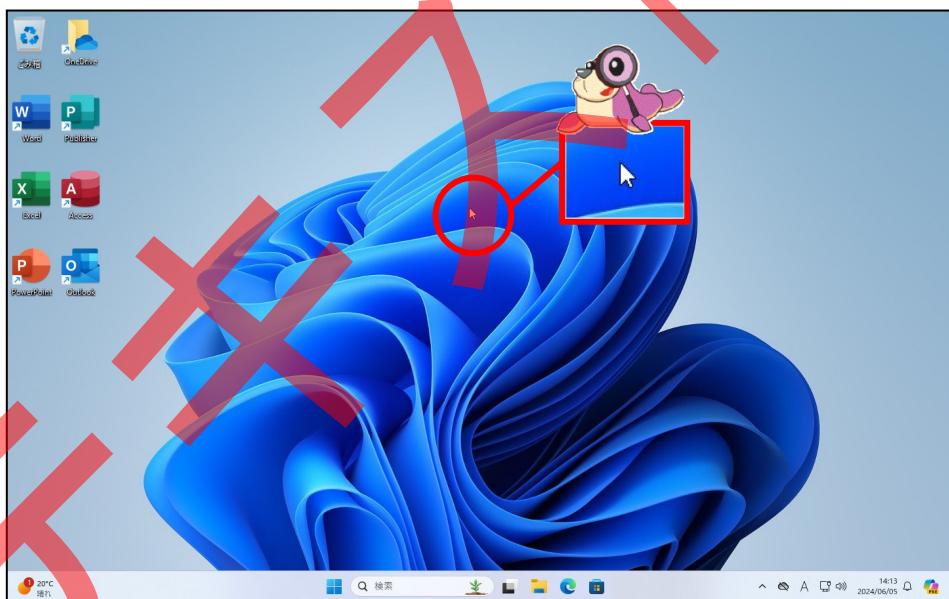
クリックとは？

絵(アイコン)やボタンなどに、マウスポインターをかさねてから、
マウスの左ボタンを1回押して、はなす操作のことです。

操作をしてみましょう

①

マウスポインターを見つめましょう

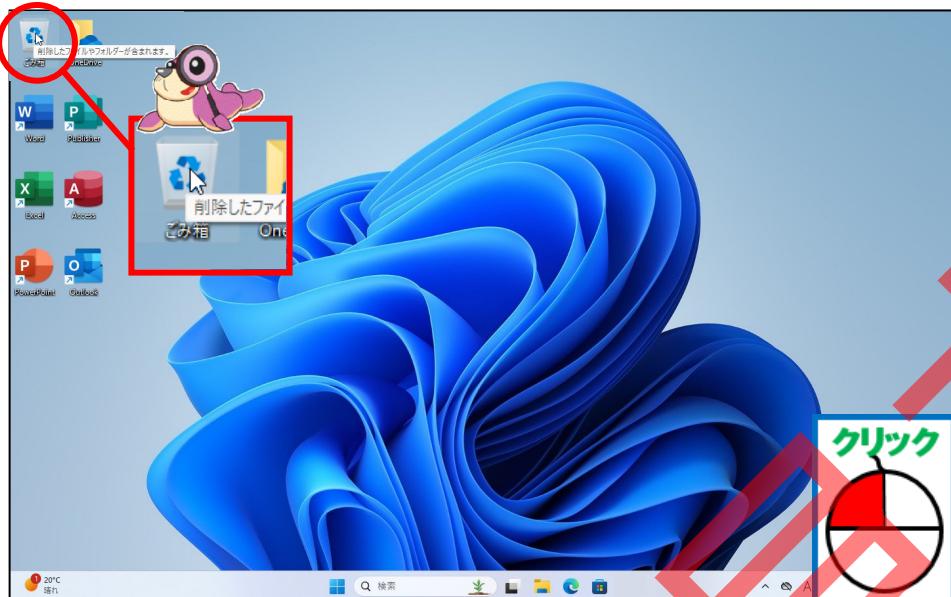


②

マウスを持ちましょう

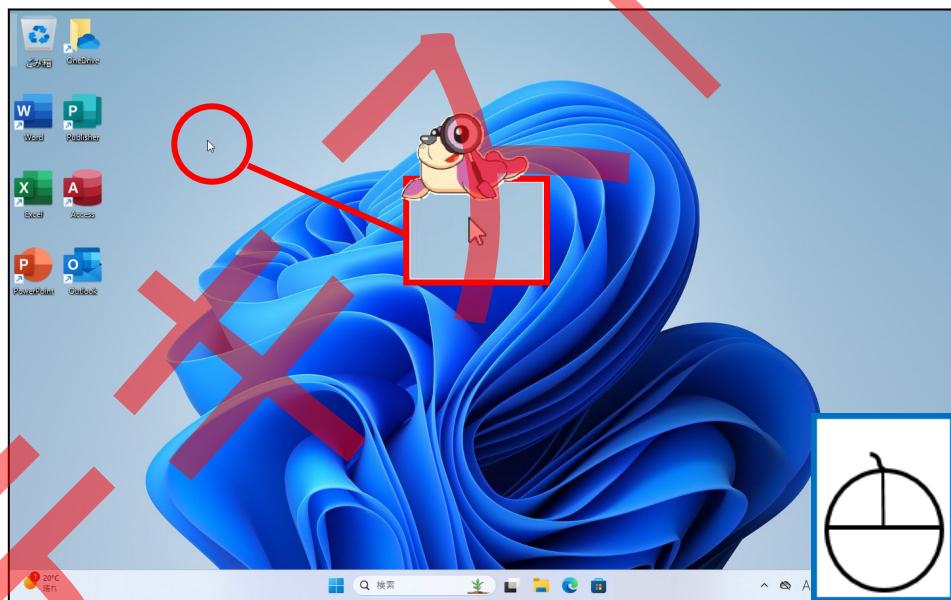
③

マウスポインターをごみ箱(アイコン)にポイントし、そのまま**クリック**しましょう



④

マウスポインターをごみ箱(アイコン)からはなしましょう

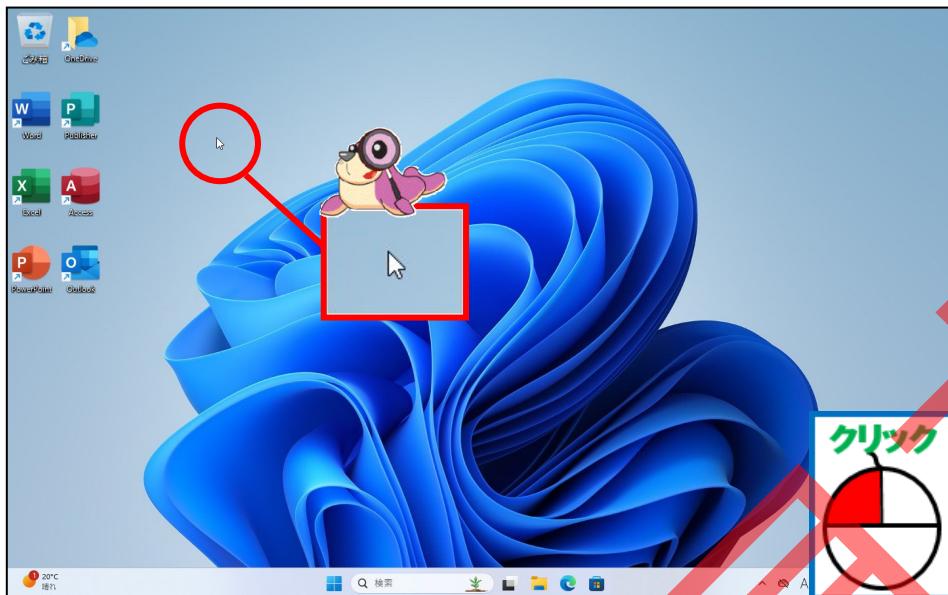


ごみ箱(アイコン)からマウスポインターをはなしても、
白くなったままになっています。「**ポイント**」のときとはちがいます。

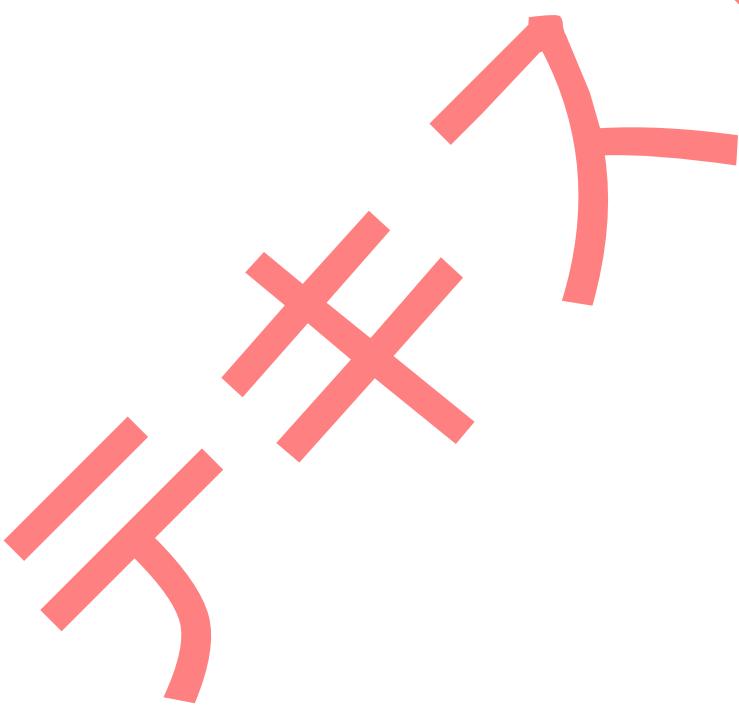


5

マウスポインターをごみ箱(アイコン)からはなし、クリックしましょう



なに 何もないところで、クリックすると、ゴミ箱(アイコン)の白い色
き が消えます。





マウス操作について学びましょう

～「右クリック」してみましょう～

右クリックについて学びましょう



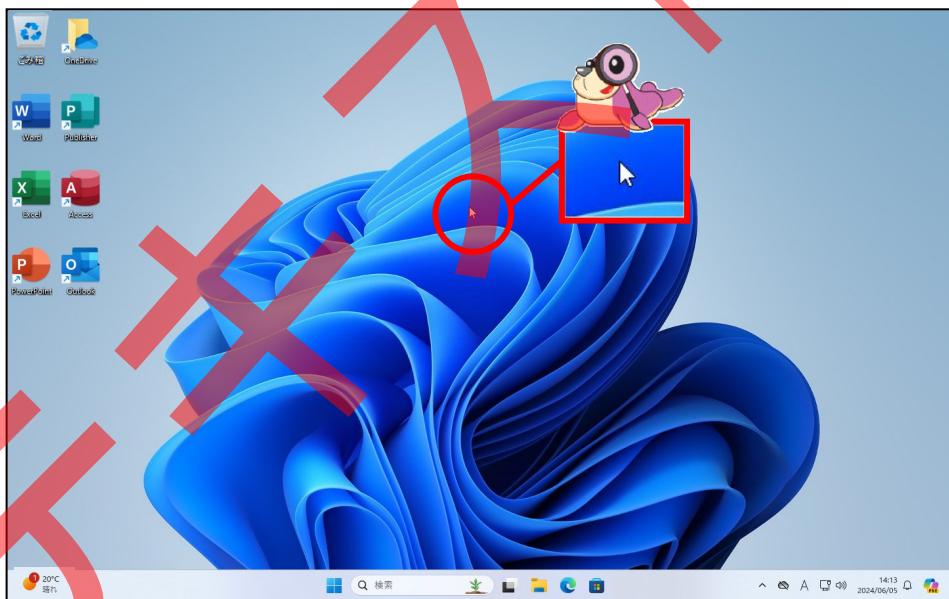
右クリックとは？

マウスの右ボタンを1回押して、はなす操作のことを言います。
マウスポインターの位置で、ショートカットメニューを呼び出します。

操作をしてみましょう

①

マウスポインターを見つけましょう



②

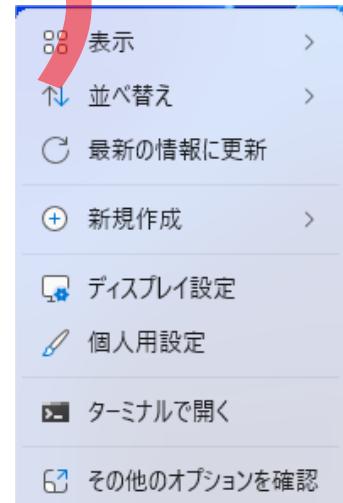
マウスを持ちましょう

③

画面(デスクトップ)の上で、そのまま右クリックしましょう



なにもなかつた画面上で、右クリックすると、「ショートカットメニュー」と呼ばれる右の図が表示されます。

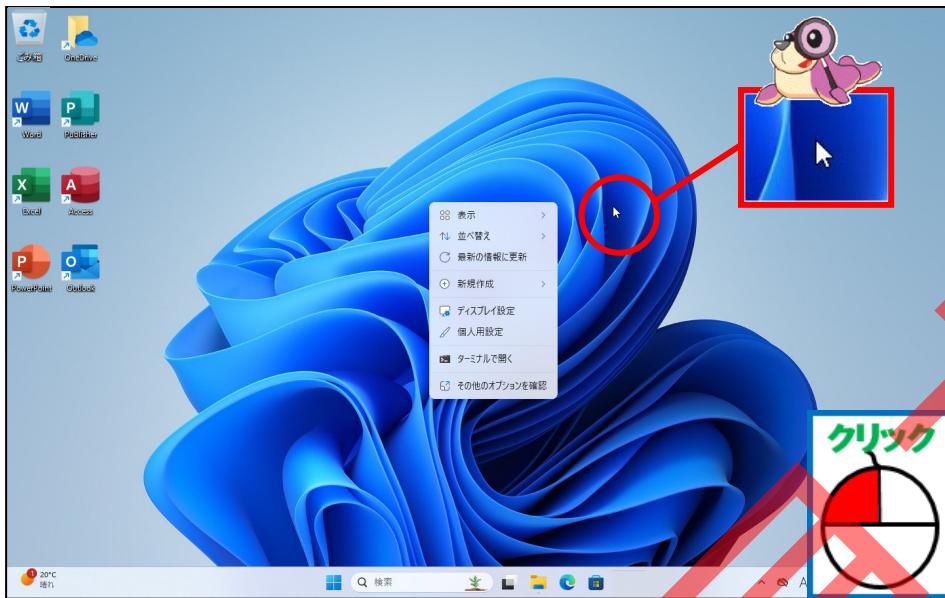


ショートカットメニュー

右クリックする場所によってメニューの内容が変わります。

④

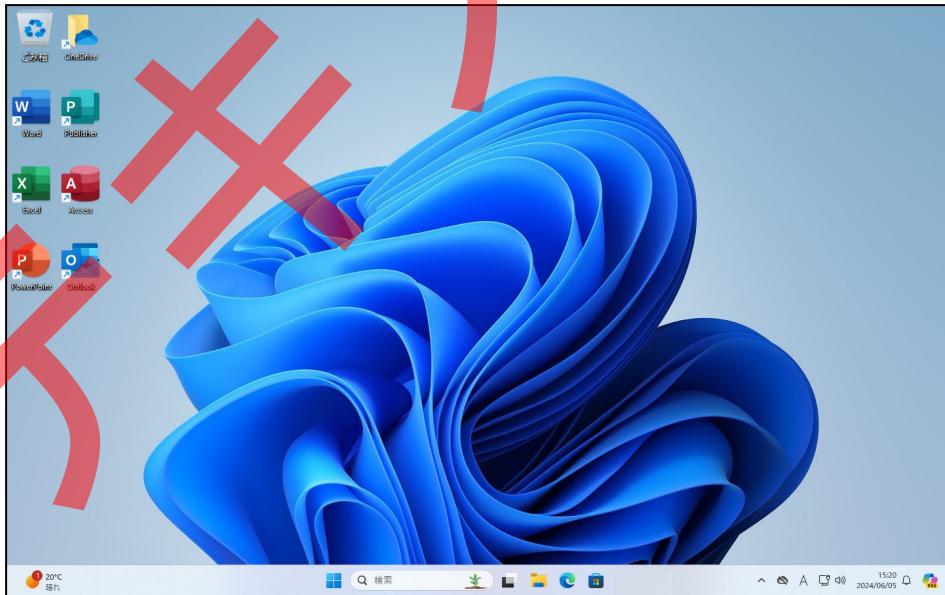
ショートカットメニューの表示からマウスポインターをはなし、画面(デスクトップ)の上で、クリックしましょう



HINT!
「クリック」がわからない人は、レッスン 2-(4)を復習しましょう。

⑤

ショートカットメニューが消えたことを確認しましょう



レッスン2 (6)

マウス操作について学びましょう ～「ダブルクリック」してみましょう～

ダブルクリックについて学びましょう

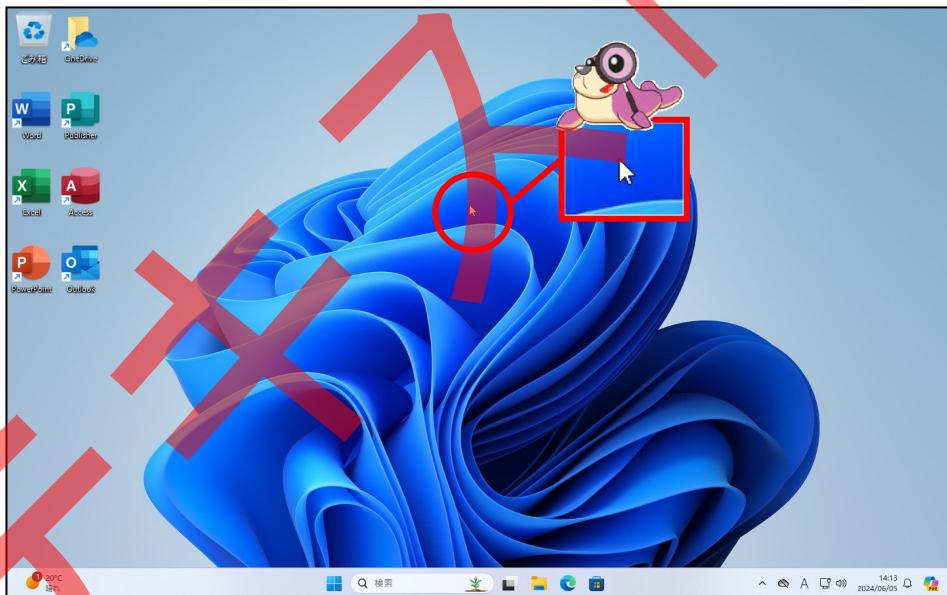


ダブルクリックとは？

マウスの左ボタンを2回すばやく押す操作のことを言います。
ファイルやフォルダー・アイコンを開く時に使います。

操作をしてみましょう

① マウスポインターを見つけましょう



② マウスを持ちましょう

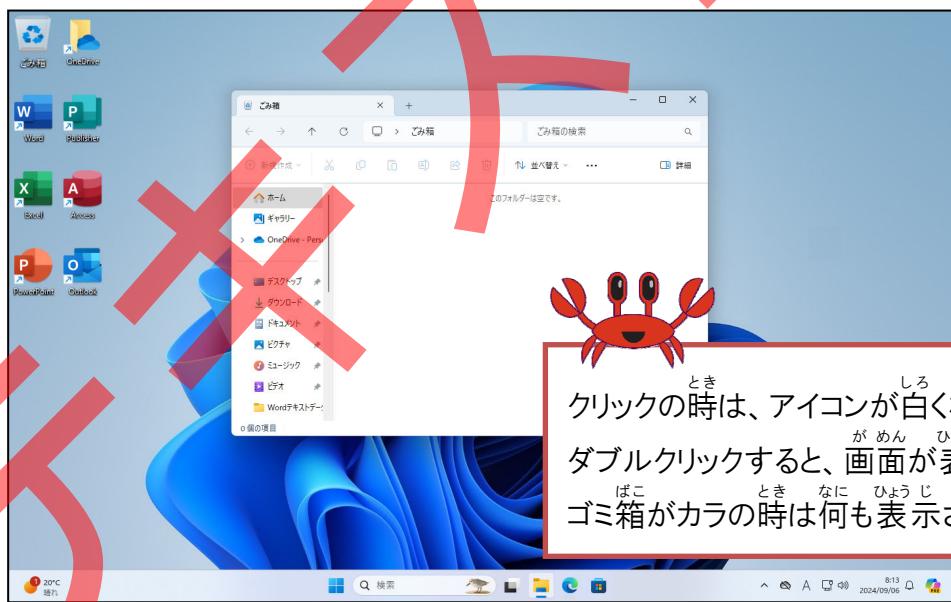
3

ごみ箱(アイコン)にポイントし、ダブルクリックしましょう



4

ごみ箱ウィンドウが表示されたことを確認しましょう

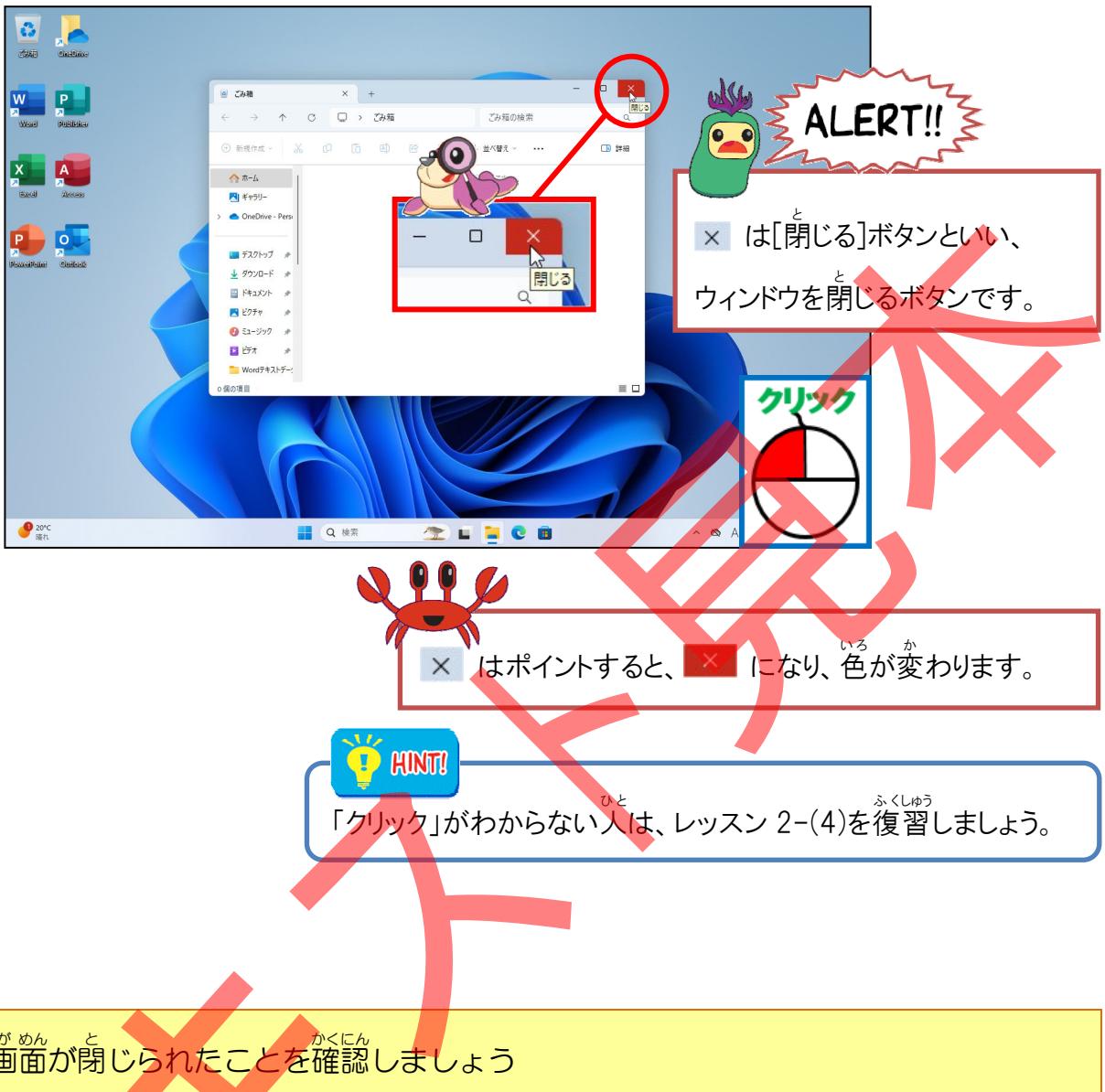


ウィンドウ

表示された画面をウィンドウといいます。

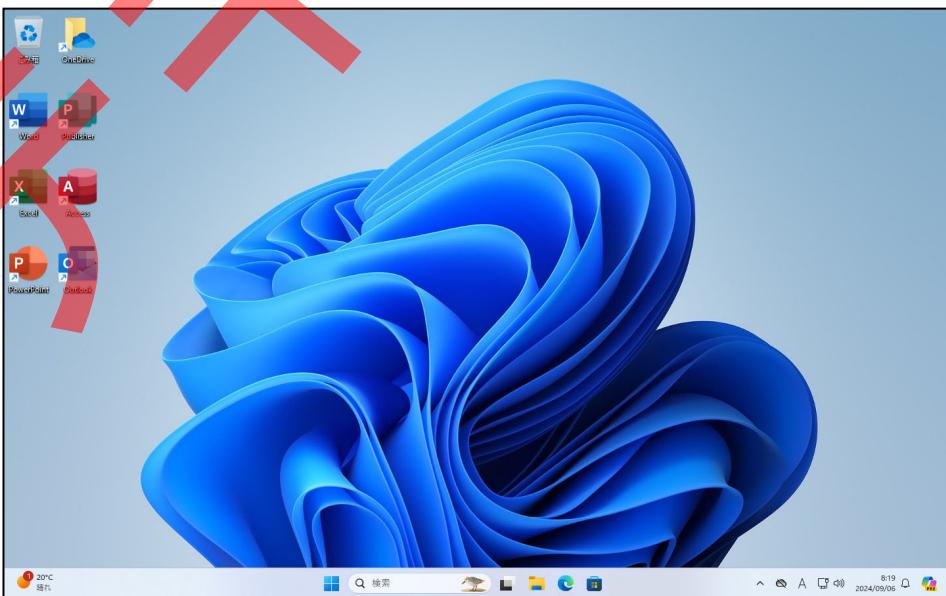
5

× にポイントし、そのままクリックしましょう



6

画面が閉じられたことを確認しましょう





マウス操作について学びましょう ～「ドラッグ」してみましょう～

ドラッグについて学びましょう



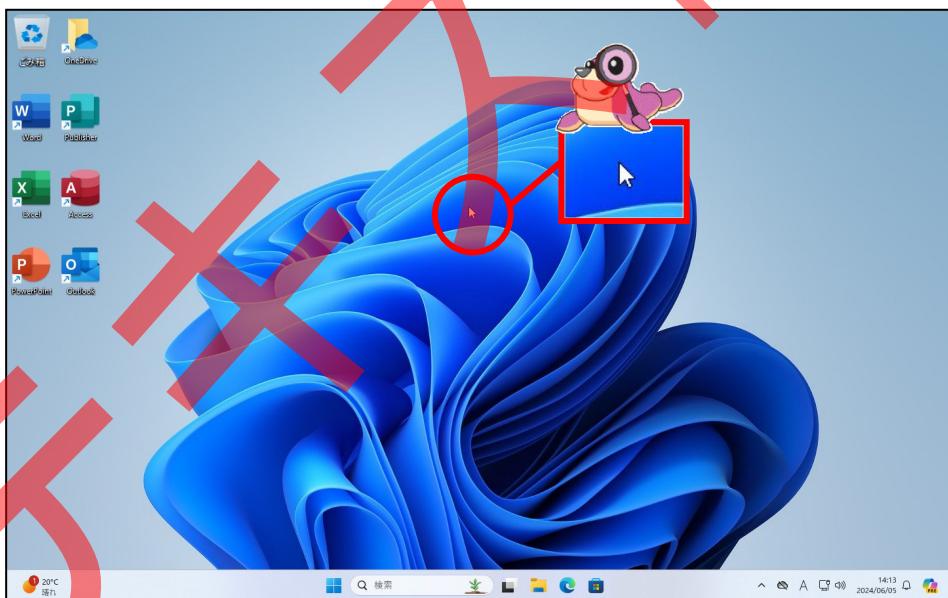
ドラッグとは？

マウスの左ボタンを押したままの状態で、マウスを目的のところまで動かして、マウスをはなす操作のことです。正しい名前は、**ドラッグ・アンド・ドロップ**です。

操作をしてみましょう

①

マウスポインターを見つけましょう



②

マウスを持ちましょう

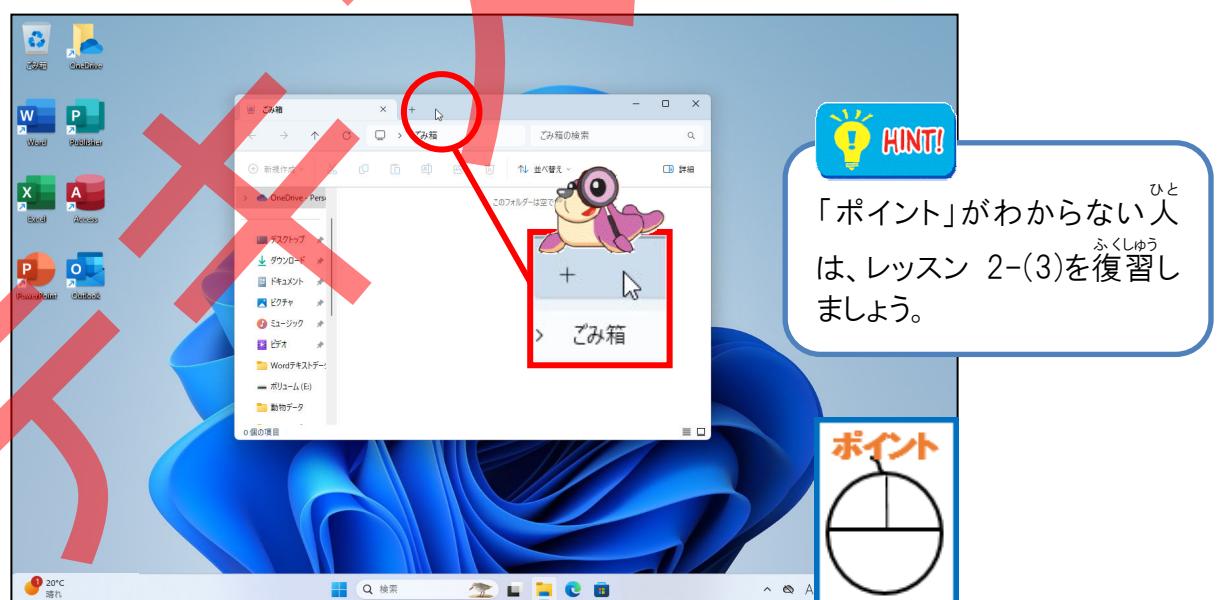
③

ごみ箱(アイコン)にポイントし、そのままダブルクリックしましょう



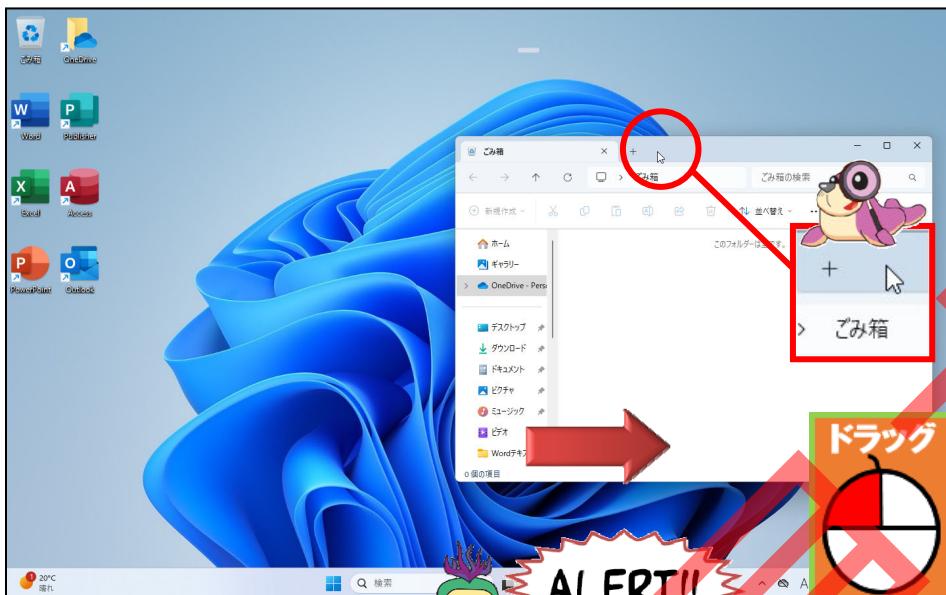
④

ウィンドウの上側にポイントしましょう



5

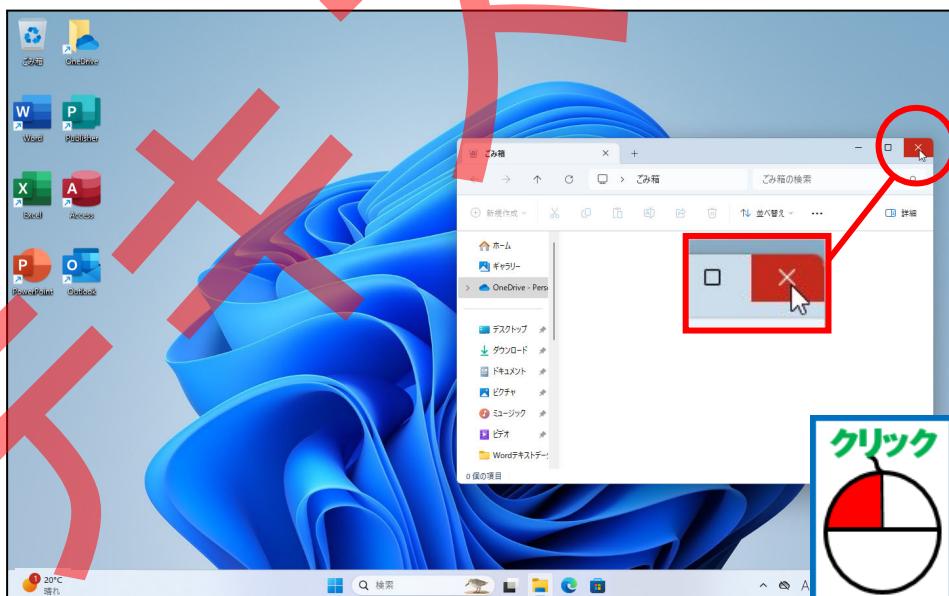
マウスの左ボタンを押したままの状態で、右側へ(目的の場所まで)動かし、目的の場所まで動いたら、マウスボタンをはなしましょう



マウスを動かす途中で、マウスボタンをはなさないようにしましょう。タイミングにも気をつけましょう。

6

× にポイントし、クリックして、ウィンドウを閉じましょう



× はポイントすると、×になり、色が変わります。

ここで、レッスン2の練習問題をしましょう。

レッスン3 (1)



画面(ウィンドウ)の基本操作

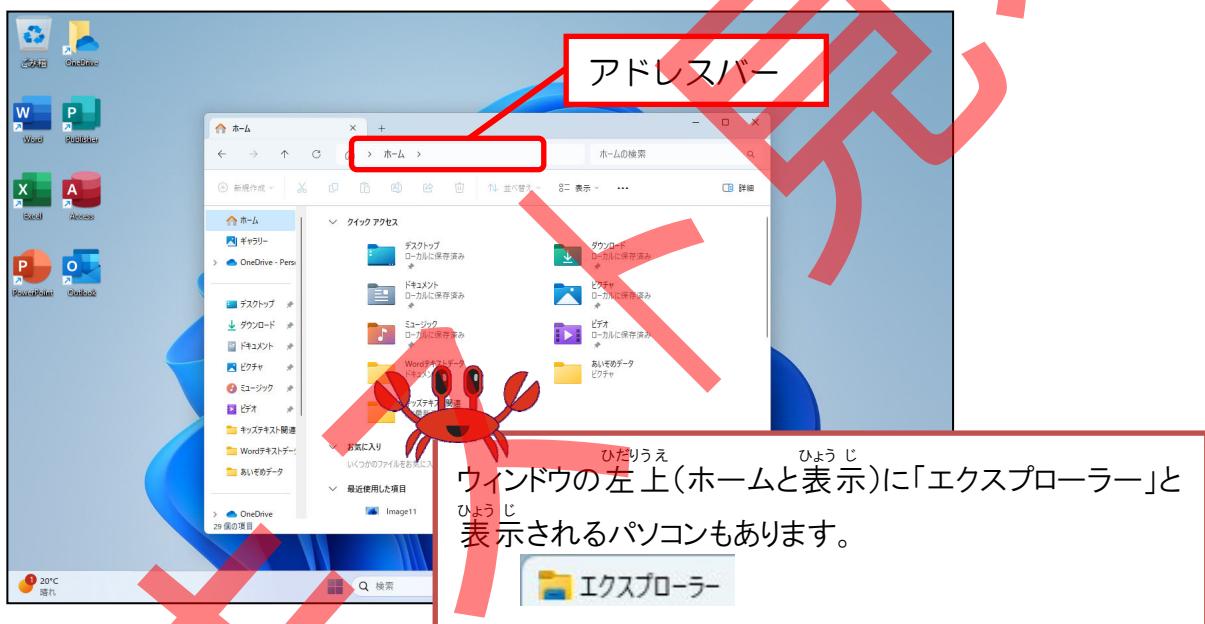
～[最大化]・[元に戻す]で画面の大きさを変えてみましょう～

まな ウィンドウについて学びましょう

ウィンドウとは？

パソコンの画面表示で、画面上に四角く領域を区切って文書や画像などを表示する機能、領域のことです。

ウィンドウの画面の名称



※アドレスバー

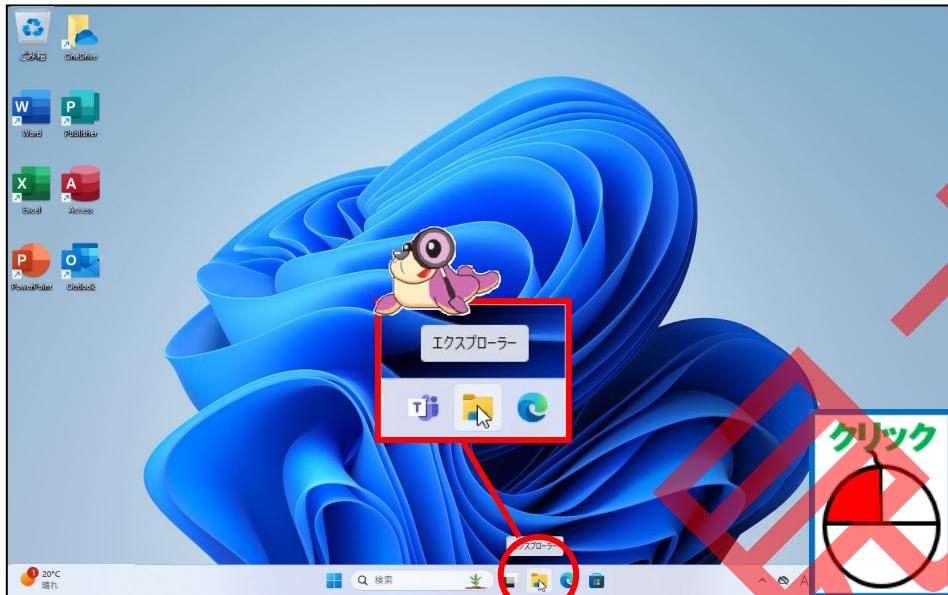
現在画面に表示している内容の所在地情報を表す棒状のスペースのことを言います。

ボタン	名称	説明
□	最大化	画面(ウィンドウ)のサイズが小さくて作業しにくい時に画面いっぱいに大きく表示するボタンです。
-	最小化	複数のウィンドウを開いて操作する場合で、両方を使って操作する際に、操作しない画面をタスクバーにかくしておくボタンです。
□	元に戻す	最大化した後に、縮小するためのボタンです。
×	閉じる	ウィンドウを終了する操作です。

操作をしてみましょう

1

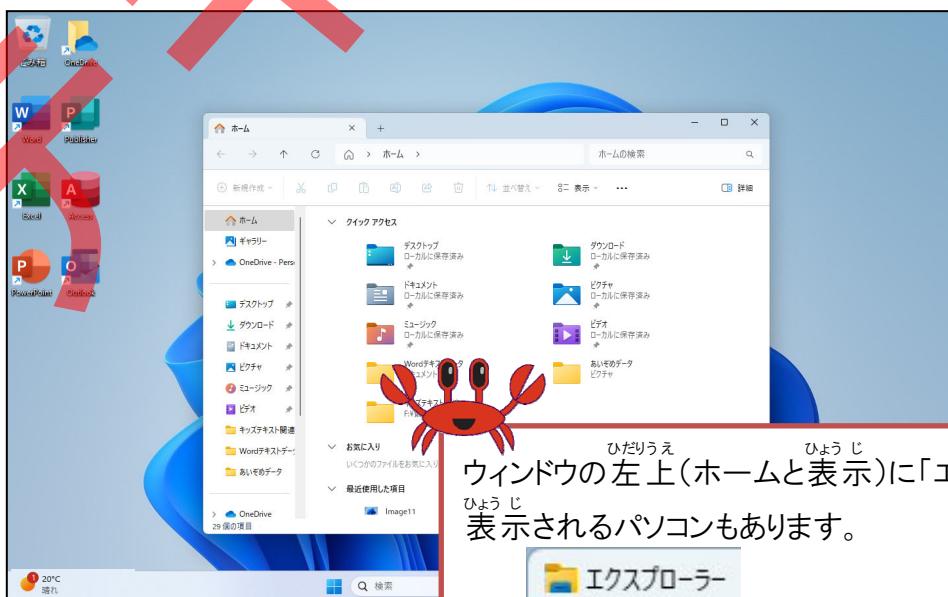
[エクスプローラー]にポイントし、そのままクリックしましょう



エクスプローラー
ファイルやフォルダーを管理するためのアプリになります。

2

エクスプローラーのウィンドウが表示されたことを確認しましょう

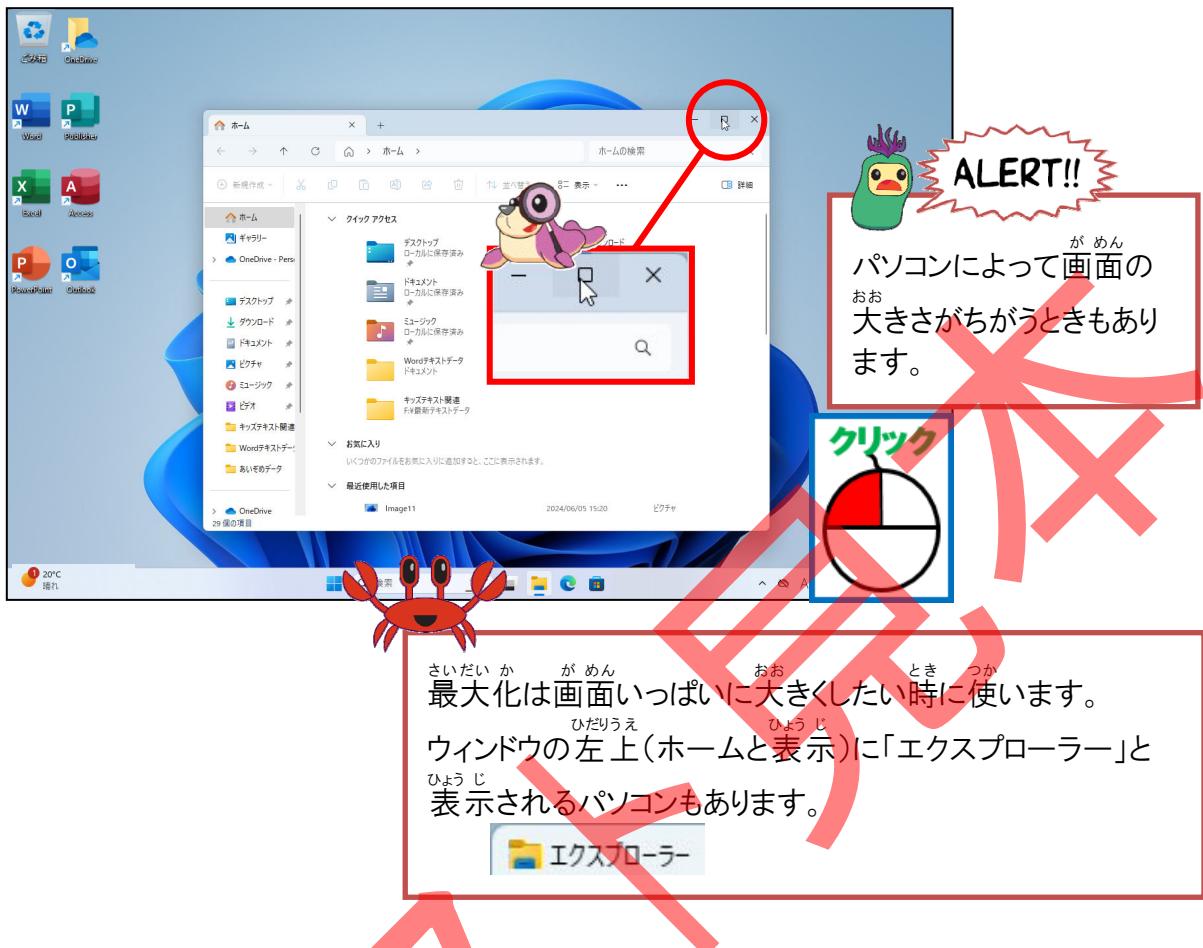


ウインドウの左上(ホームと表示)に「エクスプローラー」と表示されるパソコンもあります。



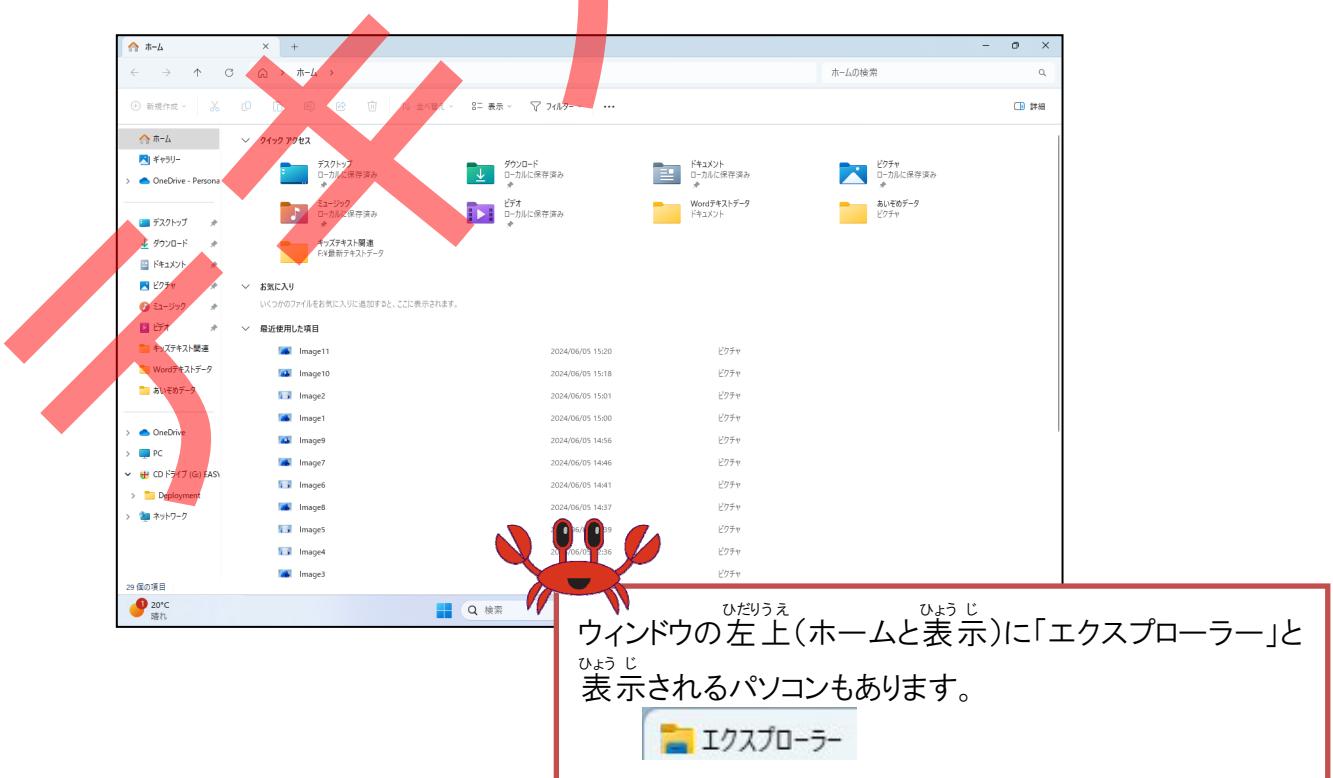
3

□ [最大化]にポイントし、そのままクリックしましょう



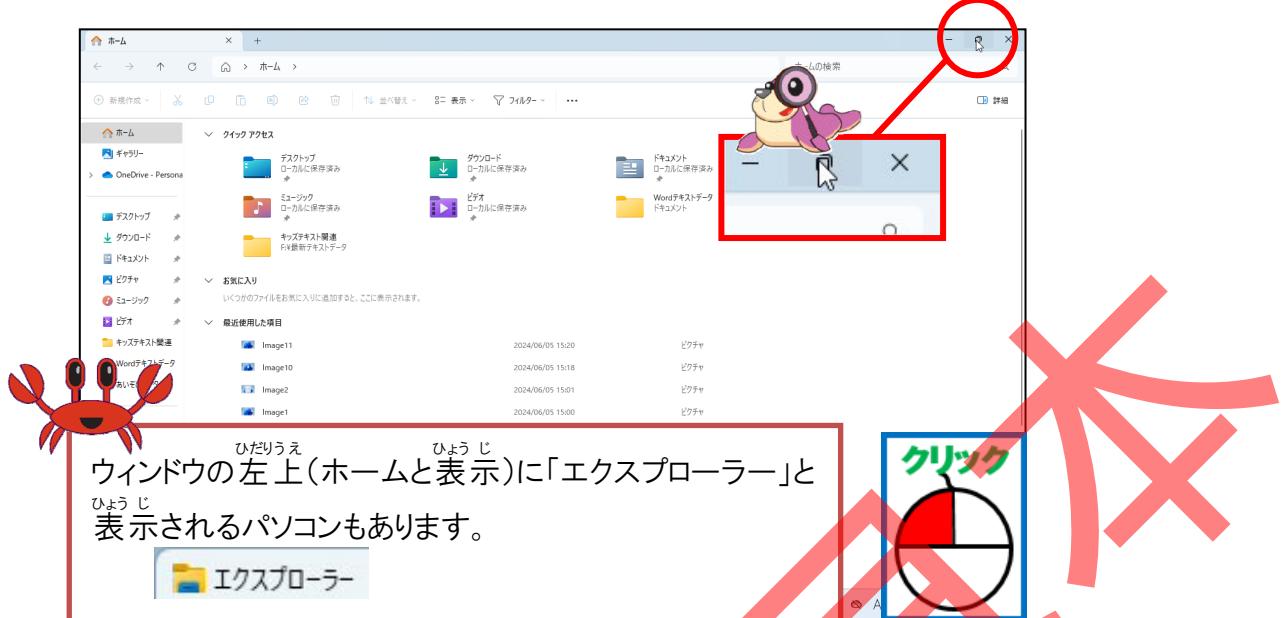
4

[エクスプローラー]のウィンドウが画面いっぱいに表示されたことを確認しましょう



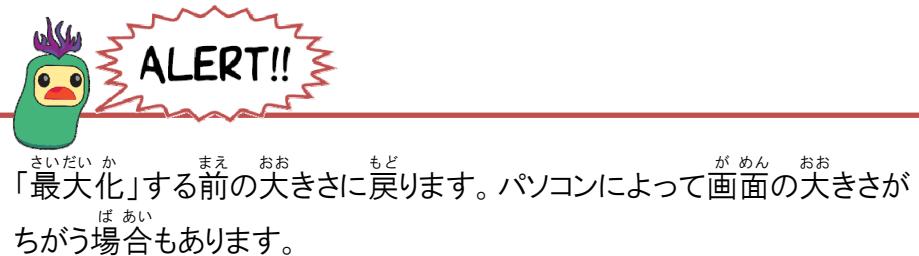
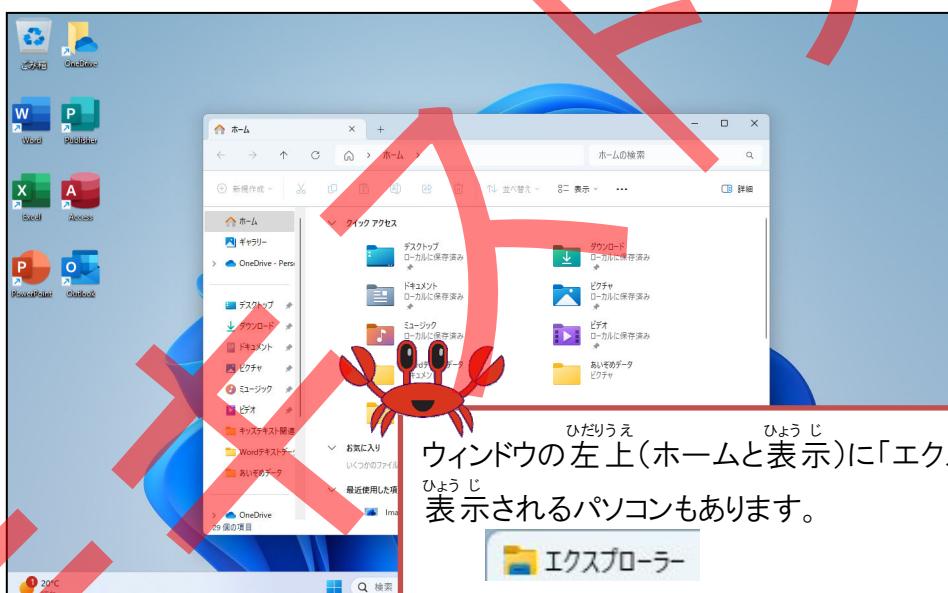
5

もど もど [元に戻す]にポイントし、そのままクリックしましょう



6

もど もど かくにん 元のサイズに戻ったことを確認しましょう



つぎ そ う さ が めん
次の操作のために、画面はそのままにしておきましょう

レッスン3 (2)



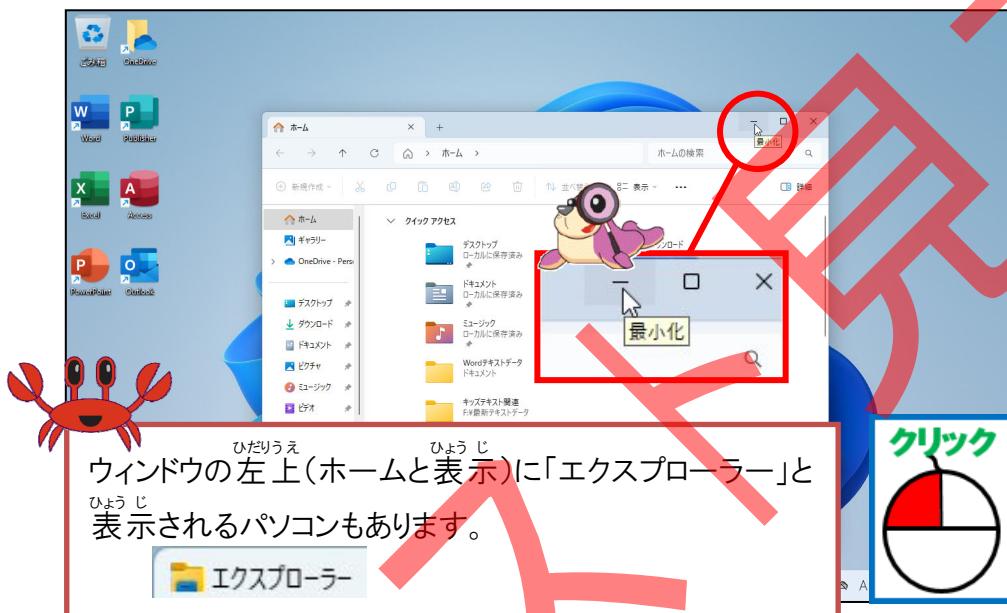
画面(ウィンドウ)の基本操作

～[最小化]で画面を変えてみましょう～

操作をしてみましょう

1

- [最小化]にポイントし、そのままクリックしましょう



2

タスクバーの[エクスプローラー]に収納されたことを確認しましょう



3

かくれている画面を表示させるために[エクスプローラー]にポイントしましょう



ポイントすると、サムネイルプレビューが表示されることを確認しましょう。
サムネイルプレビュー(=縮小表示ツールバー)とは、タスクバーのアイコンに
ポイントした時に表示される画面のことを言います。
※パソコンによっては、表示されない場合もあります。
ウインドウの左上(ホームと表示)に「エクスプローラー」と表示されるパソコンも
あります。



「最小化」と「閉じる」のちがい

- 「最小化」

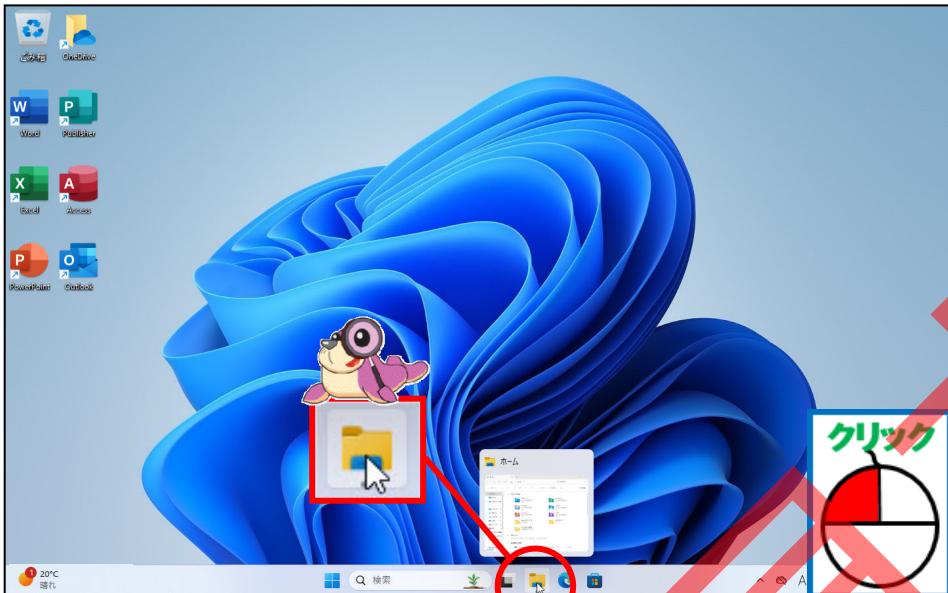
ウィンドウを一時的に閉じて、別の作業をするのにじゅまにならないようにかくしているだけで、アプリは、起動したままの状態です。
タスクバーのアイコンをクリックするとすぐに表示することができます。

- 「閉じる」

タスクバーにアイコンをピン留めしていない場合は、ウィンドウが閉じるのと同時にアプリも終了するので、タスクバーのアイコンも消えます。もう一度、作業するには、最初からアプリを起動して、操作します。

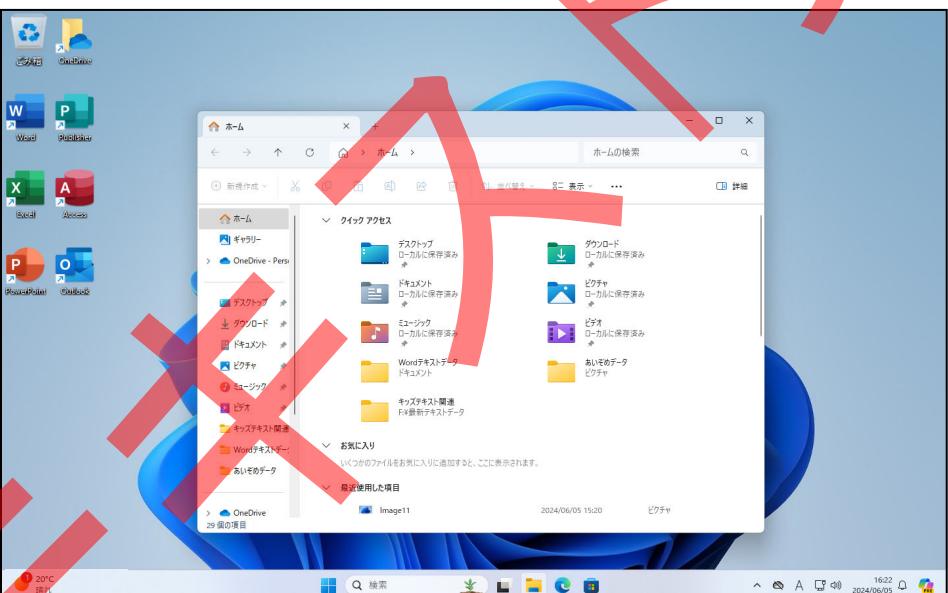
4

[エクスプローラー]にポイントした状態で、そのままクリックしましょう



5

もども元に戻ったことを確認しましょう



ひだりうえ
ウインドウの左上(ホームと表示)に「エクスプローラー」と
ひょうじ
表示されるパソコンもあります。



つぎ そうさ がめん
次の操作のために、画面はそのままにしておきましょう

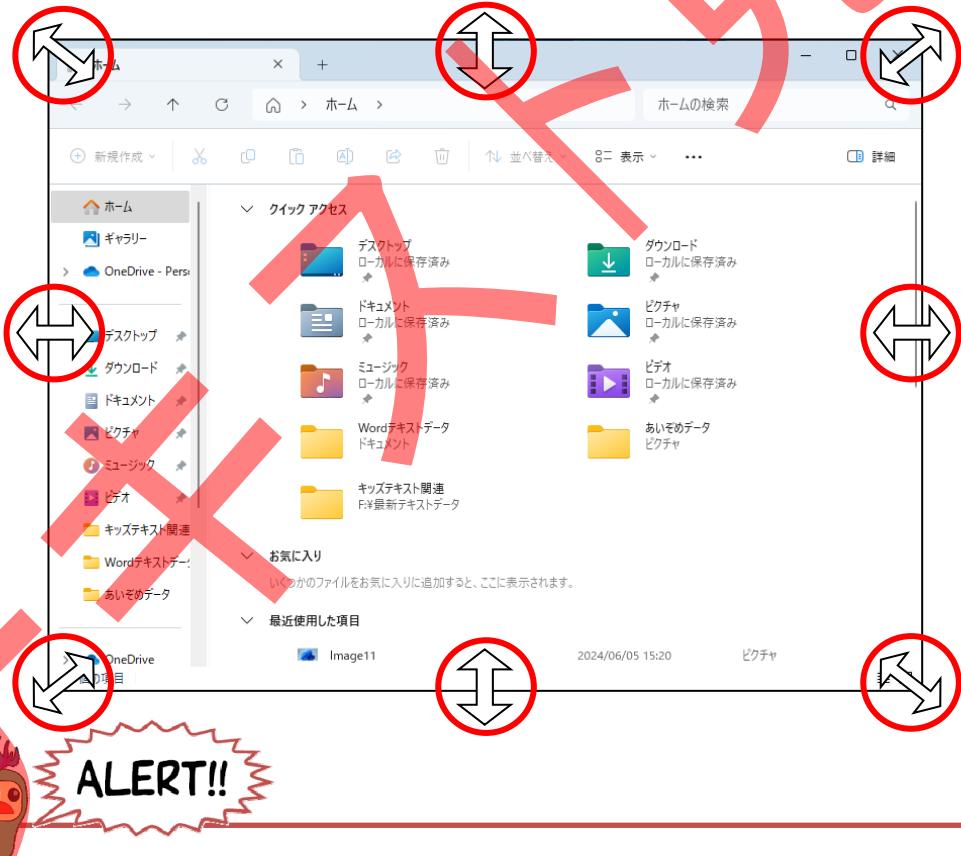


画面(ウィンドウ)の基本操作

～自由に画面の大きさを変えてみましょう～

操作のちがいについて学びましょう

- ◆ [最大化][元に戻す][最小化]ボタンは、それぞれ決まった大きさに拡大したり、縮小したり、元に戻ったりしていましたが、ドラッグ操作での大きさ変更は、自分で自由にサイズを調整することができます。
- ◆ ドラッグする方法
表示された画面(ウィンドウ)の外枠にマウスポインターをかさね合わせると、マウスポインターの形が下の図のようにポイントした位置によって変わるので、矢印の方向にドラッグするとウィンドウの大きさを自由に変更することができます。



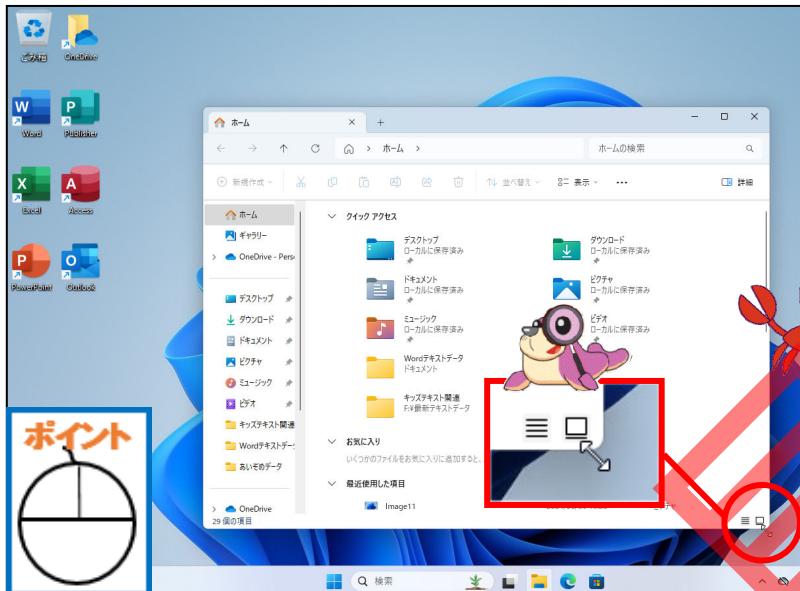
マウスポインターの矢印の形が上の図のように変わった時にドラッグしましょう。

- (1) 左右の境界線を横矢印方向にドラッグすると、横に拡大・縮小されます。
- (2) 上下の境界線を縦矢印方向にドラッグすると、縦に拡大・縮小されます。
- (3) 四隅のななめ矢印方向にドラッグすると、縦横同時に拡大・縮小されます。

操作をしてみましょう

1

画面(ウィンドウ)の右下の角にポイントしましょう



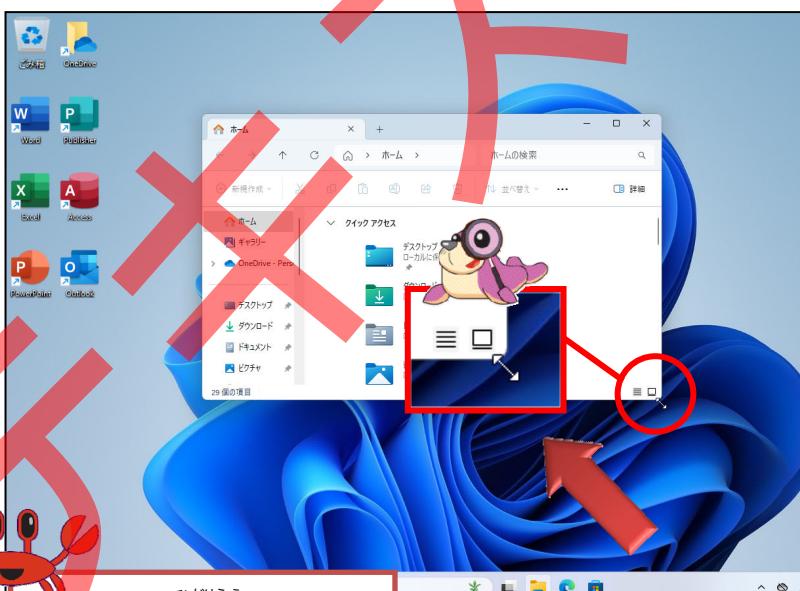
「ポイント」がわからない
ひと人は、レッスン 2-(3)を復
しゅう習しましょう。

ひだりうえ
ウィンドウの左上(ホーム
ひょうじと表示)に「エクスプローラー」と表示されるパソコン
ひょうじもあります。



2

①の状態で、左ボタンを押したまま左ななめ上に向かって、ドラッグし、サイズ
ちいを小さくしましょう



「ドラッグ」がわからない
ひと人は、レッスン 2-(7)を
ふくしゅう復習しましょう。

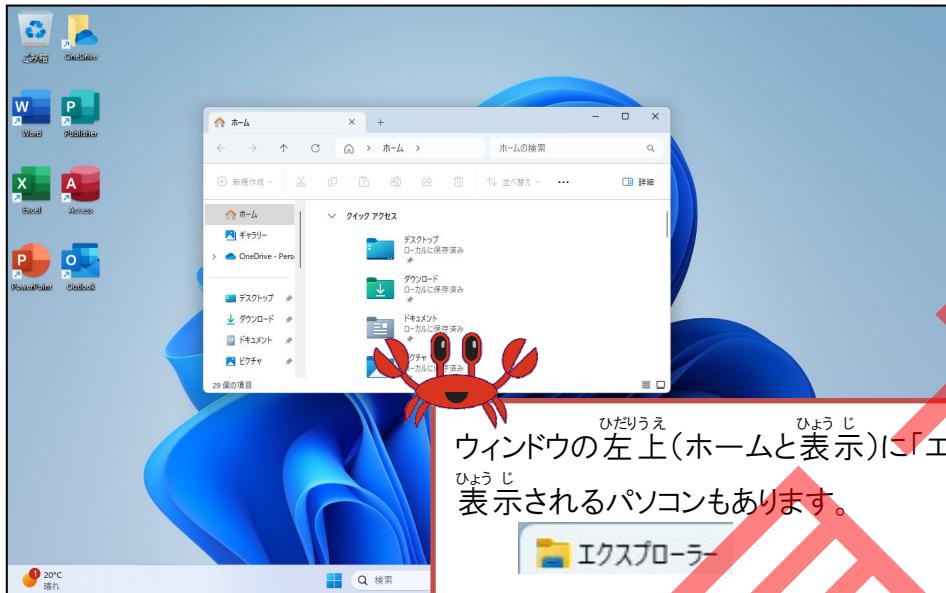
ひだりうえ
ウィンドウの左上(ホーム
ひょうじと表示)に「エクスプローラー」と表示されるパソコン
ひょうじもあります。



ときやじるしちゅうい
ALERT!!
ドラッグする時の矢印に注意しながら、ドラッグしましょう。
マウスをはなすタイミングにも気をつけましょう。

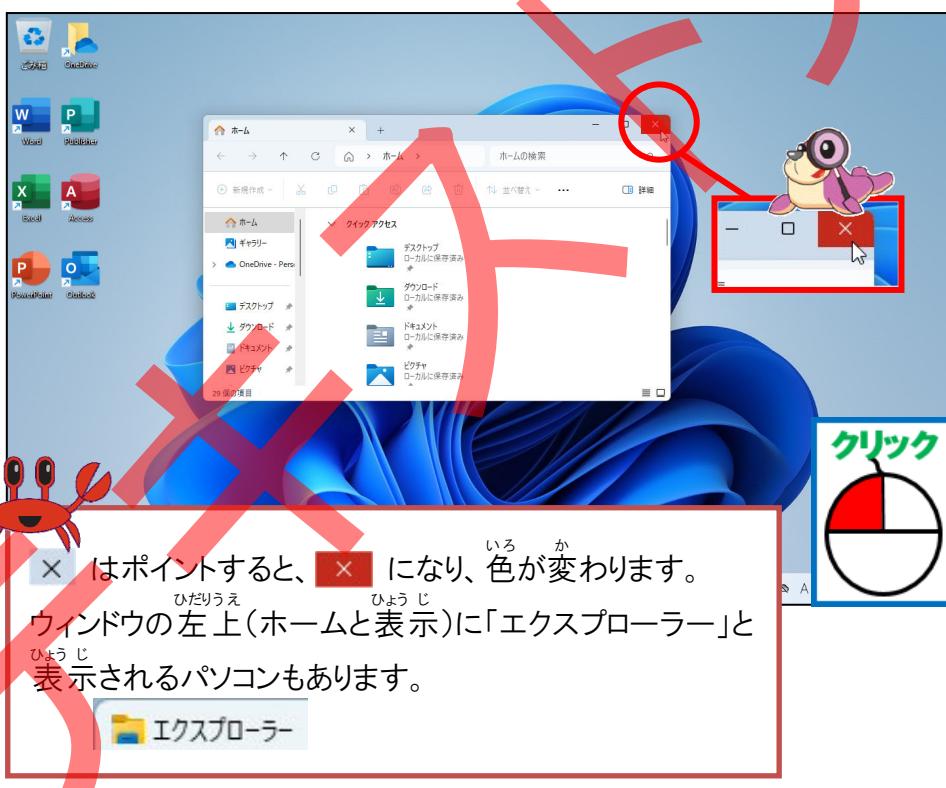
3

が めん
画面(ウィンドウ)のサイズが変更されたことを確認しましょう



4

☒ にポイントし、そのままクリックしましょう



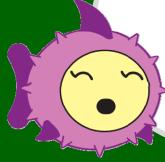
クリック



ひと
「クリック」がわからない人は、レッスン 2-(4)を復習しましょう。

れんしゃうもんたい

ここで、レッスン3の練習問題をしましょう。



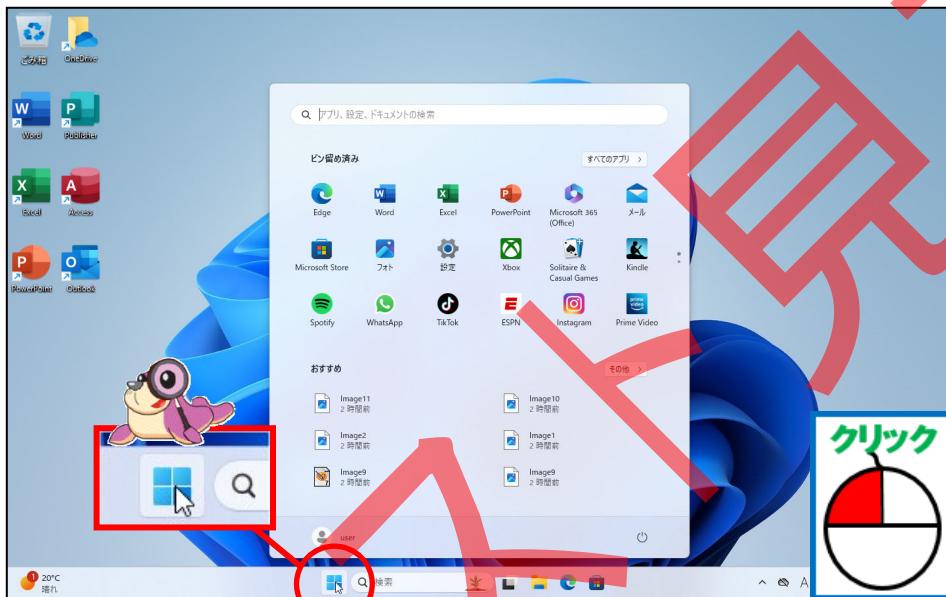
レッスン4 (1)

え　えが ペイントで絵を描きましょう ～「ペイント」を起動しましょう～

そ う さ
操作をしてみましょう

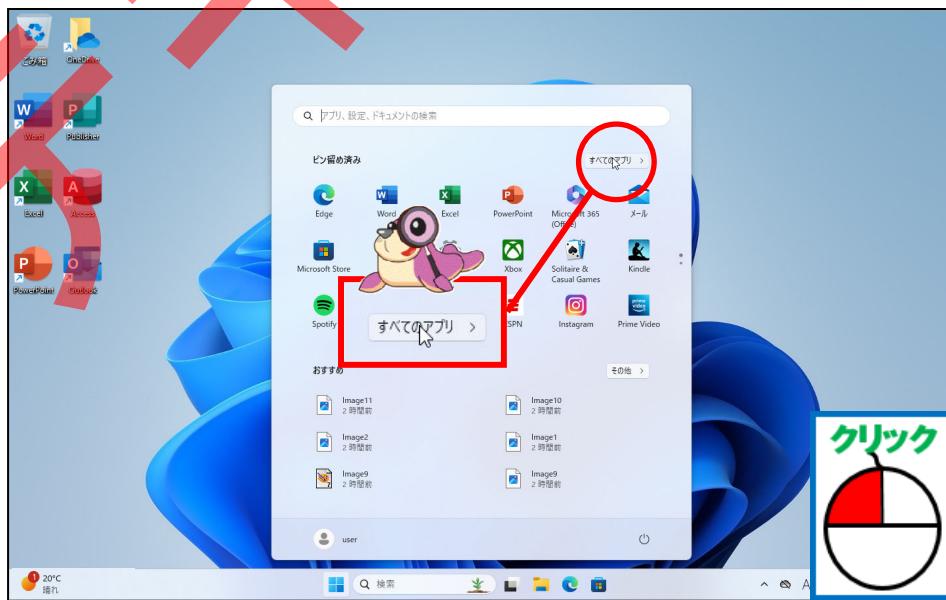
1

[スタート]にポイントし、そのままクリックしましょう



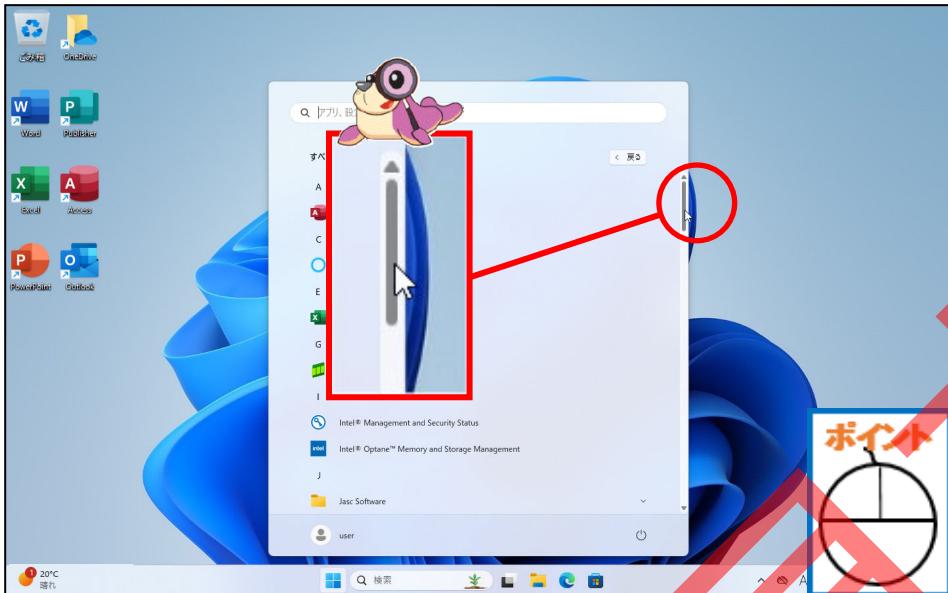
2

[スタートメニュー]の右上に表示された ひょうじ すべてのアプリ > にポイントし、そのままクリックしましょう



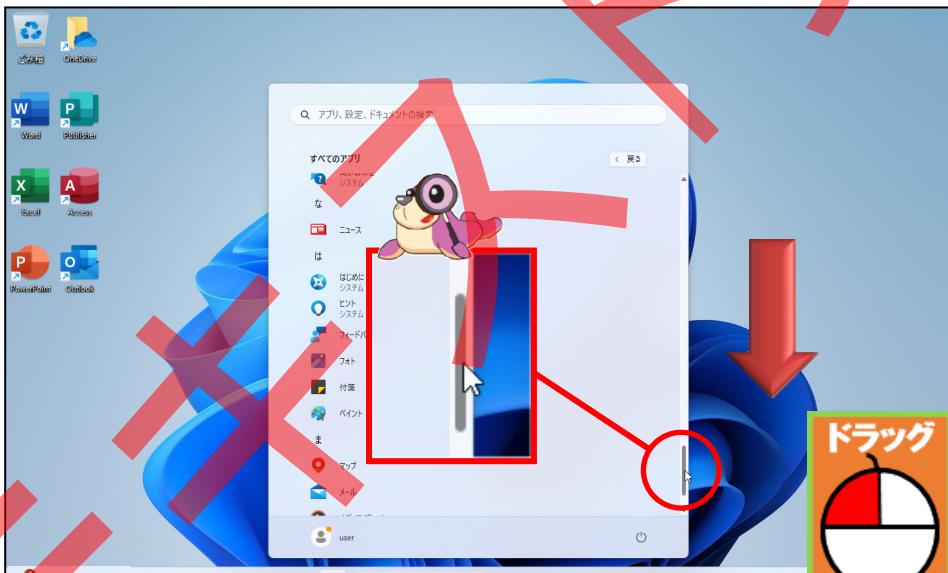
③

マウスを右端に近づけると、スクロールバー(灰色の棒状の物)が表示されるのでポイントしましょう



④

[ペイント]が表示されるまでドラッグしましょう



[ペイント]なので、「は」行から探します。

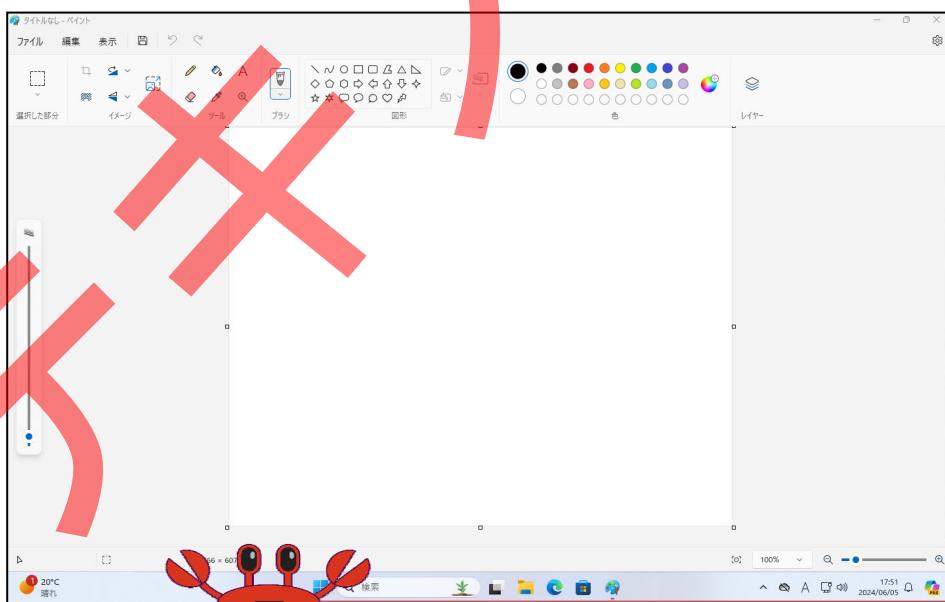
5

[ペイント]にポイントし、そのままクリックしましょう

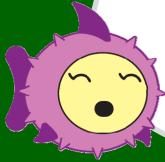


6

ペイントの画面を確認しましょう



つぎ そ う さ が めん
次の操作のために、画面はそのままにしておきましょう



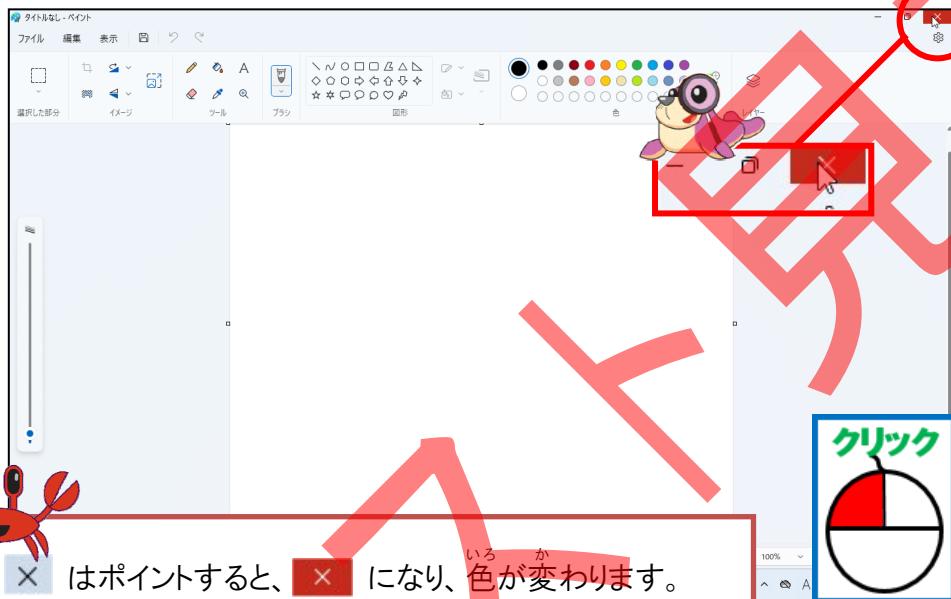
レッスン4
(2)

え　えが
ペイントで絵を描きましょう
しゅうりょう
～「ペイント」を終了しましょう～

そろそろ操作をしてみましょう

1

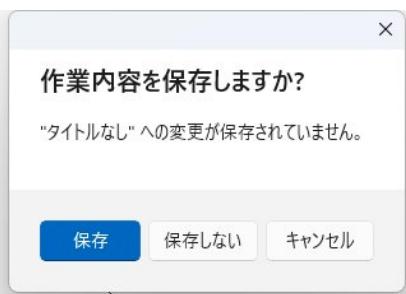
× にポイントし、そのままクリックしましょう



クリック

こんなときどうするの？

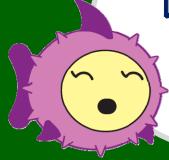
ペイントの × をクリックした後に、下のような画面が表示された場合は、
[保存しない] をクリックしましょう。



そろそろ次の操作のために、ペイントを起動しておきましょう



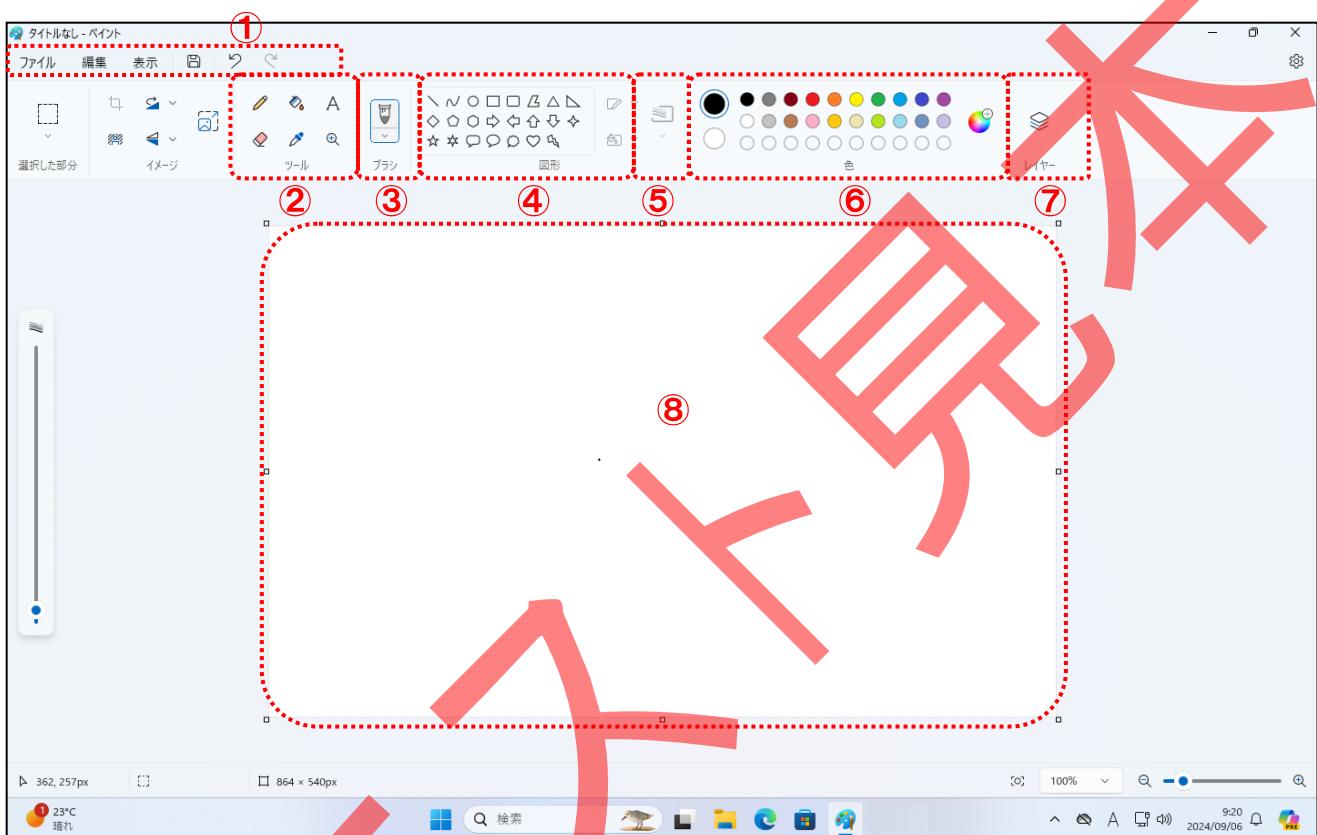
わからぬ人は、レッスン
4-(1)を復習しましょう。



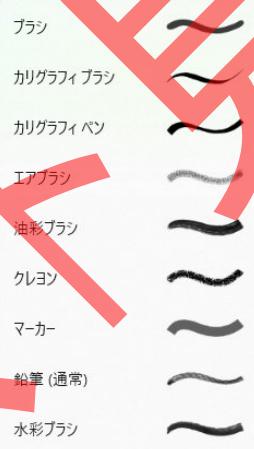
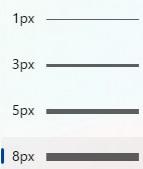
レッスン4 (3)

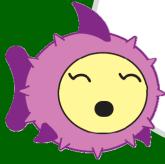
え　えが ペイントで絵を描きましょう ～お絵かき道具をみてみましょう～

が　めん　な　まえ
画面の名前をみてみましょう



各部	名前	役割
① メニューバー	ファイル	クリックするとファイル操作するコマンドや印刷するコマンドが表示されます。
	編集	クリックすると選択した範囲を移動したり、コピーしたりするためのコマンドが表示されます。
	表示	クリックすると表示する倍率を変えたり、ルーラーやグリッド線を表示したりできます。
	保存	クリックすると表示しているデータを保存できます。
	元に戻す	操作を元に戻します。
	やり直し	操作をやり直します。

②	ツールグループ	鉛筆	ほそ 細い 直線や 曲線を自由に描く時に使います。
		消しゴム	ふんてき 部分的に書き直したい時に、その部分を消すことができます。
		塗りつぶし	がぞうぜんたい 画像全体または図形・描いた絵に色を塗りつぶす場合に使います。
		カラー ピッカー	りょういき キャンバスの領域の色を取得することができます。
		テキスト	ない もじ キャンバス内に文字を入力することができます。
		拡大鏡	りょういき キャンバスの領域を拡大表示することができます。
③	ブラシグループ	ブラシ	した 下のようないろいろな種類の線を描くことができます。 
④	図形グループ	図形	いろいろな図形を描くことができます。
⑤	線の幅グループ	線の幅	図形を描くときの線の幅を選ぶことができます。 
⑥	色グループ	色	図形の塗りつぶし、枠線の色を変更するのに使用します。
⑦	レイヤー	レイヤー	画像を重ねて使うことができる機能のことです。
⑧	キャンバス	キャンバス	ペイントで絵を描くための領域です。



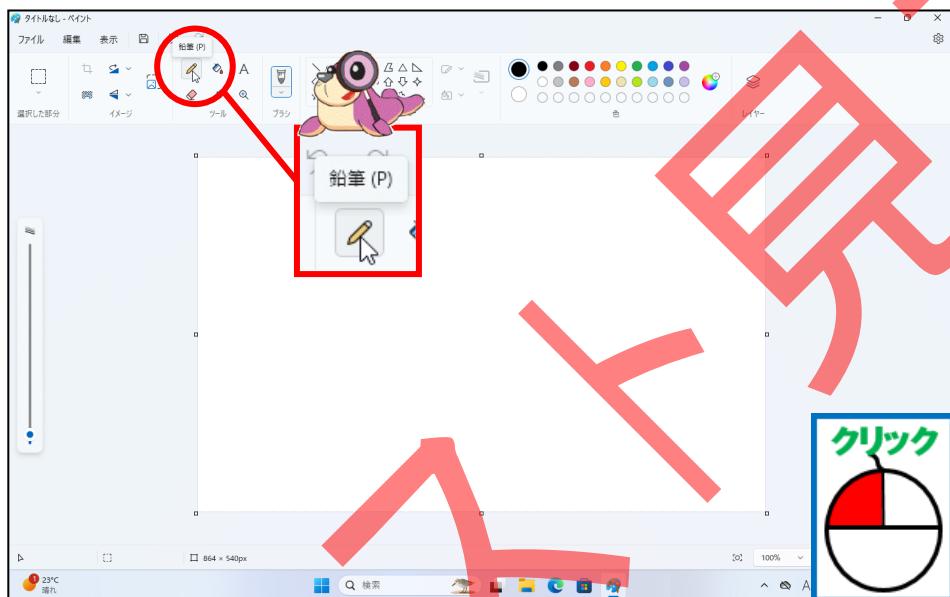
レッスン4 (4)

え　えが ペイントで絵を描きましょう えんぴつ　せん　えが ～鉛筆で線を描いてみましょう～

そろそろ
操作をしてみましょう

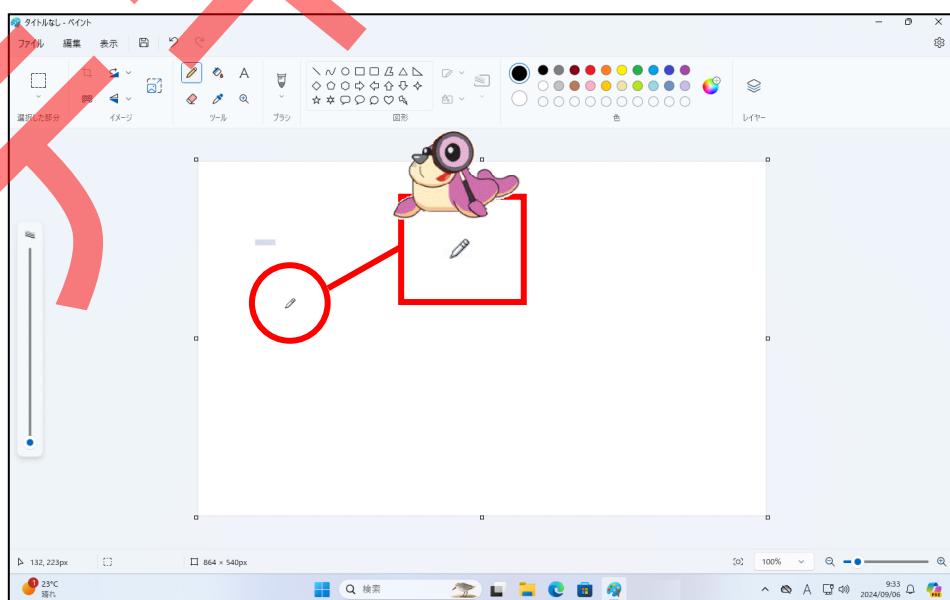
1

えんぴつ
[鉛筆]にポイントし、そのままクリックしましょう



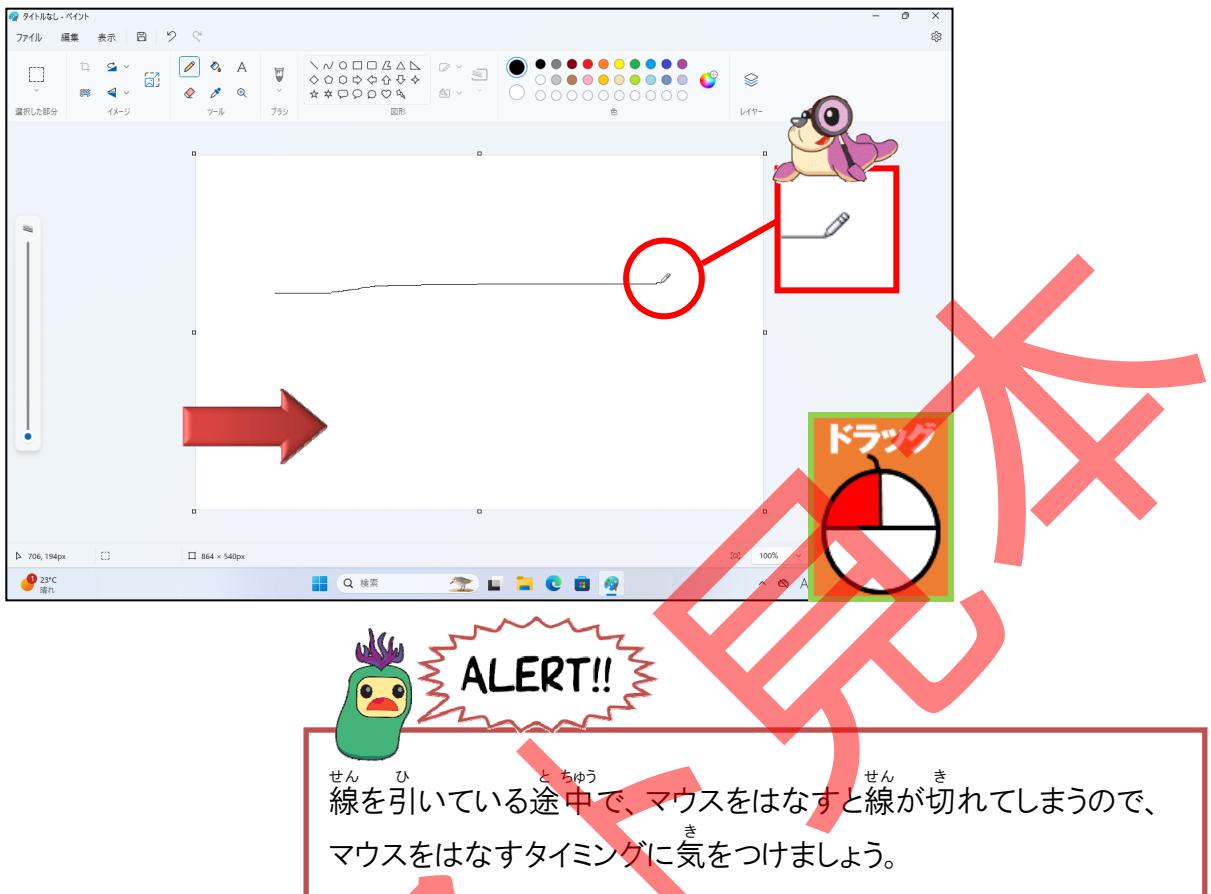
2

かみ　うえ
紙の上にマウスポインターを動かして、マウスポインターの形が変わっていること
うこ
かくにん
を確認しましょう



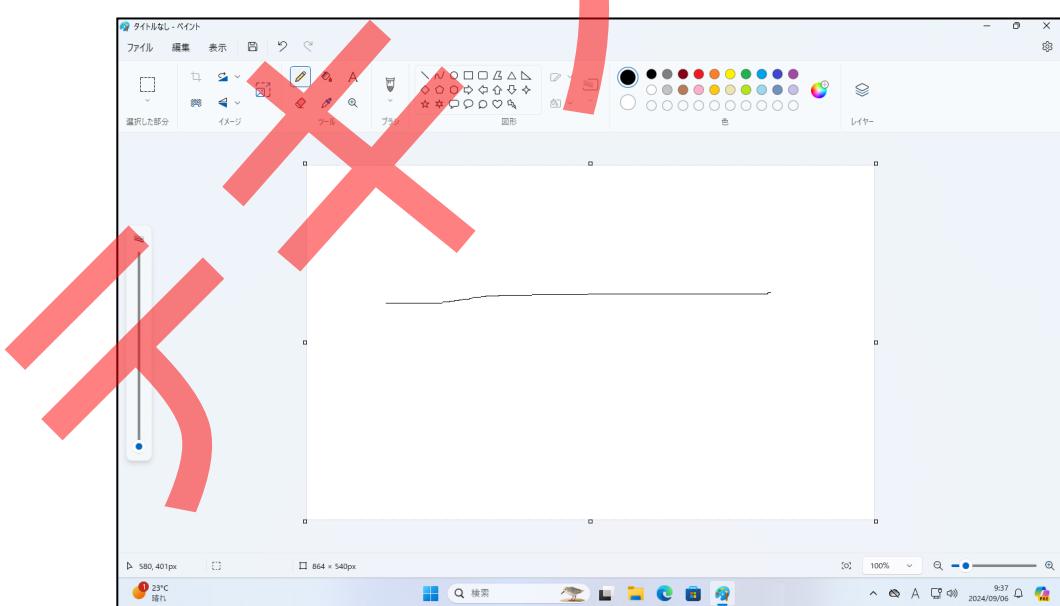
3

マウスの左ボタンを押したままの状態で、線を引きましょう



4

線が引けたことを確認しましょう



次の操作のために、画面は閉じずにそのままにしておきましょう

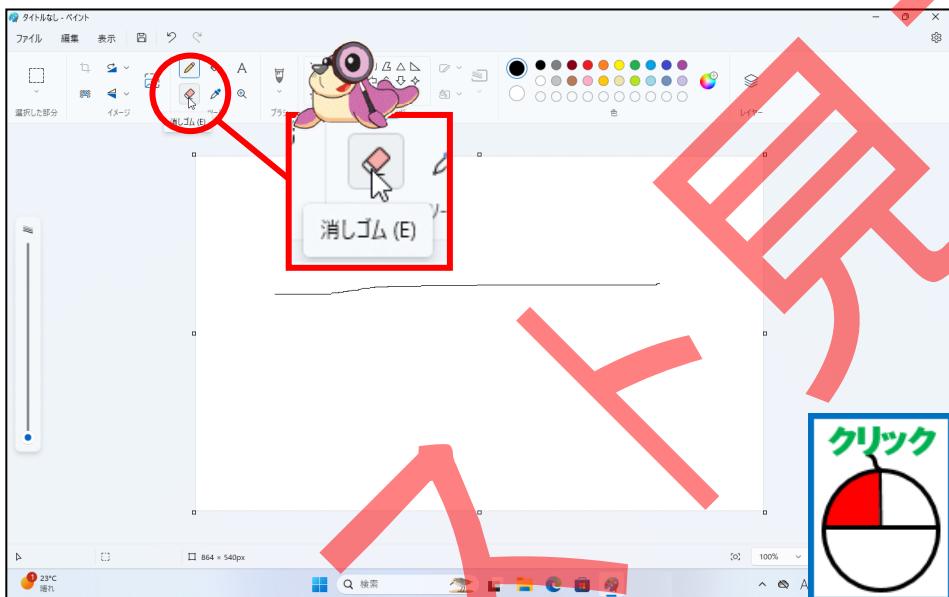


え　えが ペイントで絵を描きましょう ～消しゴムで消してみましょう～

そ う さ
操作をしてみましょう

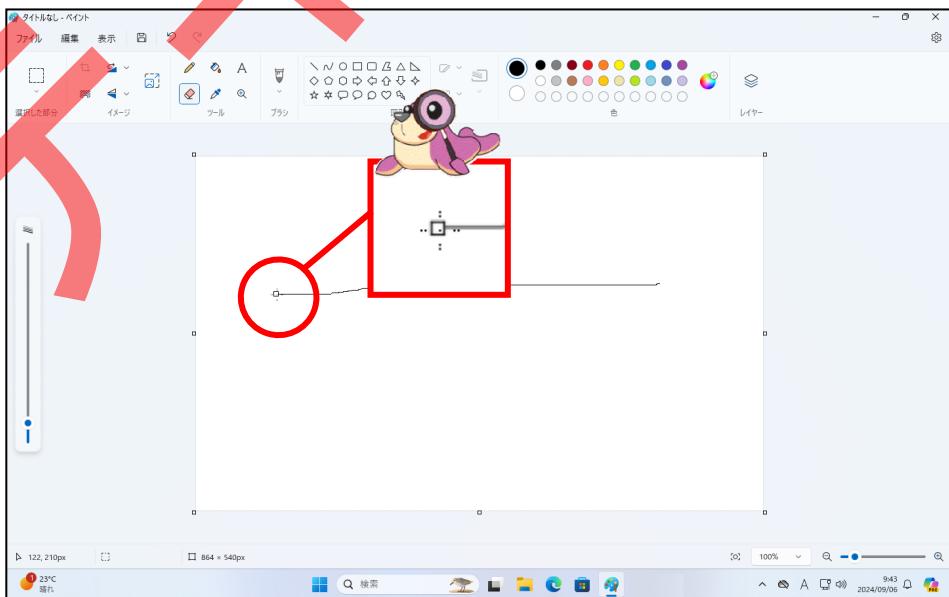
1

[消しゴム]にポイントし、そのままクリックしましょう



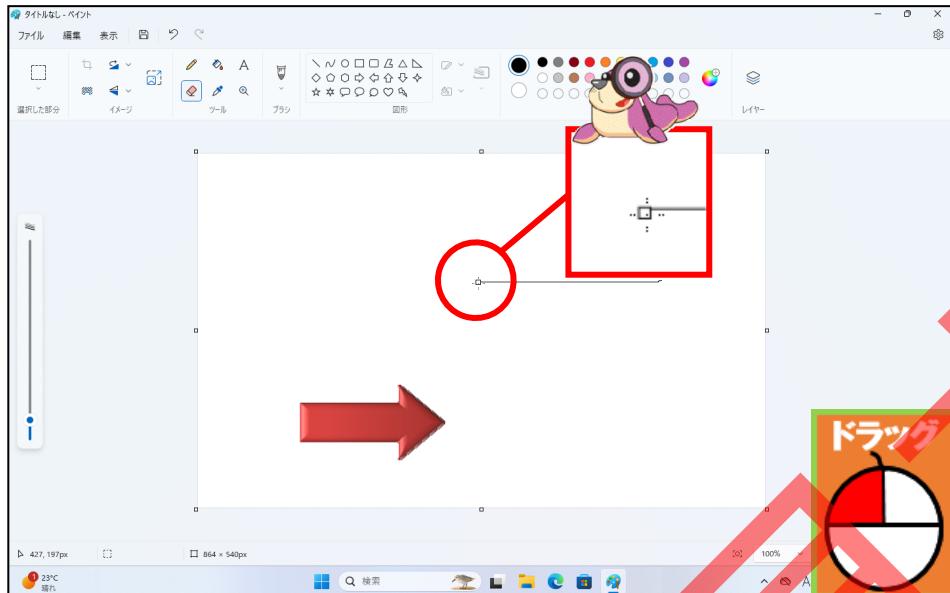
2

かみ　うえ
紙の上にマウスポインターを動かして、線の上にかさねましょう



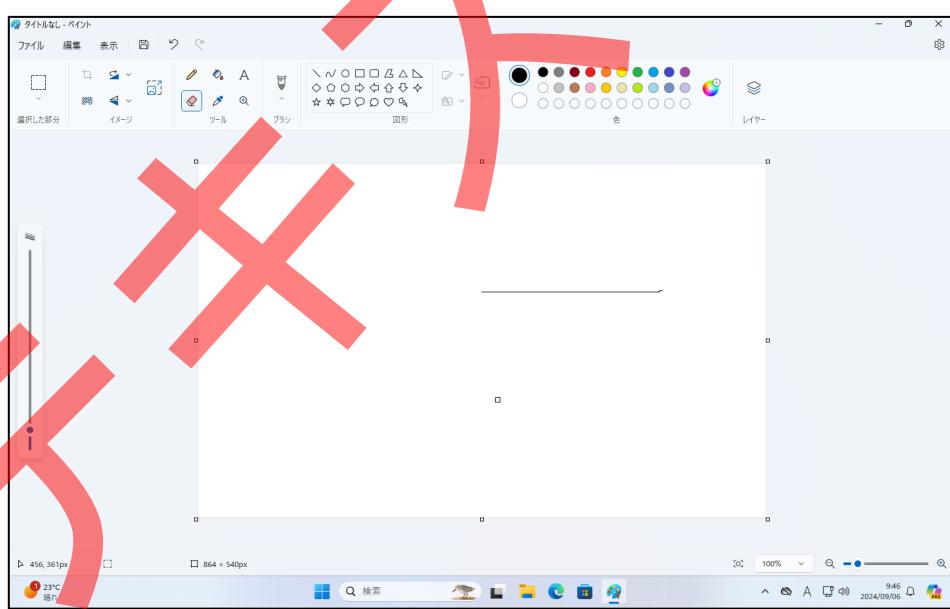
3

ひだり お じょうたい せん はんぶん のこ け
マウスの左ボタンを押したままの状態で、線を半分ぐらい残して消しましょう



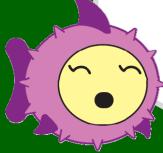
4

せん はんぶん き かくにん
線が半分ほど消えたことを確認しましょう



つぎ そうさ と いちど きどう ほそん かく
次の操作のために、ペイントを閉じ、もう一度ペイントを起動しましょう。(保存の確
認画面が表示されたら、[保存しない]をクリックしましょう。)

HINT!
ひと
わからない人は、レッスン
ふくしゅう
4-(1)、(2)を復習しましょう。



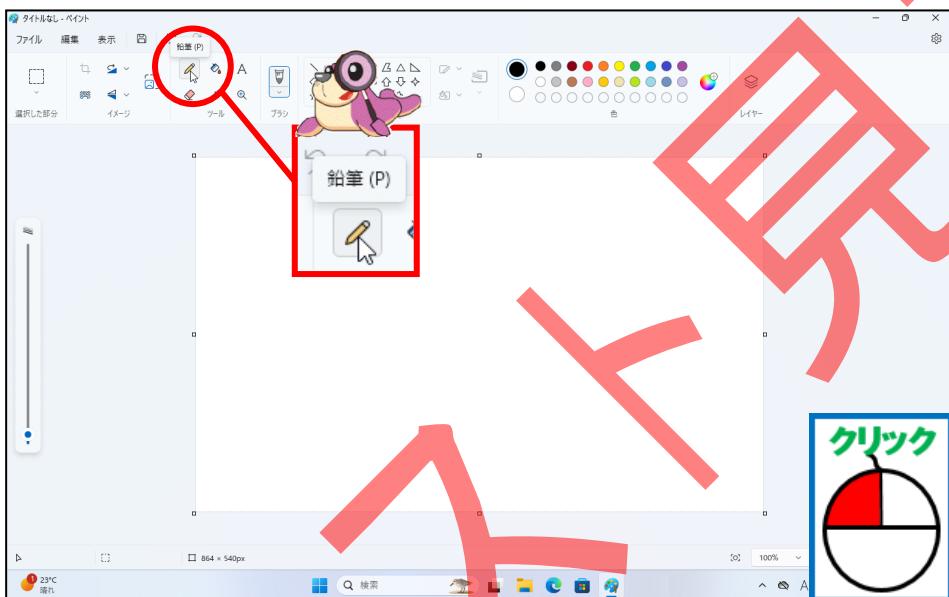
レッスン4 (6)

え　えが ペイントで絵を描きましょう ～鉛筆の太さや色を変えて、自分の名前を か　書きましょう～

そろそろ操作をしてみましょう

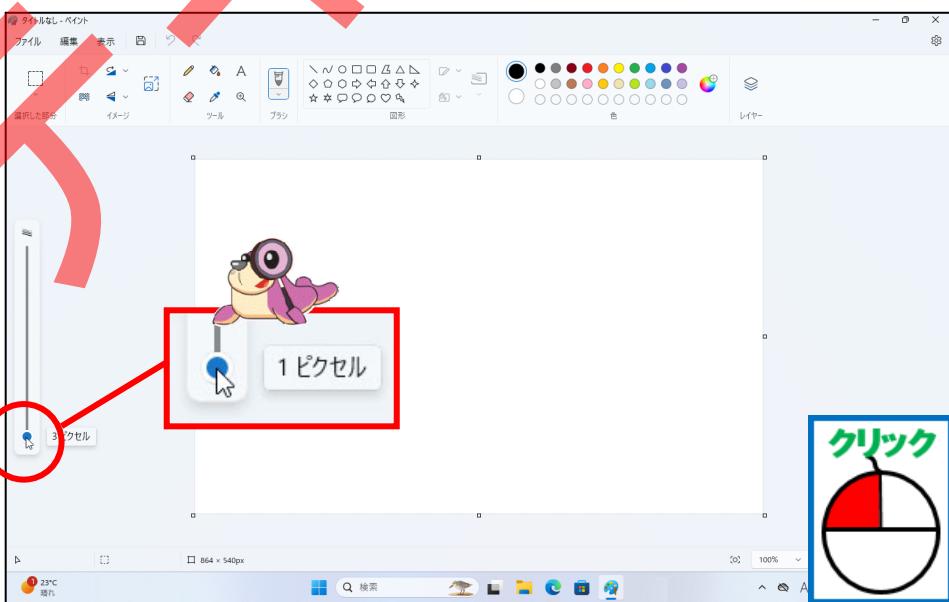
1

[鉛筆]にポイントし、そのままクリックしましょう



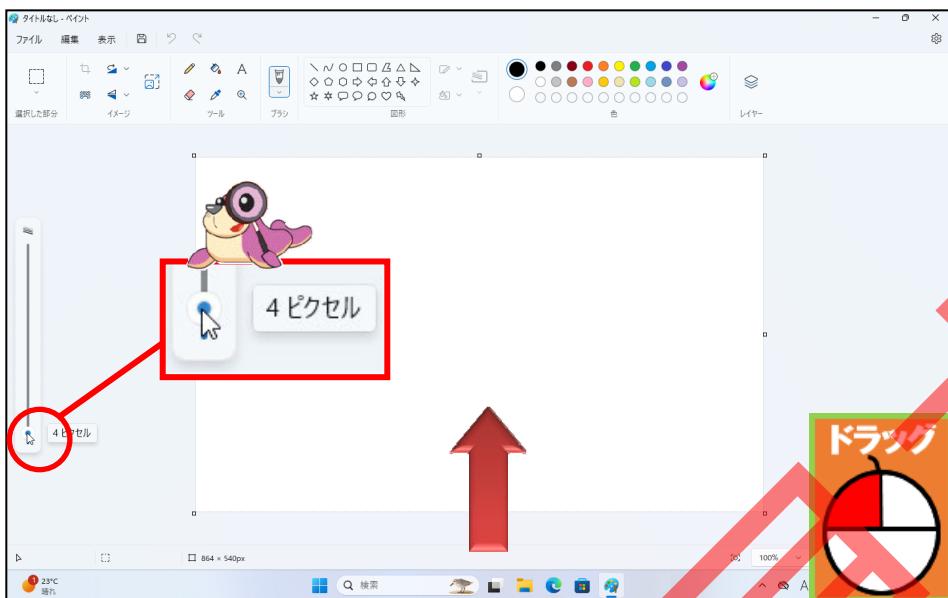
2

画面左端に表示された太さのスライダーにポイントします



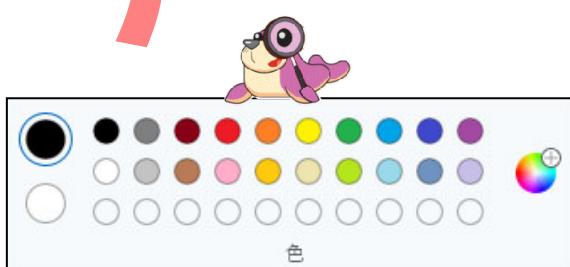
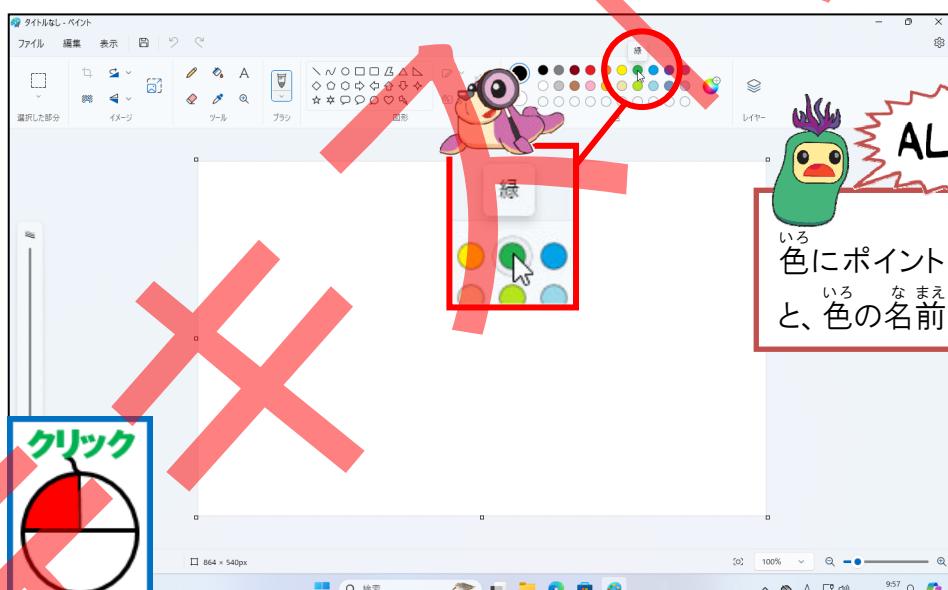
3

右の表示が [4ピクセル] になるまで上にドラッグします



4

自分の[好きな色]を選んで、クリックしましょう(テキストは、緑を選んでいます)

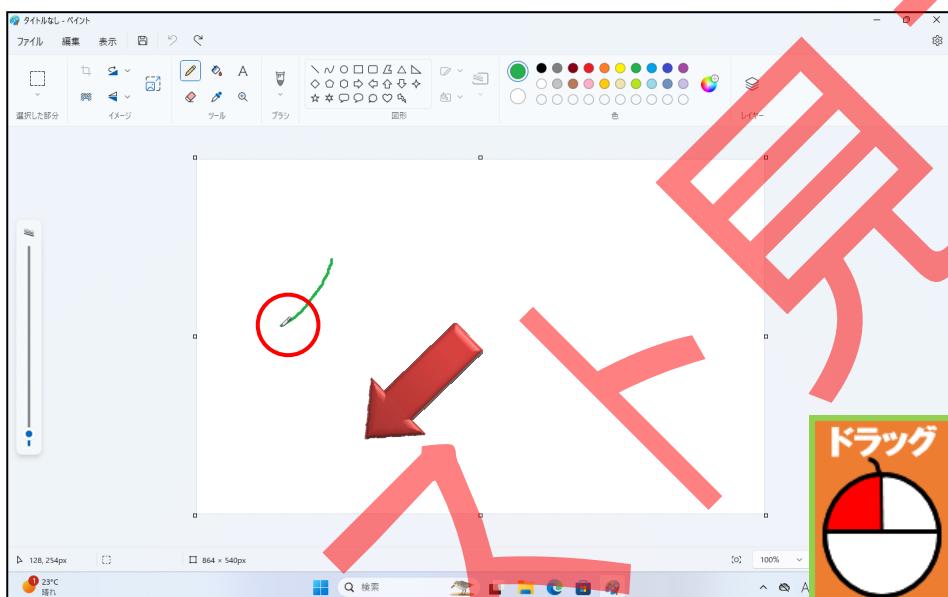
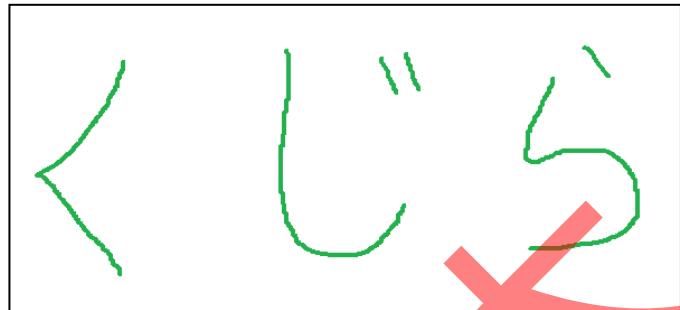


なか
なにいろ
す
この中で、何色が好き?
じぶん
なまえ
なにいろ
か
自分の名前を何色で書きたいかな?
えら
さあ、選んでみましょう!!

5

じぶん なまえ か
自分の名前を書きましょう

テキスト見本 みほん



ひと
わからない人は、レッスン
ふくしゅう
4-(4)を復習しましょう。

つぎ そろそろ 次の操作のために、画面は閉じずにそのままにしておきましょう

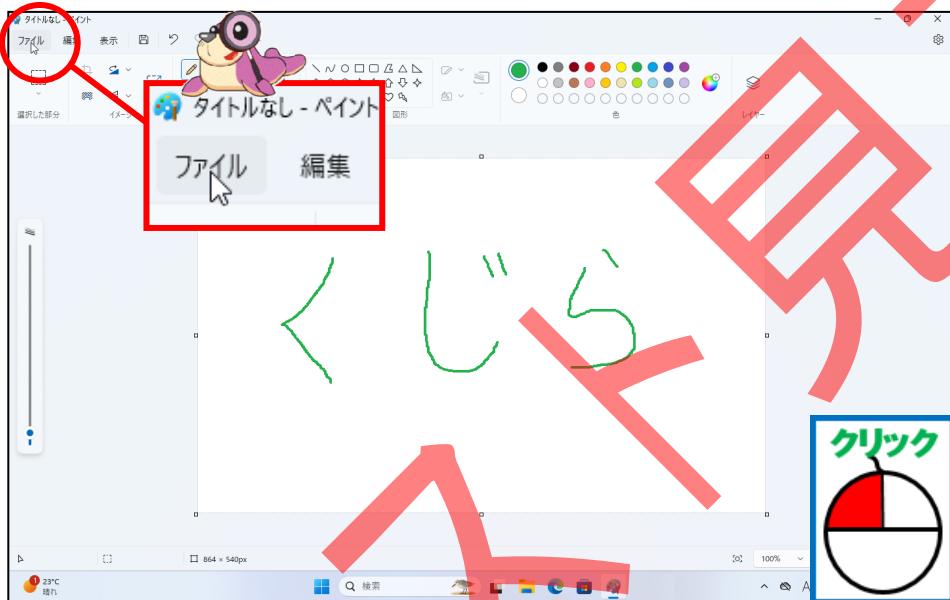
レッスン4 (7)

え　えが ペイントで絵を描きましょう いんさつ ～印刷してみましょう～

そろそろ
操作をしてみましょう

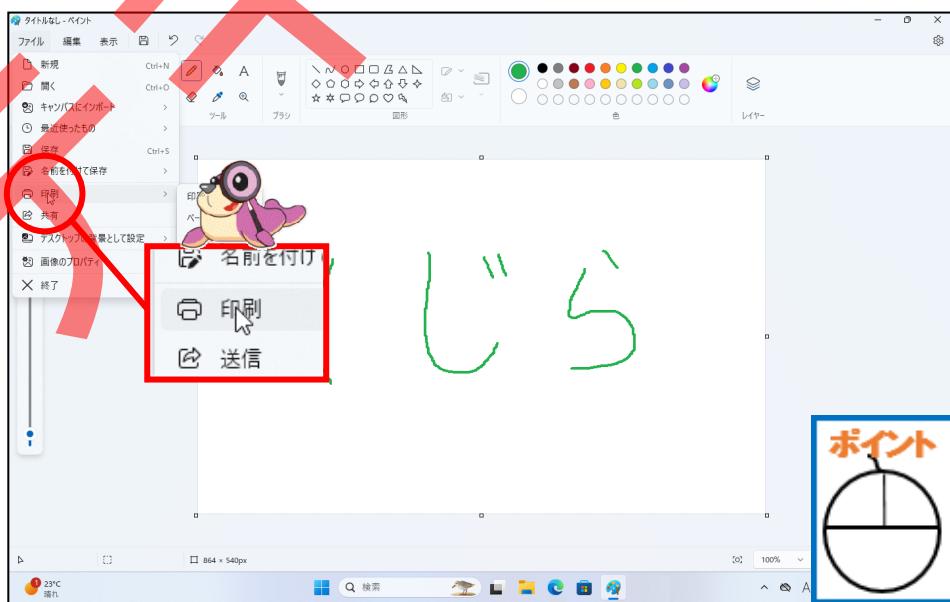
1

[ファイル]にポイントし、そのままクリックしましょう



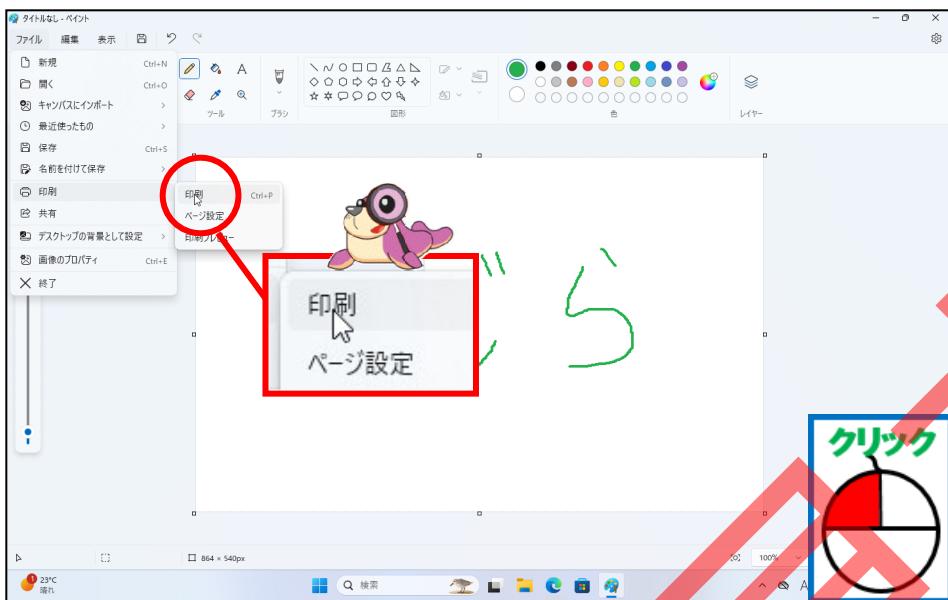
2

ひょうじ
表示されたメニューから[印刷]にポイントしましょう



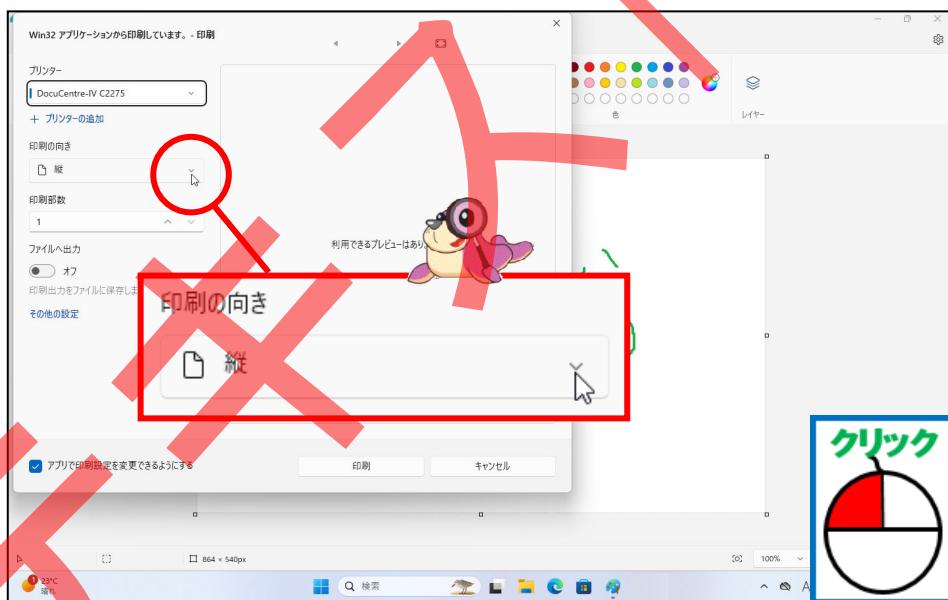
3

右に表示されたサブメニューから[印刷]にポイントし、そのままクリックしましょう



4

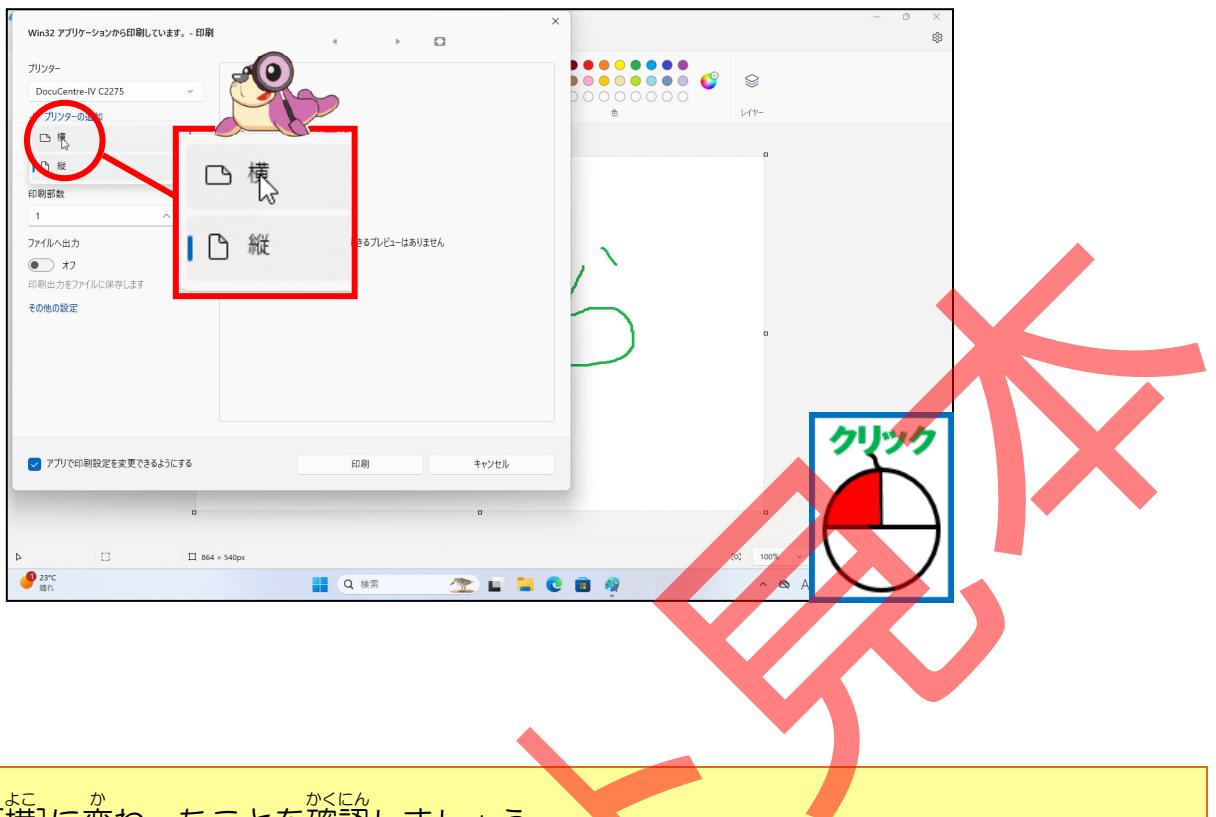
印刷の向きを変えるため、[印刷の向き]の下にある [縦] にポイントし、そのままクリックしましょう



いま
今のままでは、紙が縦向きになり、下
よはく に余白がたくさんできている状態にな
たて む
ります。
じょうたい

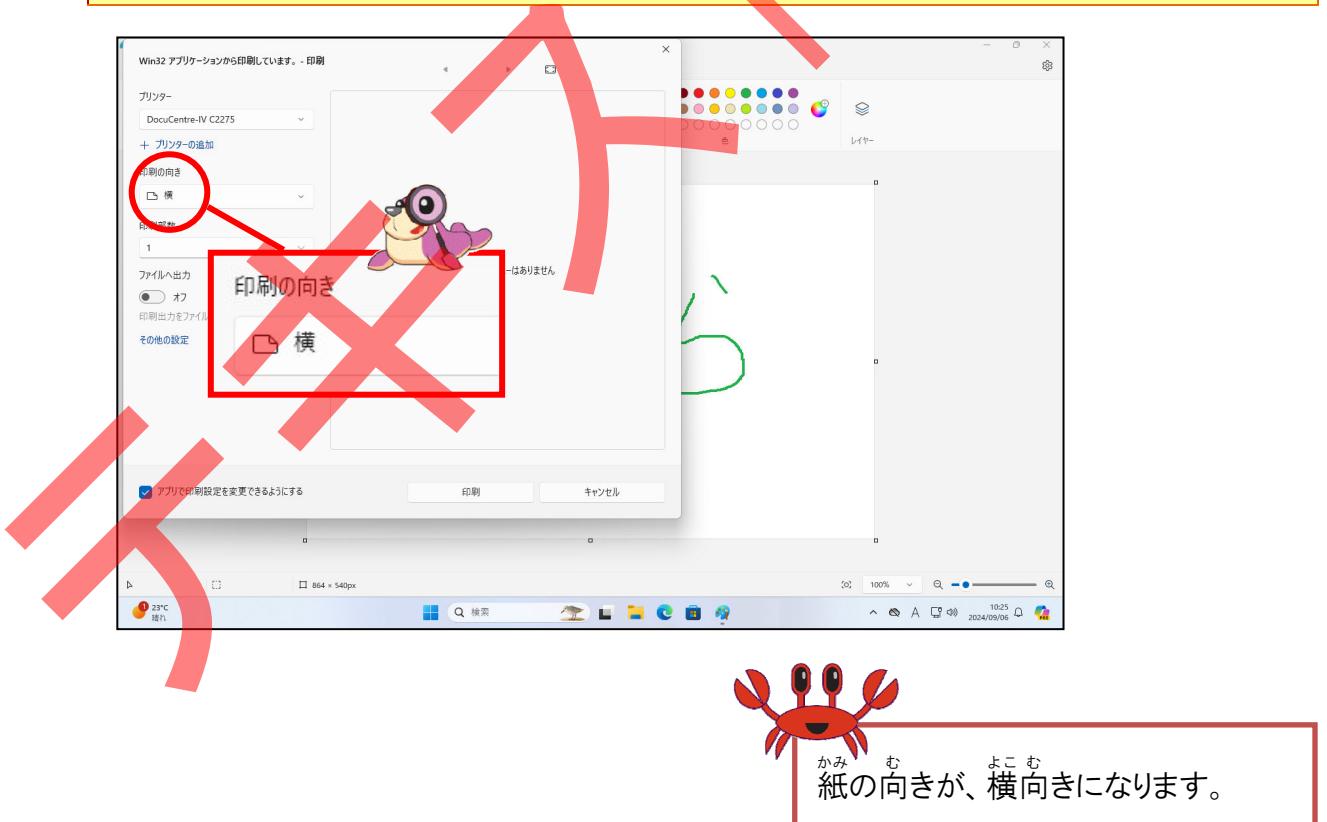
5

よこ [横]にポイントし、そのままクリックしましょう



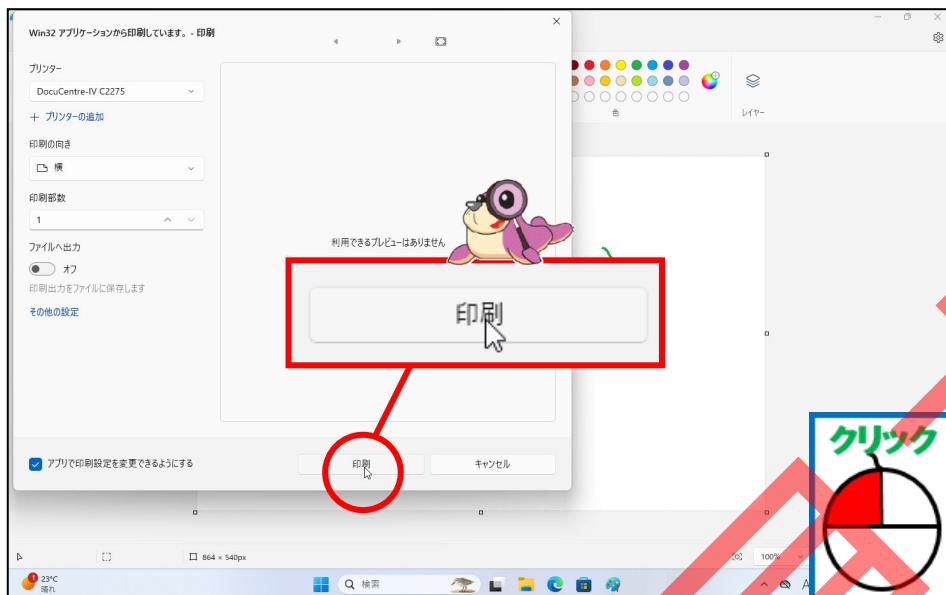
6

かくにん [横]に変わったことを確認しましょう



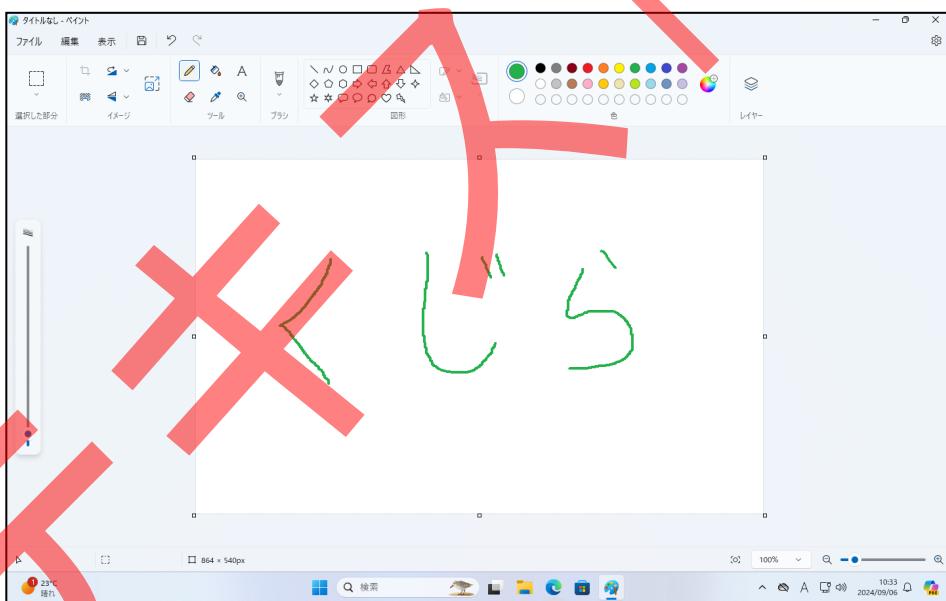
1

いんさつ
[印刷]にポイントし、そのままクリックしましょう



8

が めん か
画面が変わったことを確認しましょう

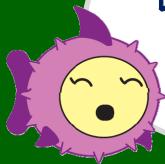


9

け もじ け
消しゴムで文字をすべて消しましょう

ひと
わからないうちは、
レッスン4-(5)を
ふくしゅう
復習しましょう。

レッスン4 (8)

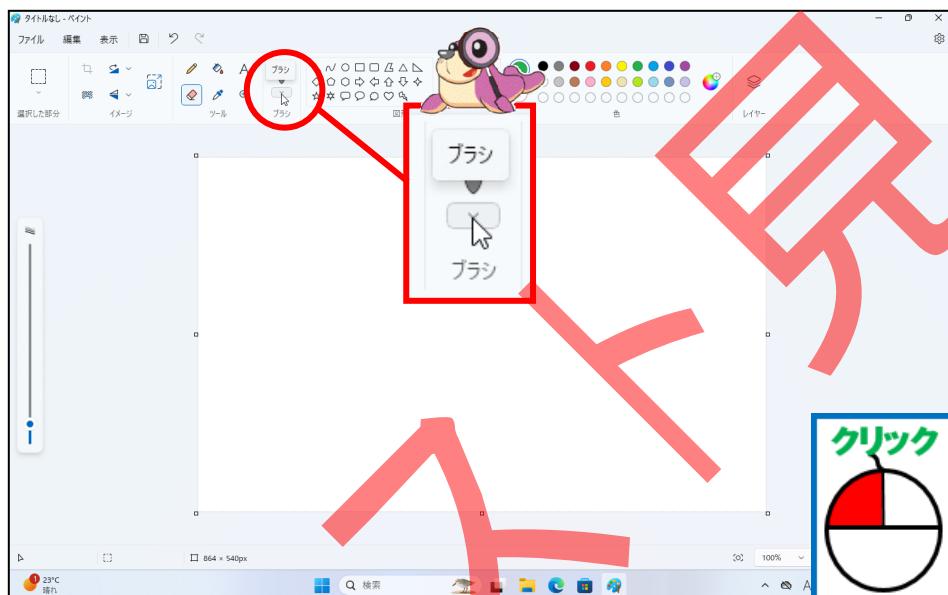


え　えが ペイント絵を描きましょう しゅるい　ふと　いろ　か ～ペンの種類・太さ・色を変えて、自分の お気に入りをみつけましょう～

そろそろ
操作をしてみましょう

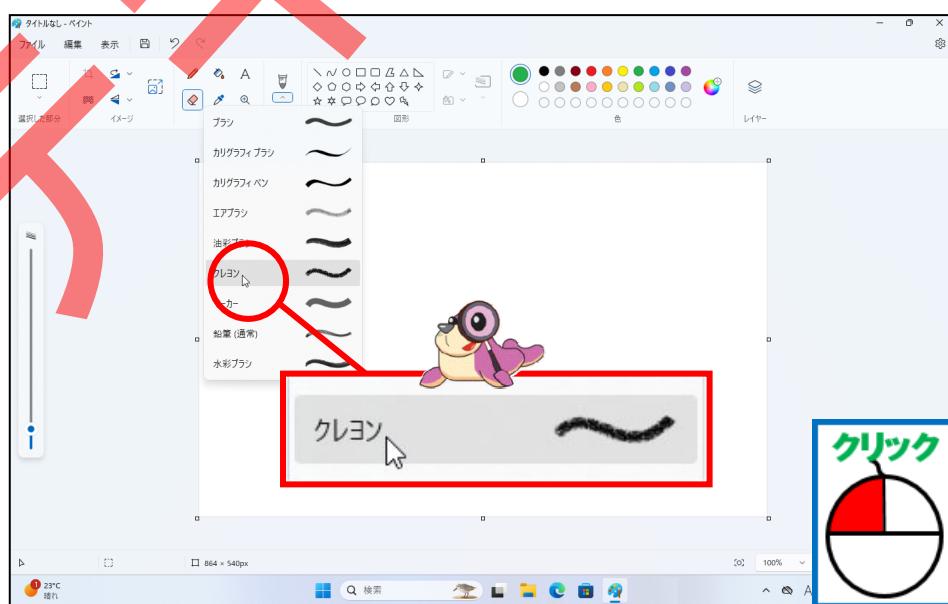
1

[ブラシ]ツールの ▾ にポイントし、そのままクリックしましょう



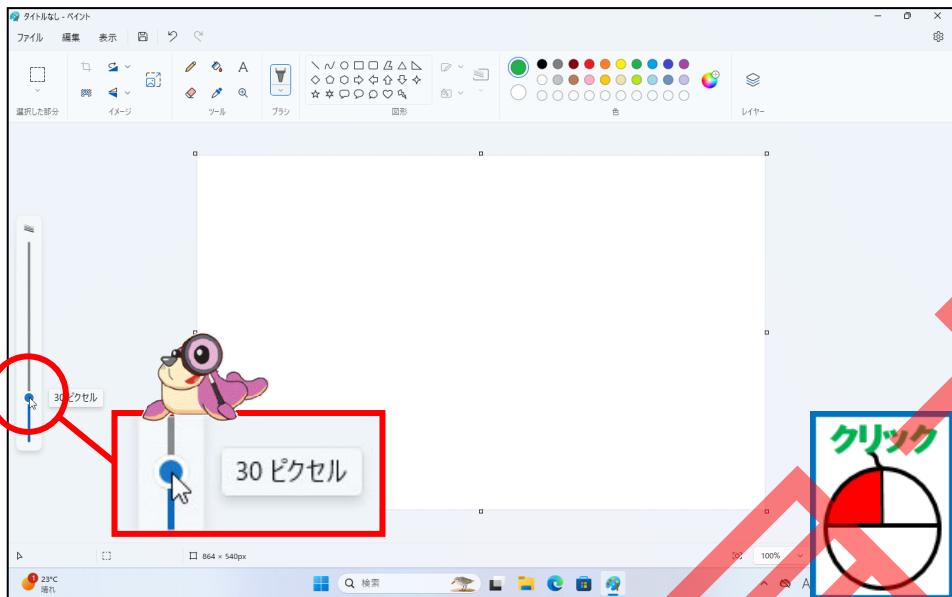
2

表示されたメニューから[クレヨン]にポイントし、そのままクリックします



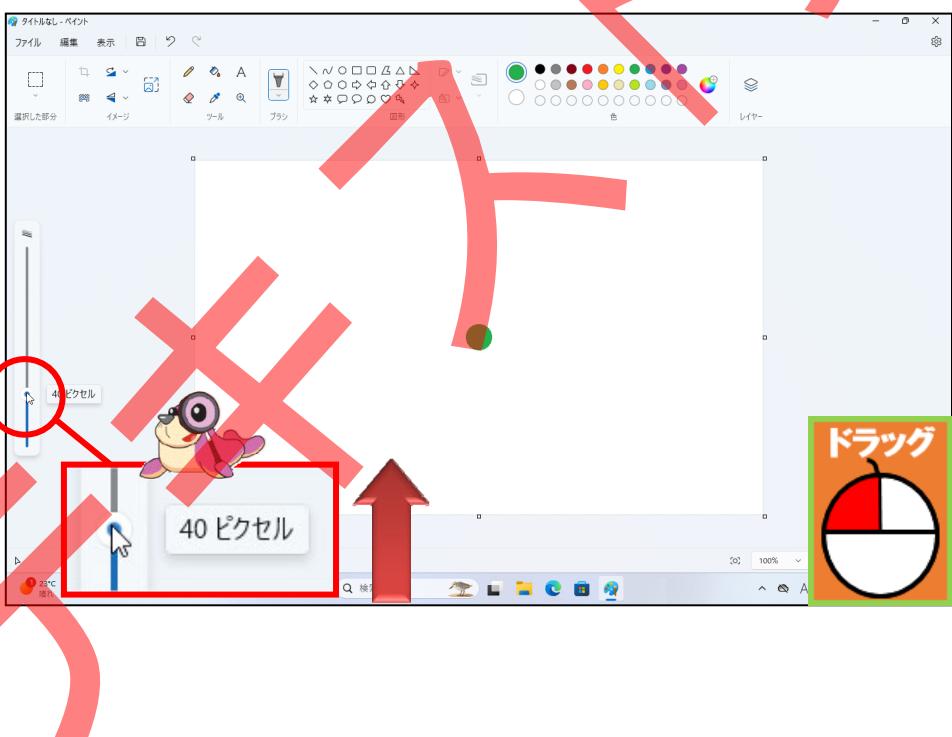
3

が めんひだりはし ひょう じ ふと
画面左端に表示された太さのスライダーにポイントします



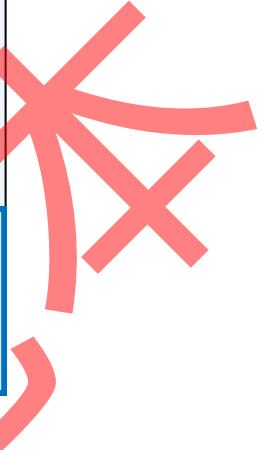
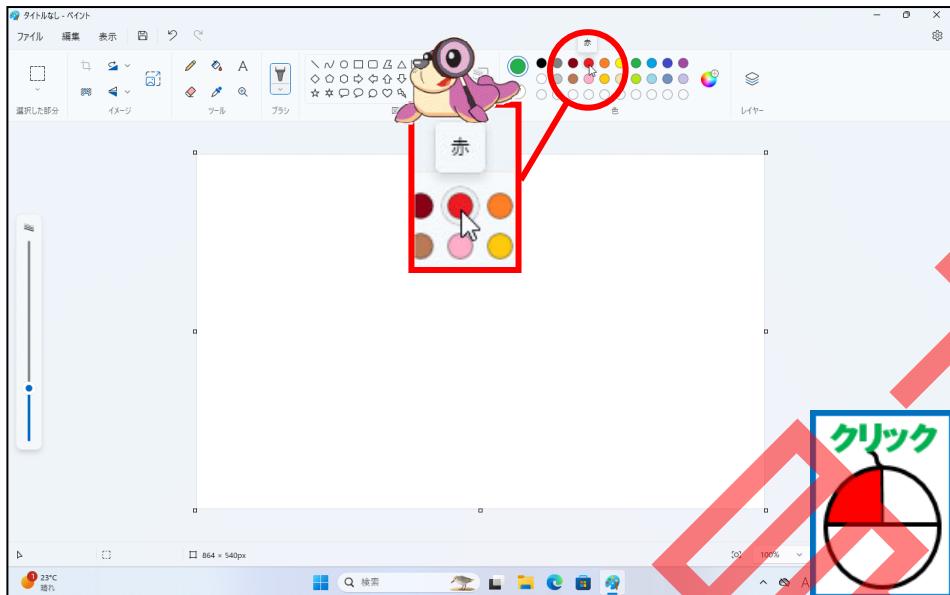
4

みぎ ひょう じ うえ
右の表示が [40ピクセル] になるまで上にドラッグします



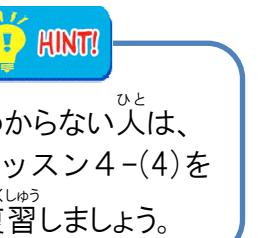
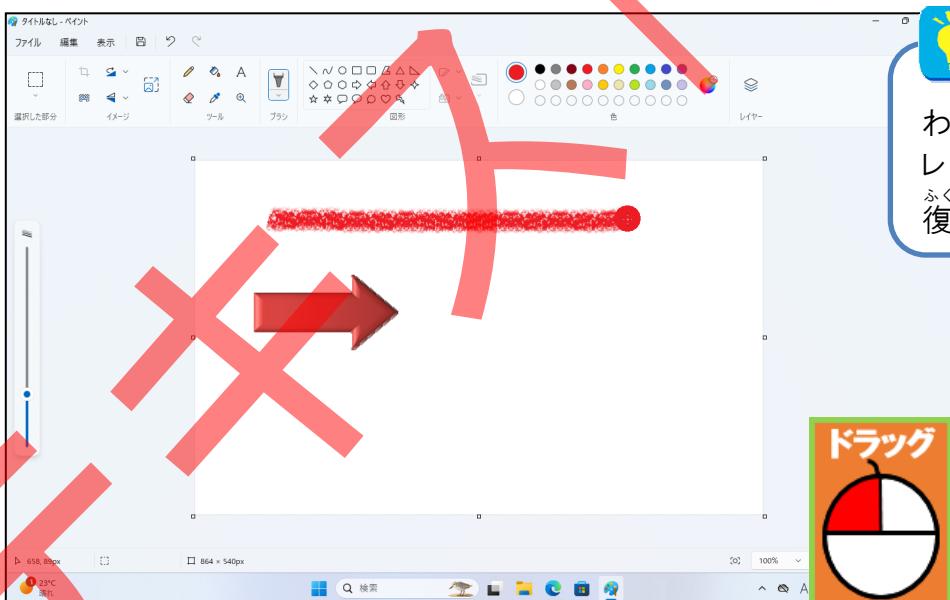
5

[いろ]ツールから好きな色にポイントし、そのままクリックしましょう(テキストは、赤)



6

せん
ひ
線を引きましょう



1

いろいろな種類の線を4本引きましょう

つぎ そろさ 次の操作のために、そのままにしておきましょう



え えが ペイントで絵を描きましょう

もと もど なお
～[元に戻す]・[やり直し]ボタンについて、
まな 学びましょう～

もと もど なお [元に戻す]・[やり直し]について学びましょう

◆ [元に戻す]

絵を描いていて、描きまちがえた時や、うまく描けなかった時は困りますね。こんな時は消しゴムで消してもいいのですが、消えてほしくないところまで、消してしまうこともあります。そんな時に1つ前の操作に戻ることができます。

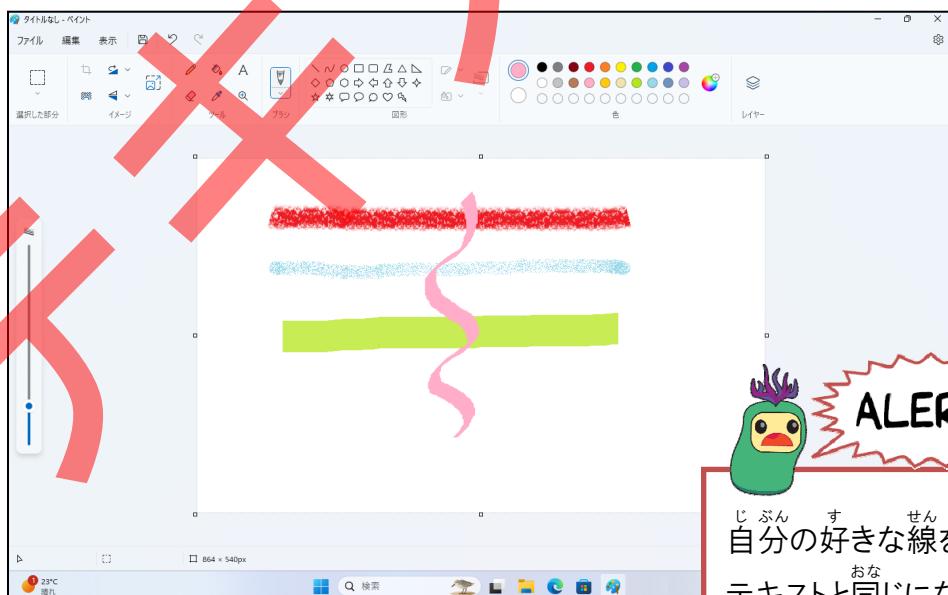
◆ [やり直し]

まちがえたり、うまく描けなかったりして、操作を元に戻したけれど、やっぱりそのままにしたい時には、やり直すことができます。

操作をしてみましょう

①

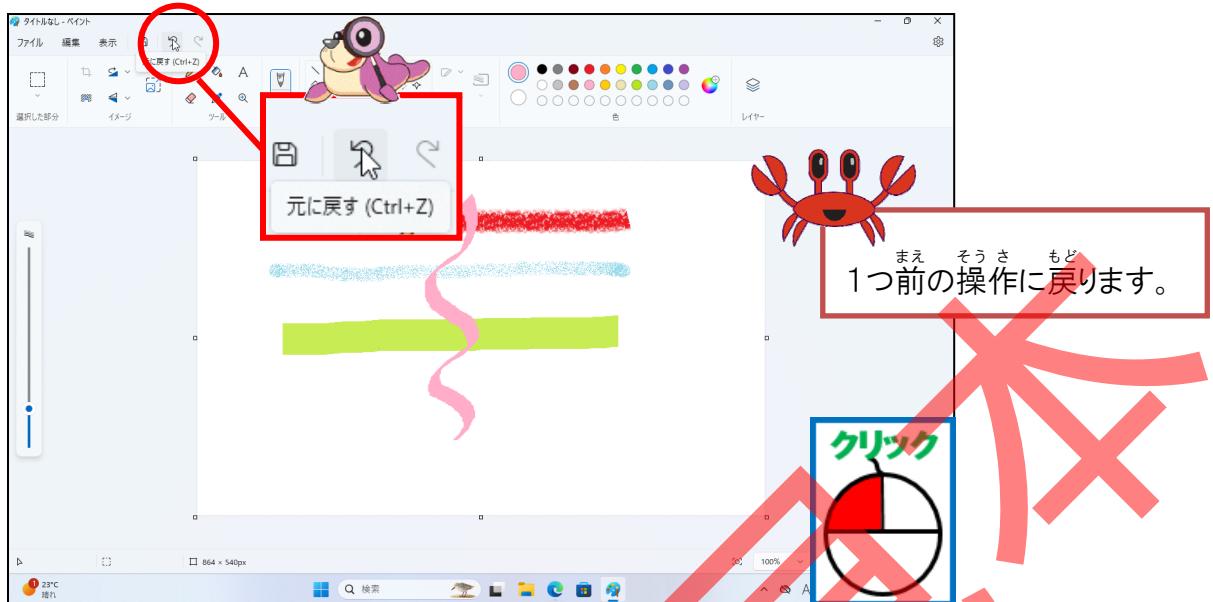
じぶん か せん が めん ひょう じ かくにん
自分で描いた線が画面に表示されていることを確認しましょう



じぶん す せん ひ おな
自分の好きな線を引いているので、
テキストと同じになっているとは、
かぎりません。

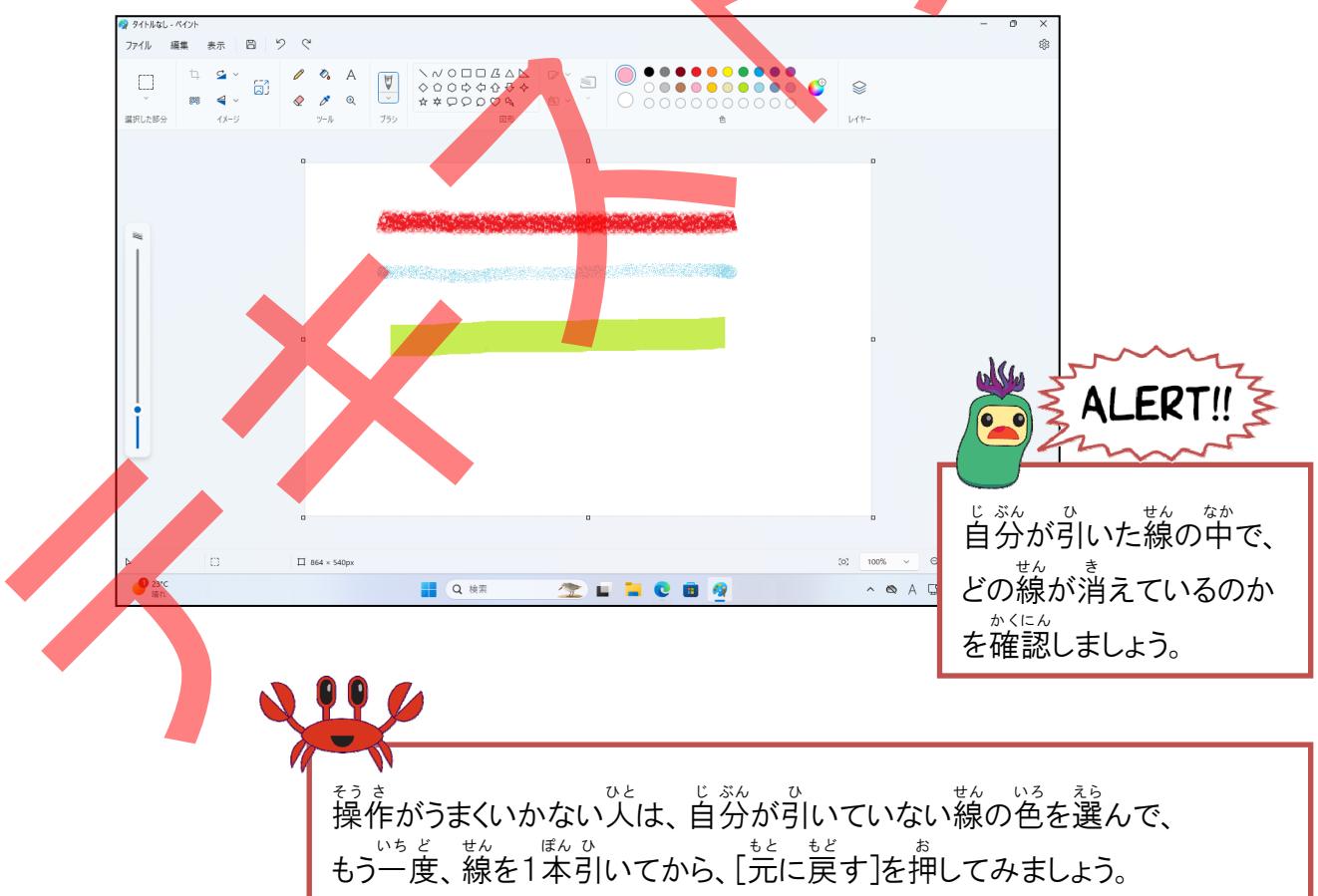
2

② [元に戻す]にポイントし、そのままクリックしましょう



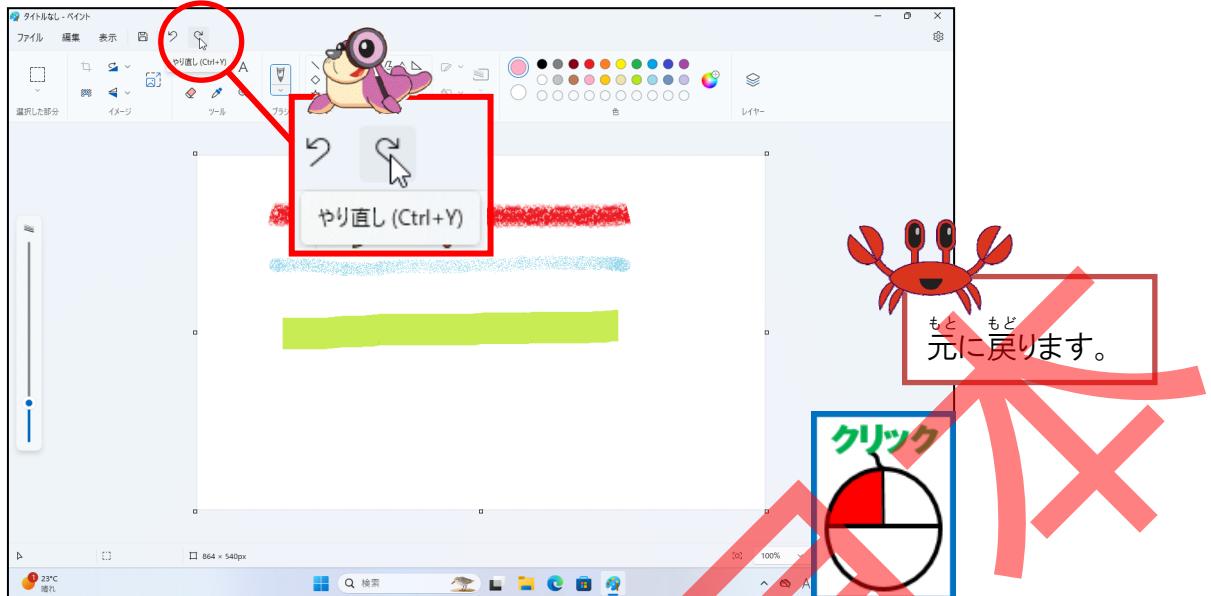
3

③ 1つ前の操作で引いた線が消えたことを確認しましょう(テキストは、ピンク)



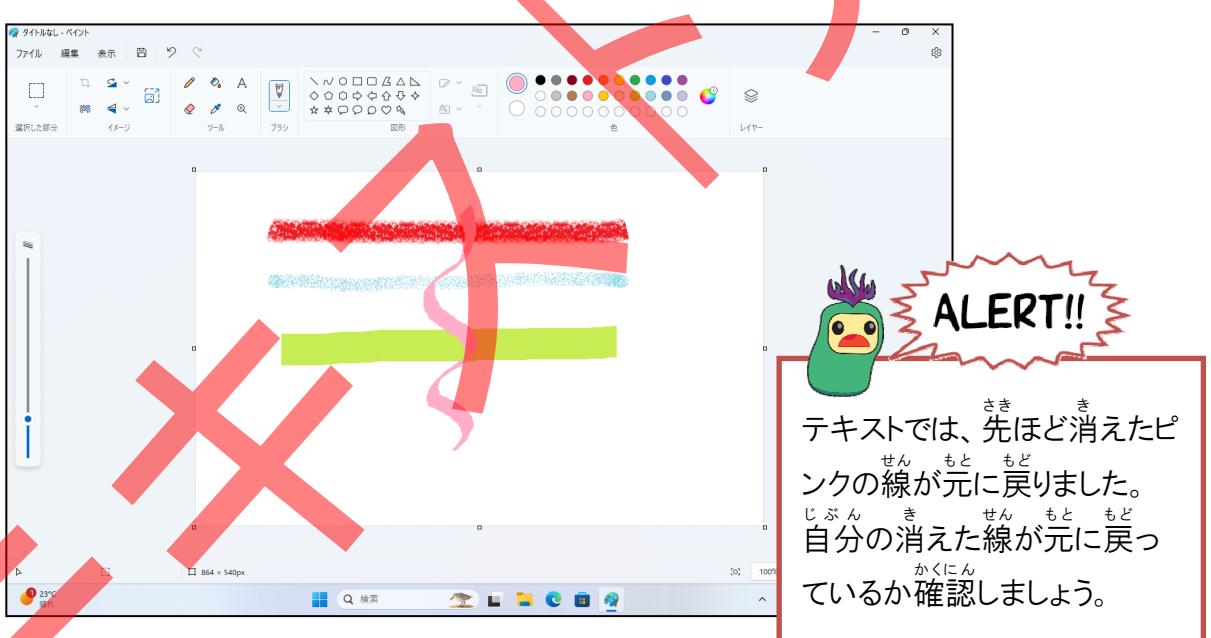
4

なお [やり直し]にポイントし、そのままクリックしましょう



5

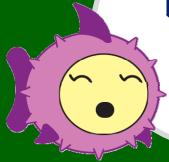
せん もと もど かくにん 消えた線が元に戻ったことを確認しましょう



つぎ 次の操作のために、ペイントを閉じ、もう一度ペイントを起動しましょう。(保存の確認画面が表示されたら、[保存しない]をクリックしましょう。)



ひと
わからない人は、
レッスン4-(1)、
(2)を復習しましょ
ふくしゅう



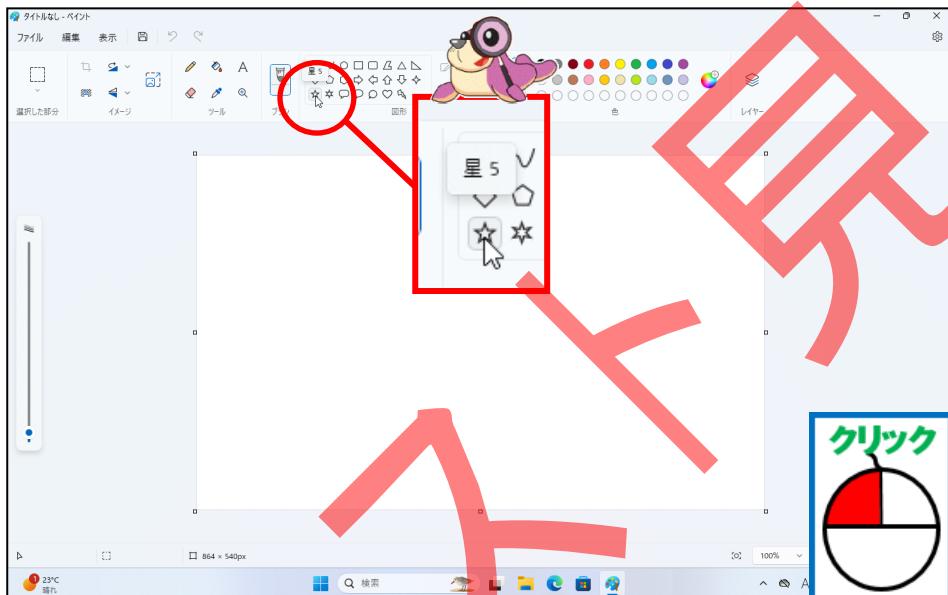
レッスン4 (10)

え　えが ペイントで絵を描きましょう す　けい　えが　いろ　ぬ ～図形を描いて色を塗りつぶしましょう～

そ　さ
操作をしてみましょう

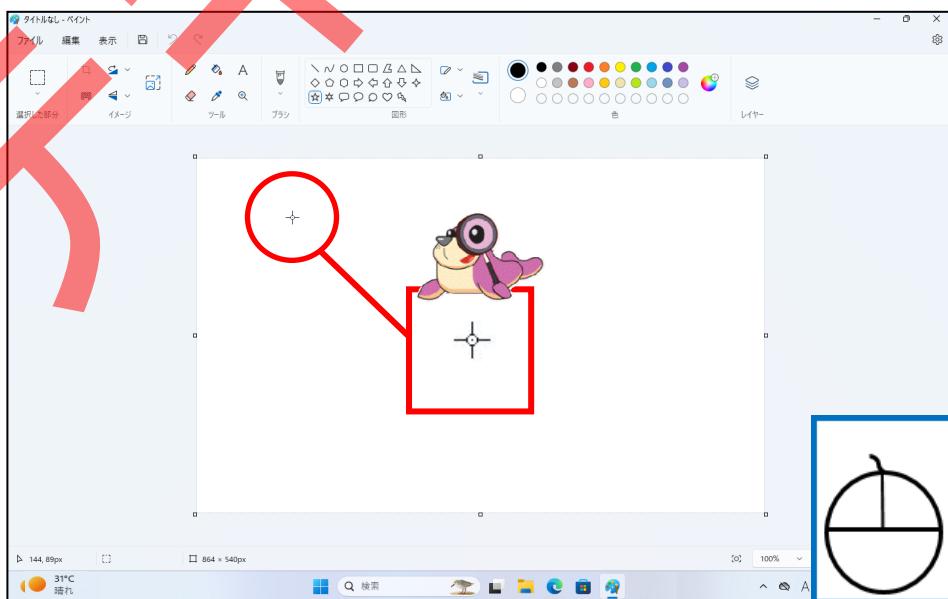
1

ほし
[星 5]にポイントし、そのままクリックしましょう



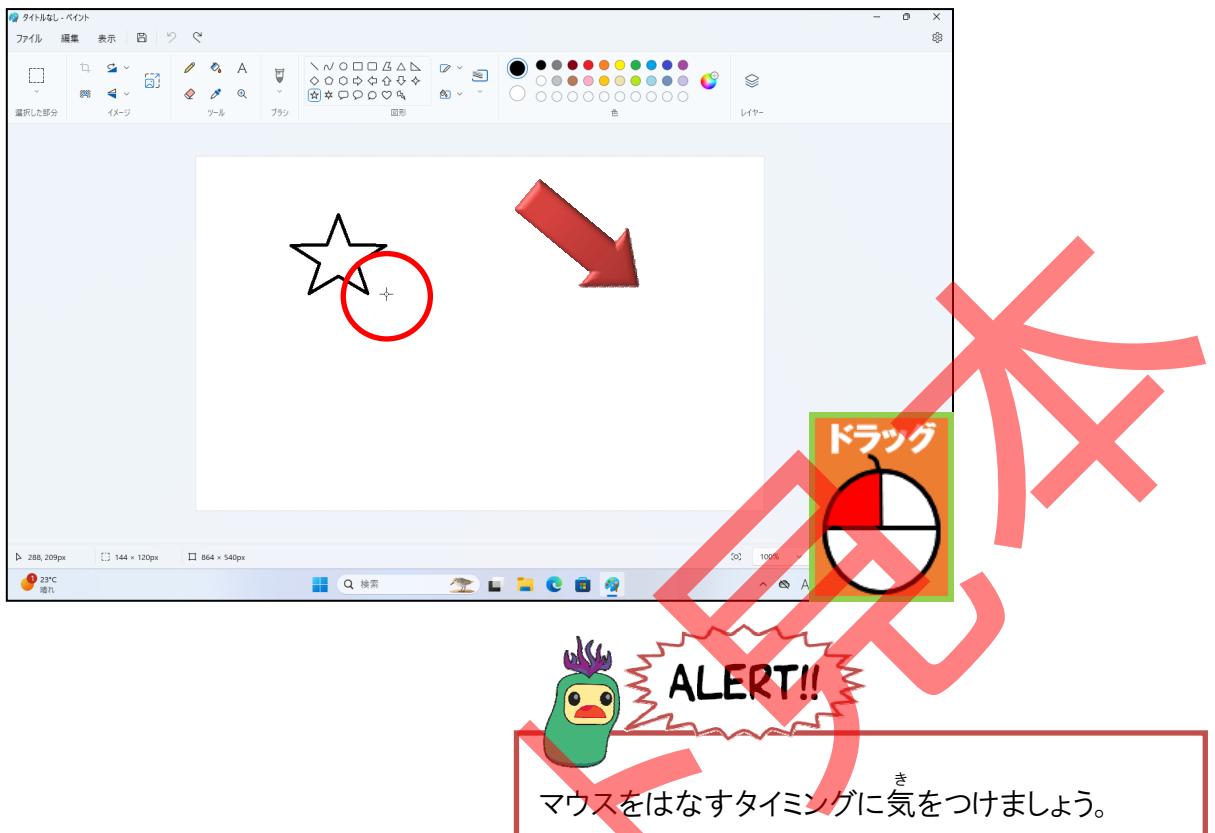
2

かみ　うえ
紙の上にマウスポインターを動かしましょう



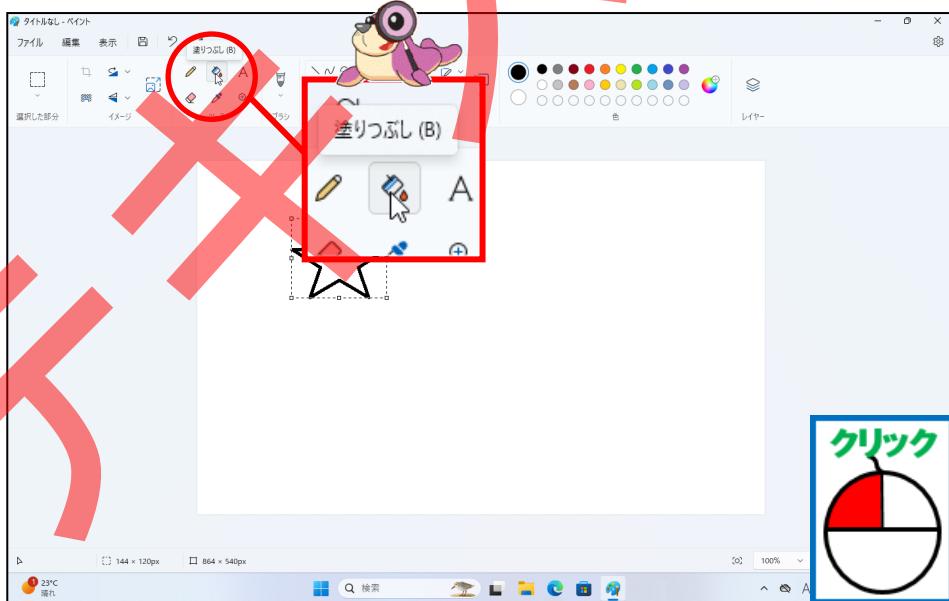
③

マウスの左ボタンを押したままの状態で、右ななめ下に向かってドラッグし、星がきれいにかけたら、マウスの左ボタンをはなしましょう



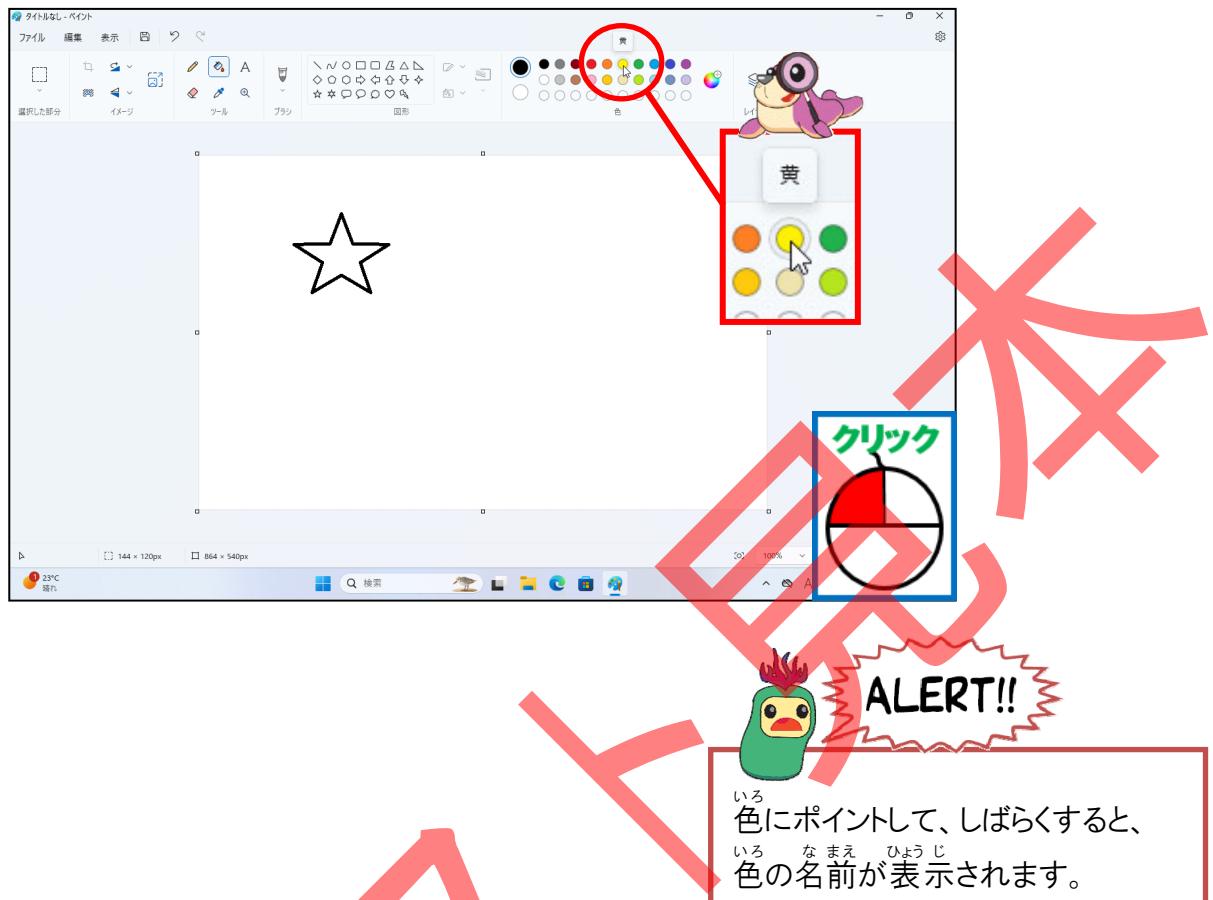
④

[塗りつぶし]にポイントし、そのままクリックしましょう



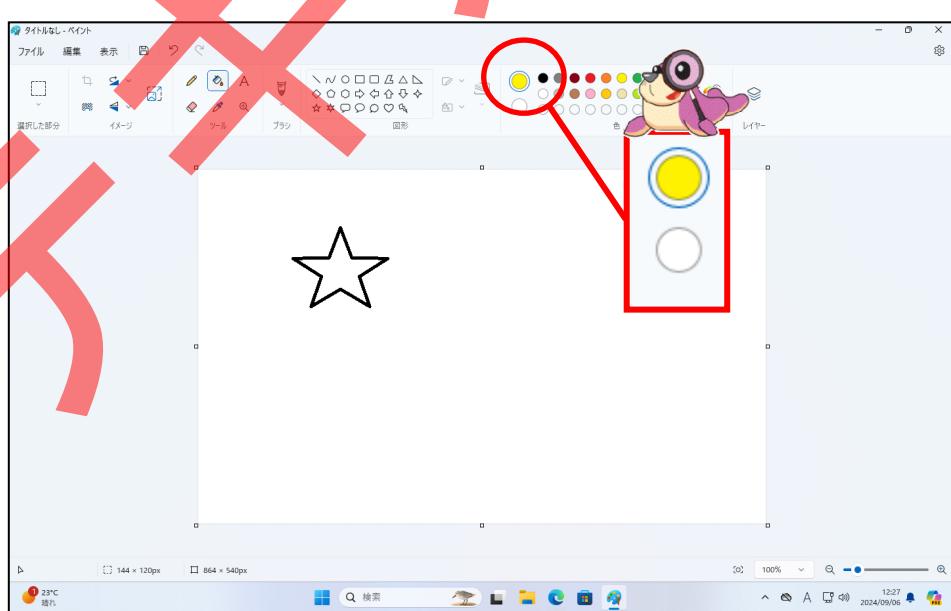
5

いろ
色グループの色1を黄にするため、[色]から「黄」にポイントし、そのままクリック
しましょう



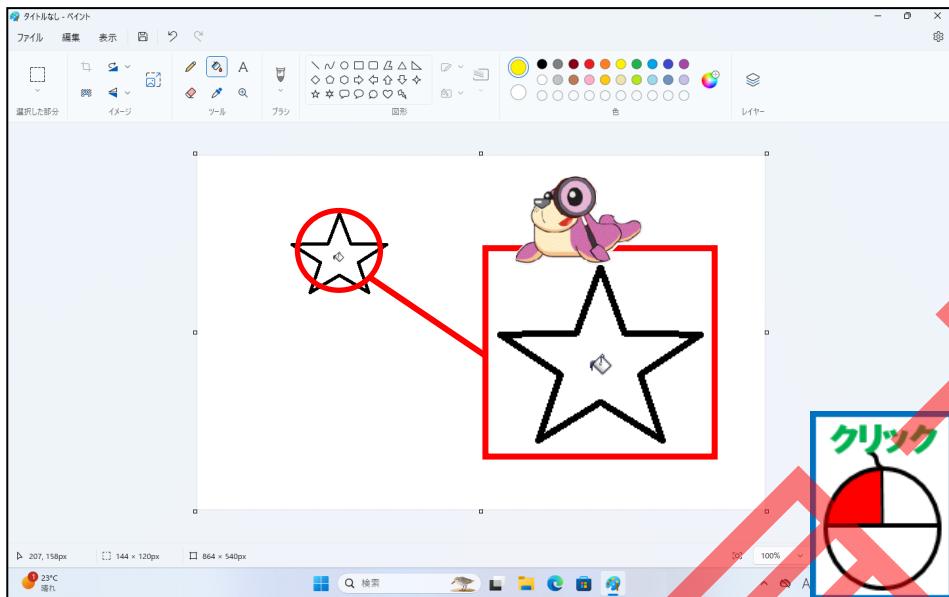
6

いろ
[色1]の色が変わったことを確認しましょう



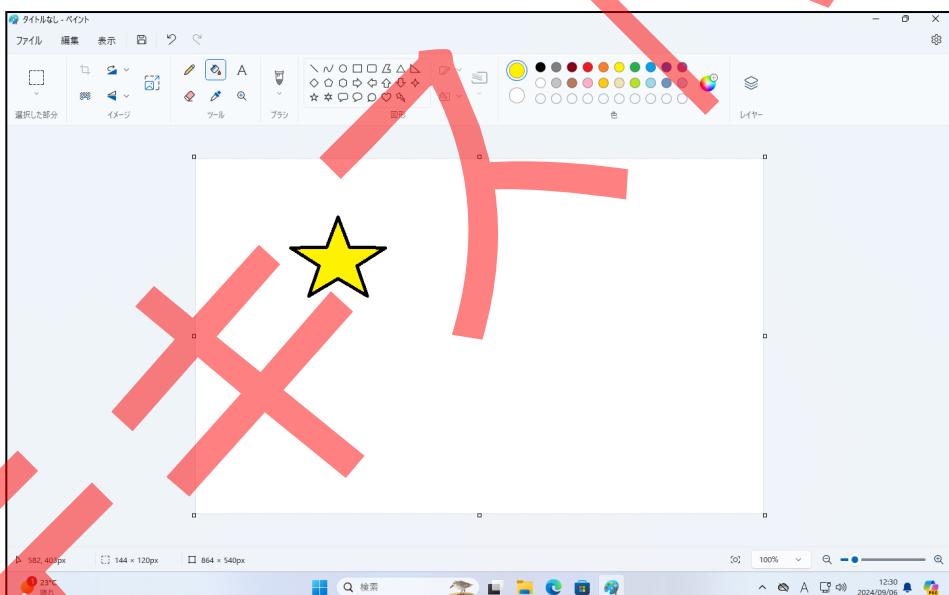
7

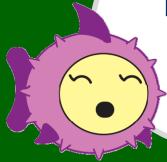
えが ほし
描いた星にポイントし、そのままクリックしましょう



8

ほし きいろ ぬ
かくにん
星が黄色に塗れたことを確認しましょう





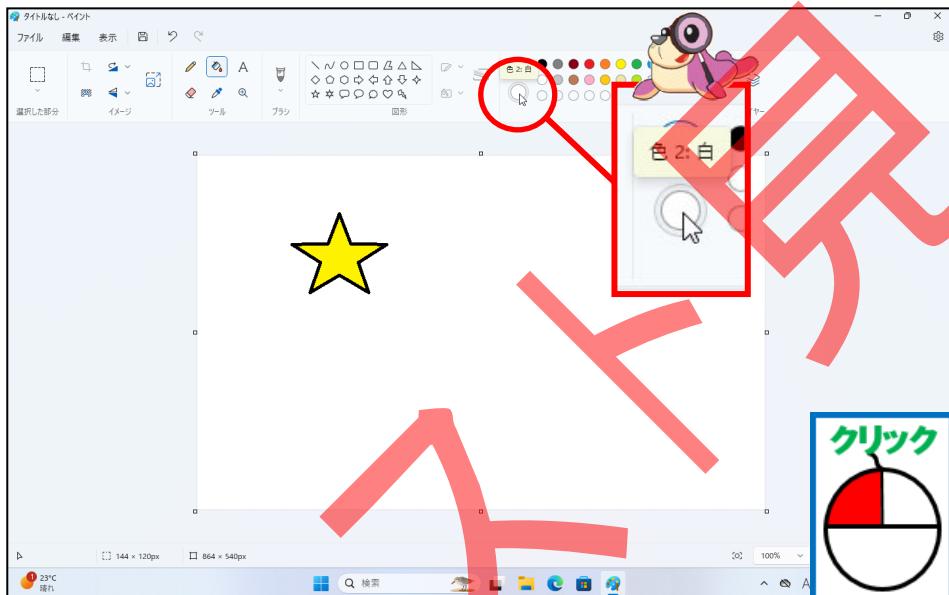
レッスン4 (11)

え　えが ペイントで絵を描きましょう ～図形の枠線の色を変えましょう～

そ う さ
操作をしてみましょう

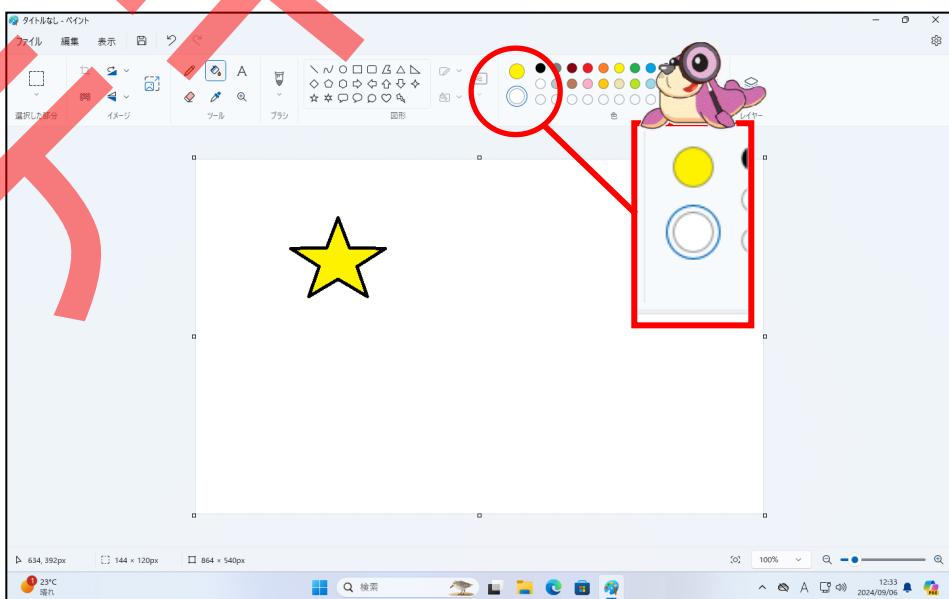
1

いろ
色グループの色2にポイントし、そのままクリックしましょう



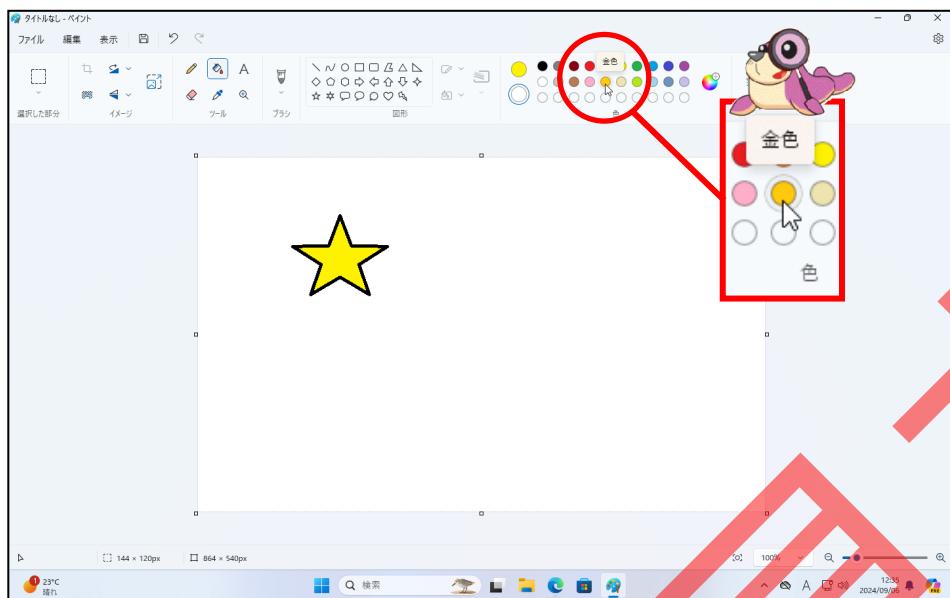
2

いろ
[色2]が青で囲まれれていることを確認しましょう



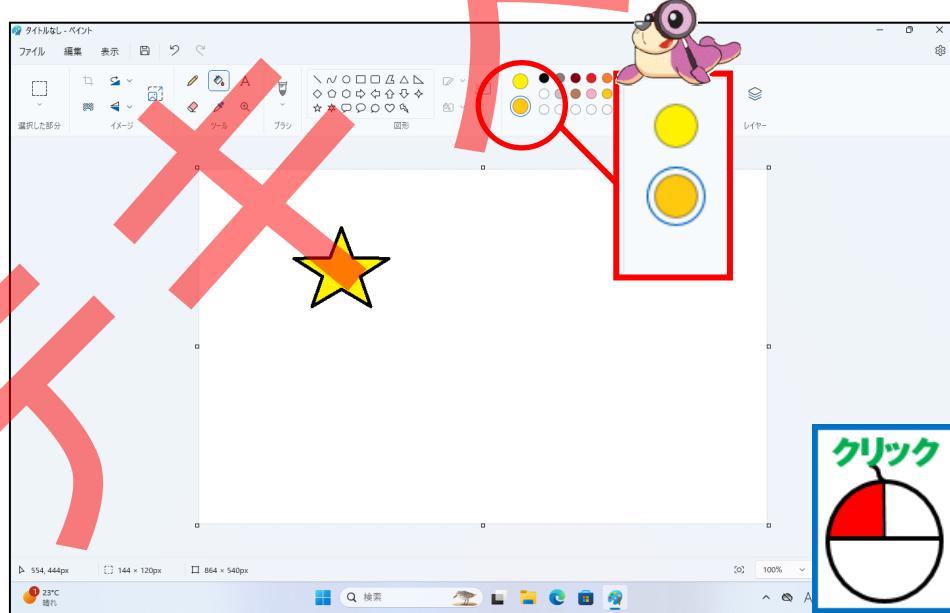
③

いろ
色グループの色2を金色にするため、[色]から「金色」にポイントし、そのままクリックしましょう



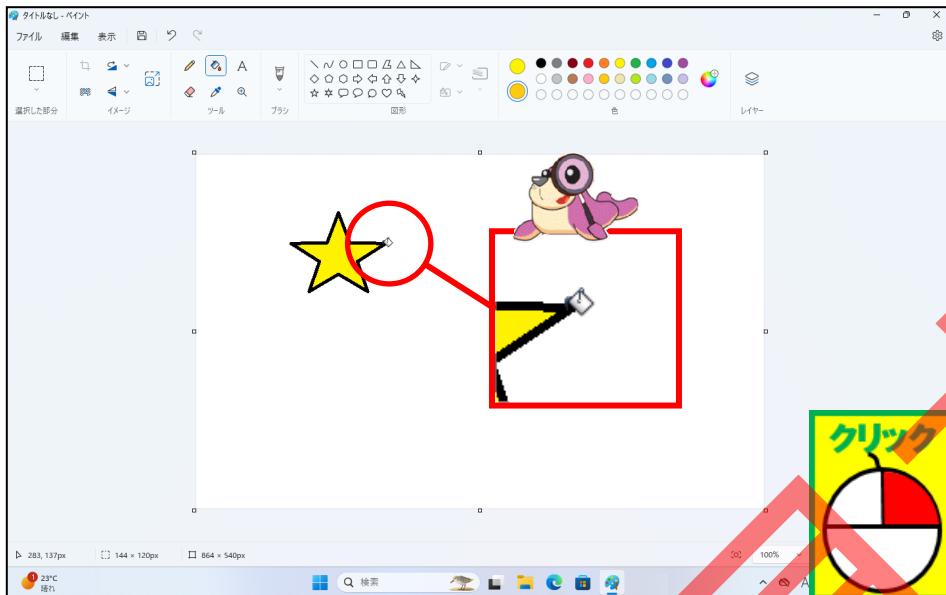
④

いろ
[色2]が「金色」に変わったことを確認しましょう



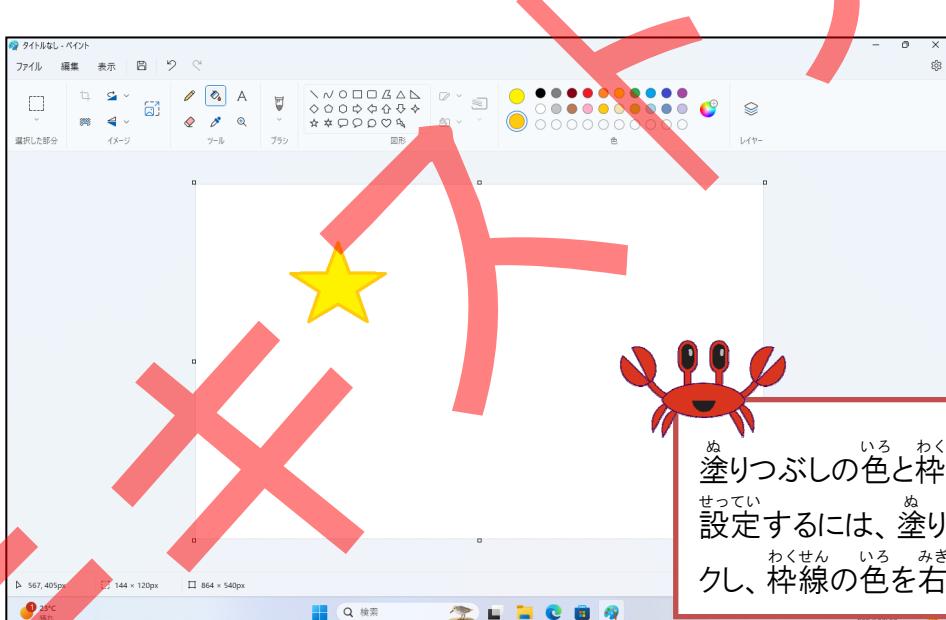
5

ほし りんかく 星の輪郭にポイントし、そのまま右クリックしましょう みぎ



6

ほし りんかく きんいろ か かくにん 星の輪郭が「金色」に変わったことを確認しましょう



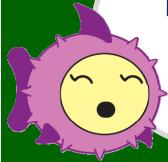
ぬ
いろ
わくせん
いろ
どうじ
塗りつぶしの色と枠線の色を同時に
設定するには、塗りつぶしの色をクリッ
クし、枠線の色を右クリックします。



まちが
ここで間違えてマウスの左ボタンを押してしまうと、枠線の色が「色1」の色に変わってしまい
ます。この方法では、枠線の色を「色2」の色に変えることはできません。

わくせん いろ してい ほし えが
枠線の色を指定して星を描くには、[色1] に塗りつぶしの色、[色2] に枠線の色を設定し
た後で、星を描きます。

レッスン4 (12)

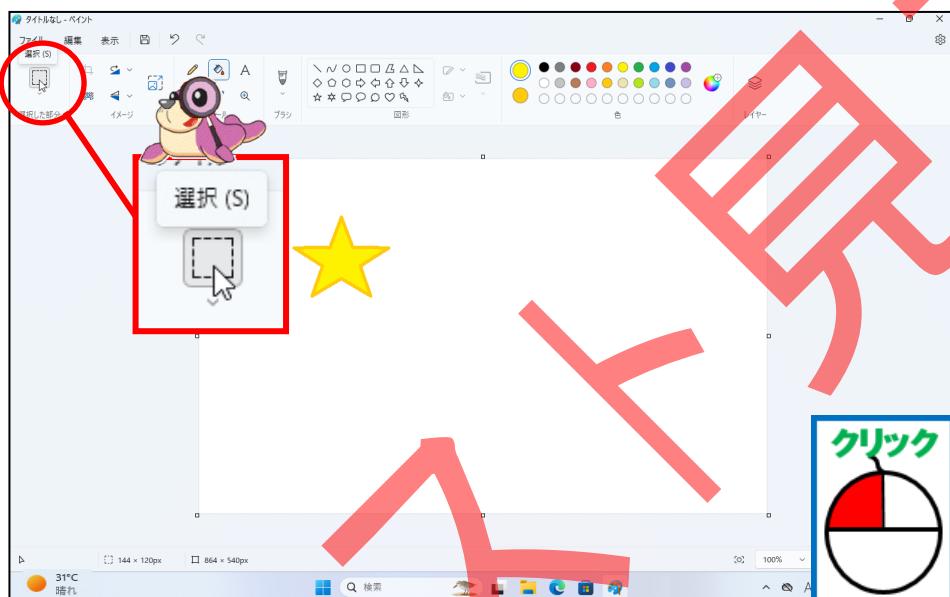


え　えが ペイントで絵を描きましょう す　けい　い　どう ～図形を移動させましょう～

そ　う　さ
操作をしてみましょう

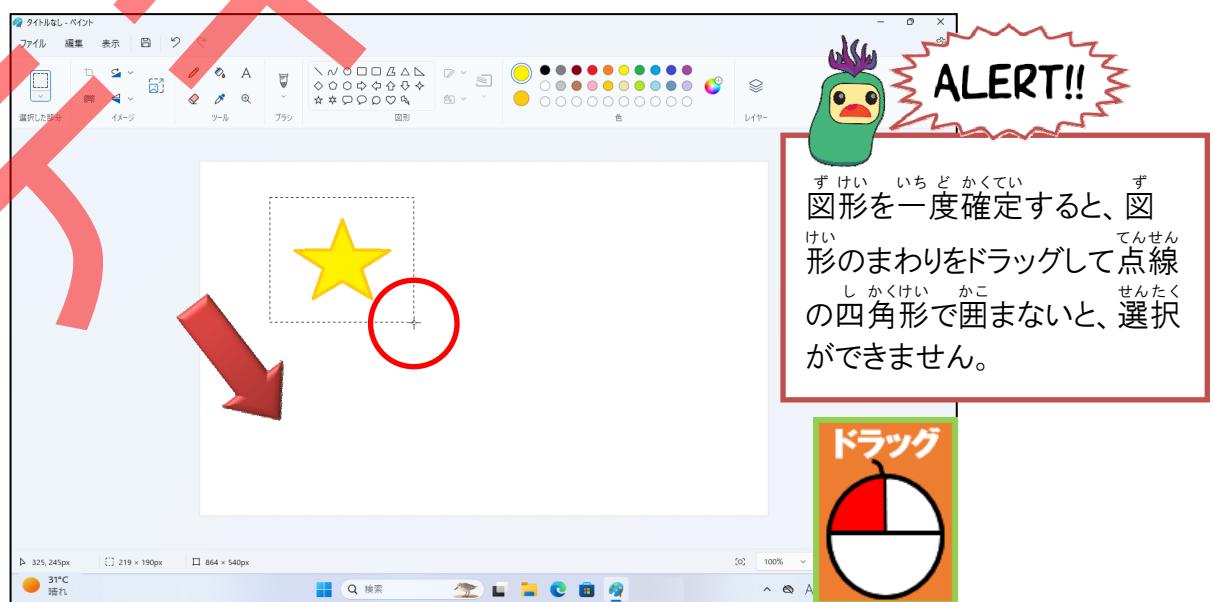
1

[選択]にポイントして、そのままクリックしましょう



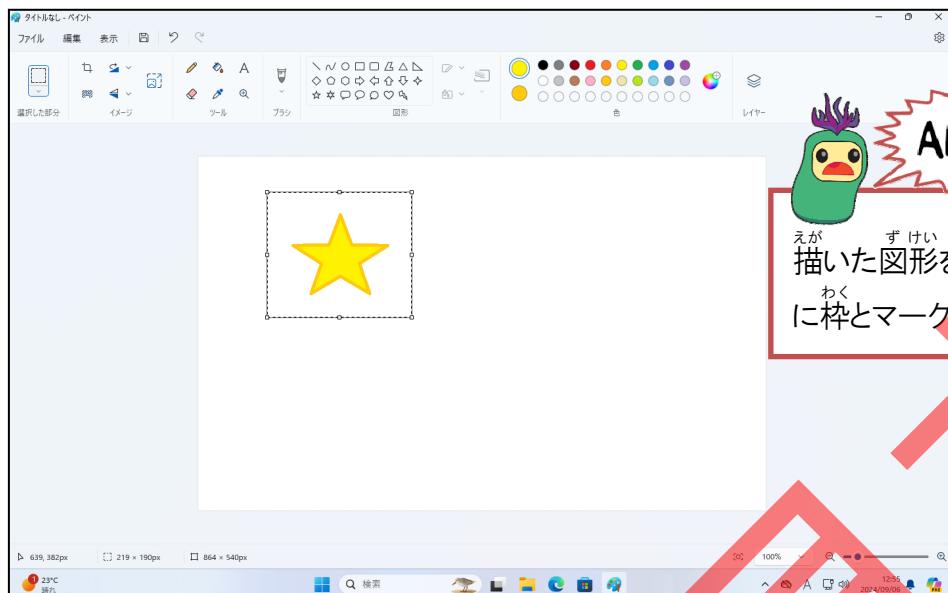
2

[星]全体が囲まれるように、ドラッグして点線の四角形を描きましょう。うまく囲めたらマウスの左ボタンをはなしましょう



3

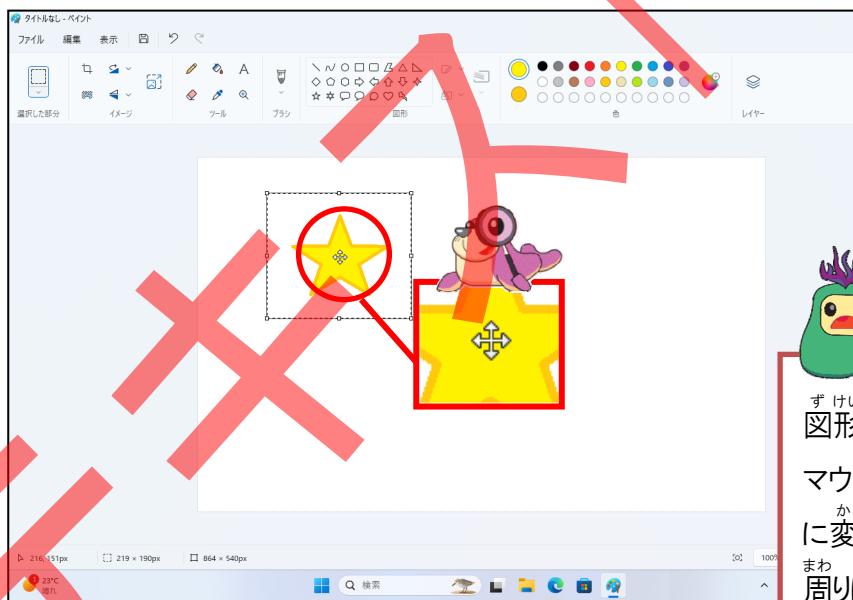
ほし せんたく
星が選択されていることを確認しましょう



ALERT!!

4

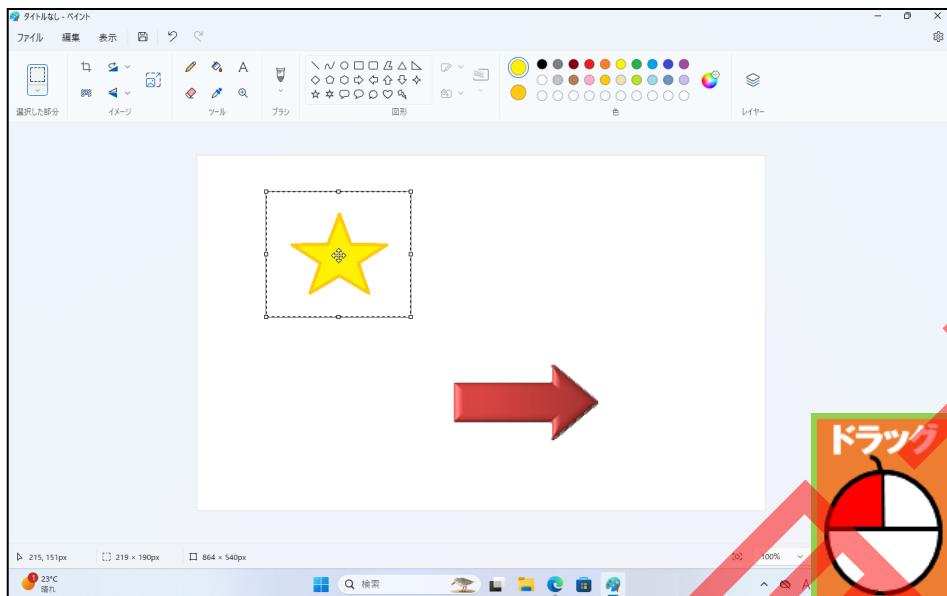
ほし なか
星の中に、マウスポインターを移動しましょう



ALERT!!

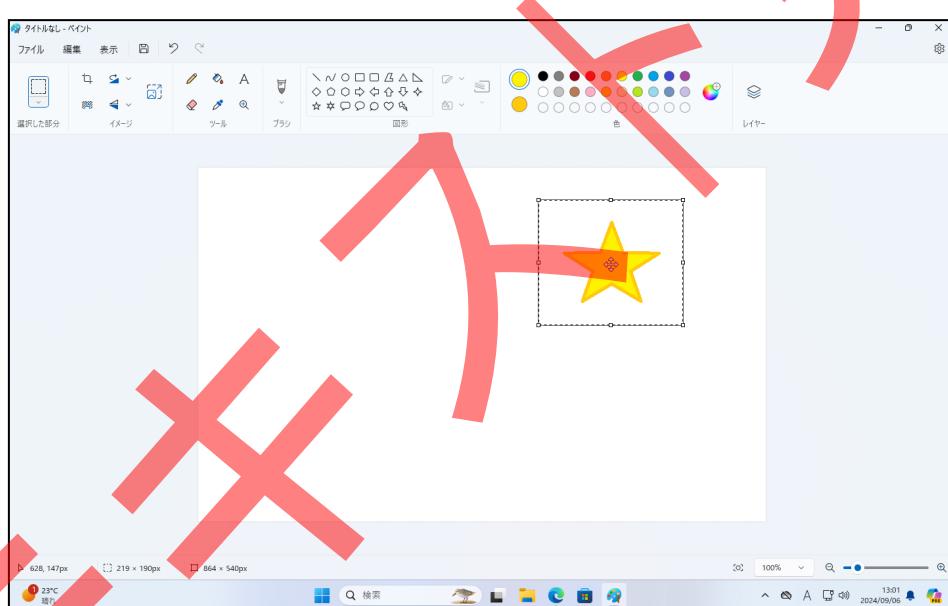
5

みぎ む
右に向かってドラッグしましょう

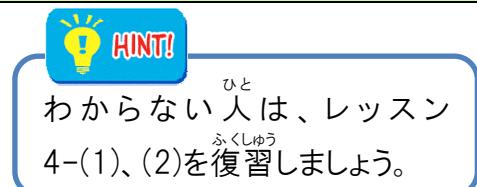


6

い どう かくにん
移動ができたことを確認しましょう



つぎ そうき と ほぞん かくにん がめん ひょうじ
次の操作のために、ペイントを閉じましょう。(保存の確認画面が表示されたら、[保存しない]をクリックしましょう。)



図形をうまく描くために…

- ★ 線を水平に引きたい場合は、[Shift]キーを押しながら左右のどちらかに線を引きましょう。
- ★ 線を垂直に引きたい場合は、[Shift]キーを押しながら上下のどちらかに線を引きましょう。
- ★ 正円(まんまる)を描きたい場合は、円をクリックして、[Shift]キーを押しながら、丸を描きましょう。
- ★ 正方形を描きたい場合は、正方形をクリックして、[Shift]キーを押しながら、正方形を描きましょう。

いろいろな選択方法

[選択]ボタンの下に表示された  をクリックすると、次のようなメニューが表示されます。



- ◆ 四角形…四角形の形で選択します。
- ◆ 自由形式…ドラッグすると、どんな形でも選択できます。
- ◆ すべて選択…キャンバスに描かれたすべての図形を選択します。
- ◆ 透明の選択…透明に設定された部分を選択します。

🐙🐙🐙 ここで、**れんしゅうもんだい** レッスン4の練習問題をしましょう。🐙🐙🐙



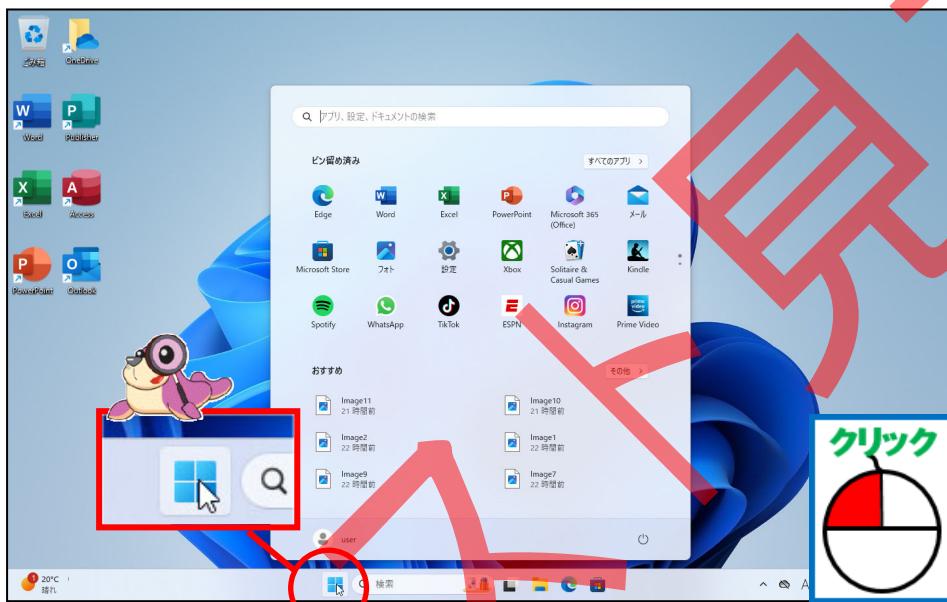
ワード 2021 の操作

～Word2021 を起動、終了しましょう～

起動の操作をしてみましょう

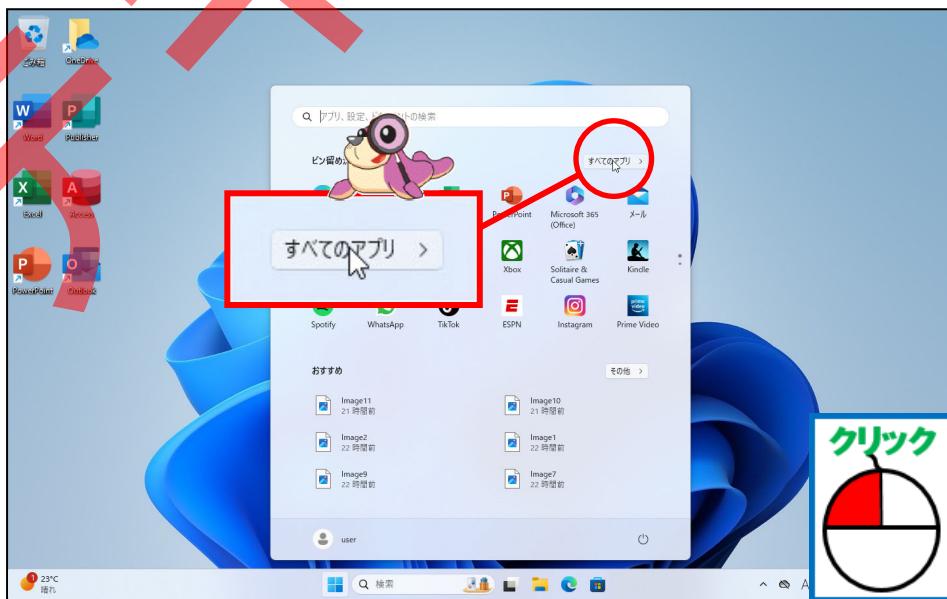
1

[スタート]にポイントし、そのままクリックしましょう



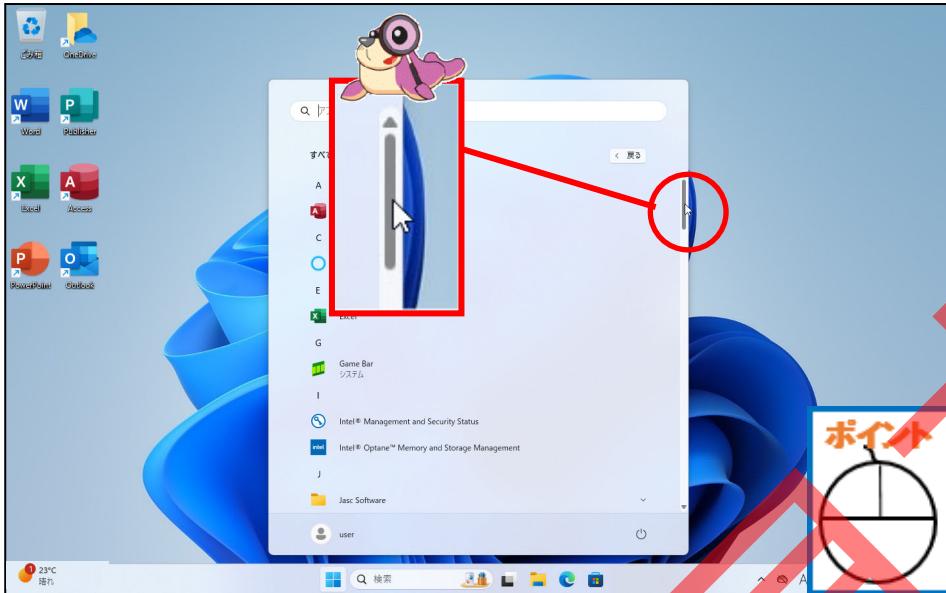
2

[スタートメニュー]の右上に表示された [すべてのアプリ >] にポイントし、そのままクリックしましょう



③

マウスを右端に近づけると、スクロールバー(灰色の棒状の物)が表示されるのでポイントしましょう



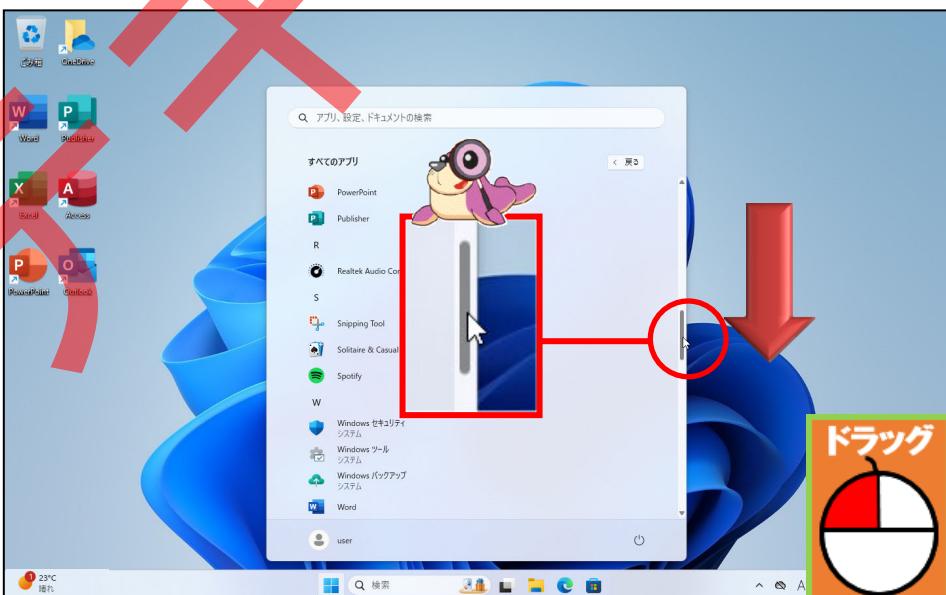
スクロールバー

ウィンドウの右側や下側に表示されている、画面を移動するための棒状の物をいいます。

KEYWORD

④

[Word]が表示されるまでドラッグしましょう

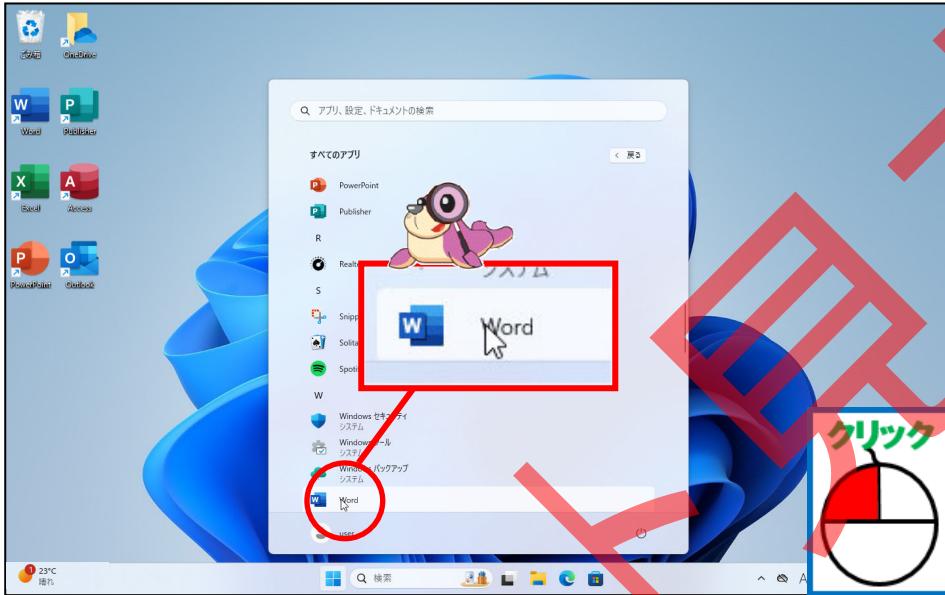




ワード かしら もじ
[Word]の頭文字がアルファベットの W なので、W のグループから探します。アプリ
は、アルファベット順に並んでいます。

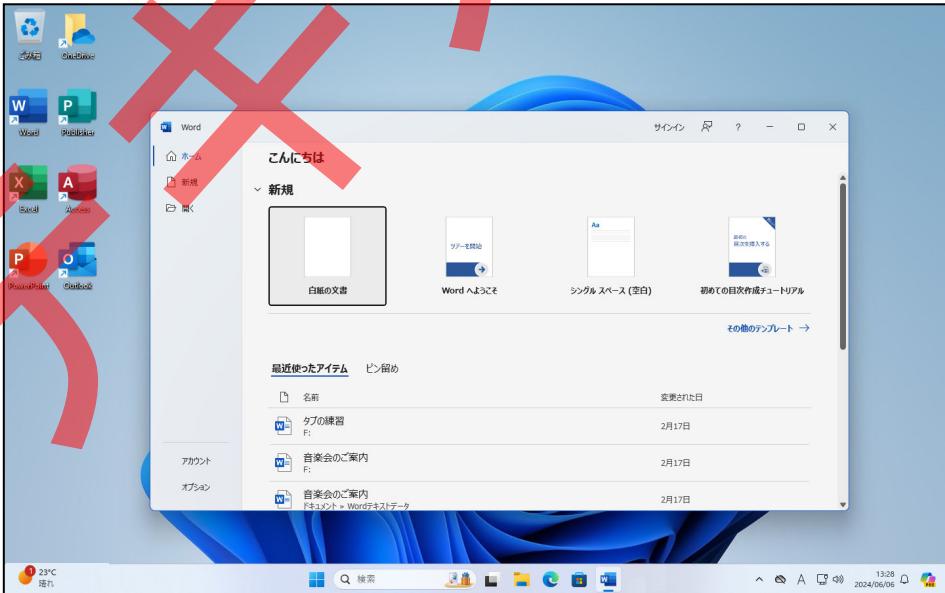
5

[Word]にポイントし、そのままクリックしましょう



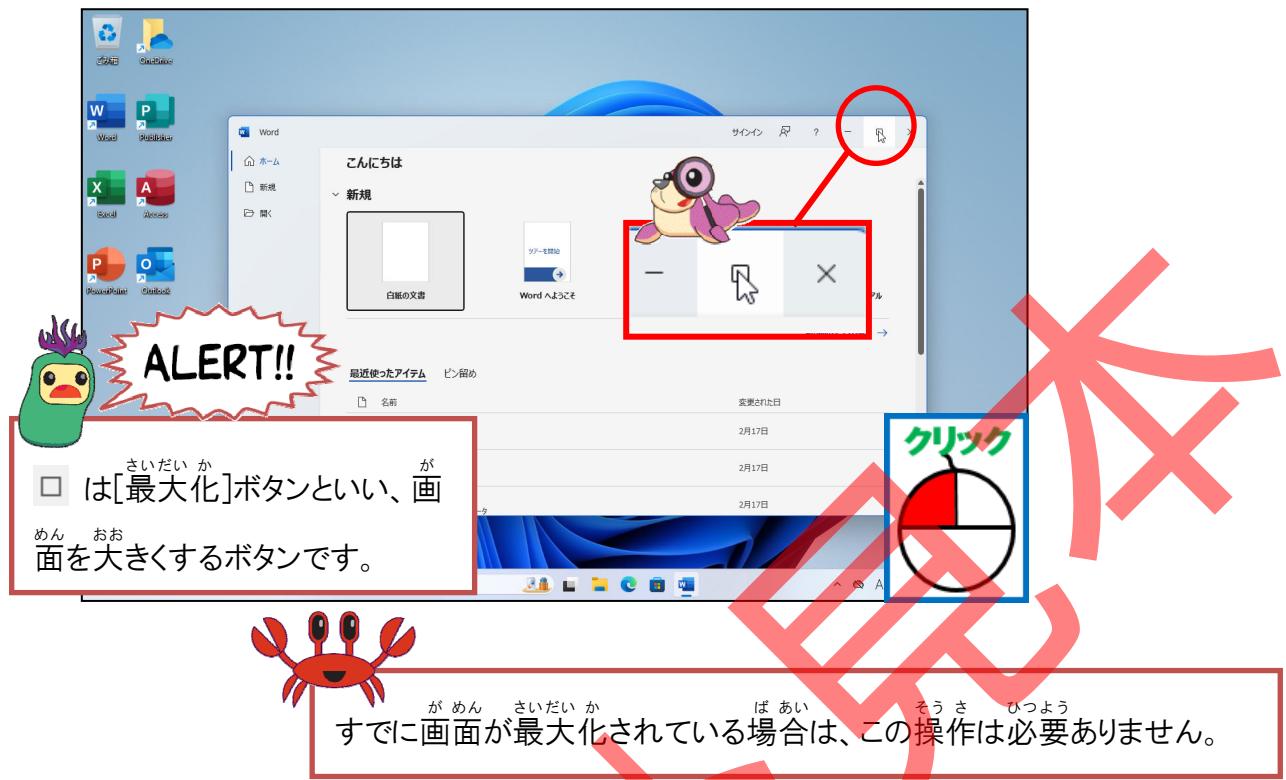
6

画面が変わったことを確認しましょう



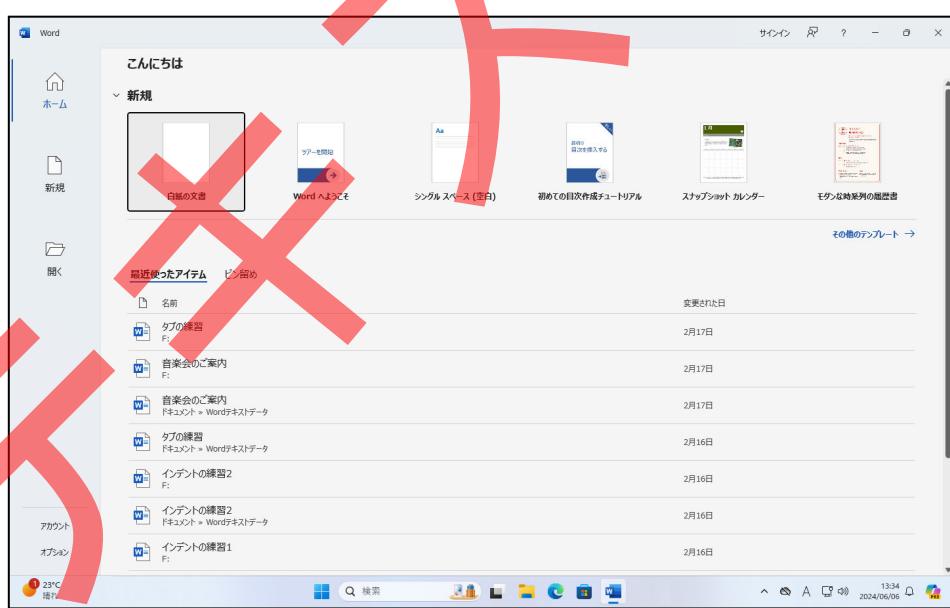
7

□ にポイントし、そのままクリックしましょう



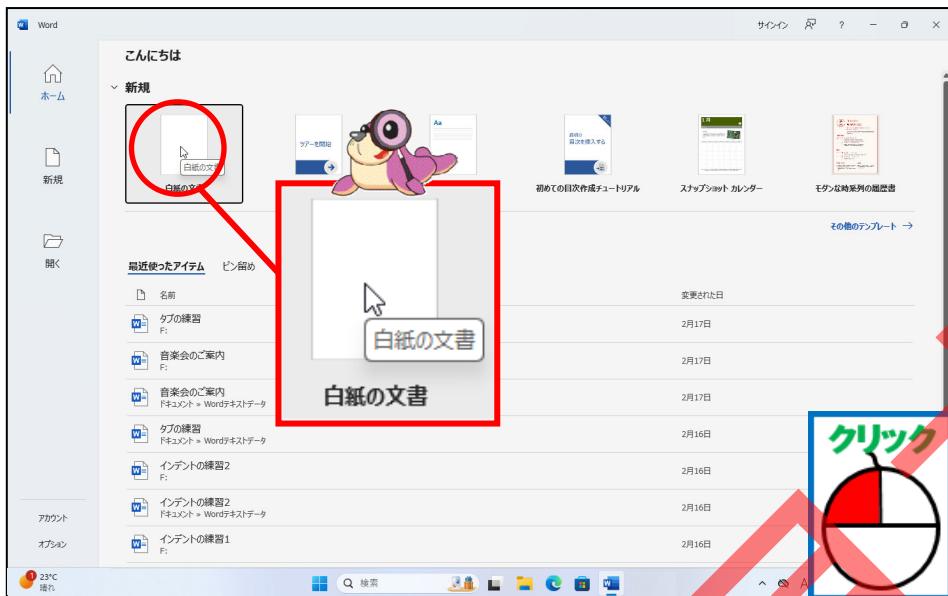
8

画面が変わったことを確認しましょう



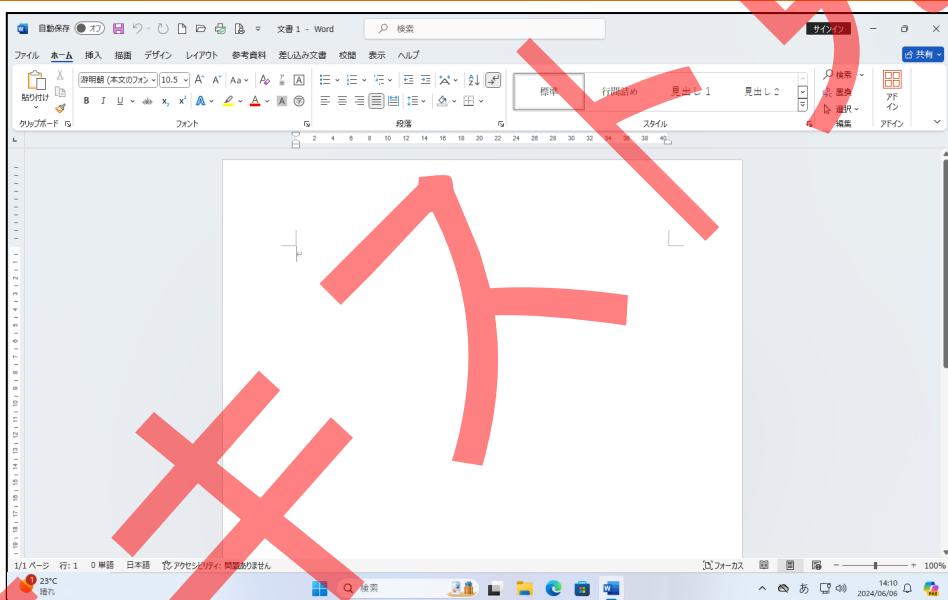
9

はくし ぶんしょ
[白紙の文書]にポイントし、そのままクリックしましょう



10

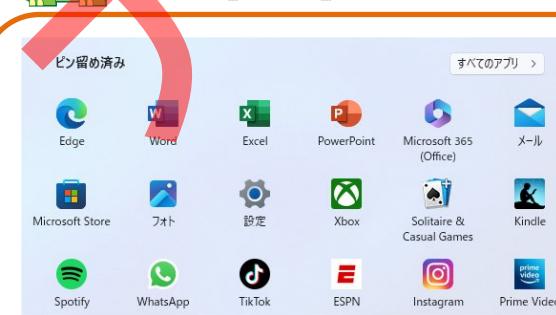
ワード がめん かくにん
Word2021 の画面を確認しましょう



 Step up

【スタートメニュー】の【ピン留め済み】の中に  が表示されている場合は、Wordの起動のすべての操作をしなくても、 をクリックすれば、すばやく起動することができます。

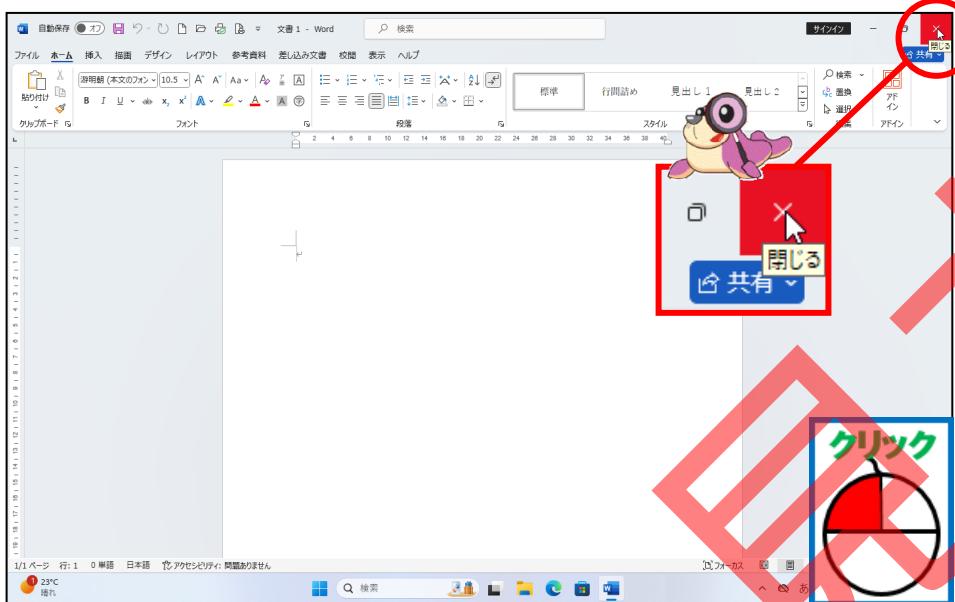
また、デスクトップに  が表示されている場合は、 をダブルクリックしても起動することができます。



しゅうりょう そなえ
終了の操作をしてみましょう

1

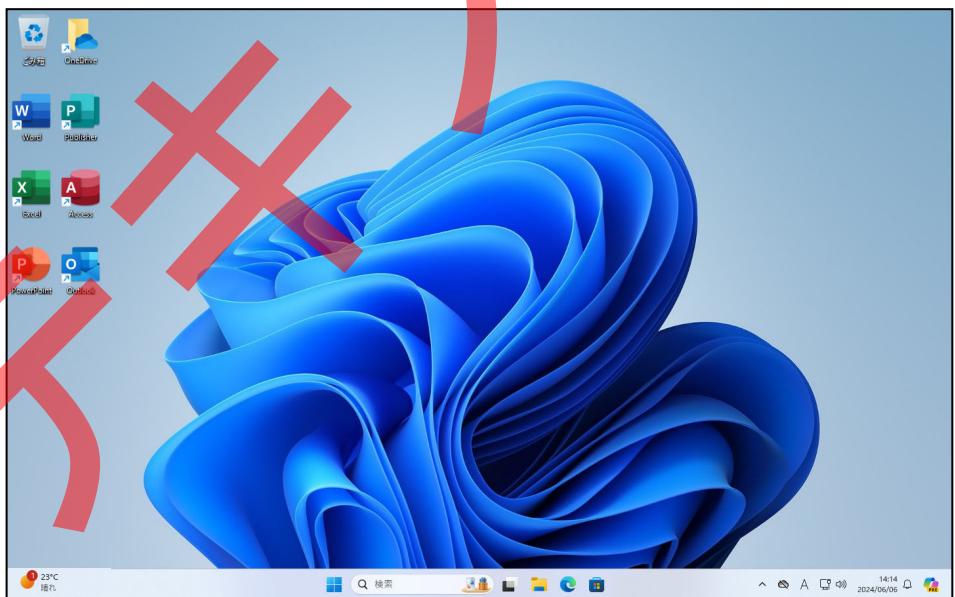
× にポイントし、そのままクリックしましょう



× はポイントすると、× になります。いろかわります。

2

画面が変わったことを確認しましょう



つぎ そなえ
次の操作のために、ワードを起動しておきましょう

れんしゅうもんだい
ここで、レッスン5の練習問題をしましょう。🐙🐙🐙



レッスン6 (1)

入力の基本について学びましょう

～日本語入力する基本的な流れ～

日本語を入力するには、どうするの？

手紙や文章を書く時には、漢字やひらがな、カタカナなどのまじった日本語を使って、紙に書きます。それを同じようにパソコンで書くには、紙の代わりに入力画面、鉛筆の代わりにキーボード、文字を入力するために日本語入力システムを使用します。

日本語入力の基本的な流れを学びましょう

日本語入力できる画面を表示します(Word2021の起動)

① 日本語を入力できる状態にします

② 読みを入力します(ひらがなで読みを入力します)

③ 漢字・カタカナ・英数などに変換します

④ 文字を確定します(Enterキーを押します)

基本の日本語入力



日本語入力する時は、必ず左の図のようになっていることを確認します。



レッスン6 (2)

入力の基本について学びましょう

～ローマ字を学びましょう～

ローマ字を学びましょう

ローマ字とは？

英語式のアルファベットを日本語に表記する場合の文字を言います。

パソコンで日本語を入力する時に使います。そのローマ字でコンピューターに、日本語入力の読みを入力する方法を「ローマ字入力」と言います。読みに対応するローマ字をキーボードから入力すると、かなに変換されて画面上に表示されます。

ローマ字で
入力する

A

I

U

E

O

パソコンの画面
で見ると

かなに
変換される

あ

い

う

え

お



レッスン6 (3)

にゅうりょく き ほん まな 入力の基本について学びましょう マイクロソフト アイエムイー き ほんそうさ ～Microsoft IME の基本操作～

マイクロソフト アイエムイー まな Microsoft IME について学びましょう

もじ にゅうりょくじゅんび にほんご にゅうりょく マイクロソフト
文字の入力準備をするために、日本語入力するためのシステムである「Microsoft
アイエムイー そうさ おぼ マイクロソフト アイエムイー にゅうりょく
IME」の操作を覚えましょう。「Microsoft IME」は、キーボード入力したローマ字を
ひらがなに変換し、ひらがなを適切な漢字に変換する機能です。画面右下の「あ」が
へんかん てきせつ かんじ へんかん きのう がめんみぎした
「Microsoft IME」にあたります。「Microsoft IME」を右クリックすると、下の図の一
らん ひょうじ にゅうりょく べんり きのう おさ みぎ したす いち
覧が表示され、入力において便利な機能が収まっています。

- ① あ ひらがな
- カ 全角カタカナ
- △ 全角英数字
- △ 半角カタカナ
- △ 半角英数字
- ② 単語の追加
- ③ IME パッド
- 誤変換レポート
- ④ かな入力 (オフ)
- プライベートモード (オフ)
- ⑤ IME ツールバー (オフ)
- 設定
- フィードバックの送信



みぎ
右



番号	名前	説明
①	入力モード	入力時の文字の種類が選べます。
②	単語の追加	普段からよく使う言葉で、変換しても表示されない文字を登録することができます。
③	IME パッド	文字を手書きや画数・部首から探すことができます。読み方のわからない漢字などを入力する時に使います。
④	かな入力 (オフ)	ローマ字入力、かな入力を切り替えることができます。
⑤	IMEツールバー(オフ)	IMEツールバーを表示するか、表示しないかを切り替えることができます。



レッスン6 (4)

にゅうりょく きほん まな 入力の基本について学びましょう ～入力の位置を決めるカーソル～

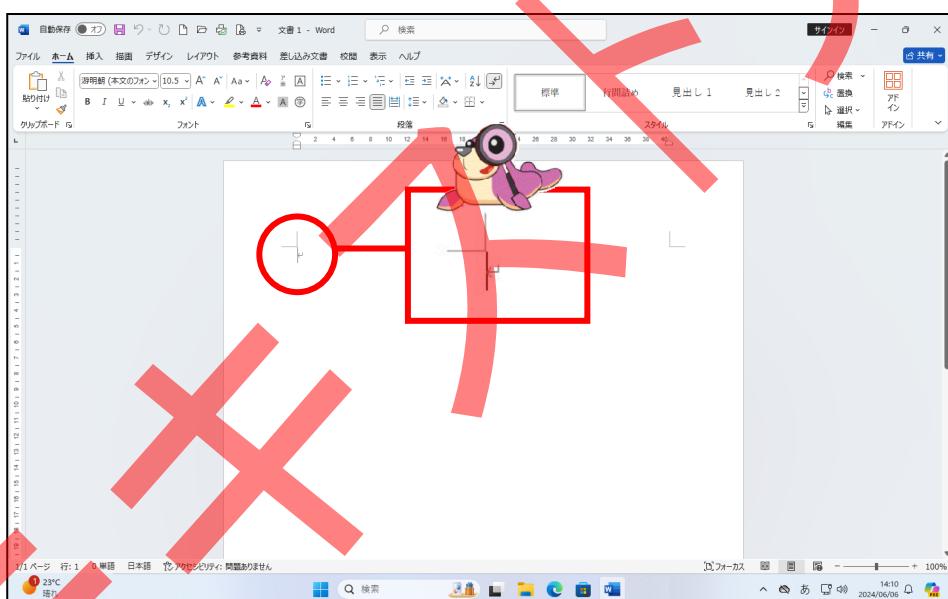
かくにん カーソルを確認しましょう



カーソル

パソコンの画面上で入力する文字や図形などがどこに入るのか、今どきの部分を操作しているのかを示す、点めつする縦棒のことを言います。

いぢ かくにん カーソルの位置を確認しましょう



ワード Word2021 の画面が表示された時、点めつしている縦棒がカーソルです。
カーソルがあるところから文字は入力されます。

つぎ そろさ 次の操作のために、画面は閉じずにそのままにしておきましょう



レッスン6 (5)

入力の基本について学びましょう

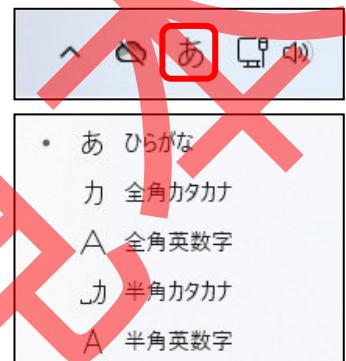
～入力モードを確認し、ローマ字入力で、ひらがなを入力～

マイクロソフト アイエムイー Microsoft IME の[入力モード]について学びましょう

① **入力モード**
入力する文字の種類によって入力モードを選択します。

② **入力モードの種類**
入力モードには、ひらがなモード、全角カタカナモード、全角英数モード、半角カタカナモード、半角英数モードがあります。

③ **入力モードの特徴**

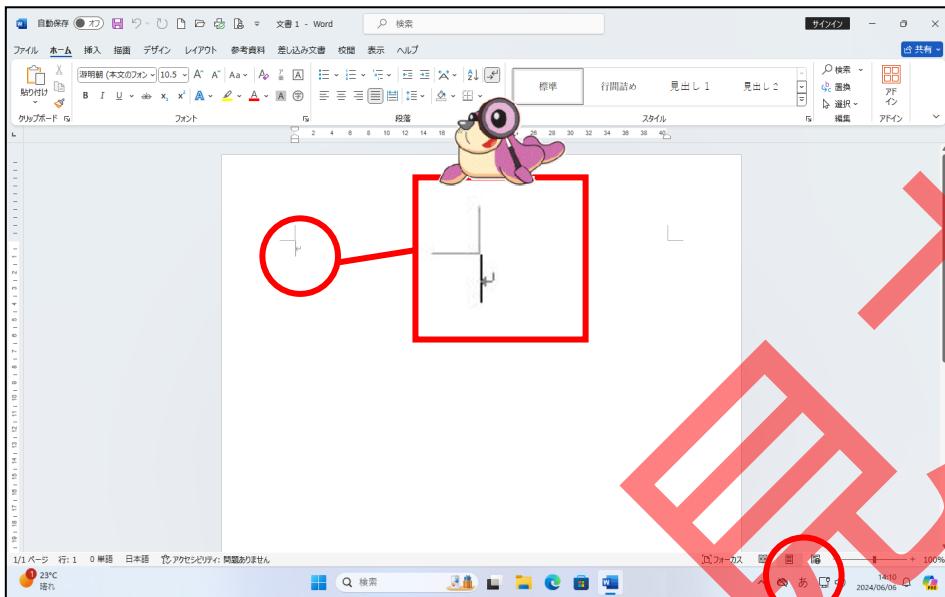


入力モード	ボタン	特徴
ひらがな	あ	入力した文字はひらがなで表示されます。 漢字に変換する時に使います。
全角カタカナ	カ	入力した文字は全角カタカナで表示されます。入力した後に、カタカナから漢字やひらがなにも変換できます。
全角英数字	カ	入力した文字は全角英数字で表示されます。入力した後に、英字は大文字小文字、数字は、漢字や住所に変換できます。
半角カタカナ	カ	入力した文字は半角カタカナで表示されます。入力した後に、カタカナから漢字やひらがなにも変換できます。
半角英数字	カ	入力した文字は半角英数字で表示されます。英数字が直接入力されるので、変換できません。(日本語入力オフの状態と同じです。)

操作をしてみましょう

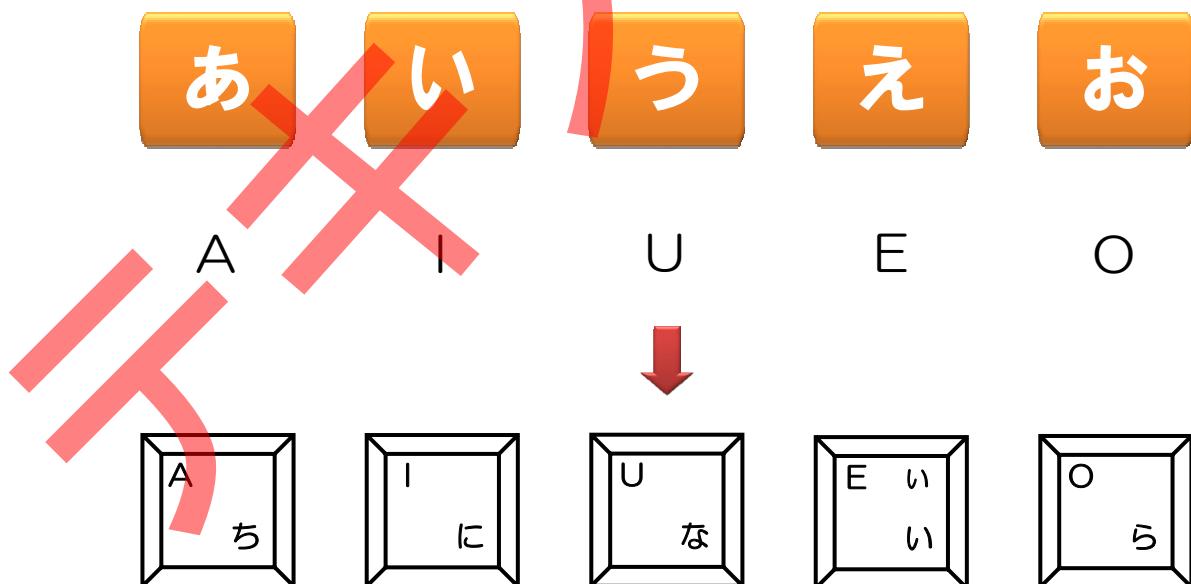
①

入力モードとカーソルの位置を確認しましょう



②

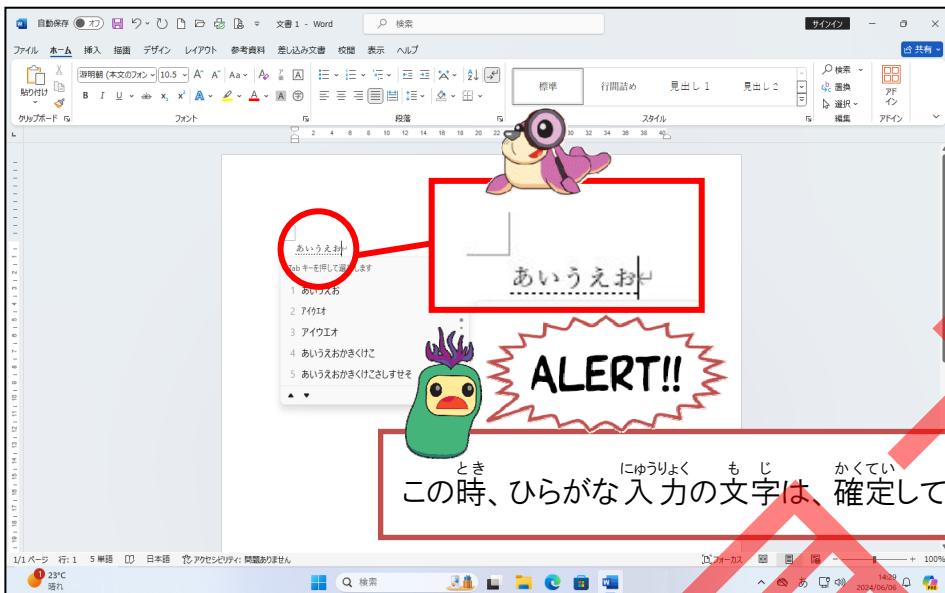
したもじ「あいうえお」をキーボードで入力しましょう



ひょうじ
キーボードの表示
(パソコンによって、ちがう場合があります)

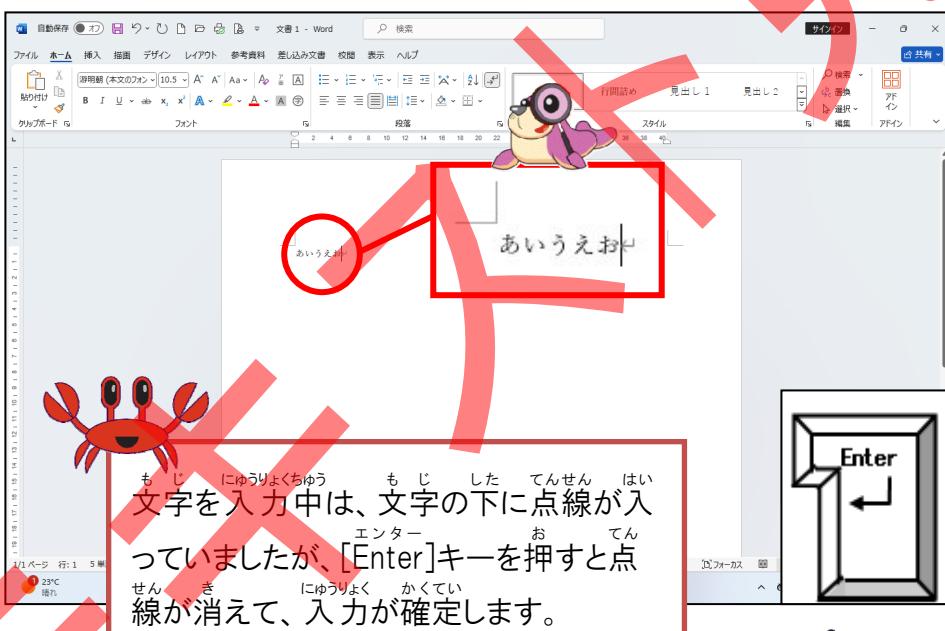
③

もじにゅうりょくちゅう
②の文字を入力中は、**文字の下が点線**になっていることを確認しましょう



④

エンター[Enter]キーを押して、入力した文字を確定しましょう



エンター[Enter]キー

キーボードの[Enter]と書かれているキーのことです。

パソコンにデータを入力し、日本語入力した漢字変換など文字を確定する時に押します。行をかえたりする改行にも使います。



つぎ
次の操作のために、画面は閉じずにそのままにしておきましょう



レッスン6 (6)

入力の基本について学びましょう

～文字を消す2つの方法～

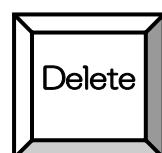
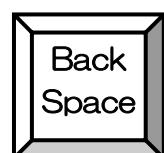
文字を消す方法について学びましょう

文字を消すには、キーボードの「Back Space」キーと「Delete」キーを使います。
2つのキーのちがいについて学びましょう。

キー	説明
Back Space	カーソルの左側の1文字を消します。 (行頭では前の行の最後にある+段落記号を消す。 前の行と同じ行になります。)
Delete(Del)	カーソルの右側の1文字を消します。 (行末では行の終わりにある+段落記号を消す。 次の行と同じ行になります。)

<文字を消す時>

カーソルの位置を基準にして
2つのキーを使い分けましょう。





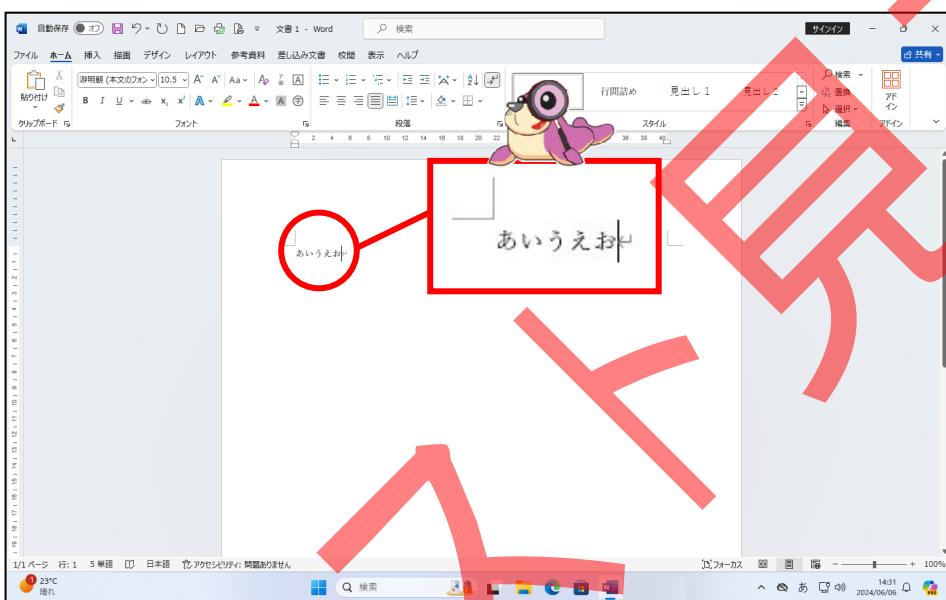
レッスン6 (7)

にゅうりょく きほん まな 入力の基本について学びましょう バック スペース もじけ ～「Back Space」キーで文字を消しましょう～

そろそろ
操作をしてみましょう

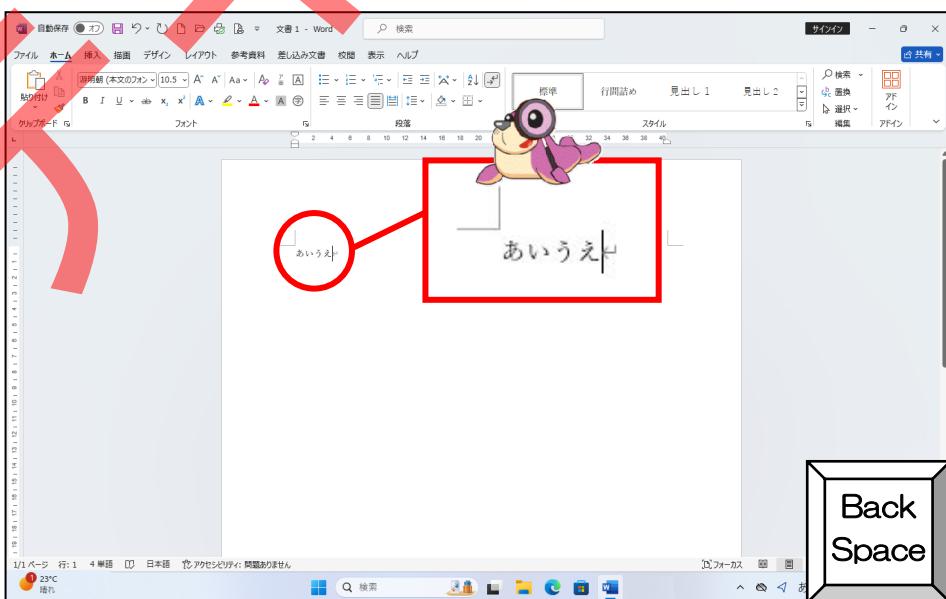
1

「お」の後ろの位置にカーソルがあることを確認しましょう



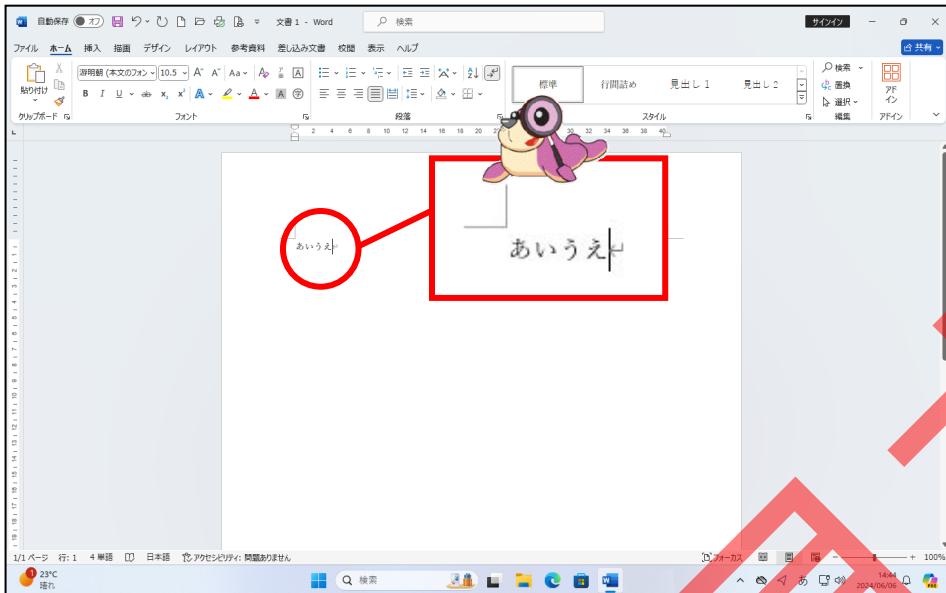
2

[Back Space]キーを1回押しましょう



3

「お」が消えたことを確認しましょう



ひだりがわ
もじ
き
りかい
カーソルのすぐ左側の文字が消えたことを理解しましょう。
バッく スペース お かいすう じ もじ
Spaceキーを押す回数ごとに、1字ずつ文字が消えていきます。

つぎ そ う さ
次の操作のために、画面は閉じずにそのままにしておきましょう



レッスン6 (8)

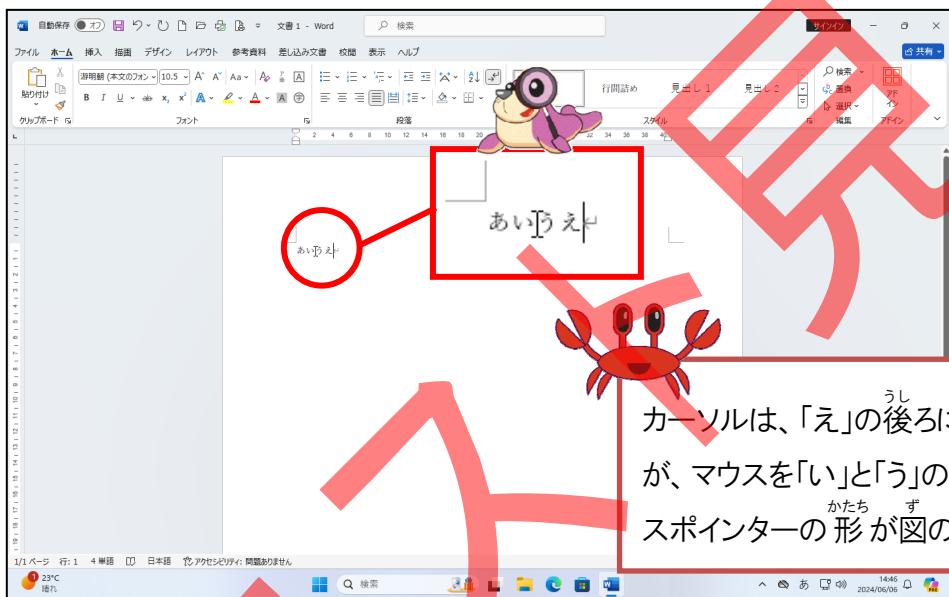
にゅうりょく きほん まな 入力の基本について学びましょう いどうほうほう ～カーソルの移動方法～

① 「マウス」を使ってカーソルの位置を動かしましょう。

そろそろ
操作をしてみましょう

1

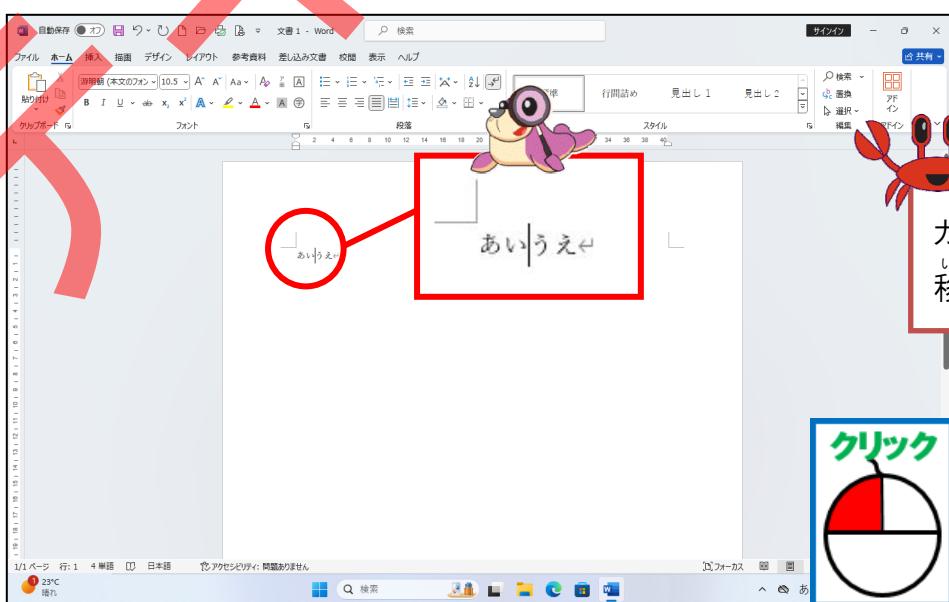
「い」と「う」の間にマウスポインターを移動させましょう



カーソルは、「え」の後ろにある状態ですが、マウスを「い」と「う」の間に動かすとマウスポインターの形が図のように変わります。

2

「い」と「う」の間にクリックしましょう



カーソルの位置が
移動しました。



② 矢印キーを使って、カーソルの位置を動かしましょう。

矢印キーを学びましょう



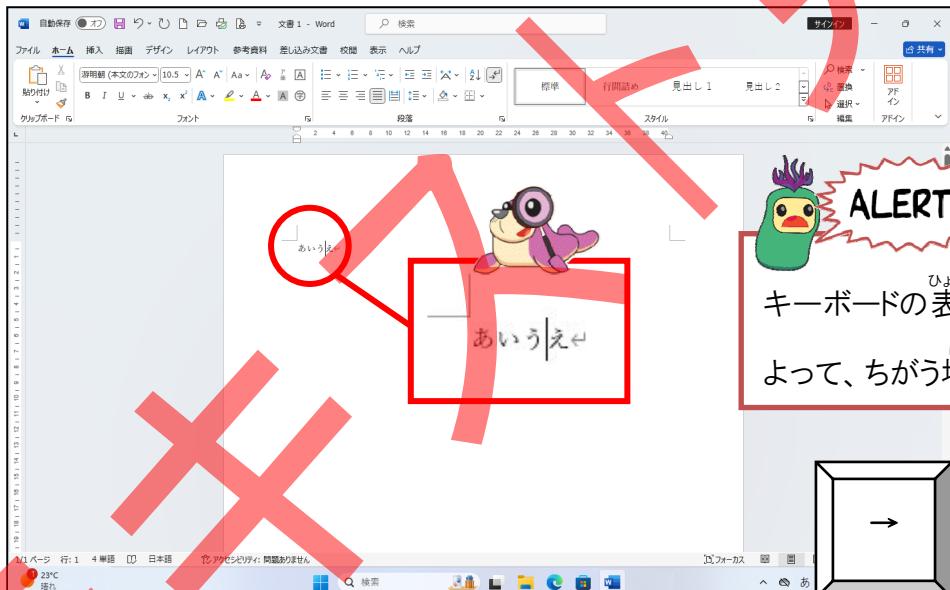
矢印キー

キーボードで[↑][↓] [←] [→]の矢印が書かれているキーのこと。カーソルを上下左右の位置に動かすために使います。カーソルキーとも呼ばれます。

操作をしてみましょう

1

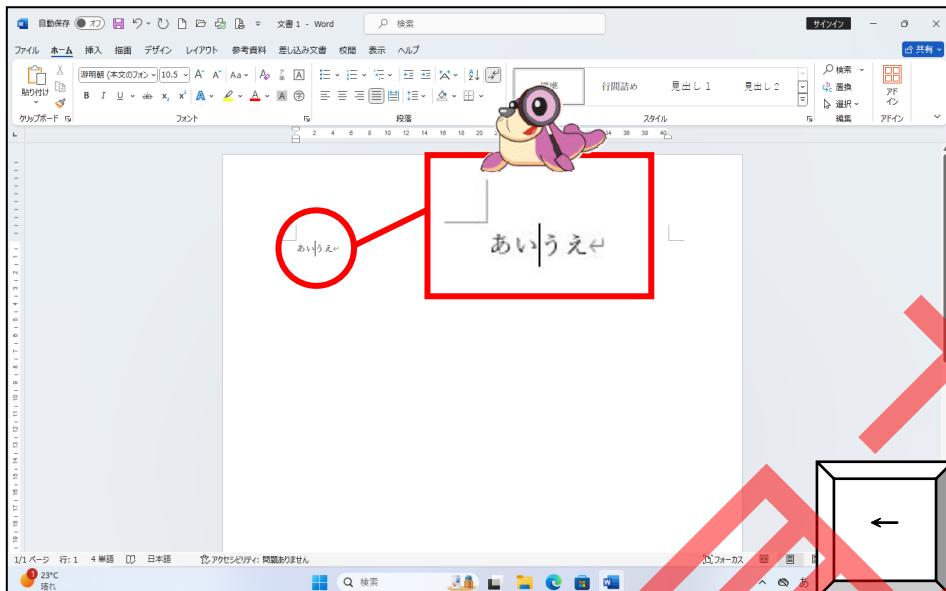
「う」の後ろにカーソルを移動させるために[→]キーを押しましょう



矢印キーを押す回数ごと、1字ずつ移動することを確認しましょう。

2

まえ いどう お
「う」の前にカーソルを移動させるために[←]キーを押しましょう



つぎ そうさ がめん と ばあい
次の操作のために、画面は閉じずにそのままにしておきましょう





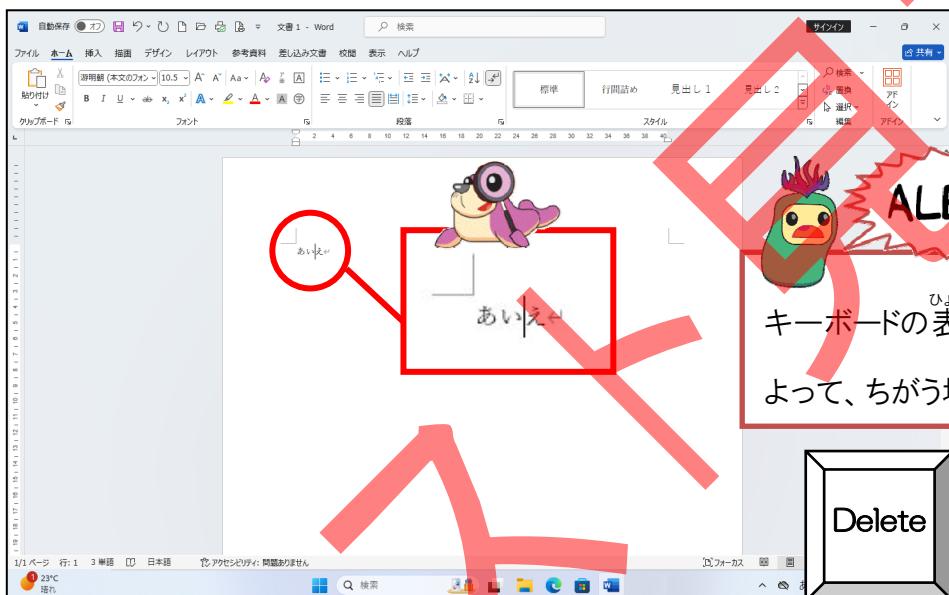
レッスン6 (9)

にゅうりょく きほん まな 入力の基本について学びましょう デリート もじけ ～「Delete」キーで文字を消しましょう～

そろそろ
操作をしてみましょう

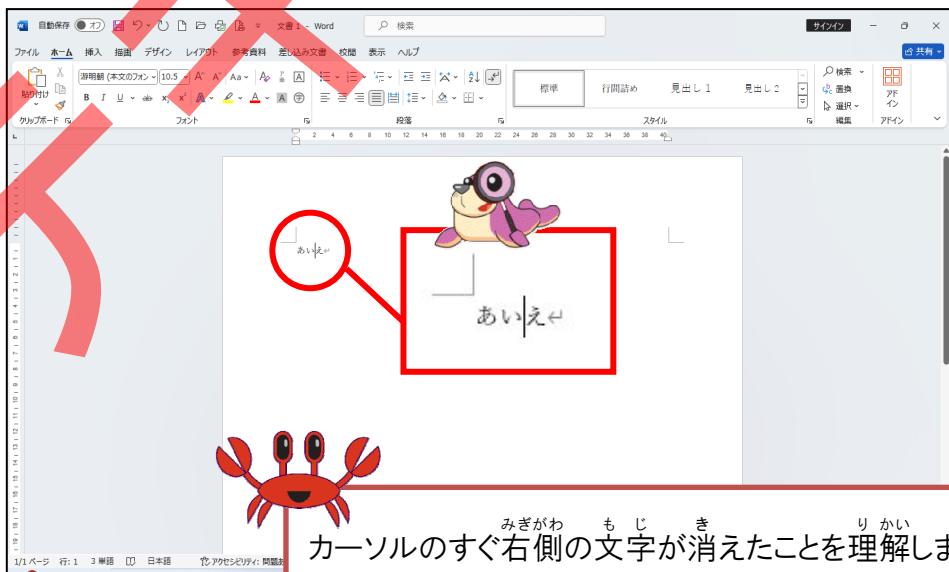
①

デリート カイ お
[Delete]キーを1回、押しましょう



②

もじ き かくにん
「う」の文字が消えたことを確認しましょう





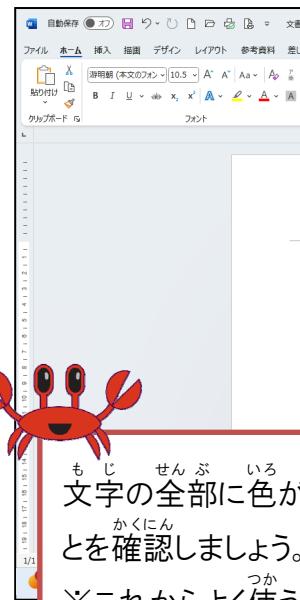
レッスン6 (10)

にゅうりょく きほん まな 入力の基本について学びましょう いちど ぜんぶ もじけ ～一度に全部の文字を消しましょう～

そろそろ
操作をしてみましょう

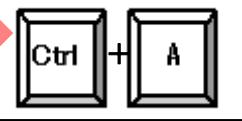
1

[Control]キーを押しながら、[A]を押しましょう



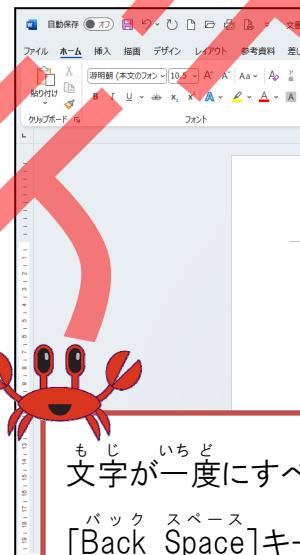
もじ せんぶ いろ はんい せんたく
文字の全部に色がつき、範囲が選択されたこ
とを確認しましょう。
※これからよく使うので、覚えておきましょう。

ALERT!!
コントロール [Ctrl]キーを押したままの状態
で、はなさないようにして、[A]を
押します。この時、同時に2つの
キーを押した状態になります。
キーボードの表示は、パソコンに
よっては、ちがう場合もあります。



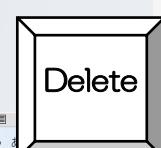
2

[Delete]キーを押しましょう



もじ いちど き かくにん
文字が一度にすべて消えたことを確認しましょう。
バック スペース おなそろそ
[Back Space]キーでも同じ操作になります。

ALERT!!
キーボードの表示は、パソコンに
よって、ちがう場合もあります。





レッスン6 (11)

入力の基本について学びましょう

～ファンクションキーでカタカナ入力～

カタカナ入力について学びましょう

① カタカナの種類

カタカナには、全角カタカナと半角カタカナの2種類があります。

全角カタカナ

半角カタカナ

② ひらがな入力とのちがい

カタカナ入力は、キーボードで文字を入力するところまでは、ひらがな入力と同じです。ひらがな入力とちがうところは、文字を確定する[Enter]キーを押す前(文字の下に点線が表示されている時)に、ファンクションキーを押す操作が必要です。

ひらがな入力と同じ

ファンクションキー

Enterキー



[F7] キー ひらがなを全角カタカナに変換します。
[F8] キー ひらがなを半角カタカナに変換します。



キーボードの表示
(パソコンによって、ちがう場合があります)

ファンクションキー

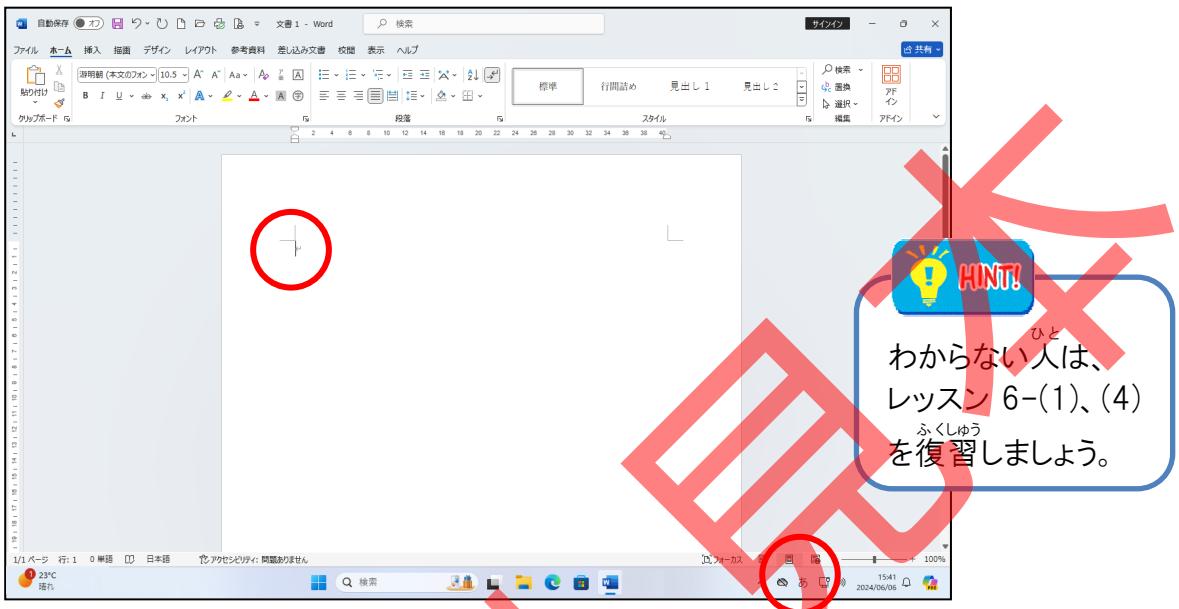
KEYWORD

キーボードの上あたりに並んでいる機能を選択するためのキーです。
機能は、アプリによって異なります。自分で機能を決めることもできます。

操作をしてみましょう

1

にゅうりょく
入力モードとカーソルの位置を確認しましょう



2

した
もじ
下の文字「あいうえお」をキーボードで入力しましょう



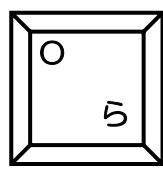
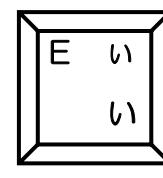
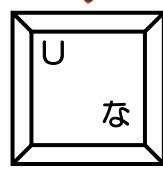
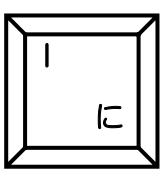
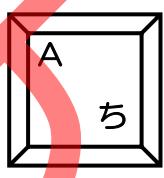
A

い

う

え

お



A

い

う

え

お

キーボードのひようじ

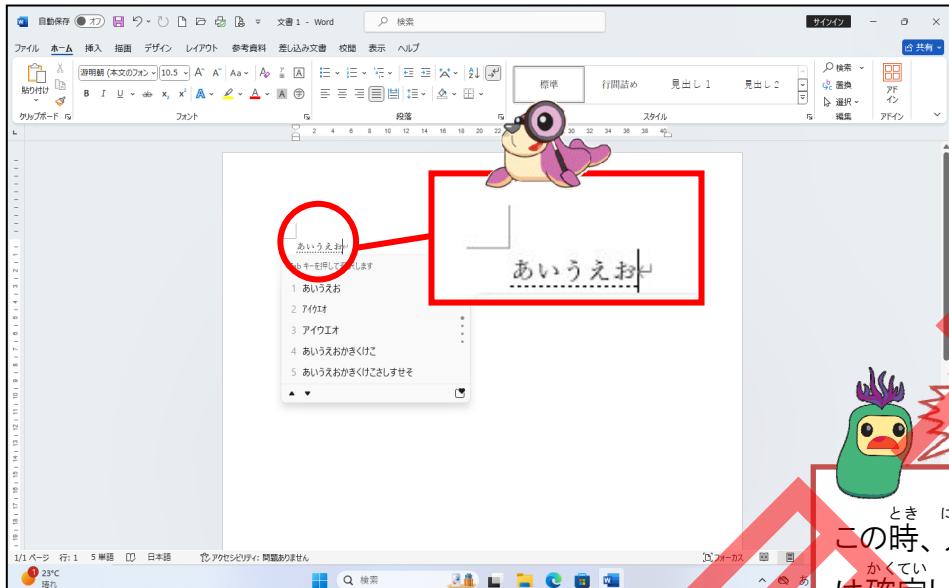
(パソコンによって、ちがう場合があります)



ここまででは、ひらがな入力と同じであることを理解しましょう。
レッスン 6-⑤と見比べてみましょう。

3

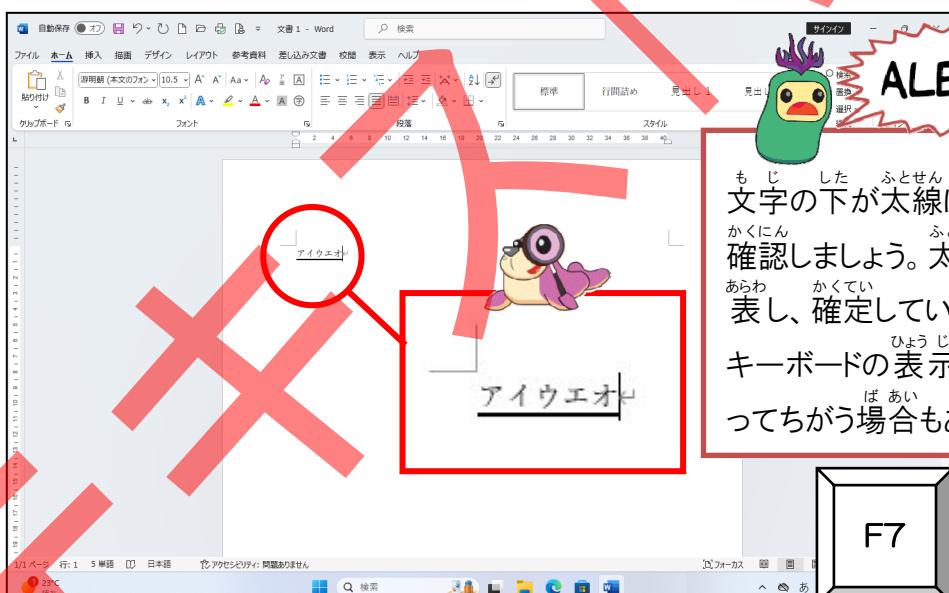
もじにゅうりょくちゅう
②の文字を入力中は、**文字の下が点線**になっていることを確認しましょう



とき
にゅうりょく
もじ
この時、入力された文字
かくてい
は確定していません。

4

エフ[F7]キーを押して、全角カタカナにしましょう



もじしたふとせん
文字の下が太線になっていることを
かくにんふとせんへんかんちゅう
確認しましょう。太線は変換中を
あらわすかくてい
表し、確定していません。
ひょうじ
キーボードの表示は、パソコンによ
ってちがう場合もあります。

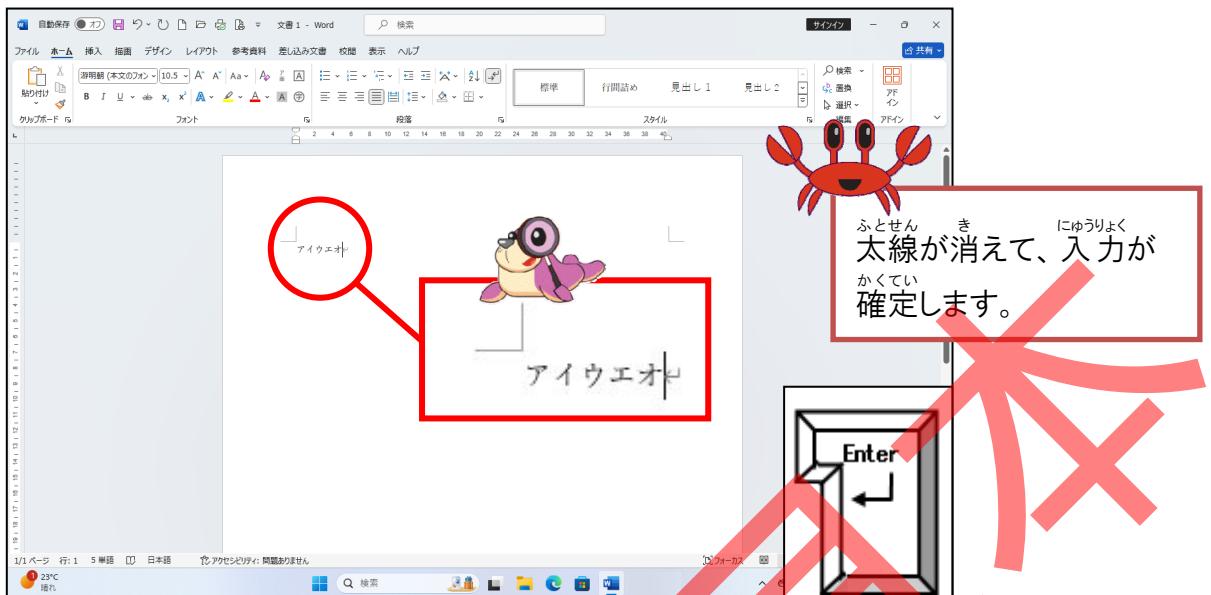
F7



はんかくにゅうりょくばあいエフお
半角カタカナを入力したい場合は、ここで[F8]を押します。

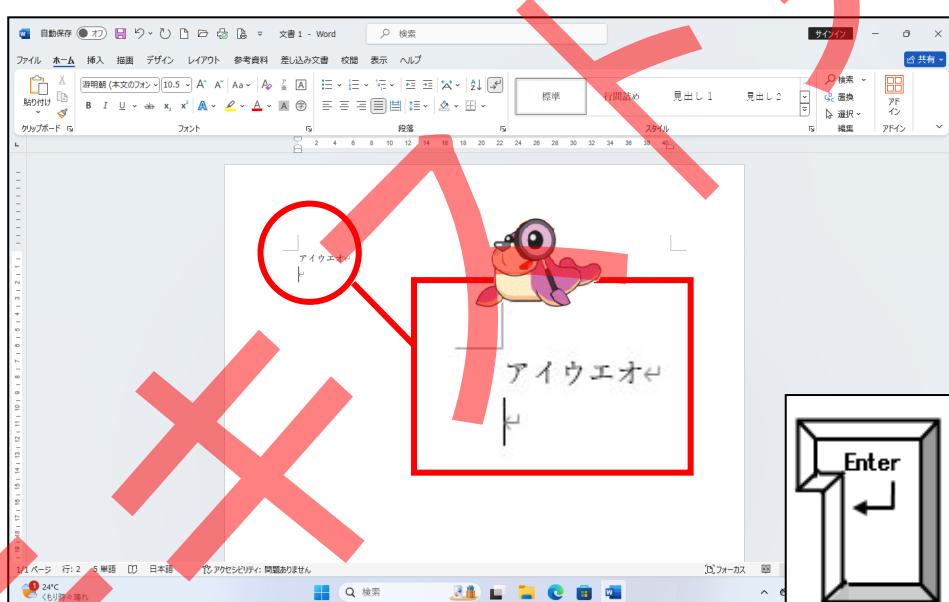
5

エンター お
[Enter]キーを押しましょう



6

ぎょう め いどう エンター お かいぎょう
2行目にカーソルを移動させるために、[Enter]キーを押して改行しましょう

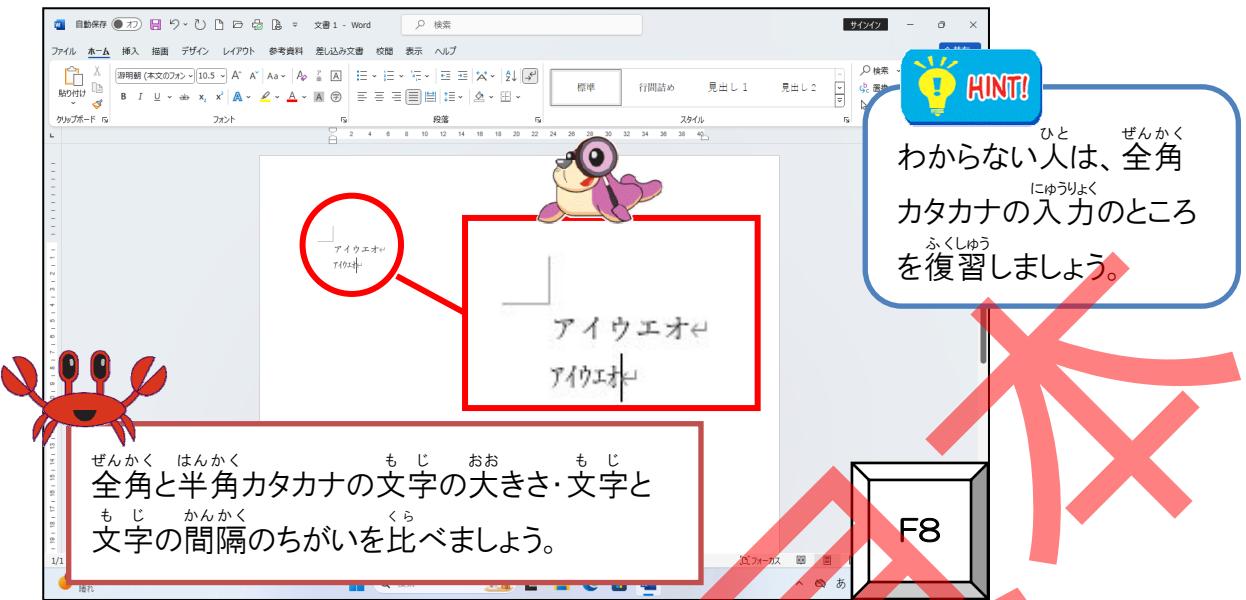


かいぎょう エンター お かいぎょう してい
改行 ([Enter]キーを押して、改行を指定すること)

ワープロソフトなどで文書を入力する時に行を変えること。
横書きの場合は、1行下の左はし、縦書きの場合は、1行左の一一番上に
カーソルが移動し、引き続き文書の入力ができます。

1

「あいうえお」を[F8]キーを使って、半角カタカナで入力し、確定しましょう



Step up

① [F7] [F8]キーの押す回数を1回増やすごとに、入力文字の最後の1文字から1文字ずつ、ひらがなに変換されます。最後の1文字がカタカナで、あの文字がひらがなになると、次は、すべてカタカナに戻ります。

<例:[F7]キーで「あいうえお」を変換していくと…>

1回押す…アイウエオ	2回押す…アイウエお	3回押す…アイウえお
4回押す…アイうえお	5回押す…アいうえお	6回押す…アイウエオ

② 一度にひらがなに戻したい場合は、[F6]キーを押しましょう。

<ファンクションキーを使わずにカタカナを入力する方法>

① 入力モード

「全角カタカナ」「半角カタカナ」に切り替えて入力します。

② ファンクションキーのかわりに[変換]キーを使って変換します。

つぎ そろさ 次の操作のために、文字はすべて消しておきましょう

ひと
わからない人は、レッスン
ふくしゅう 6-(10)を復習しましょう。



レッスン6 (12)

入力の基本について学びましょう ～変換キーで漢字の入力～

漢字の変換について学びましょう

漢字の入力は、キーボードで文字を入力するまでは、「ひらがな入力」と同じです。漢字変換は、文字を確定する [Enter] キーを押す前(文字の下に点線が表示されている時)に、変換キーを押す操作が必要になります。

ひらがな入力と同じ

変換キー

Enterキー

変換
前候補
変換

(読み)
ぜんこうほへんかん

キーボードの表示
(パソコンによって、ちがう場合があります)



変換

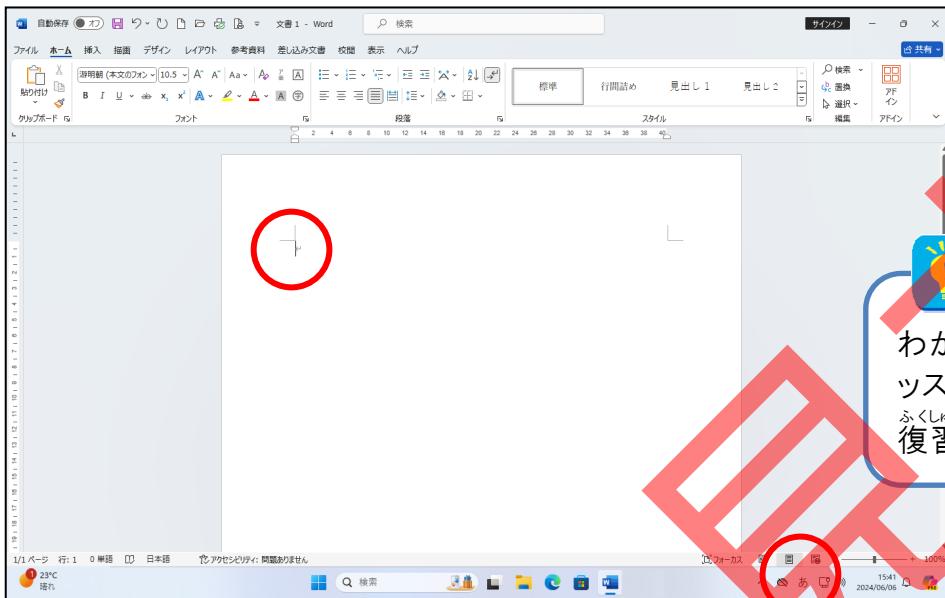
入れ変わること。また、変えること。

コンピューターの日本語入力における変換については、かな漢字変換を参照すること。

操作をしてみましょう

①

にゅうりょく
入力モードとカーソルの位置を確認しましょう



②

にゅうりょく
「みぎて」とキーボードで入力しましょう

み

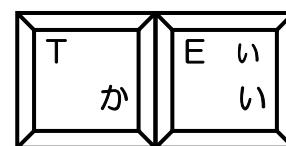
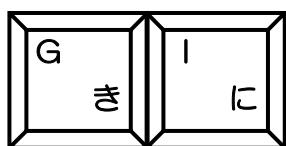
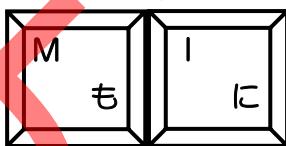
ぎ

て

MI

GI

TE



ひょうじ
キーボードの表示

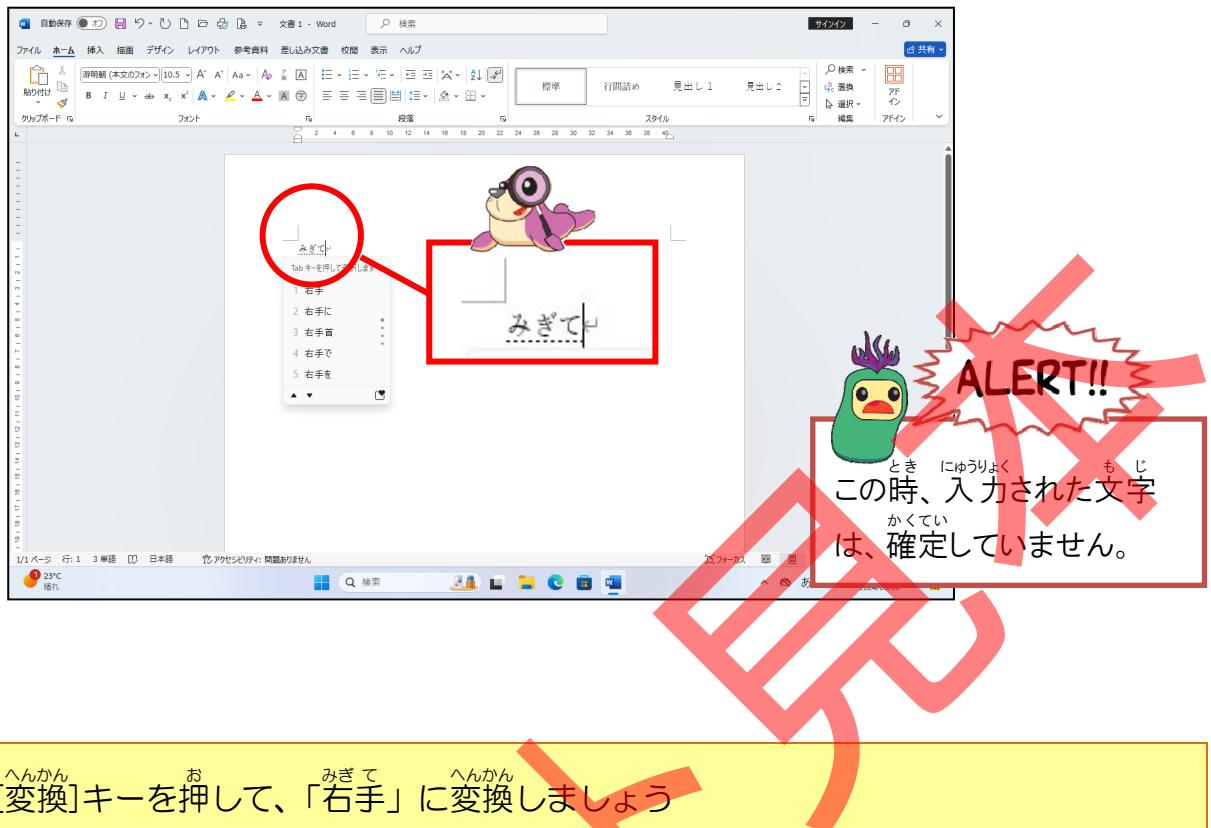
(パソコンによって、ちがう場合があります)



ここまででは、ひらがな入力と同じであることを理解しましょう。

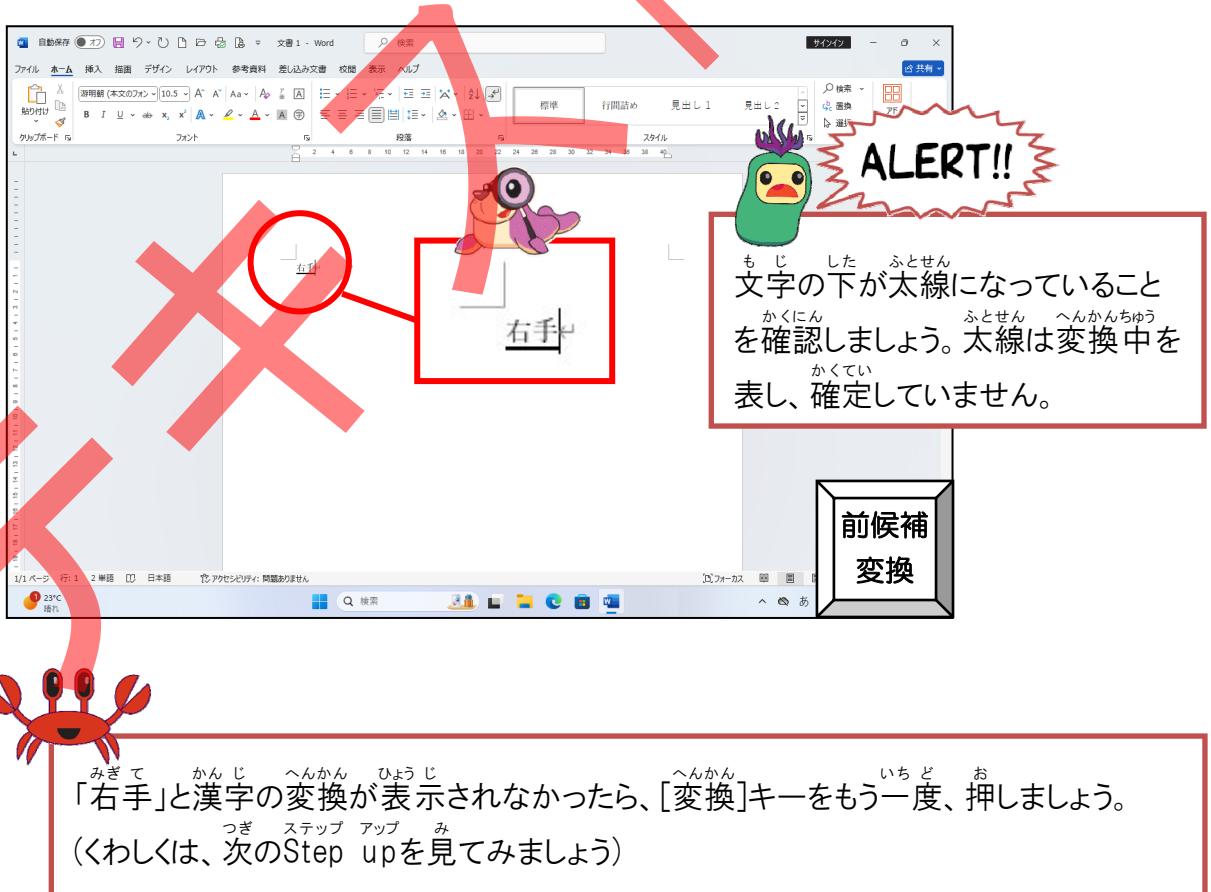
③

もじにゅうりょくちゅう
②の文字を入力中は、**文字の下が点線**になっていることを確認しましょう



④

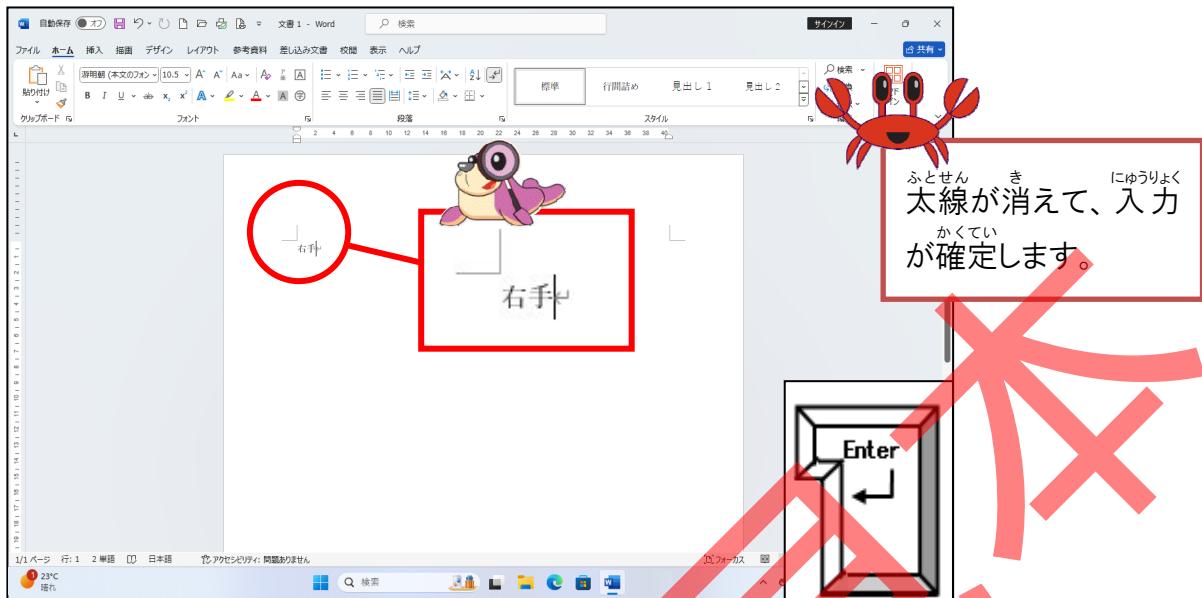
へんかん
[変換]キーを押して、「右手」に変換しましょう



「右手」と漢字の変換が表示されなかったら、[変換]キーをもう一度、押しましょう。
(くわしくは、次のStep upを見てみましょう)

5

エンター [Enter] キーを押しましょう



Step up

[変換]キーを押して目的の文字に変換されなかった時は、もう一度、[変換]キーを押して、候補の一覧を表示し、他の候補から選びましょう。
(例:「しろ」と入力して、漢字の変換で「城」にする)



[変換]キーを押すと左の図のような候補一覧が表示され、
この中から目的の文字をみつけます。

<選択の方法>

- 目的の文字をクリックします。
- 矢印キーで目的の文字を選んで、[Enter]キーを押します。
- 目的の文字の左に表示されている数字を入力します。



<変換キーを使わずに漢字の変換をする方法>

変換キーのかわりに[スペース]キーを押しても変換できます。



ひと
わからない人は、レッスン
ふくしゅう
6-(10)を復習しましょう。

次の操作のために、文字はすべて消しておきましょう



レッスン6 (13)

にゅうりょく き ほん まな 入力の基本について学びましょう よ むずか かんじ にゅうりょく ～読めない難しい漢字の入力～

アイエムイー IMEパッドについて学びましょう

よ かんじ へんかん ひょうじ かんじ げんご
読めない漢字や、変換で表示されない漢字などは、言語バーにあるIMEパッドを使えば、
にゅうりょく つか
入力することができます。

アイエムイー もじ にゅうりょく
IMEパッドとは、文字を入力するためのさまざまなツール(アプレット)の総称です。

アイエムイー いちらん
<IMEパッドのアプレット一覧>

手書き

よ かんじ て が にゅうりょく さが
読みのわからない漢字を手書きで入力して、探します。(一番よく使います)

文字一覧

きごう とくしゅ もじ いちらん さが
記号や特殊文字などを一覧から探します。

ソフトキーボード

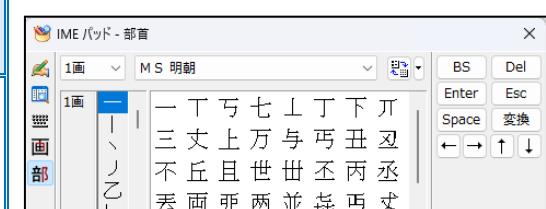
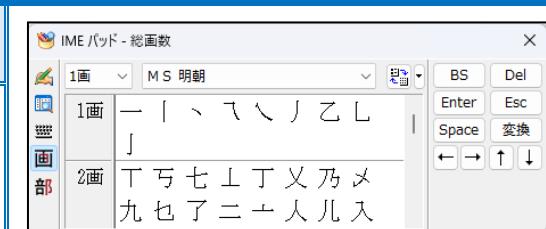
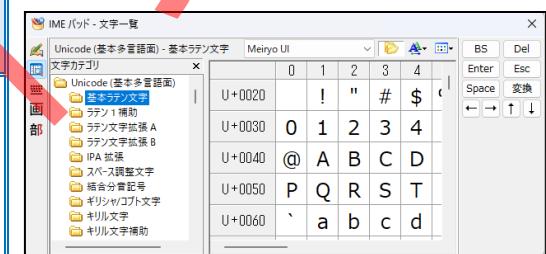
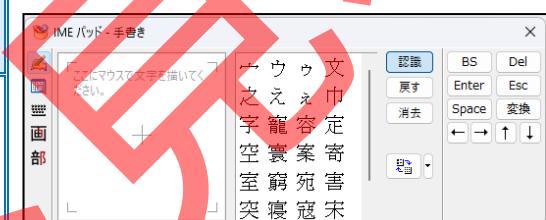
お かんかく が めんじょう ひょうじ
キーのキーを押す感覚で、画面上に表示されたキーをクリックして、文字を入力していきます。

総画数

よ かんじ そとかくすう してい もくてき
読みのわからない漢字の総画数を指定して目的の文字を探します。

部首

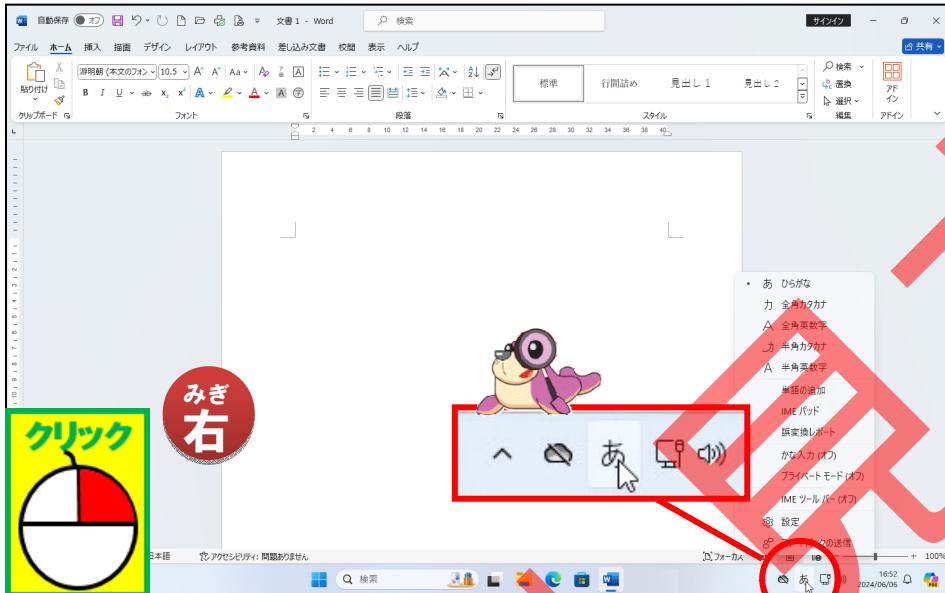
よ かんじ ふしう してい もくてき
読みのわからない漢字の部首を指定して目的の文字を探します。



操作をしてみましょう

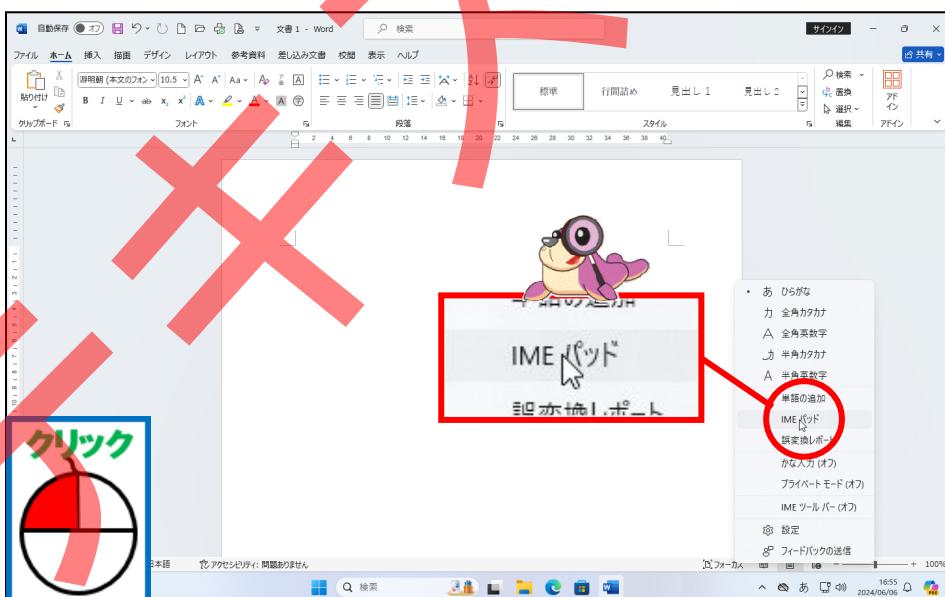
1

[Microsoft IME]にポイントし、そのまま右クリックしましょう



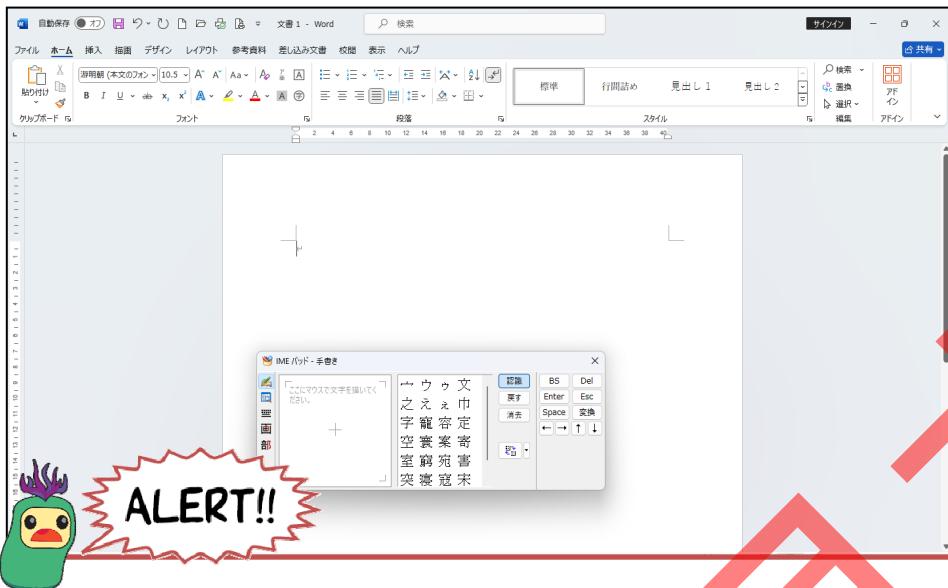
2

[IMEパッド]にポイントし、そのままクリックしましょう



3

IMEパッドの手書きアプレットが表示されたことを確認しましょう

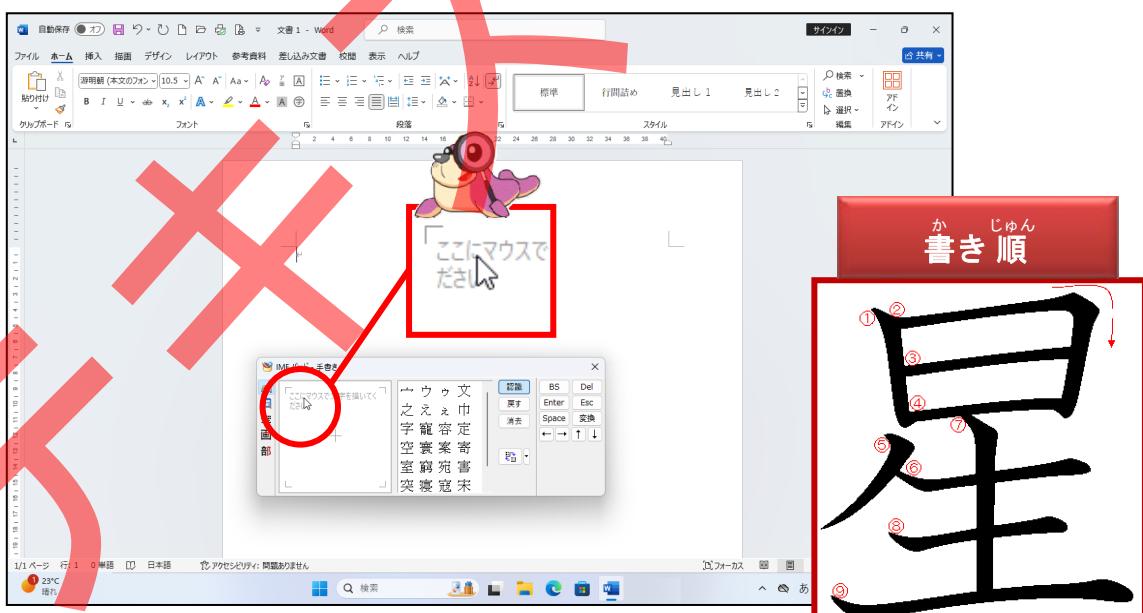


手書きアプレットの画面が表示されていない場合は、手書きアプレットボタンをクリックしましょう。IMEパッドがカーソルの位置にあると、入力文字が確認できないので、この時に移動させておきましょう。

移動方法は、手書きアプレットの上側にポイントし、ドラッグしましょう。

4

手書きアプレットに「星」を書きましょう

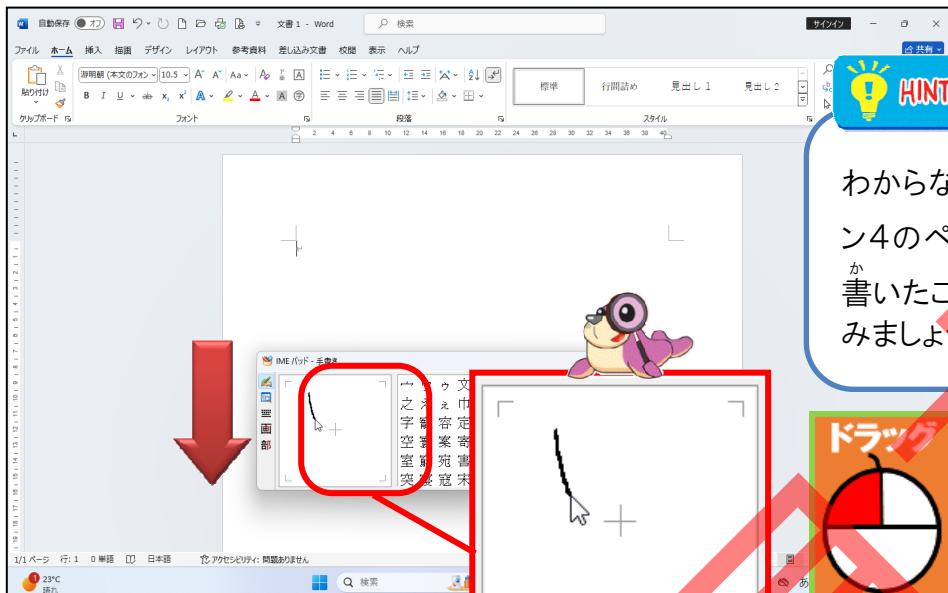


左の白い枠内にマウスを使って、手書きをしましょう。

漢字の書く順番を確認して、
①(1画目)から書き始めましょう。

5

ひだり お じょうたい ほし かくめ か
マウスの左ボタンを押したままの状態で、「星」の1画目を書きましょう



ひと
わからないう人は、レッスン4のペイントで文字を書いたことを思い出してみましょう。

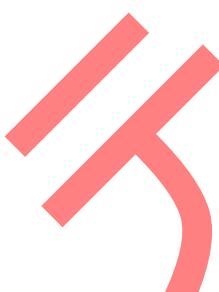


もじ 文字を1画ずつ書いていくにつれて、横に漢字が自動的に表示されていきます。その中から「星」を探します。1画ずつ書いて表示されなければ、次の画をじゅんばん順番に書いていきます。

ALERT!!

<手書きする時に気をつけること>

- ① きれいに書かなくても、大きくていいねいに書きましょう。
- ② 2度書きをしては、ダメです。
- ③ はねをつけないように書きましょう。



こんなときどうするの?

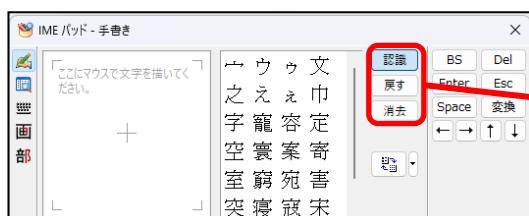
もじか
<文字を書きまちがえた>

① 書きまちがえた、最後の文字の1画を消したい場合は、[戻す]をクリックしましょう。

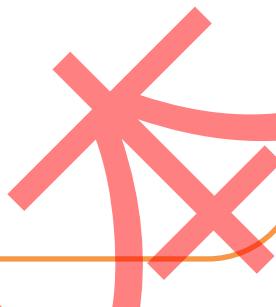
*最後の1画から順番に[戻す]をクリックすることごとに1画ずつ消すことができます。

② はじめから全部書き直したい場合は、[消去]をクリックしましょう。

*一度に文字を消すことができます。

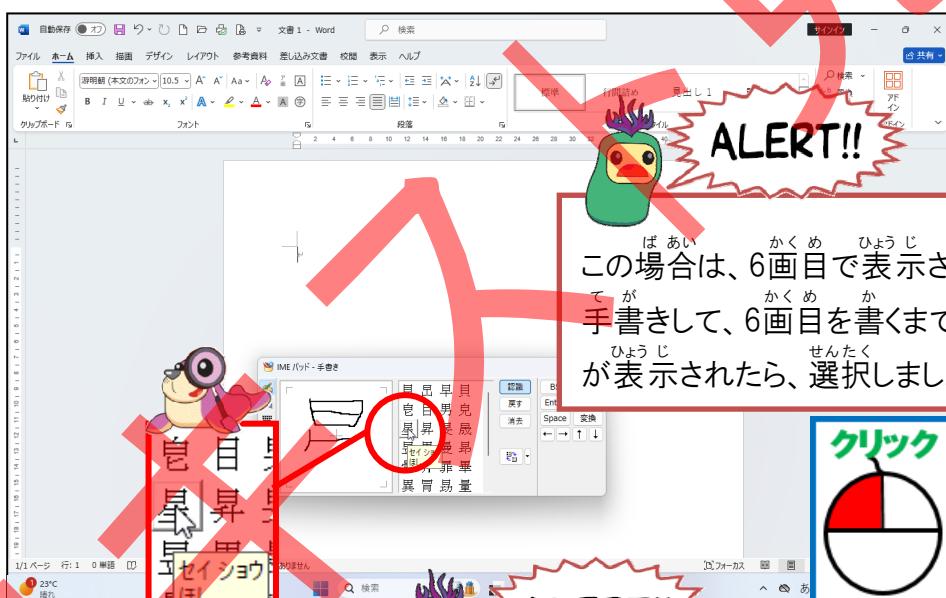


認識
戻す
消去



6

表示された「星」にポイントし、そのままクリックしましょう



この場合は、6画目で表示されていますが、手書きして、6画目を書くまでに右側に漢字が表示されたら、選択しましょう。



ポイントして、しばらくすると、音読みと訓読みが表示されます。



にゅうりょくべつ ほうほう
<入力する別 の方法>

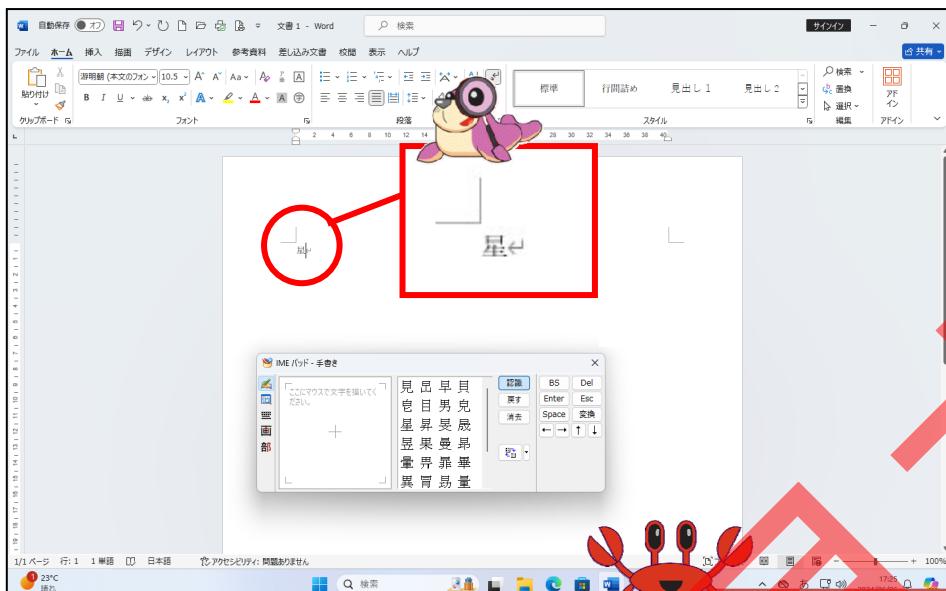
① 入力したい漢字のところで、右クリックをして、ショートカットメニューを表示させます。

② ショートカットメニューの[文字を挿入]をクリックしましょう。



1

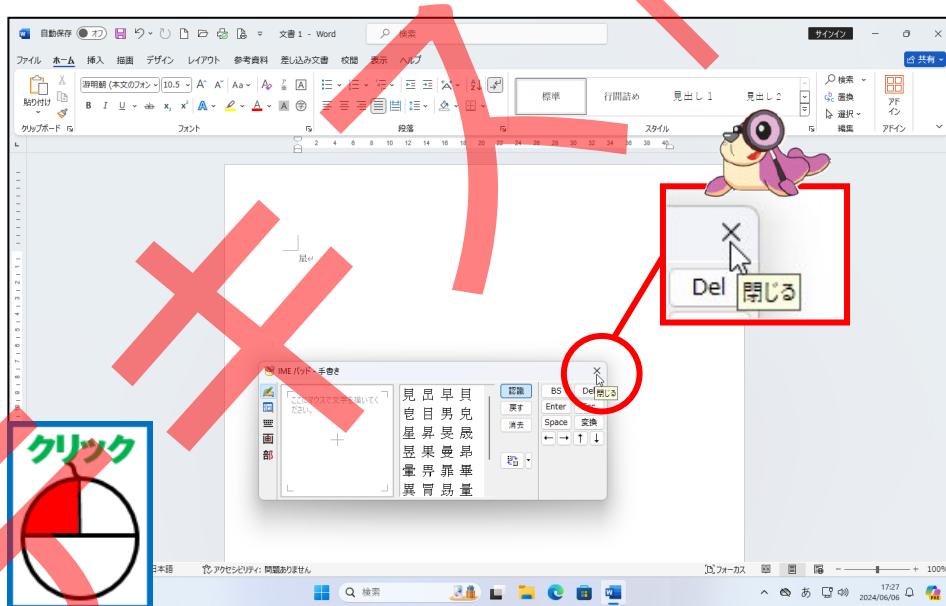
ほし にゅうりょく かくにん
「星」が入力されたことを確認しましょう



てんせん き にゅうりょく かくてい
点線が消えて、入力が確定します。

8

アイムイーと
IMEパッドの[閉じる]にポイントし、そのままクリックしましょう



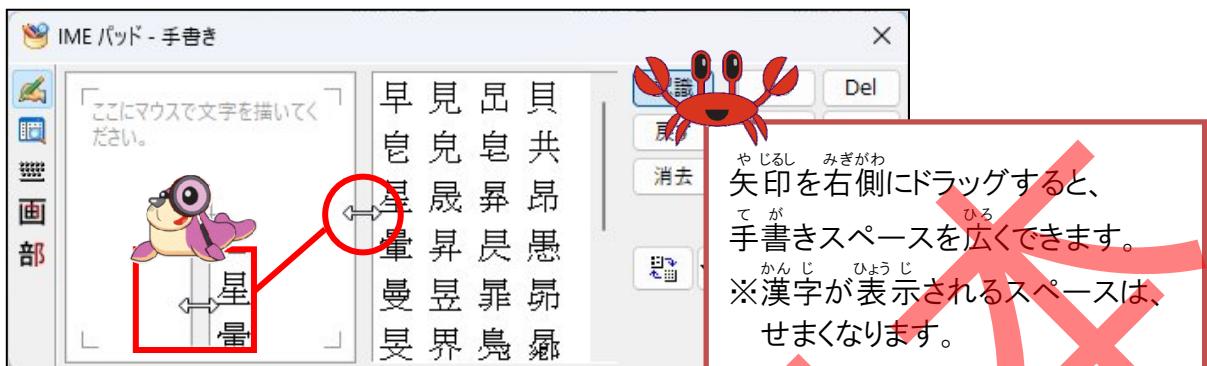
にゅうりょく ご ひつよう と
入力後、必要ないときは、閉じておきましょう。

つぎ そうさ アイムイー ひょうじ
次の操作のために、IMEパッドを表示させておきましょう

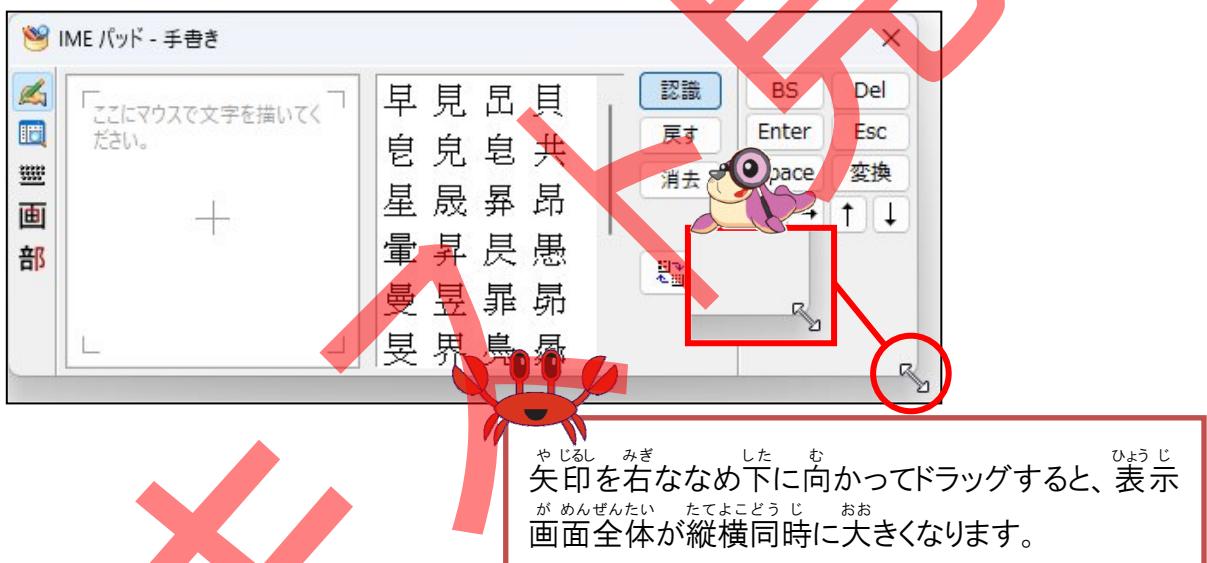
HINT!
ひと さいしょ
わからない人は、最初 もど
の①に戻りましょう。

IMEパッドの表示画面の操作を確認しましょう

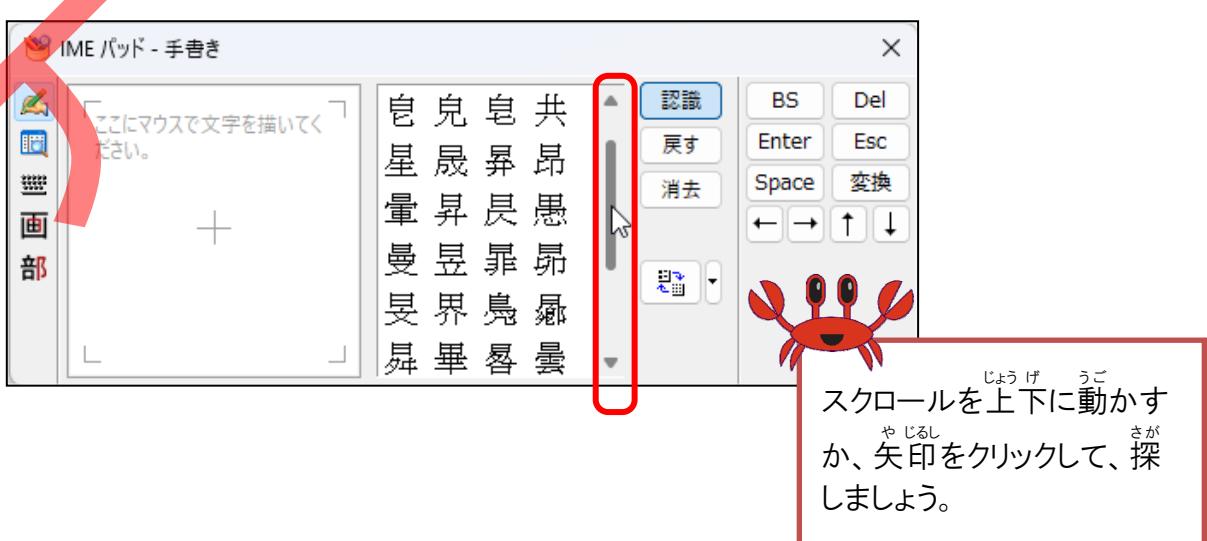
手書きアプレットの手書き入力枠の大きさを変えましょう



IMEパッドの表示画面の大きさを変えましょう

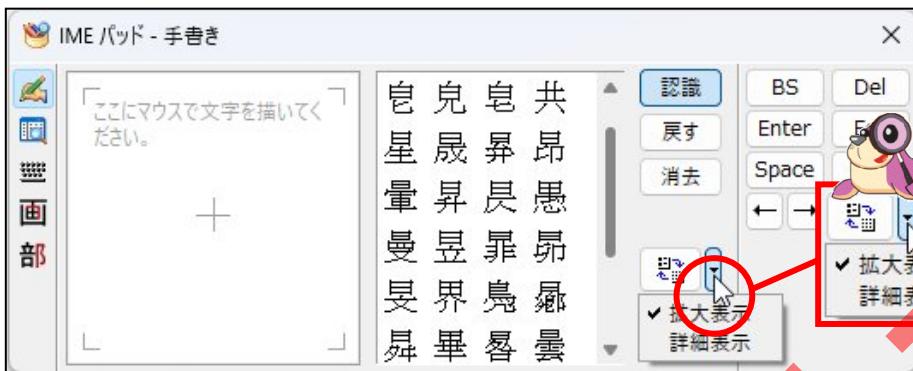


下に漢字の表示がかくれている場合

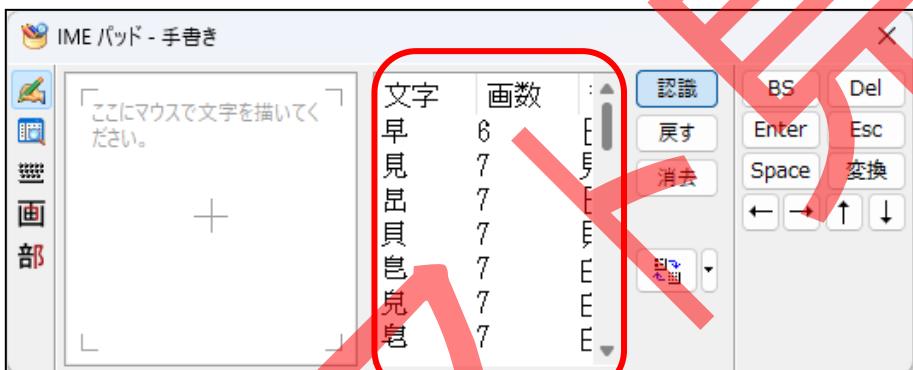


切り替えボタンがある場合は、一覧表示の切り替えをしましょう

- ① [一覧表示の拡大／詳細の切り替え]ボタンの右の▼をクリックし、[詳細表示]をクリックしましょう。



- ② 詳細が表示されたことを確認しましょう。



文字	画数	部首	音読...	音読...	訓読...	訓読...	異体字
早	6	日	セイ	ショウ	ほし	あきらか	暁
見	7	目	イク				
島	7	島	シユ				
貝	7	貝	カツ	ガチ	なんぞ	いづくん	
島	7	島	キョウ				
島	7	島	ボウ	モウ	おかげ	おかげ	冒
冒	8	月	ボウ	モウ	おかげ	おかげ	冒
島	9	島	オン				
島	14	島	コウ	ヒチ	おわる	ことごと	
島	11	島	ヒツ	ケイ	けしき	かけ	
島	12	島	ショウ	キョウ	のぼる	昇	
景	8	月	ベン	メン	かんむり	くろい	黒
昇	11	冂	コク				
黒	11	黑					
島	10	島					
異	11	島	イ				ことなる

ALERT!!

詳細表示は、それぞれ
のアプレットによって、異
なった表示になります。

詳細の部分を拡大する時は、IMEパッドの表示画面を大きくすると
全部が表示されます。

次の操作のために、文字はすべて消して、
IMEパッドを表示している場合は、閉じましょう

HINT!
わからない人は、レッスン
6-(10)を復習しましょう。



レッスン6 (14)

入力の基本について学びましょう

～ファンクションキーで英数字の入力～

英数字(英語・数字)の入力について学びましょう

① 英数字の種類

英数字には、全角英数字と半角英数字の2種類があります。

A

全角英字

A

半角英字

2

全角数字

2

半角数字

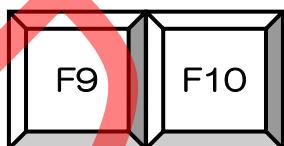
② 英数字の入力方法

英数字は、入力する時に、入力したい英数字をキーボードで、そのまま入力します。それから、文字を確定する [Enter] キーを押す前(文字の下に点線が表示されている時)に、カタカナ入力と同じように、ファンクションキーを押す操作が必要になります。

英数字をそのまま入力

ファンクションキー

エンター
Enterキー

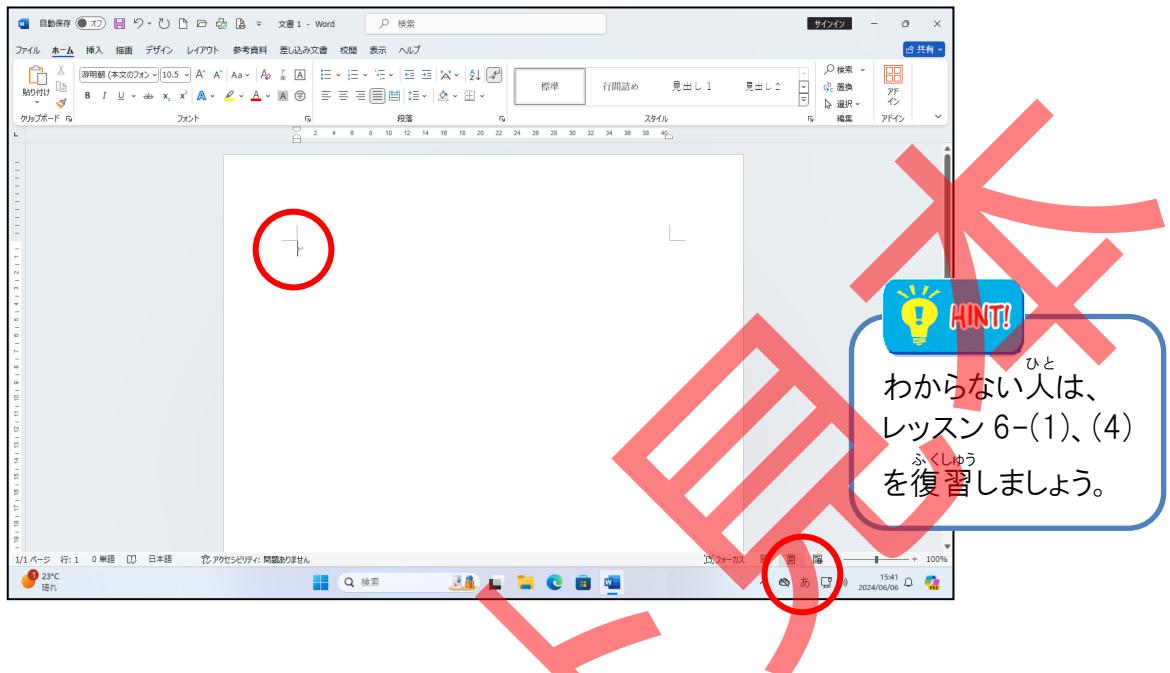


[F9] キー …… 文字を全角英数字に変換します。
[F10] キー …… 文字を半角英数字に変換します。

キーボードの表示
(パソコンによって、ちがう場合があります)

えいじ にゅうりょくそうさ
英字の入力操作をしてみましょう

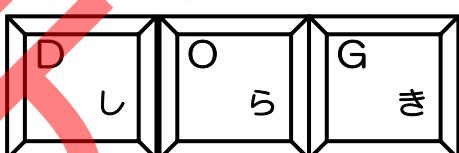
① にゅうりょく
入力モードとカーソルの位置を確認しましょう



② ディーオージー「DOG」とキーボードで入力しましょう

D O G
読み：「ドッグ」
日本語訳：「犬」

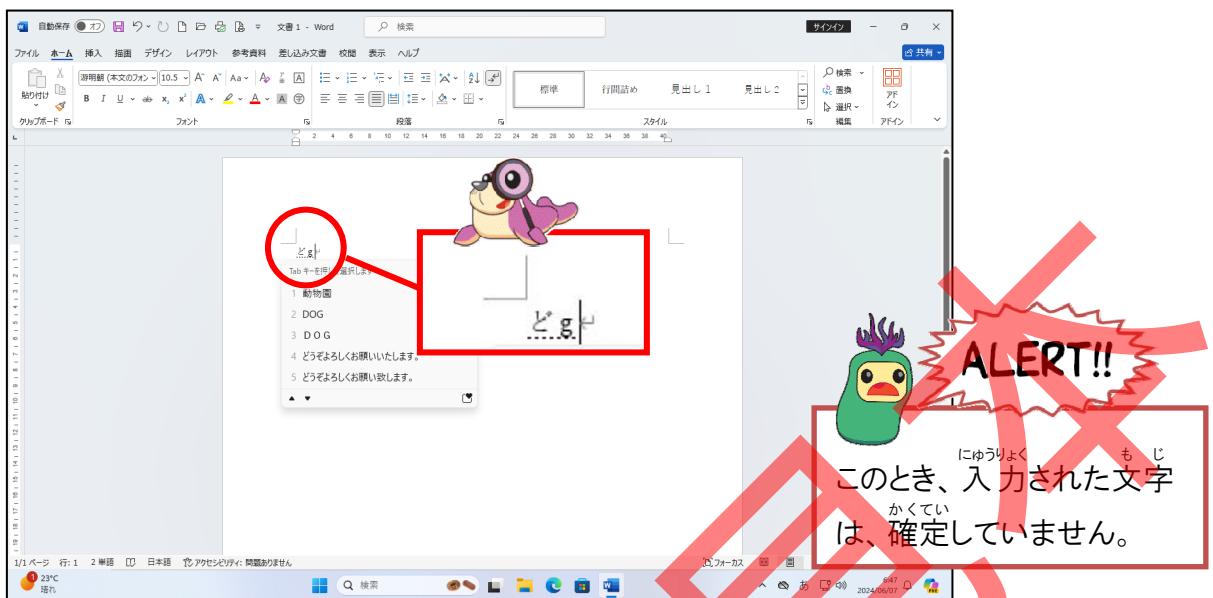
キーボードの表示
(パソコンによってちがう場合があります)



ALERT!!
にゅうりょく
キーボードで入力していくと、
えいじ ひょうじ
英字とかなで表示されますが、
きにしないで、入力しましょう。
※ここでは「D O G」と表示されません。

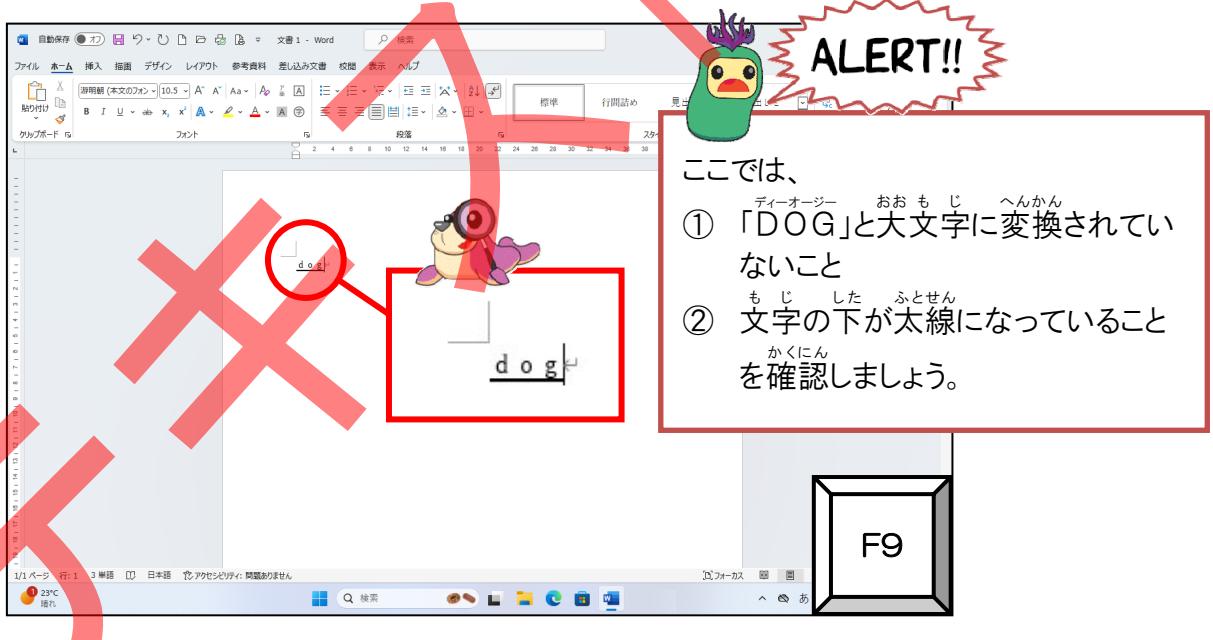
③

②の文字を入力中は、**文字の下が点線**になっていることを確認しましょう



④

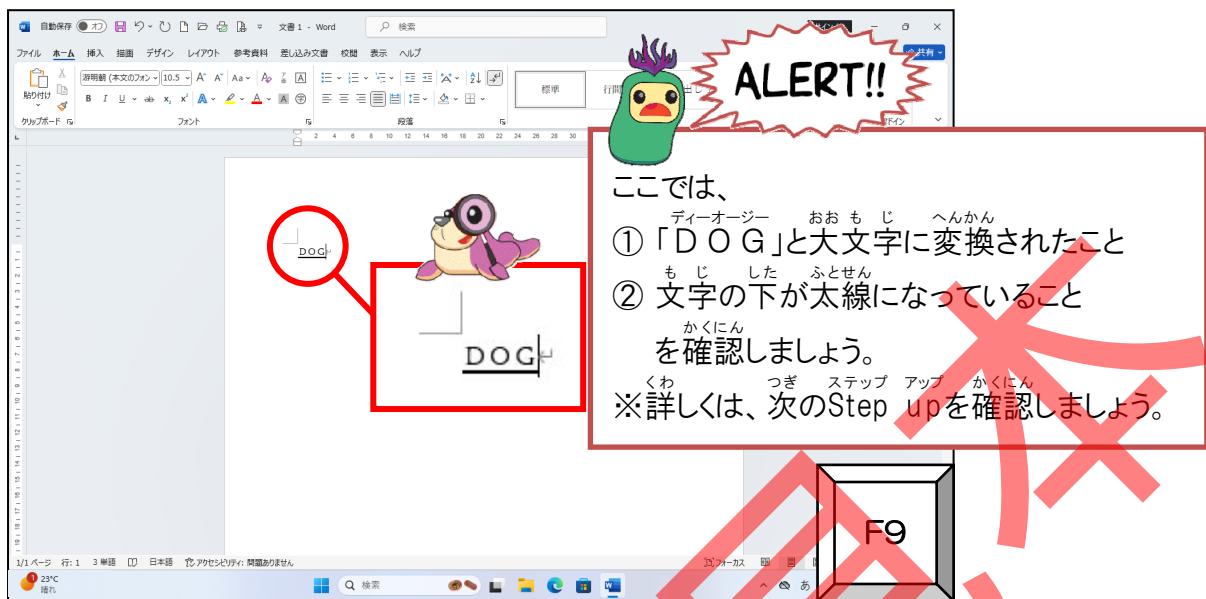
[F9]キーを押して、全角英字にしましょう



半角英字を入力したい場合は、ここで[F10]を押しましょう。

5

ディーオージー おおもじ にゅうりょく
 「D O G」と大文字で入力するために、もう一度[F9]キーを押しましょう

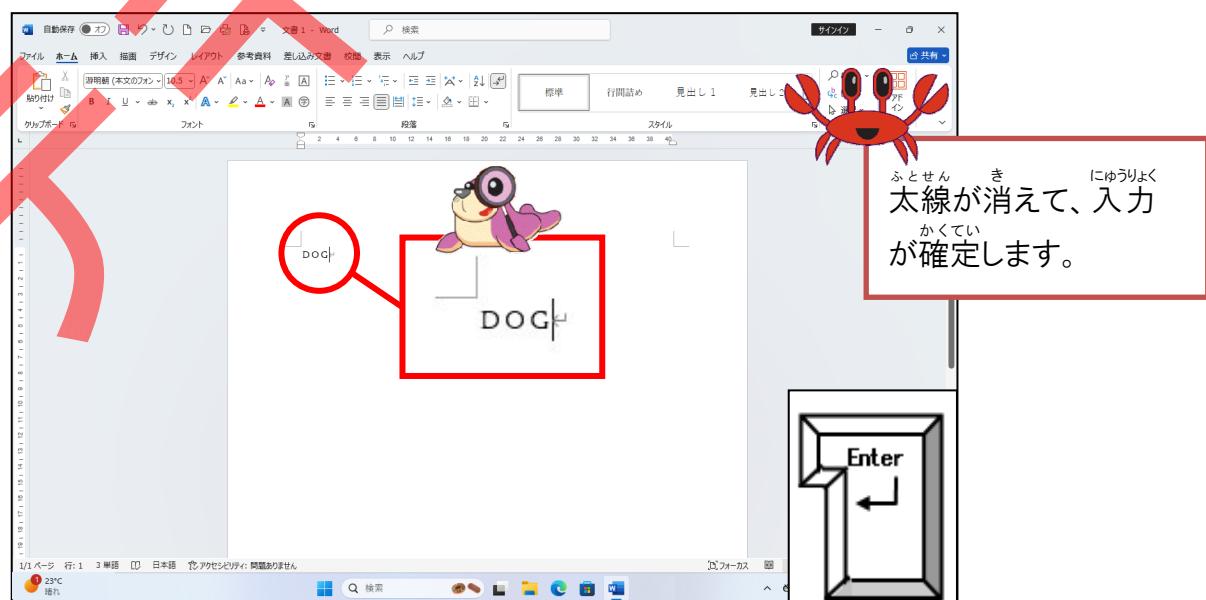


Step up

[F9] [F10]キーをそれぞれ続けて押すと、全部大文字の英字・1文字目が大文字に変換されていきます。
 <例:[F9]キーで変換していくと…>
 1回押す…a b c 2回押す…ABC 3回押す…A b c 4回押す…a b c

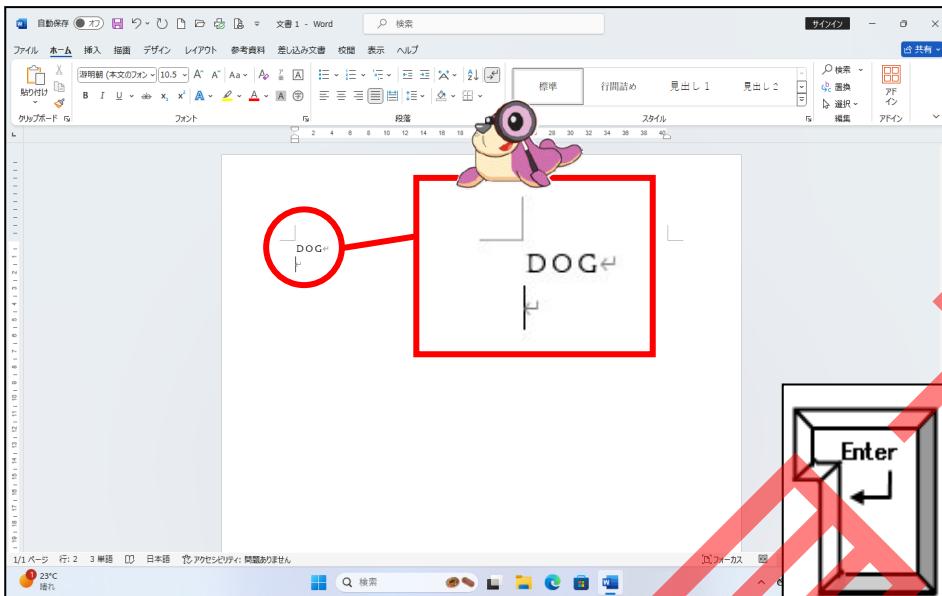
6

エンター [Enter]キーを押しましょう



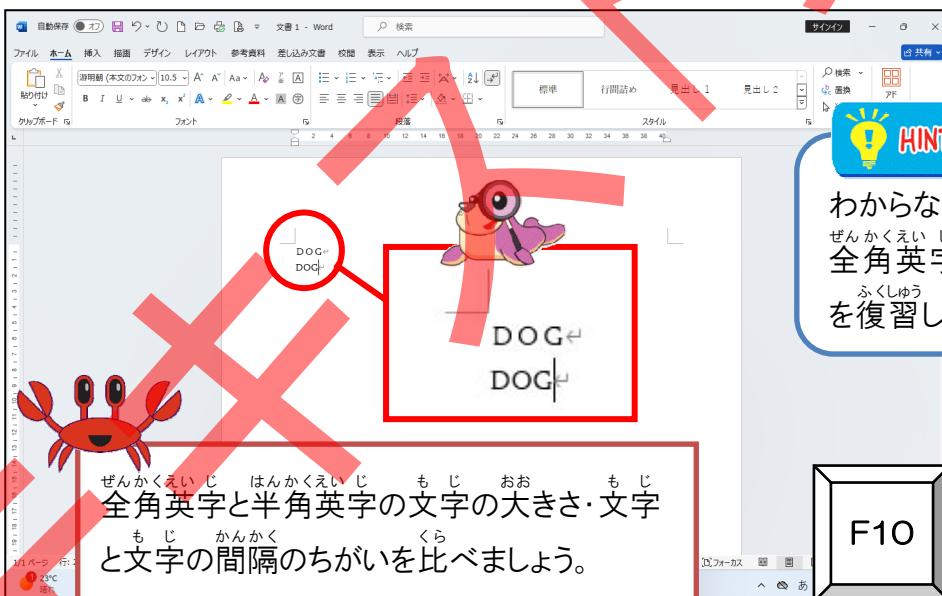
1

きょうめいどう エンター おかいぎょう
2行目にカーソルを移動させるために、[Enter]キーを押して改行しましょう



8

ディーオージー エフ つか はんかくえいじ にゅうりょく
「DOG」を[F10]キーを使って、半角英字で入力しましょう



つか えいじ にゅうりょく ほうほう
<ファンクションキーを使わずに英字入力をする方法>

① 入力モード
にゅうりょく

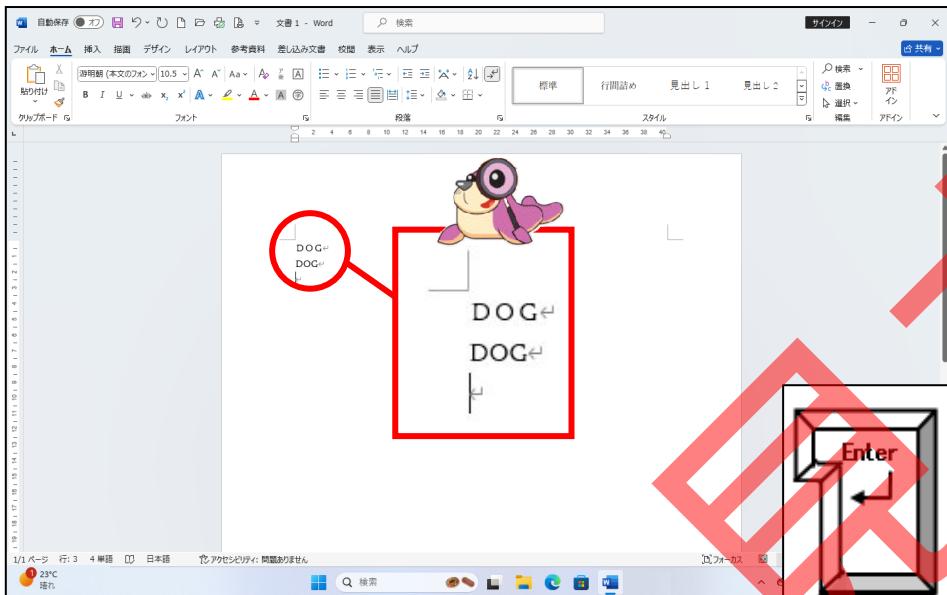
ぜんかくえいすうじ はんかくえいすうじ きか にゅうりょく
「全角英数字」「半角英数字」に切り替えて入力しましょう。

② [半角／全角]キーを押して、「半角英数字」を切り替えましょう。

すうじ にゅうりょくそうさ 数字の入力操作をしてみましょう

1

きょうめい いどう エンター お かいぎょう
3行目にカーソルを移動させるために、[Enter]キーを押して改行しましょう



2

にゅうりょく
「257」とキーボードで入力しましょう

2 5 7



せんかくすうじ にゅうりょく
全角数字で入力されています。

ひょうじ
キーボードの表示
(パソコンによってちがう場合があります)



ちょくせつにゅうりょく
<キーボードで直接入力をする場合>

じょうぶ なら すうじ すうじ にゅうりょく
① キーボードの上部に並んだ数字キーで数字を入力

すうじ にゅうりょく
② テンキーで数字を入力

せんかくにゅうりょく
全角入力

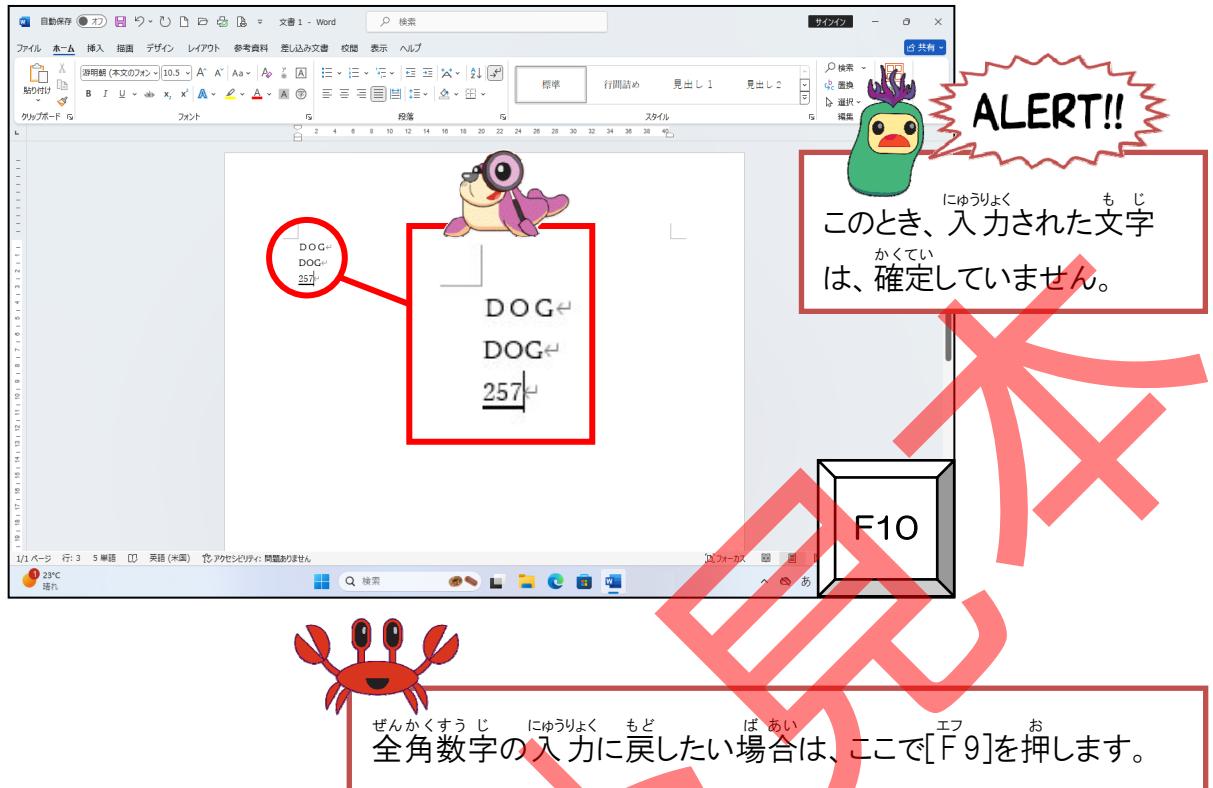
はんかくにゅうりょく
半角入力



テンキーはここ
(ノートパソコンによっては、ないものもある)

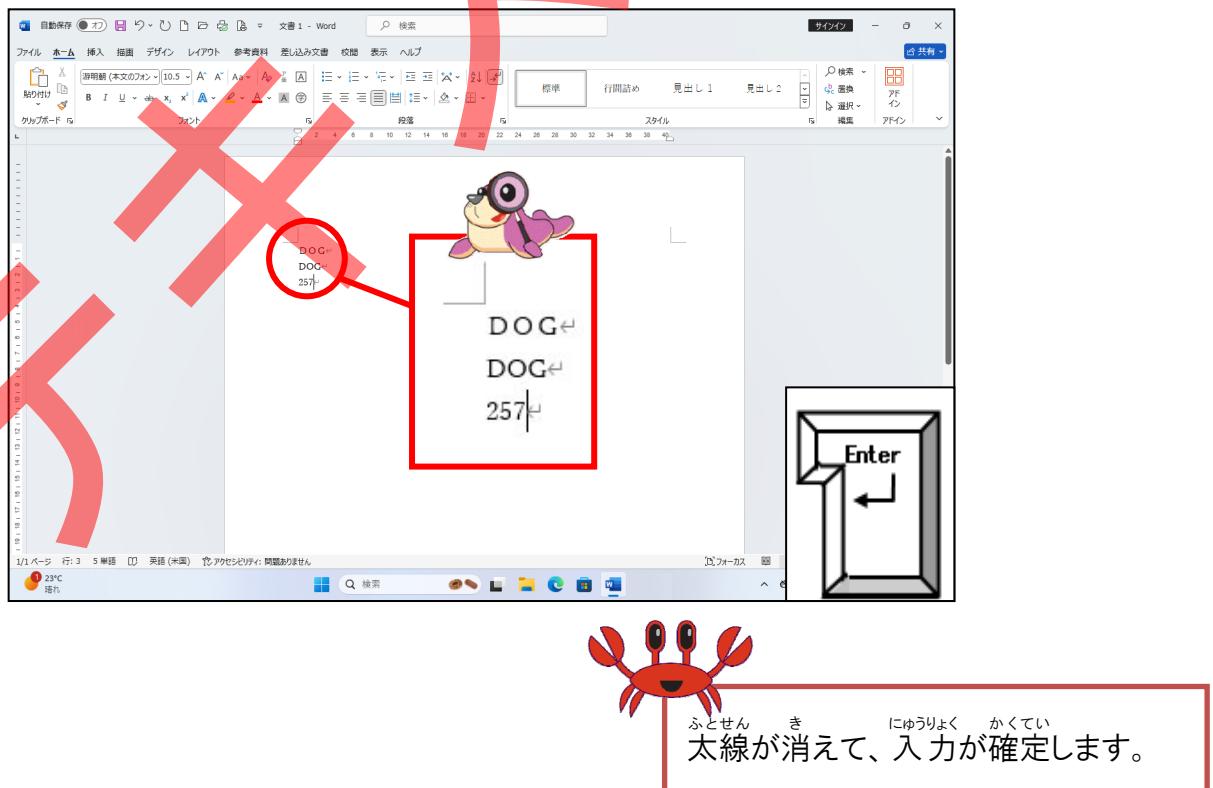
③

エフ [F10]キーを押して、半角数字にしましょう



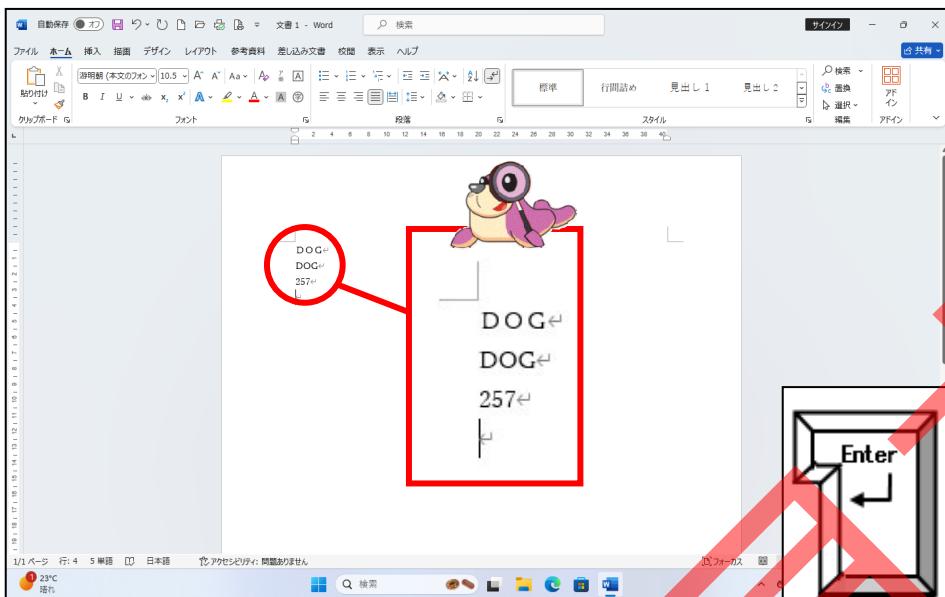
④

エンター [Enter]キーを押しましょう



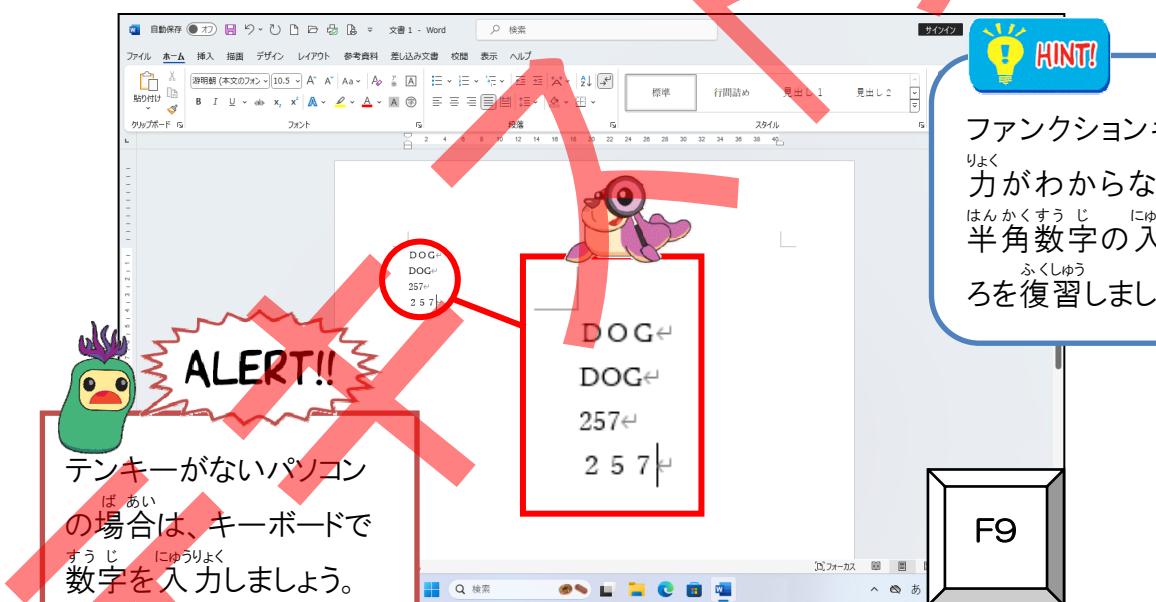
5

4 行目にカーソルを移動させるために、[Enter]キーを押して改行しましょう



6

「257」とテシキーで入力して、[F9]キーを押して、全角数字で入力しましょう



全角数字と半角数字の文字の大きさ、文字と文字の間隔のちがいを比べましょう。

次の操作のために、文字はすべて消しておきましょう

ファンクションキーの入力がわからない人は、半角数字の入力のところを復習しましょう。



わからない人は、レッスン 6-(10)を復習しましょう。



レッスン6 (15)

入力の基本について学びましょう

～記号や特別な文字の入力～

記号について学びましょう

記号は、特殊文字(特別な文字)を使って入力します。入力方法は、2つあります。

① キーボードで「きごう」と入力し、漢字変換と同じように変換キーを押して、記号を選択する方法です。

② キーボードで読みを入力し、漢字変換と同じように変換キーを押して、記号を入力する方法です。例えば、「〒」という記号を入力したい場合は、キーボードで「ゆうひん」と読みを入力します。

記号の入力は、「ひらがな入力」と同じで、文字を確定する[Enter]キーを押す前(文字の下に点線が表示されている時)に、変換キーを押す操作が必要になります。(読みの場合は、読み方がわからないと入力できません。)

ひらがな入力と同じ

変換キー

Enterキー



キーボードの表示
(パソコンによって、ちがう場合があります)



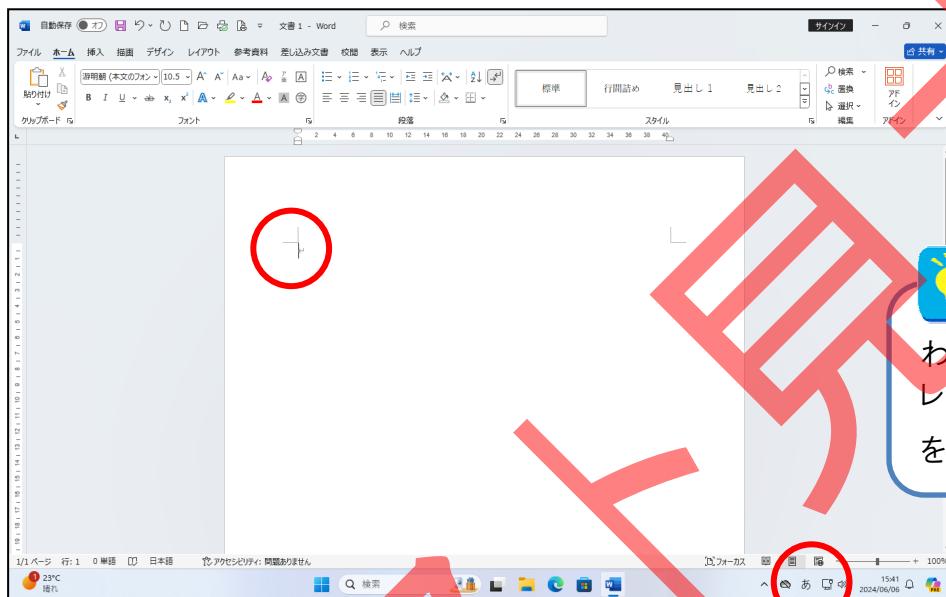
漢字の変換入力と同じ操作であることを確認しましょう。

例：「**〒**」を入力するための2つの方法

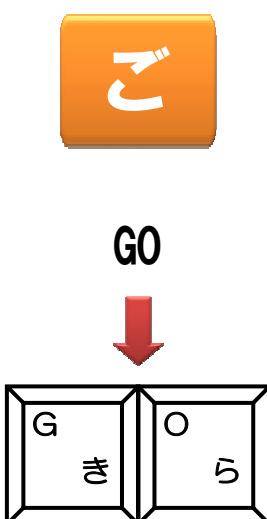
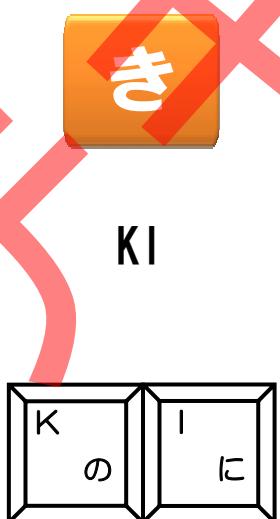
① 「きごう」と入力して、「**〒**」に変換しましょう。

操作をしてみましょう

1 入力モードとカーソルの位置を確認しましょう



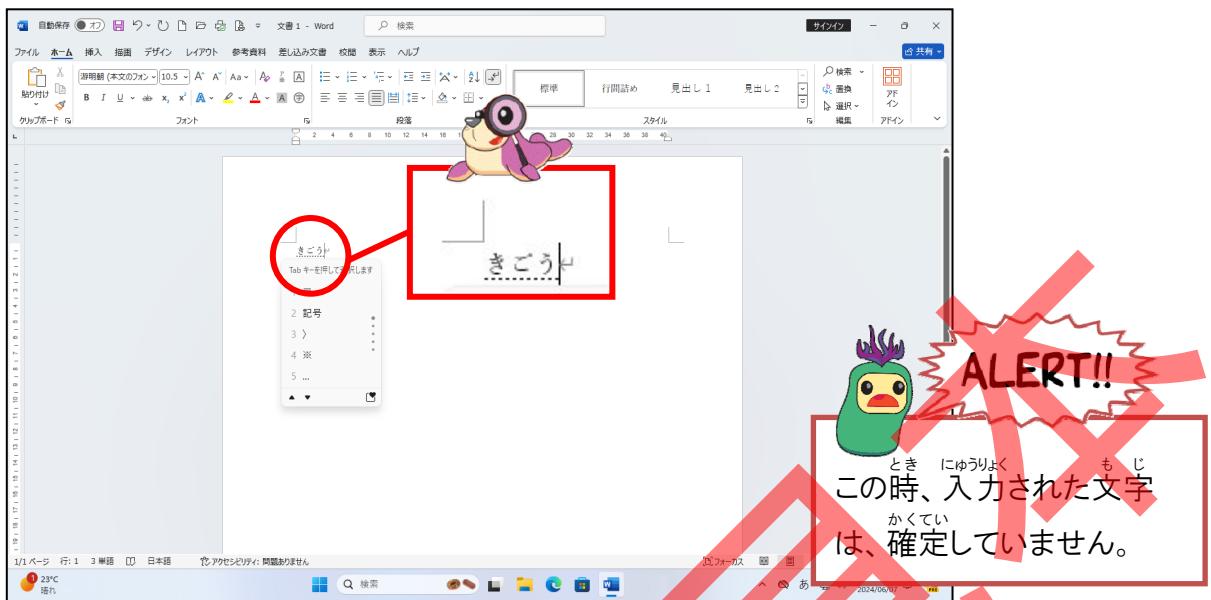
2 「きごう」とキーボードで入力しましょう



キーボードの表示
(パソコンによってちがう場合があります)

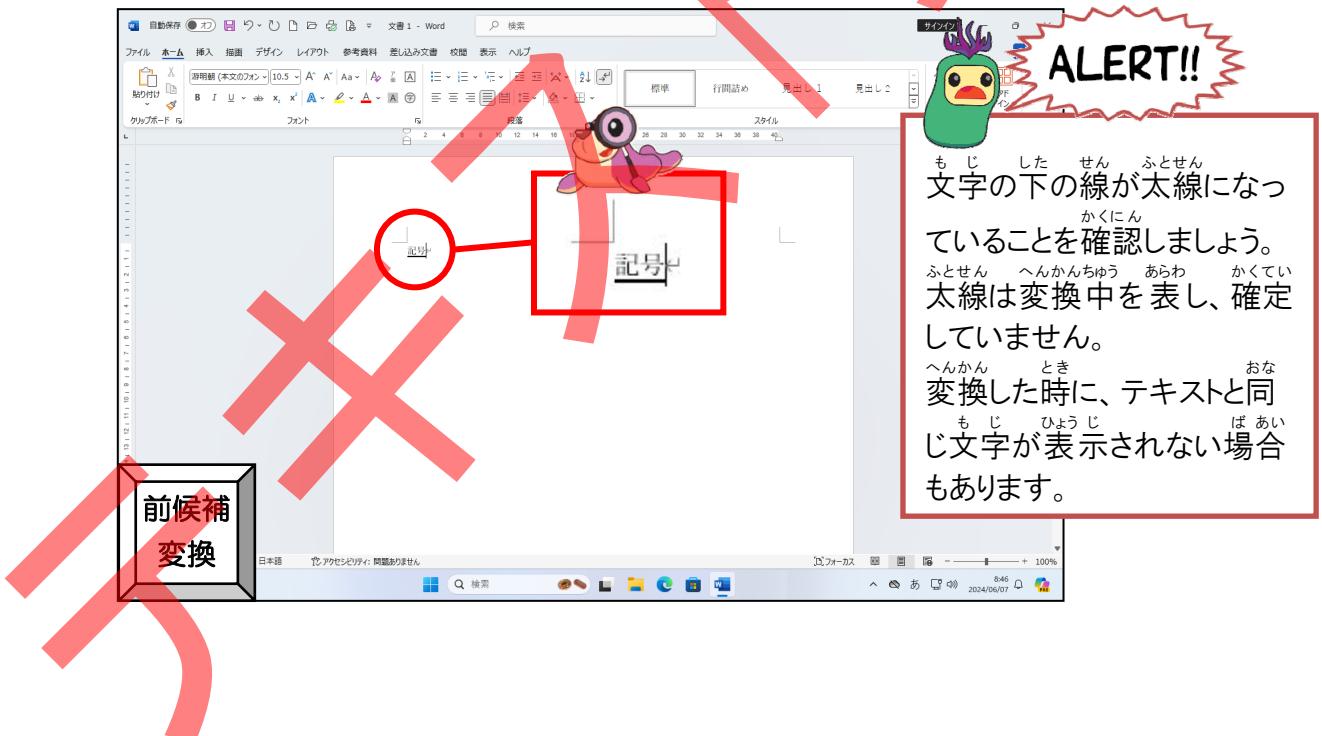
③

もじにゅうりょくちゅう
②の文字を入力中は、**文字の下が点線**になっていることを確認しましょう



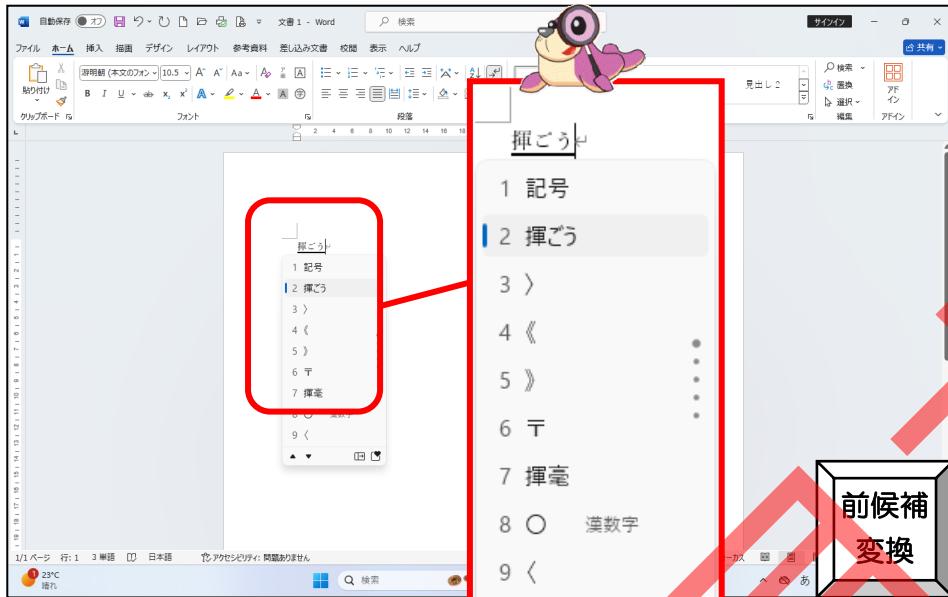
④

へんかんお
[変換]キーを押しましょう



5

こうほいちらん ひょうじ
候補一覧を表示させるために、もう一度[変換]キーを押しましょう



こうほいちらん ゆうびん
この候補一覧で「フ」

ひょうじ ぱあい
表示されなかつた場合

ひょうじ ぱあい
表示された場合

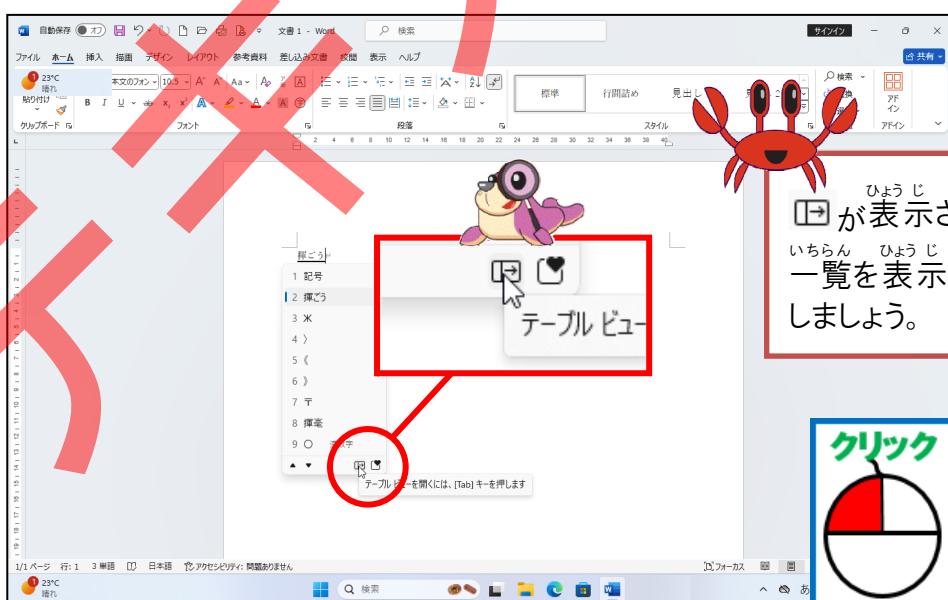
そのまま⑥の操作に進みましょう。

⑥の操作をしないで、⑧の操作に進みましょう。

前候補
変換

6

いちらん ひょうじ
一覧に表示されていない場合は、□にポイントし、そのままクリックしましょう

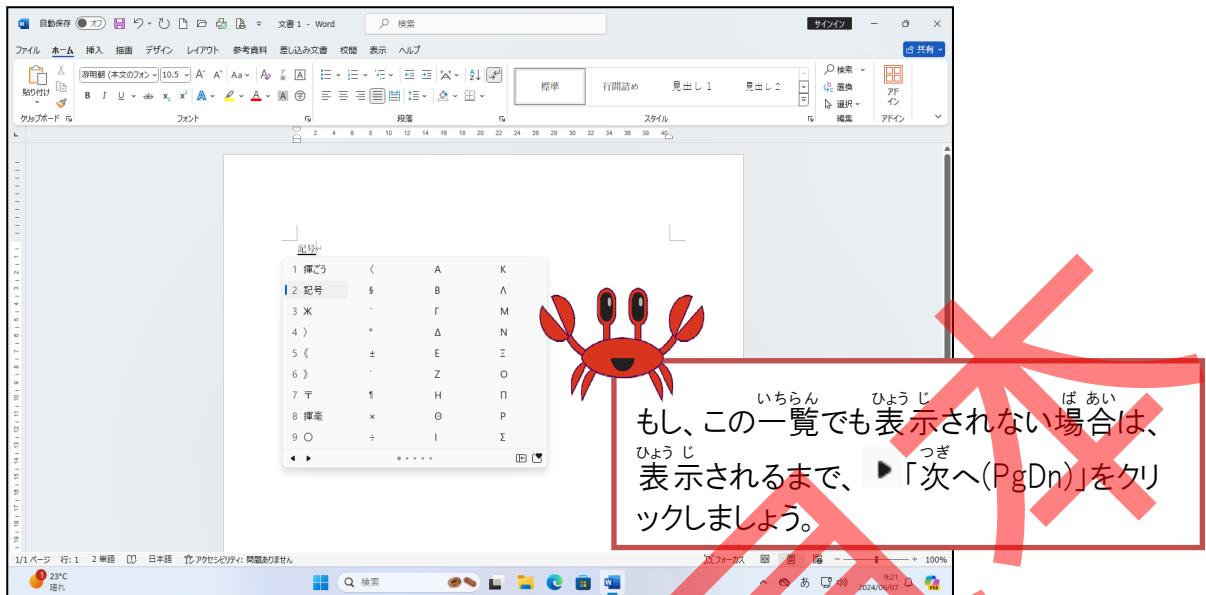


ひょうじ とき いちど
□が表示された時は、一度に
いちらん ひょうじ
一覧を表示できるので、クリック
しましょう。



1

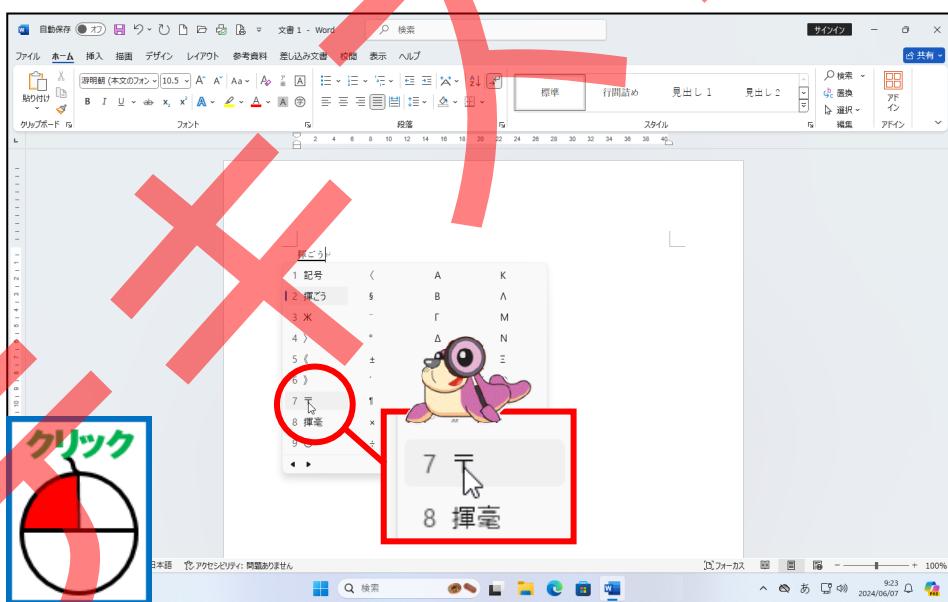
きごう いちらん ひょうじ かくにん
記号の一覧が表示されたことを確認しましょう



□ をクリックしないで、一覧を表示する方法 . . . [Tab]キーを押します。

8

いちらん なか ゆうびん
一覧の中から「〒」にポイントし、そのままクリックしましょう



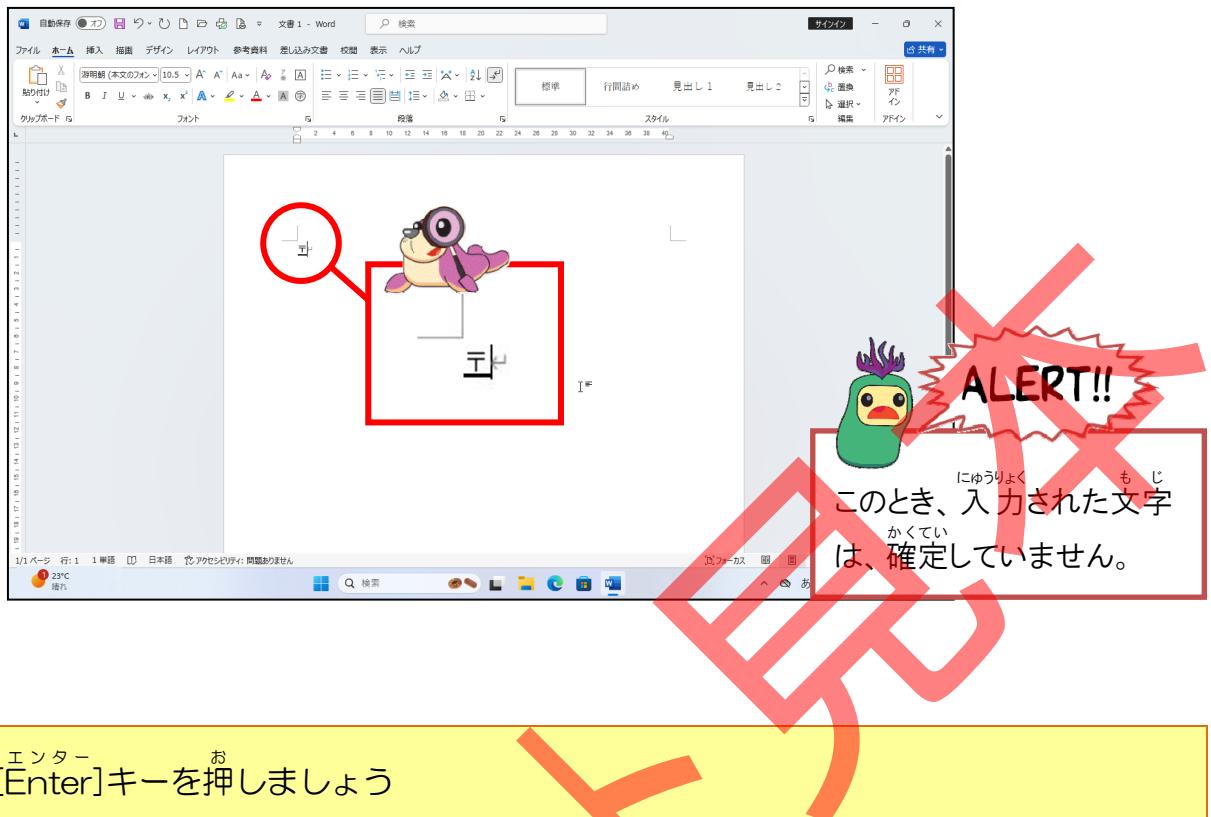
こんなときどうするの？

いちらんひょうじ もと もど とき
<一覧表示を元に戻したい時>

- ① □をクリックしましょう。
- ② [Tab]キーをもう一度、押しましょう。

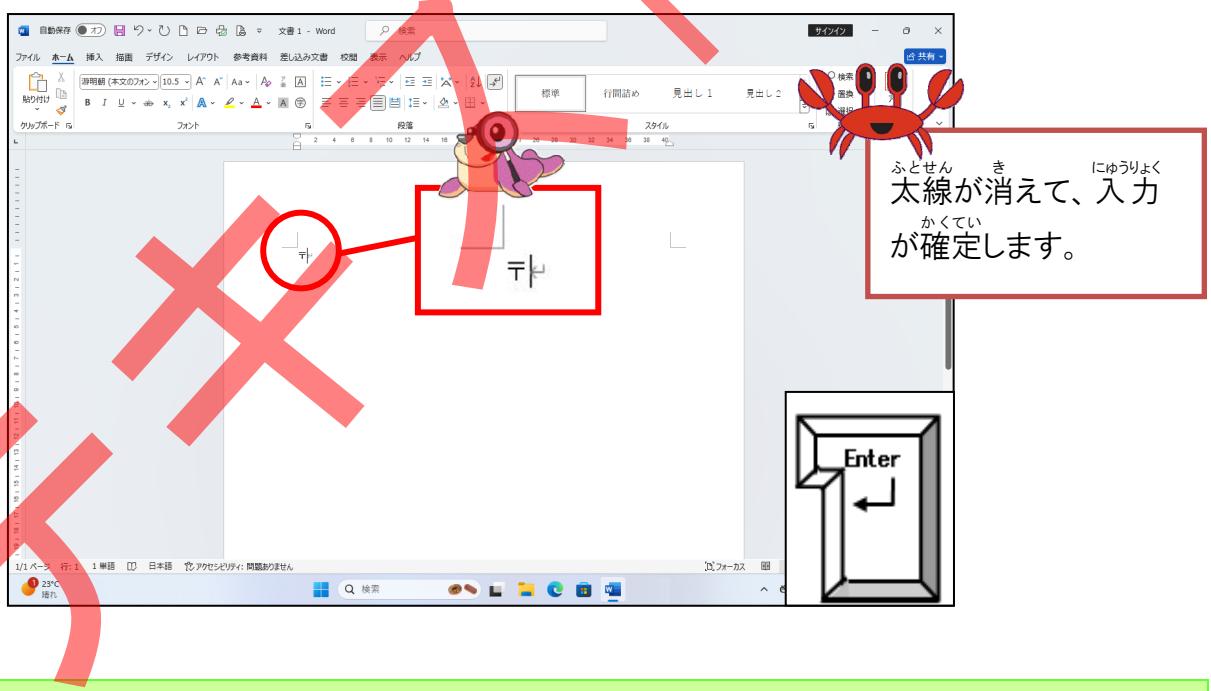
9

ゆうびん へんかん
「𠂔」が変換されたことを確認しましょう



10

エンター [Enter] キーを押しましょう



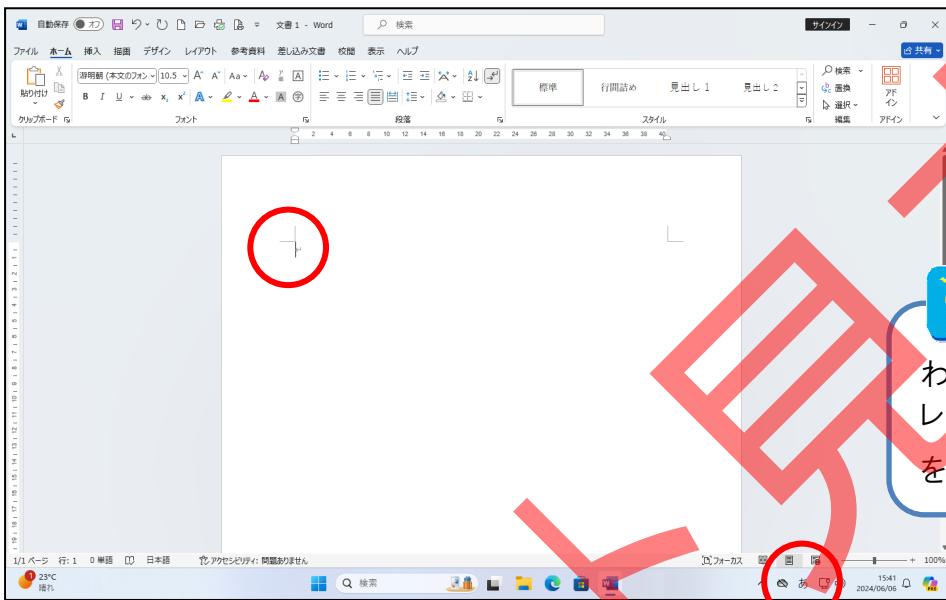
つぎ そうさ 次の操作のために、文字は消しておきましょう

② 「ゆうびん」と読みを入力して、「〒」に変換しましょう。

操作をしてみましょう

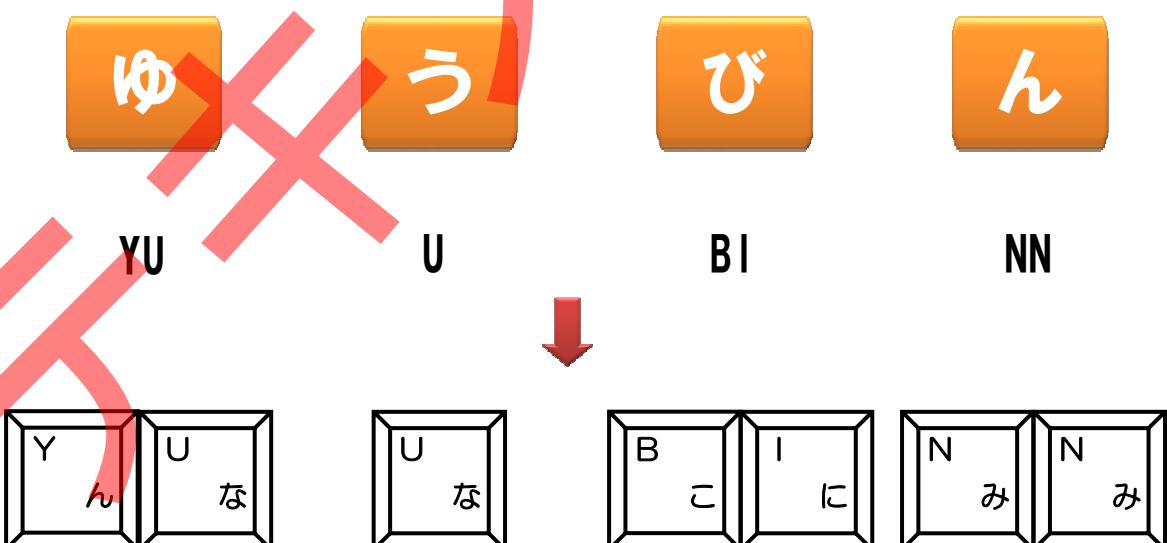
1

入力モードとカーソルの位置を確認しましょう



2

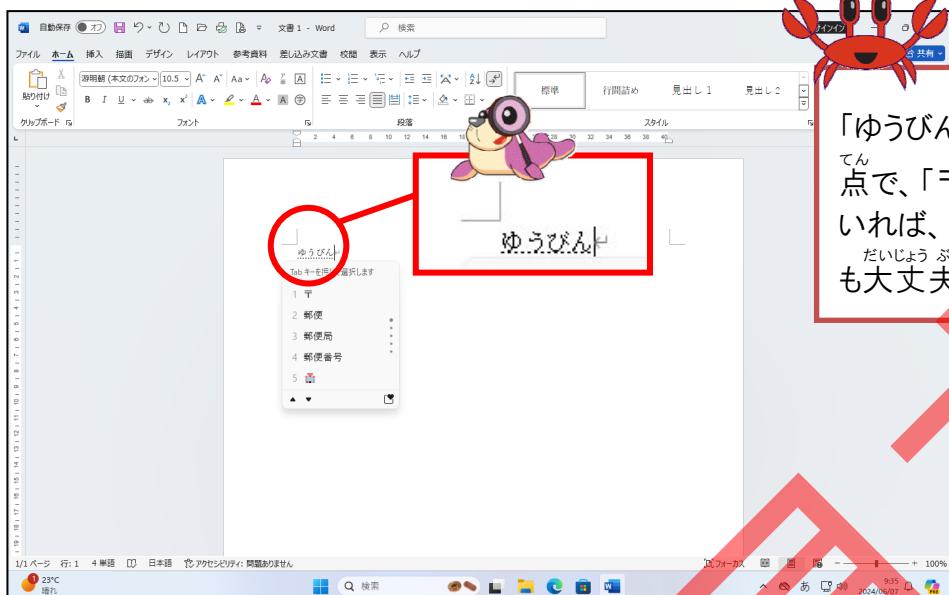
「ゆうびん」とキーボードで入力しましょう



キーボードの表示
(パソコンによってちがう場合があります)

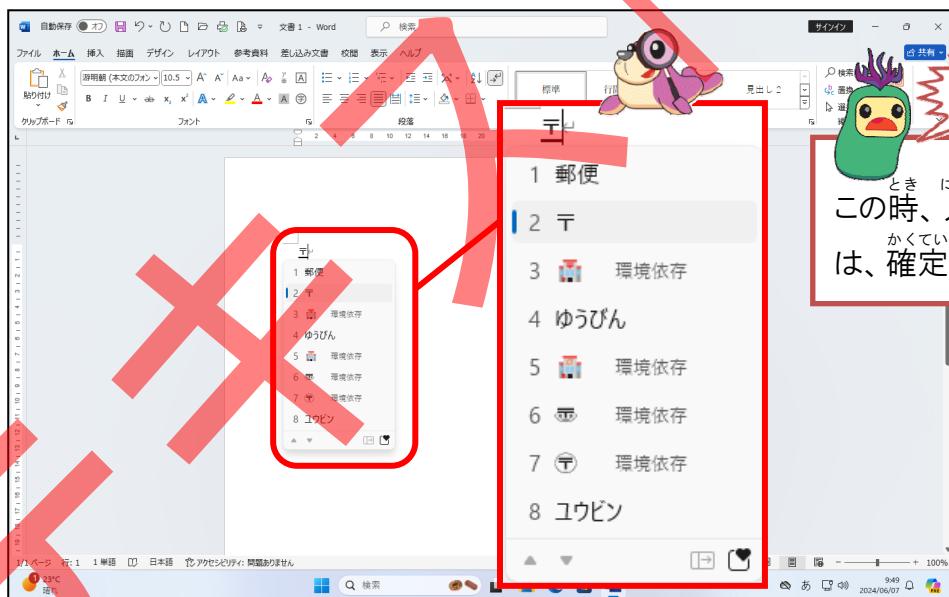
③

もじ にゅうりょくちゅう もじ した てんせん かくにん
 ②の文字を入力中は、**文字の下が点線**になっていることを確認しましょう



⑤

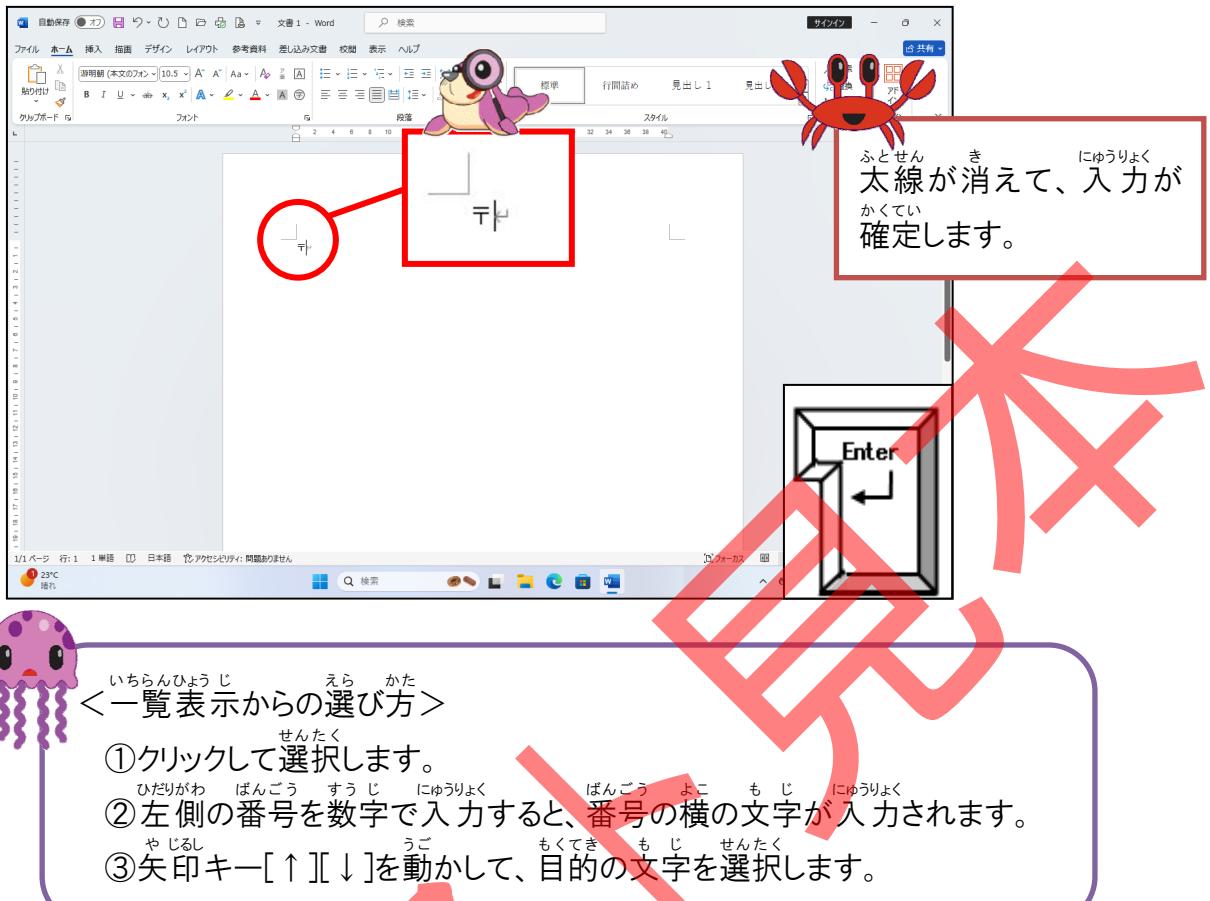
いちらんひょう じ ゆうびん せんたく
 一覧表示から「〒」を選択しましょう



一覧に表示されない場合は、変換キーもしくは矢印キーで探ししましょう。

6

エンター [Enter] キーを押しましょう



つぎ
次の操作のために、文字は消しておきましょう

つか
よく使う記号をみてみましょう

よ 読 み	にゅう りょく で き る 記 号
かっこ	○ □ [] {} ◇ 《》「」『』〔〕
きごう	± × ÷ ≦ ≧ ~ // ✗
たんい	°C ¥ \$ ¢ ₩ % ツ ミリ ドル キロ mm km m² mg
けいさん	+ - × ÷ = ≠ < > ≦ ≧
ずけい	☆ ★ ○ ● ○
おなじ	＼ バタバタ // タ
まる	○ ● ○ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭
やじるし	↑ ↓ ← → ⇔ ⇒
ほし	☆ ★ ※
でんわ	TEL ☎
るーと	√
むげんだい	∞
おんぶ	♪
ゆうびん	〒
から	～



レッスン6 (16)

入力の基本について学びましょう

シフト キーを押しながら、文字入力～

Shiftキーについて学びましょう



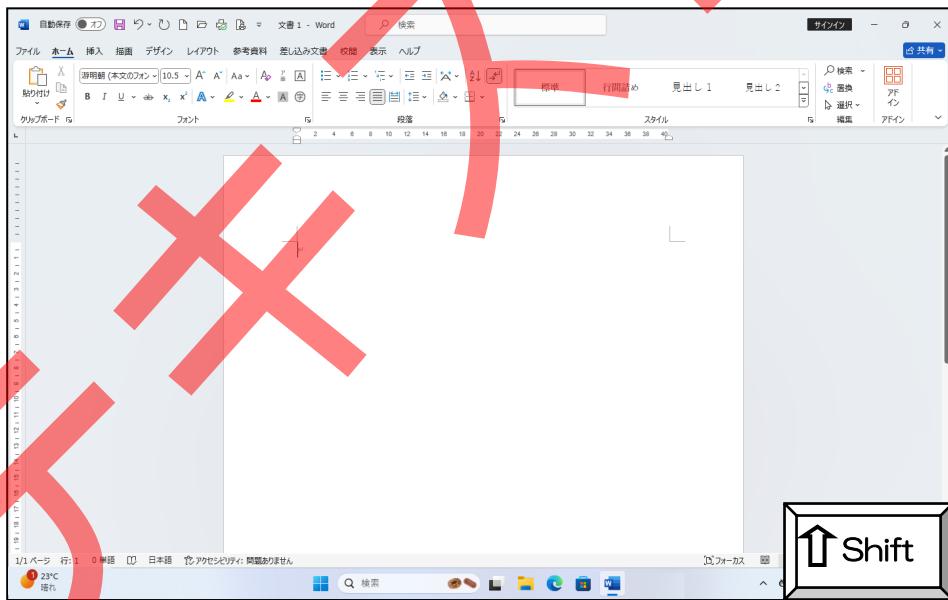
Shiftキーとは？

アルファベットの大文字／小文字などを切り替える時に使います。
このキーを押しながら、アルファベットキーを押すと、大文字のアルファベットが入力されます。数字や記号のキーの場合は、キーボードの上の記号が入力されます。

操作をしてみましょう

1

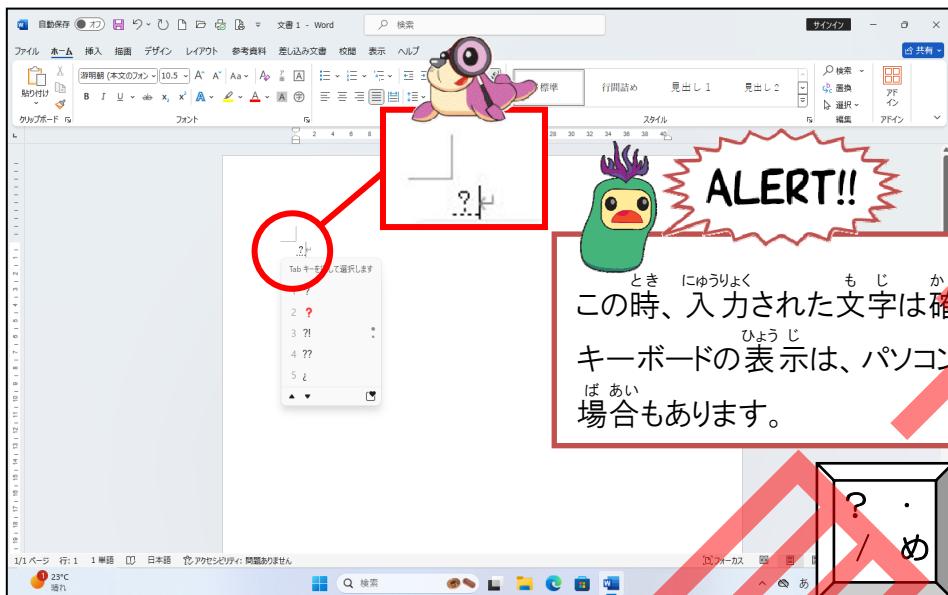
Shiftキーを押しましょう



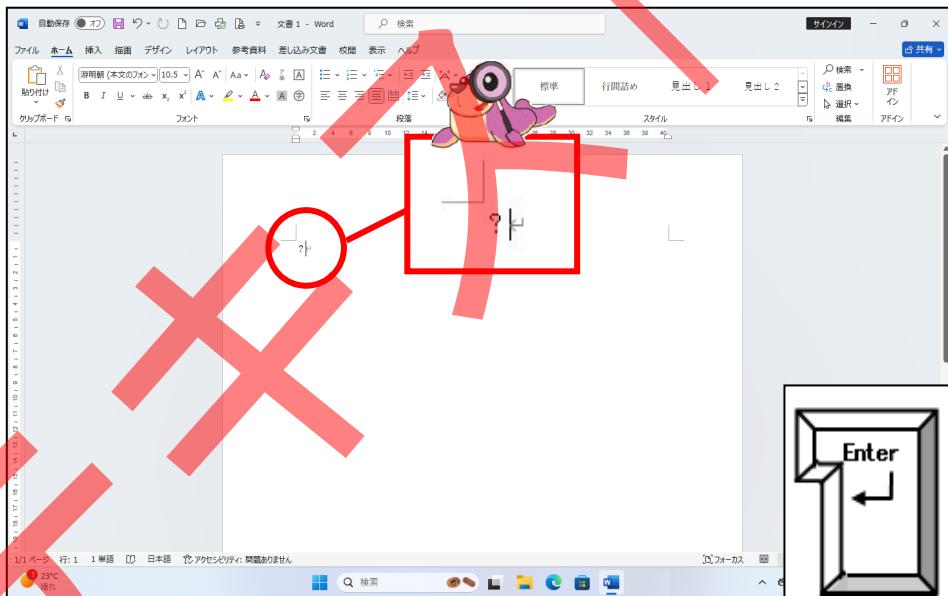
Shiftキーをはなさず、押したままの状態にしておきましょう。

2

にゅうりょく クエスチョンマーク「?」を入力しましょう



3 エンター [Enter]キーを押しましょう



つぎ そうさ もじ け
次の操作のために、文字は消しておきましょう

シフト お にゅうりょく もじ
Shiftキーを押しながら、入力する文字をみてみましょう

入力文字	読み	入力キー	入力文字	読み	入力キー
"	二重引用符 (はじめ)	" 2 ふ	#	シャープ	# あ 3 あ
\$	ドル	\$ う 4 う	%	パーセント	% え 5 え
&	アンド	& お 6 お	,	アポストロフィ	, や 7 や
(かっこ (はじめ)	(ゆ 8 ゆ)	かっこ (おわり)) ょ 9 ょ
<	かっこ (はじめ)	<, ネ	>	かっこ (おわり)	>. る
~	から	~ へ	=	イコール	= - ほ
!	エクスクラメーションマーク				! 1 む

※キーボードの表示は、パソコンによってちがう場合があります。

れんしゅうもんだい
ここで、レッスン6の練習問題をしましょう。  



レッスン7 (1)

にゅうりょく おうよう まな 入力の応用を学びましょう とくしゅ へんかん き のう つか にゅうりょく ～特殊な変換機能を使って入力しましょう～

へんかん き のう まな 変換機能について学びましょう

よ にゅうりょく にほんご へんかん ふつう へんかんほうほう いがい
読みを入力して、日本語に変換する普通の変換方法以外に、いくつか特殊な変換方法が
あります。

① 住所を郵便番号から入力

じゅうしょ ゆうびんばんごう にゅうりょく
じゅうしょ にゅうりょく ゆうびんばんごう にゅうりょく
住所を入力せずに、郵便番号を入力し、[変換]キーを押した後、候補一覧に住所
が表示されます。

② 顔文字を入力

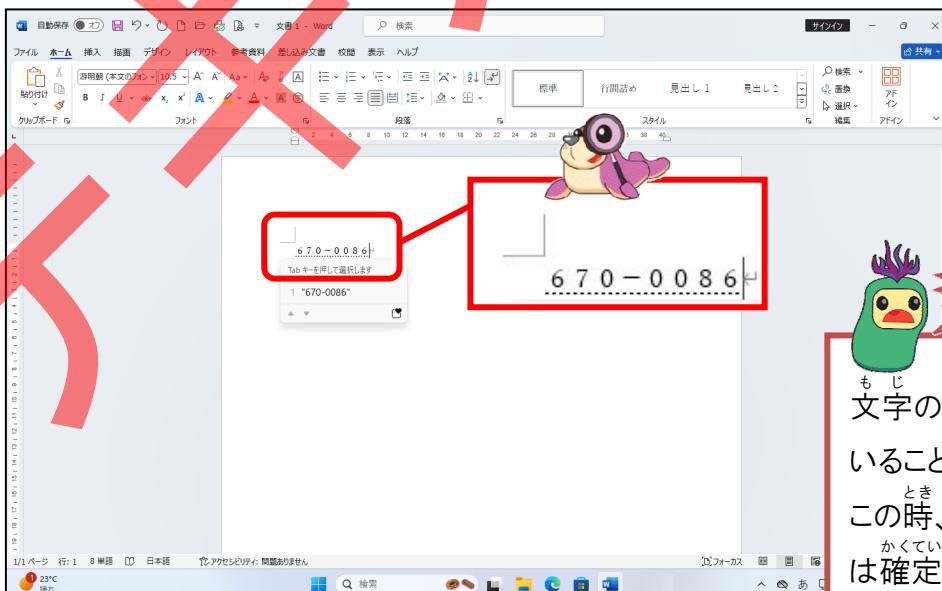
かお もじ にゅうりょく
「かお」、または「かおもじ」と読みを入力すると、候補一覧に「顔文字」の辞書が表
示されます。

① 郵便番号から住所を入力してみましょう

そ さ 操作をしてみましょう

1

「670-0086」を入力しましょう

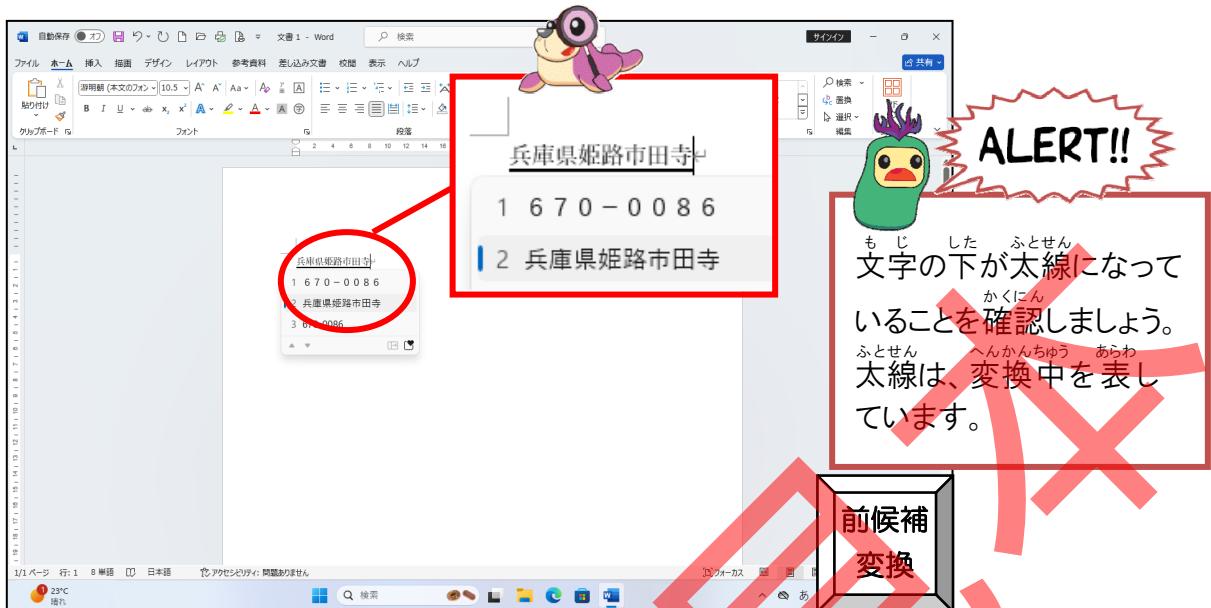


もじ した てんせん
文字の下が点線になって
いることを確認しましょう。
この時、入力された文字
は確定していません。

ALERT!!

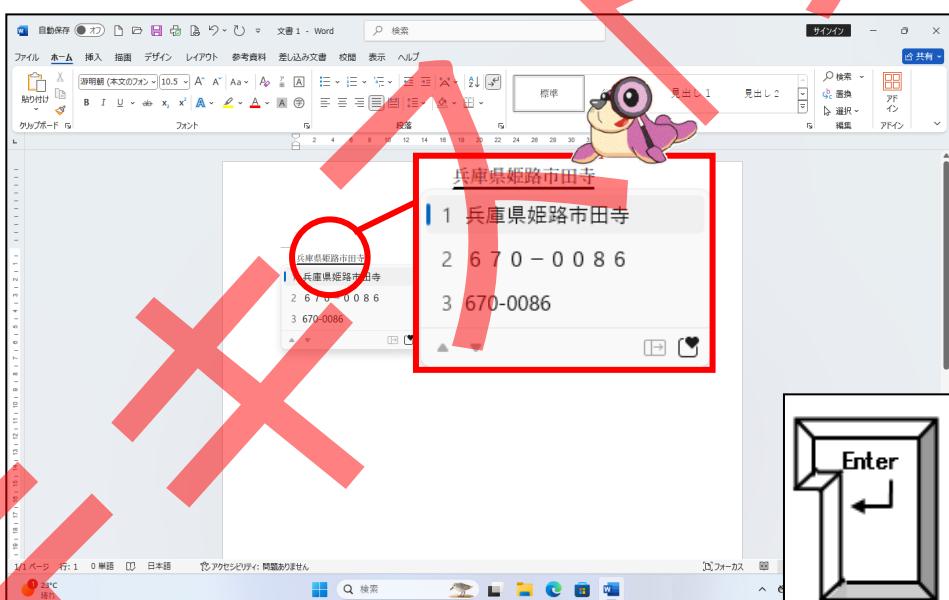
2

こうほいちらんひょうじ
候補一覧が表示されるまで、[変換]キーを押しましょう



3

ここで「兵庫県姫路市田寺」が表示されている場合は Enter キーを押しましょう



「兵庫県姫路市田寺」が表示されない場合は、住所にポイントしクリックし、住所が表示されたことを確認して Enter キーを押しましょう。

つぎ そうさ 次の操作のために、文字はすべて消しておきましょう



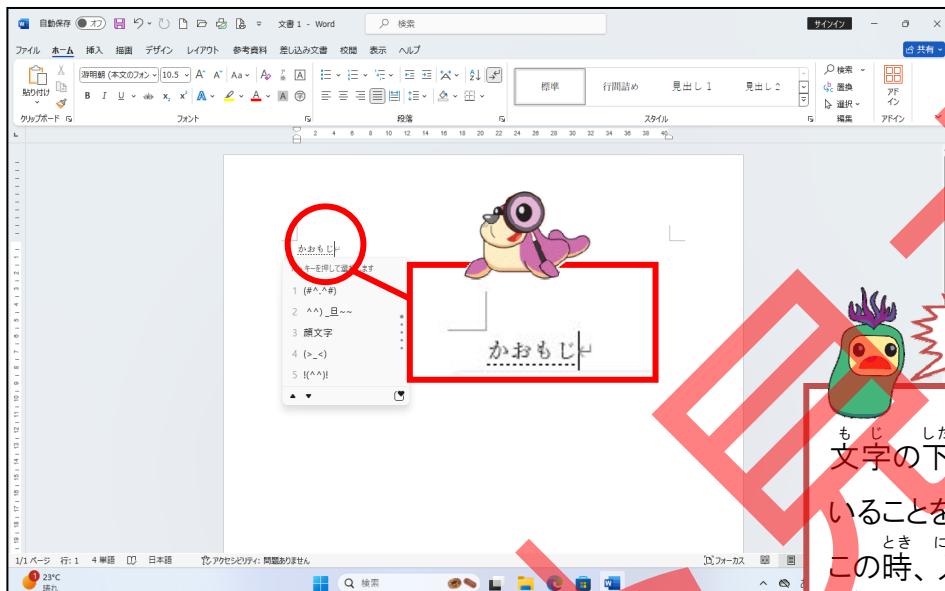
ひと
わからない人は、レッスン
ふくしゅう
6-(10)を復習しましょう。

かお もじ にゅうりょく
② 顔文字を入力してみましょう

そろそろ
操作をしてみましょう

1

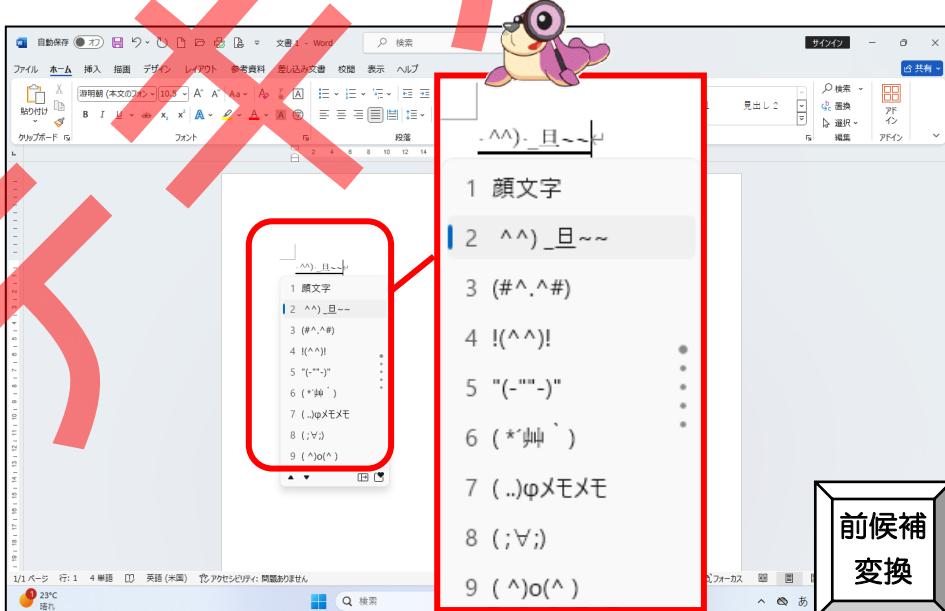
KA O MO JI にゅうりょく
「か お も ジ」と入力しましょう



もし した てんせん
文字の下が点線になって
いることを確認しましょう。
この時、入力された文字は
確定していません。

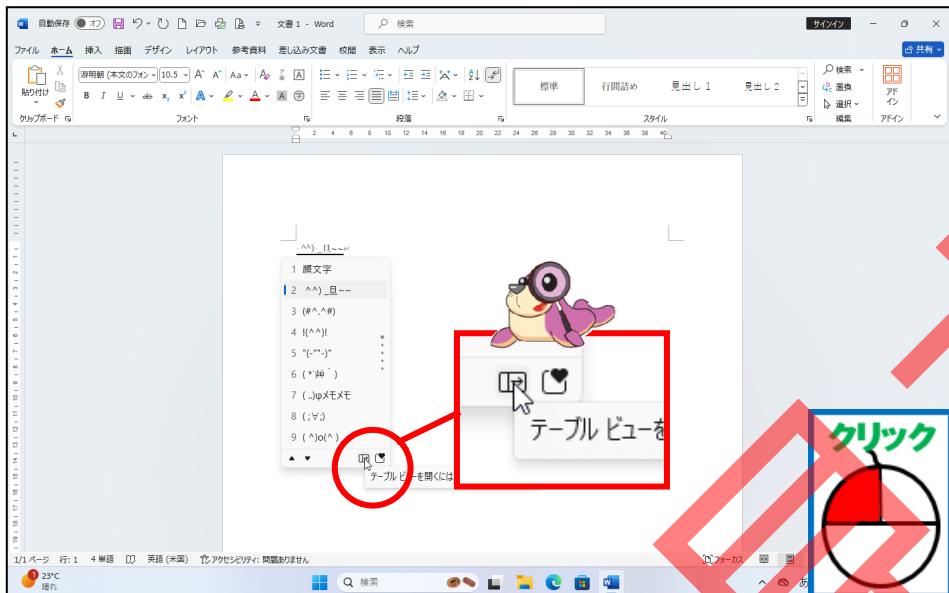
2

よそくこうほいちらんすずかおもししさが
予測候補一覧から好きな顔文字を探しましょう



3

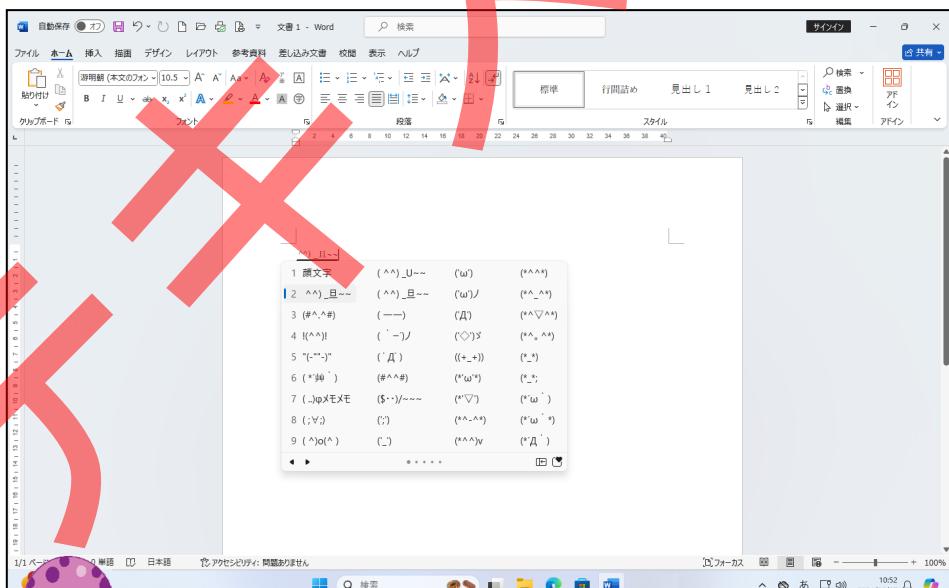
こうほいちらん ばあい 候補一覧にない場合は、□にポイントしそのままクリックしましょう



□をクリックしないで、一覧を表示する方法・・・[Tab]キーを押します。

4

かおもじ ひょうじ かくにん 「顔文字」がたくさん表示されることを確認しましょう

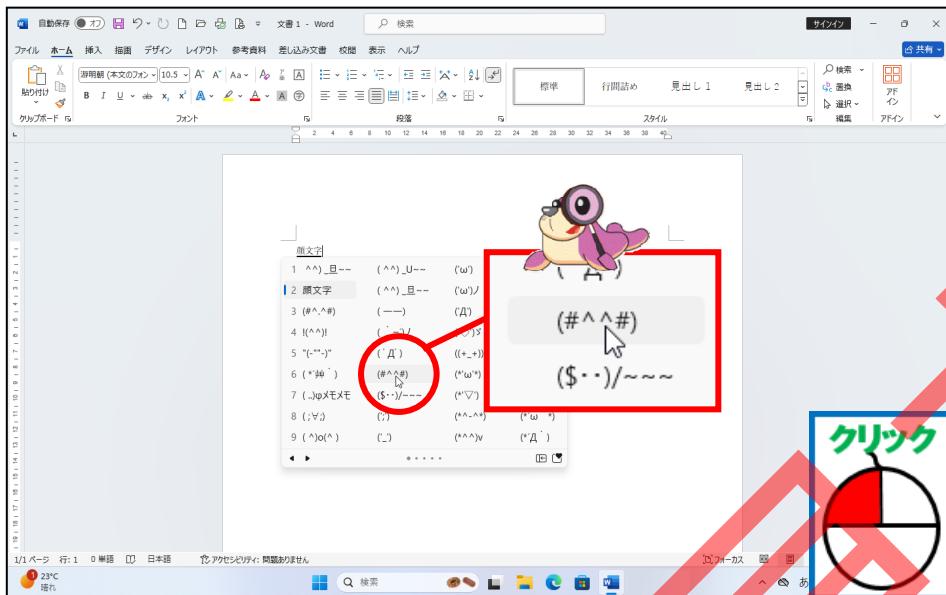


いがい えら かた <クリックする以外の選び方>

- ① 左側の番号を数字で入力すると、番号の横の文字が入力されます。
- ② 矢印キー[↑][↓]を動かして、目的の文字を選択します。
- ③ [変換]キーを目的の文字まで押します。

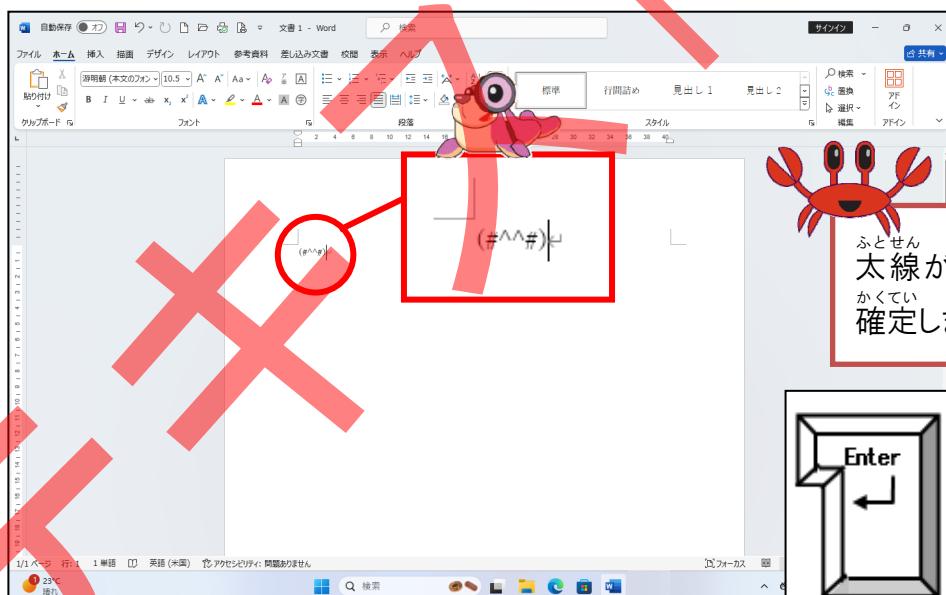
5

す かお も じ
好きな顔文字をクリックして選びましょう



6

かお も じ にゅうりょく
顔文字が入力されたことを確認し、[Enter]キーを押しましょう



つぎ そ う さ ワード しゅうりょう
次の操作のためにWord2021を終了しておきましょう。保存の確認画面が表示されたら、[保存しない]をクリックしましょう。



ひと
わからない人は、レッスン
ふくしゅう
5-(1)を復習しましょう。



レッスン7 (2)

入力の応用を学びましょう

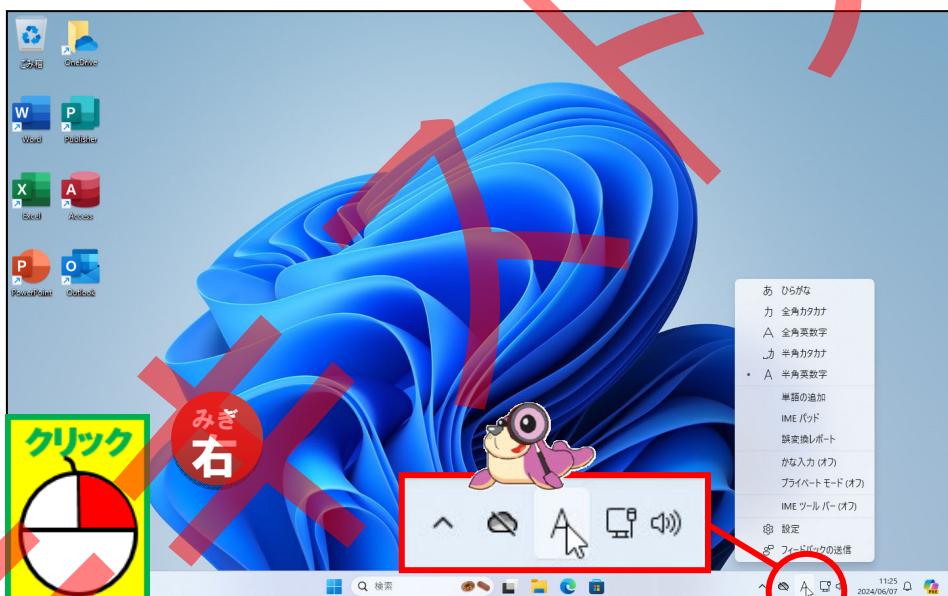
～すぐに表示されない、よく使う言葉は、
単語登録しましょう～

単語登録について学びましょう

よく使う単語・人名・住所や読みを変換しても漢字が出てこない場合に、漢字と読みを辞書に登録しておくと、変換できるようにすることができます。

操作をしてみましょう

- 「A」にポイントし、そのまま右クリックしましょう



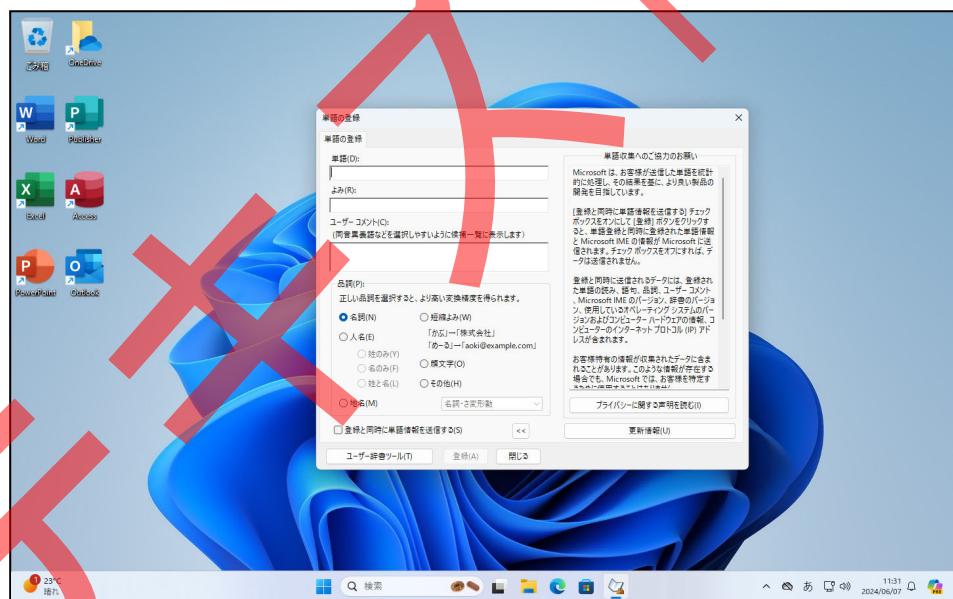
2

「単語の追加」にポイントし、そのままクリックしましょう



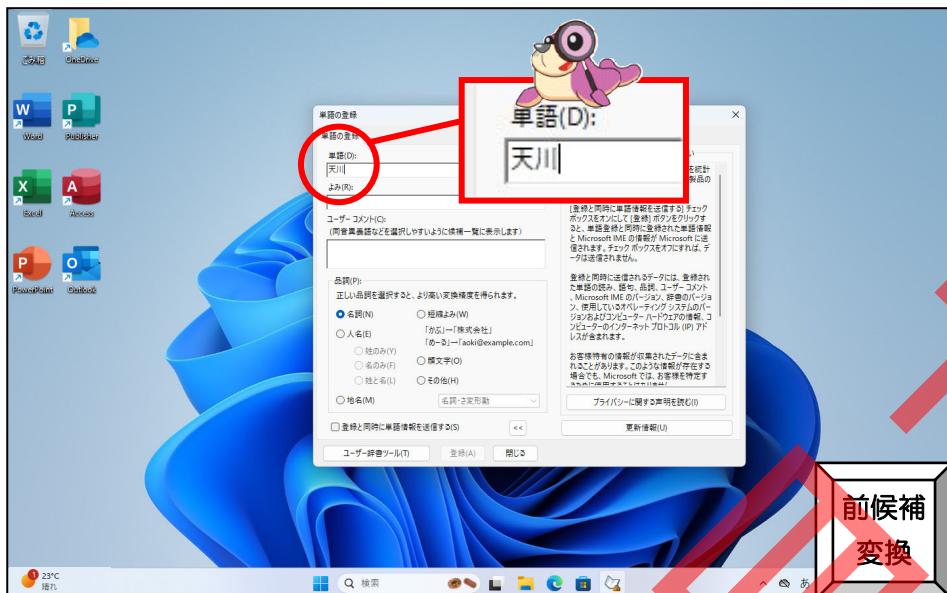
3

单語の登録の画面が表示されたことを確認しましょう



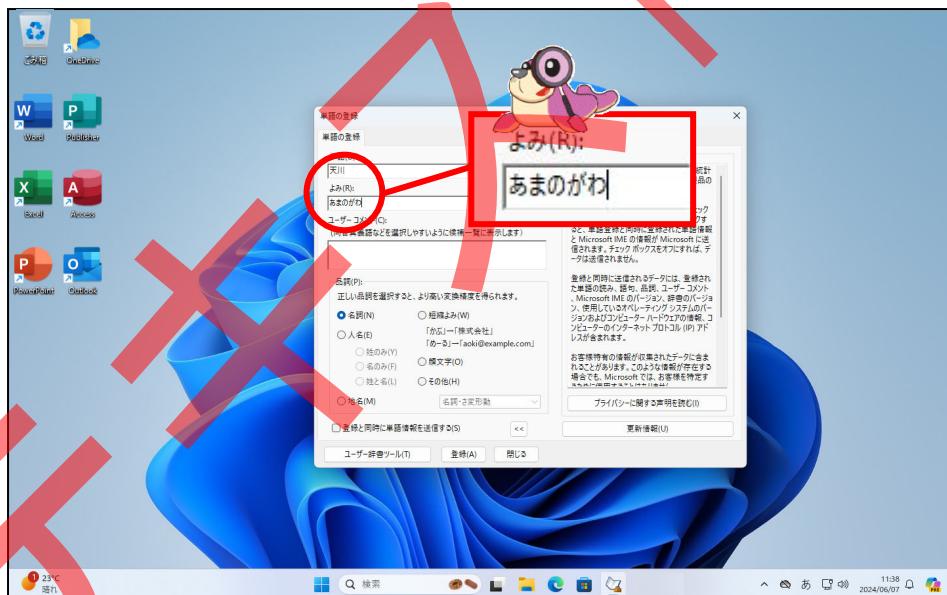
4

たんご TE NN KA WA にゅうりょく かんじ へんかん ひょうじ
単語に「てんかわ」と入力し、漢字に変換して「天川」を表示しましょう



5

A MA NO GA WA にゅうりょく
よみに「あまのがわ」と入力しましょう



たんご
単語ボックス · ·

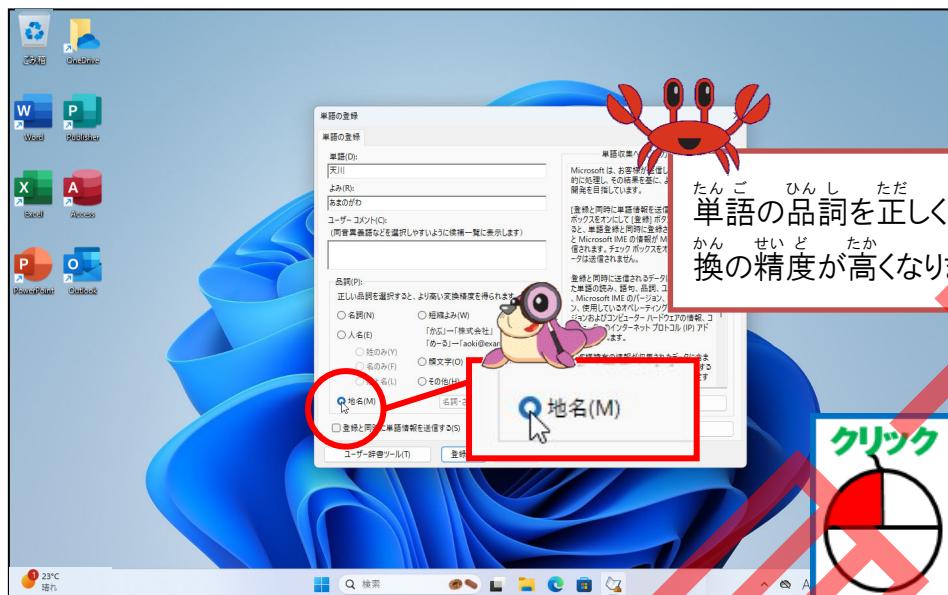
とうろく たんご にゅうりょく
登録したい単語を入力しましょう。

よみボックス · ·

とうろく たんご ようじ にゅうりょく
登録したい単語の読みをひらがな、または英数字で入力しましょう。

6

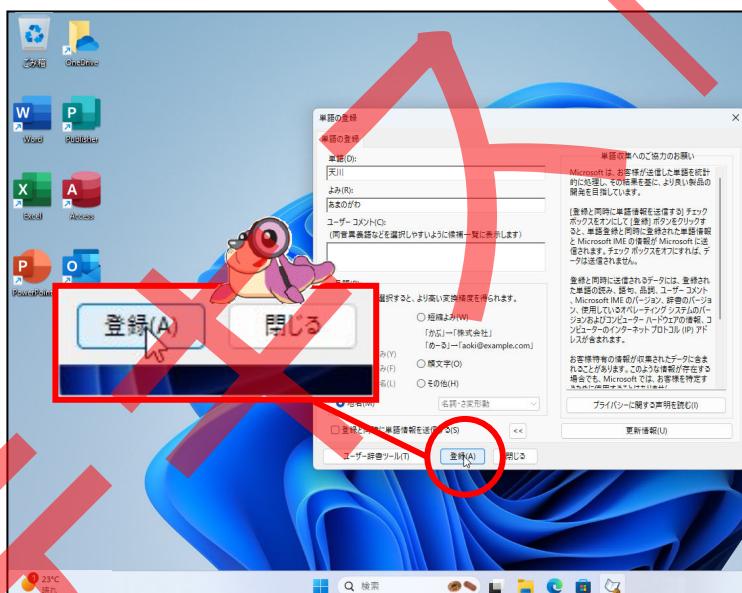
品詞の[地名]にポイントし、そのままクリックしましょう



たんご ひんし ただ せんたく へん
単語の品詞を正しく選択すれば、変
かん せい ど たか
換の精度が高くなります。

7

[登録]にポイントし、そのままクリックしましょう

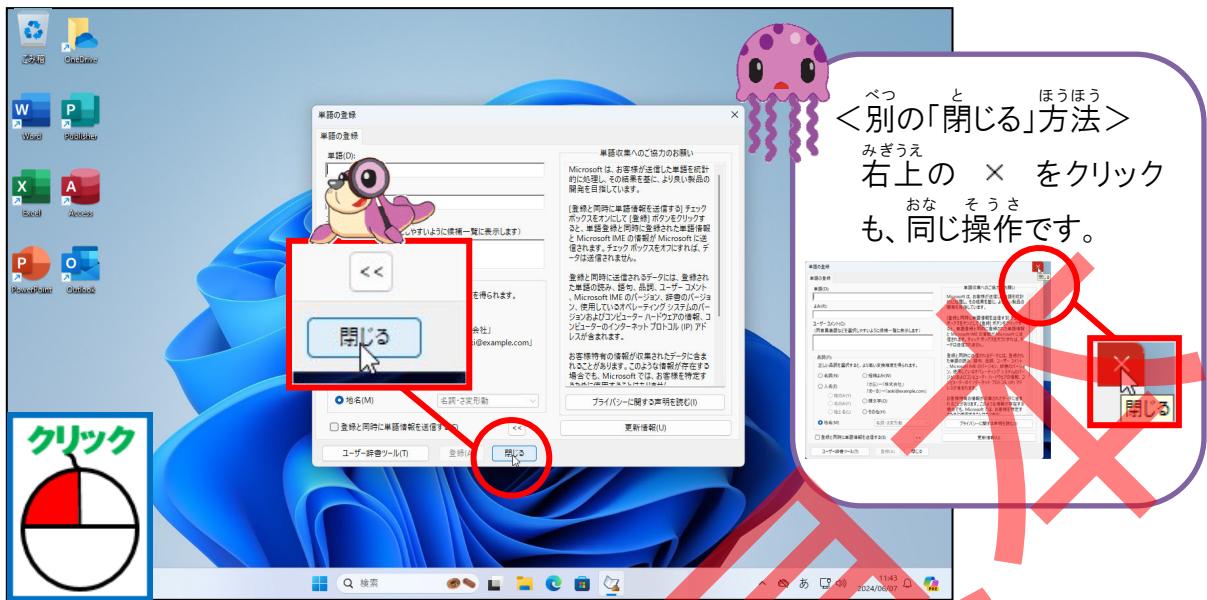


ALERT!!

「登録」をクリックすると同時に、入力した単語とよみが消えますが、登録されています。

8

と[閉じる]にポイントし、そのままクリックしましょう



べつ
と
ほほう
みぎうえ
右上の × をクリック
おなそまさ
も、同じ操作です。

こんなときどうするの？

とうろく
かくにん
ほうほう
<登録されていることを確認する方法>
ワード
Wordもしくはメモ帳を開いて、よみを入力し、[変換]キーを押して、単語が表示され
とうろく
ば、登録ができます。

＜単語の削除方法＞

- ① 単語の登録画面の左下にある、[ユーザー辞書ツール]をクリックしましょう。
- ② ウィンドウが表示されたら、削除する単語を選択しクリックしましょう。
- ③ [編集]メニューの[削除]→「選択された単語を削除しますか?」とたずねてきたら、「はい」をクリックしましょう。
- ④ Microsoft IME ユーザー辞書ツールを閉じましょう。



レッスン7 (3)

入力の応用を学びましょう

もじ かくてい へんかん ほうほう
～文字を確定してから変換する方法～

再変換について学びましょう

正しく変換されずに確定してしまった場合([Enter]キーを押してしまった時)でも、変換し直すことができるのことを「再変換」と言います。

<再変換の方法>

変換し直したい目的の文字を選択して、[変換]キーをもう一度押します。

※変換キーを1回押すと、候補一覧が表示され、別の候補を選択することができます。

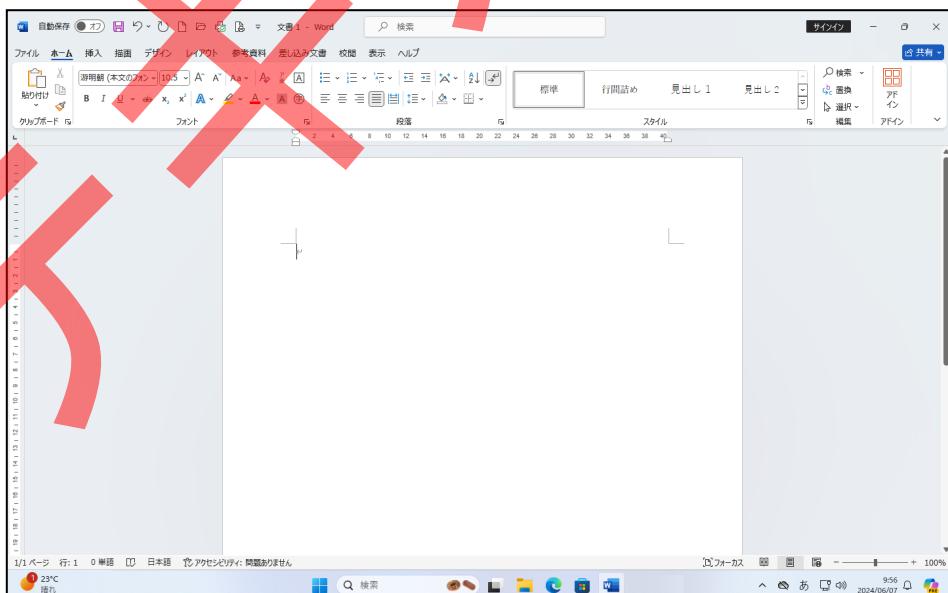
[Esc]キーを2回押すと読みの状態に戻り、読みを修正できます。

再変換機能を使うと、ひらがなやカタカナで確定した文字を漢字に変換したり、全角文字を半角文字に修正することもできます。

操作をしてみましょう

1

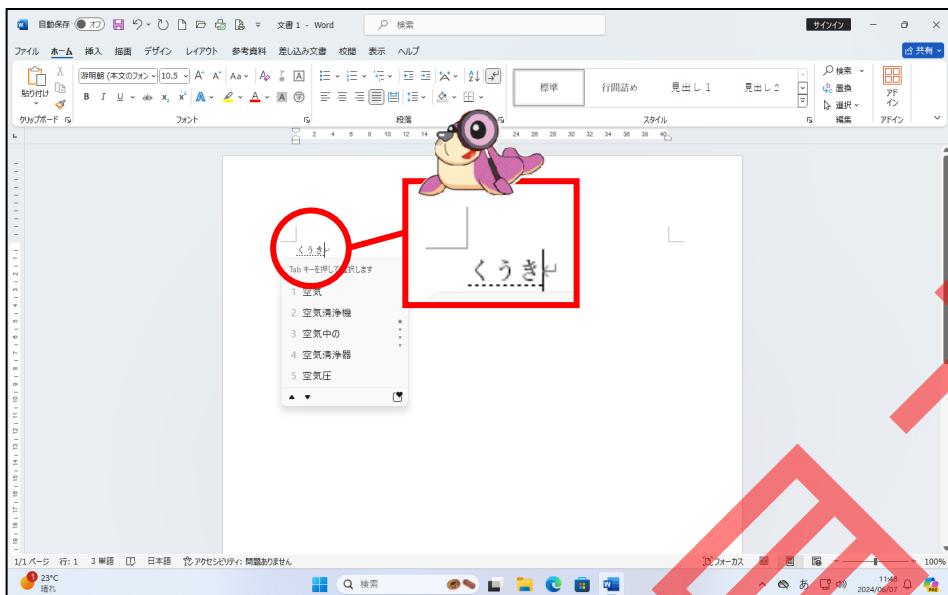
ワード Word2021 を起動しましょう



ひと
わからない人は、レッスン5-(1)を復習しましょう。

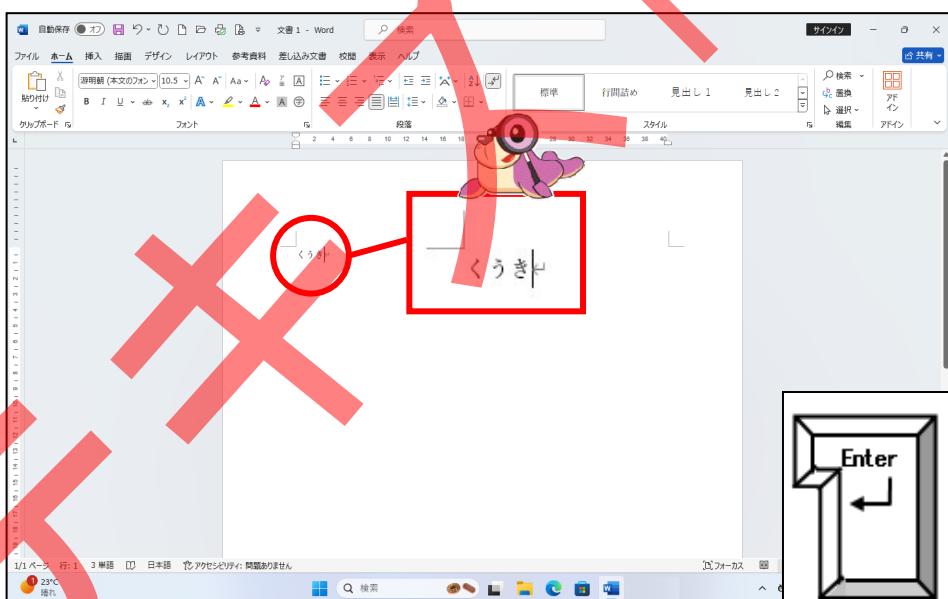
2

KU U KI にゅうりょく
「くうき」と入力しましょう



3

エンター [Enter]キーを押しましょう

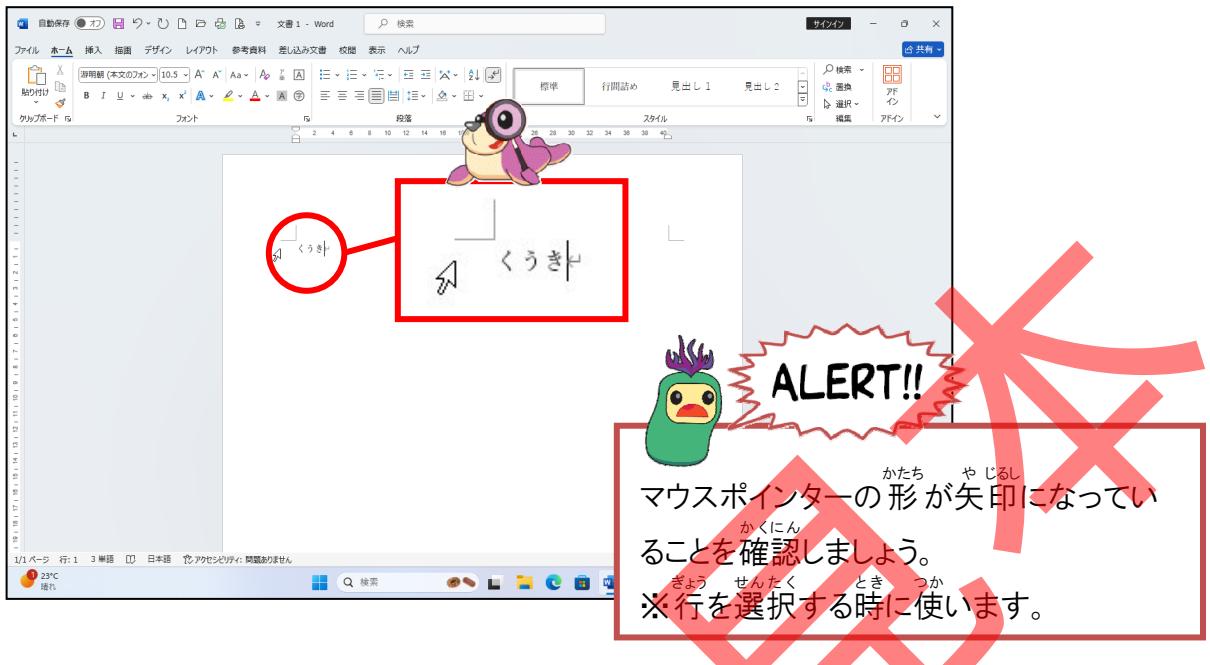


ALERT!!

さいへんかん がくしゅう
ここでは、再変換を学習するために、わざとまちがえて、[Enter]キーを押しています。
じっさい さいへんかん おこな そまさ そまさ
実際に、再変換を行う操作は、④からの操作になります。

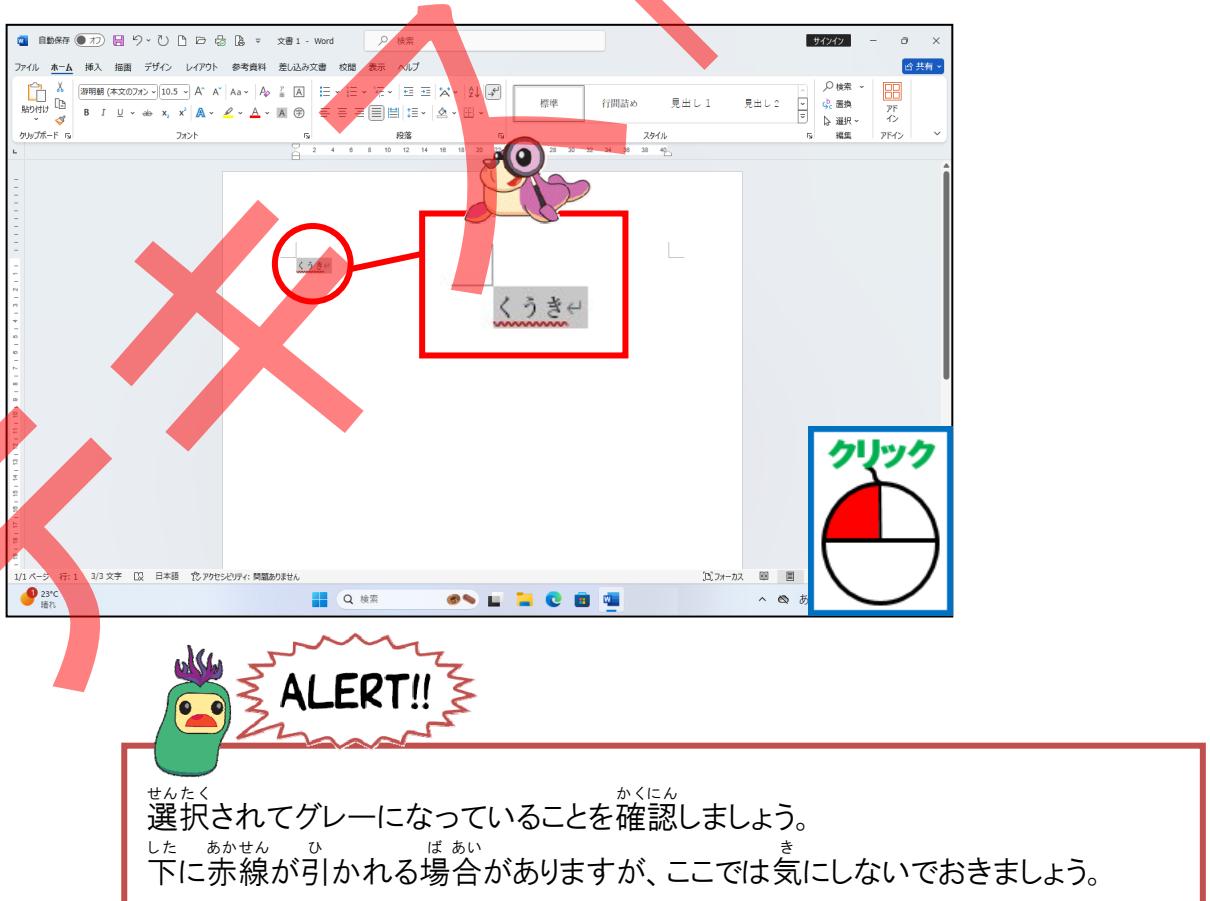
4

マウスポインターを「く」の左側に移動しましょう



5

マウスポインターが④の状態でクリックして、文字を選択しましょう





<変換する時の文字の選択>

カーソルを表示させるだけでも、変換させることができます。

① カーソルを一番はじめに移動し、そのまま[変換]キーを押します。

② カーソルを変換したい文字の位置に移動し、そのまま[変換]キーを押します。

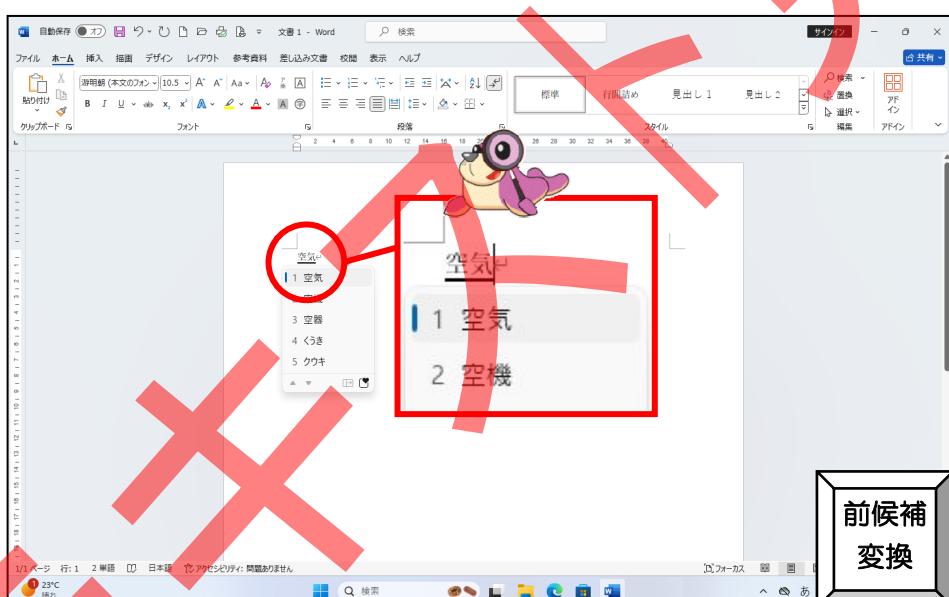
<カーソルで文字を選択した時の別の再変換の方法>

再変換したい文字にカーソルを合わせて、そのまま「右クリック」しましょう。

変換候補が表示されるので、その中から選びましょう。

6

[変換]キーを押して、「空気」に変換しましょう



ALERT!!

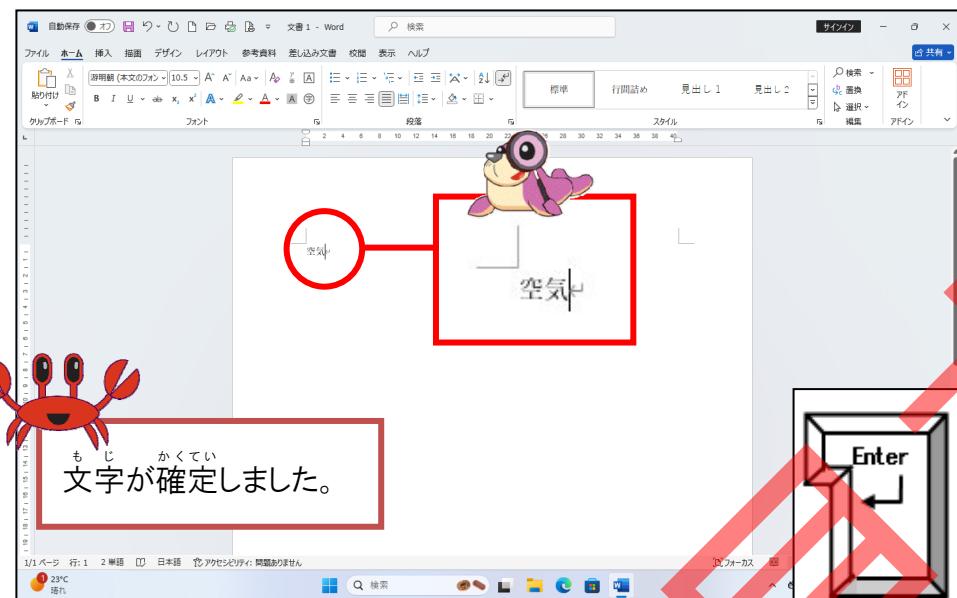
変換中を表す太線の下線に変わったことを確認しましょう。



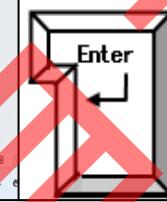
変換した時に目的の文字に変換されない場合は、目的の文字が出てくるまで、[変換]キーを押しましょう。

1

エントー^お [Enter]キーを押しましょう

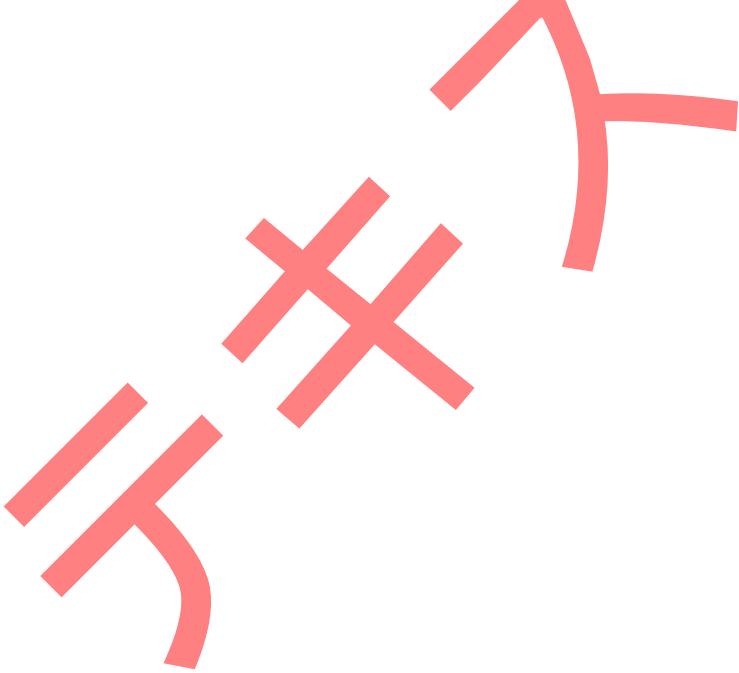


もじ かくてい
文字が確定しました。



つぎ そろさ 次の操作のために、文字はすべて消しておきましょう

ひと
わからな
い人は、レッスン
ふくしゅう
6-(10)を復習しま
しょう。





レッスン7 (4)

にゅうりょく おうよう まな 入力の応用を学びましょう なんど おな ことば にゅうりょく ほうほう ～何度も同じ言葉を入力する方法～

予測入力について学びましょう

同じ文字列を繰り返し入力をすることを「予測入力」と言います。

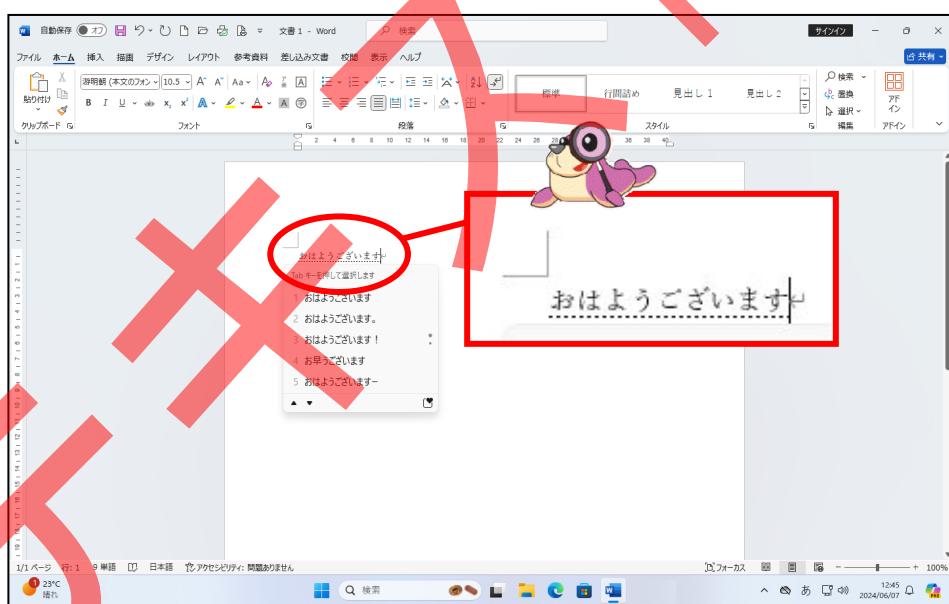
予測入力は、これまでに入力した内容をもとに、これから入力される語句を予測し、少ないキー操作で文章を入力できる機能です。

予測入力を使うと、前に入力したことと同じ文章をくり返し入力する時など、文章の読みの一部を入力するだけで、簡単に入力することができます。

操作をしてみましょう

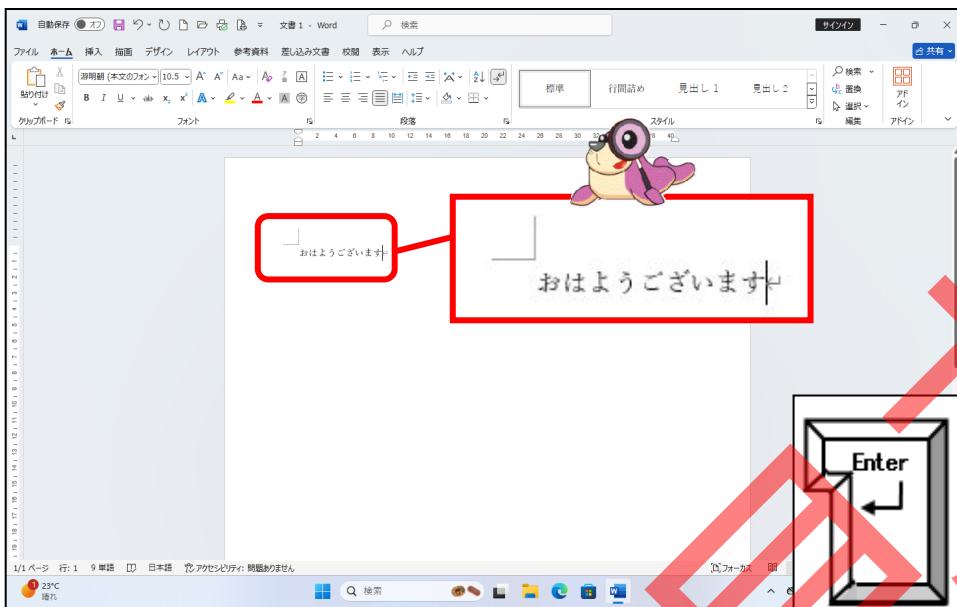
①

O HA YO U GO ZA I MA SU
「おはようございます」と入力しましょう



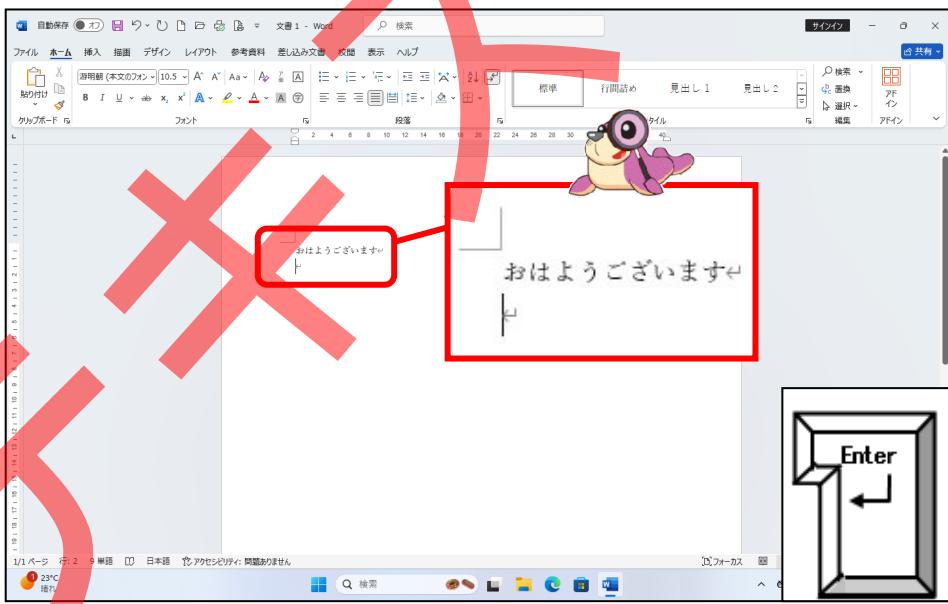
2

エンター [Enter] キーを押しましょう



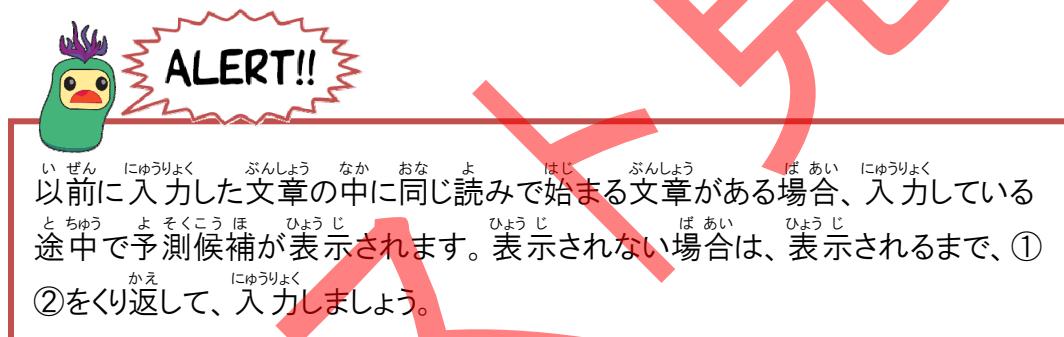
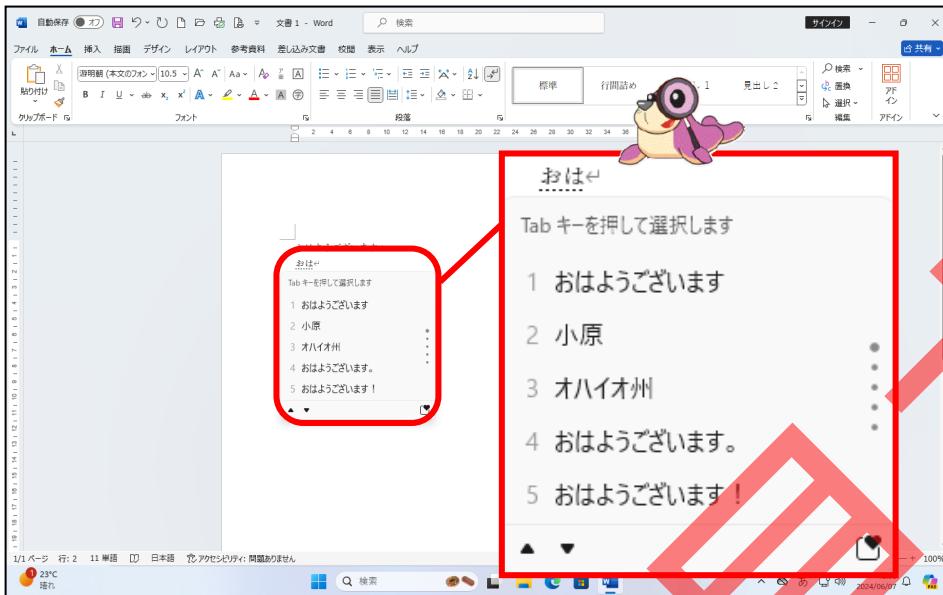
3

改行するために、もう一度[Enter]キーを押しましょう



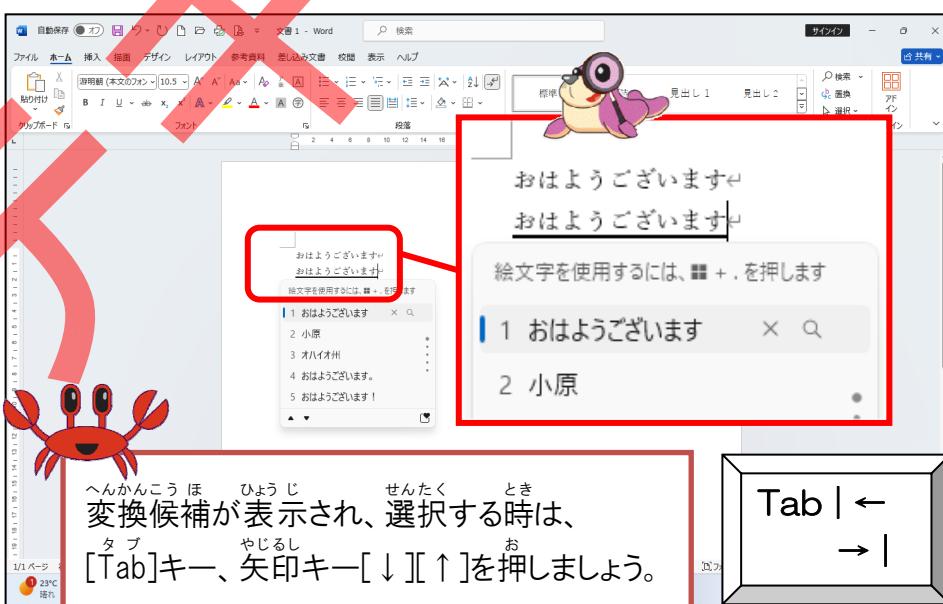
4

もう一度「おはようございます」と入力しましょう。途中で、下の図のように予測候補が表示されたら、入力が途中でもやめましょう



5

[Tab]キーを押しましょう

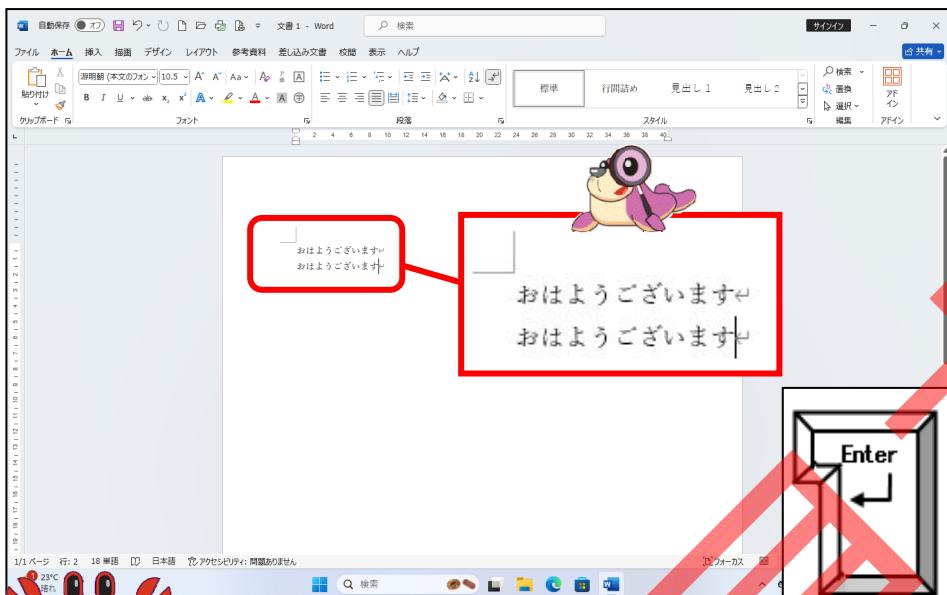


変換候補が表示され、選択する時は、
タブキー、矢印キー[↓][↑]を押しましょう。

Tab | ← → |

6

エンター [Enter] キーを押しましょう



もじ
文字が確定しました。

つぎ そうさ
次の操作のために、文字はすべて消しておきましょう



ひと
わからない人は、レッスン
ふくしゅう
6-(10)を復習しましょう。

れんしゅうもんたい
ここで、レッスン7の練習問題をしましょう。



レッスン8 (1)

文書の入力を始めましょう

～文節ごとに入力をして変換してみましょう～

文節について学びましょう

文節とは？

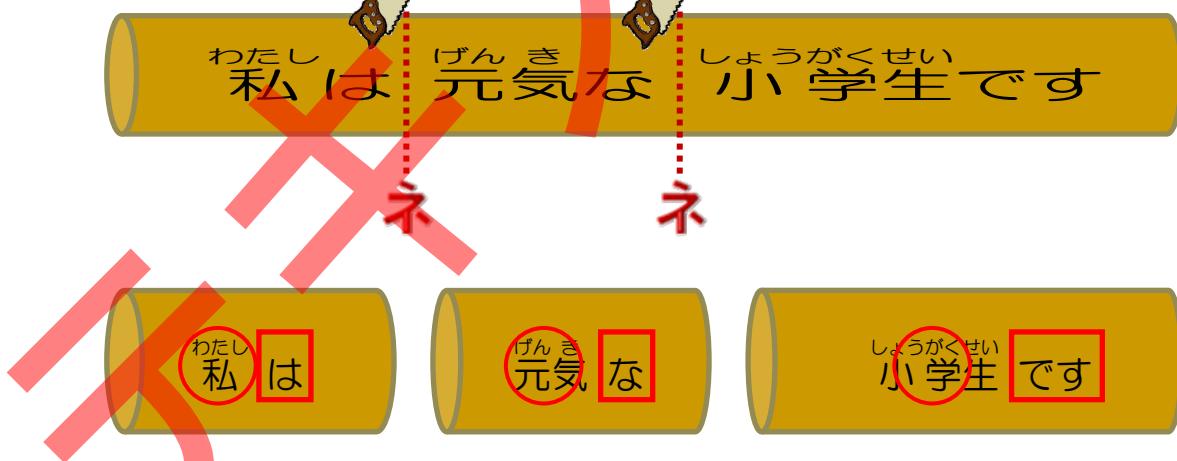
日本語の言語単位の一つです。文節は、一つの自立語、またはそれに付属語の付いたものから成り立っています。ただし、文節は、必ずしも文の構造を反映しているとは言えません。簡単にいって、文章を細かく切っていったときに、意味の通じる最小のまとまりのことです。

Microsoft IMEでは、変換の区切りのことを言います。

例：「私は元気な小学生です。」この文章を文節で区切ってみましょう。

丸太に例えて、文節の区切るところを切ってみましょう。

(文節の区切るポイントは、「ネ」を入れて区切れます。)



○ 自立語

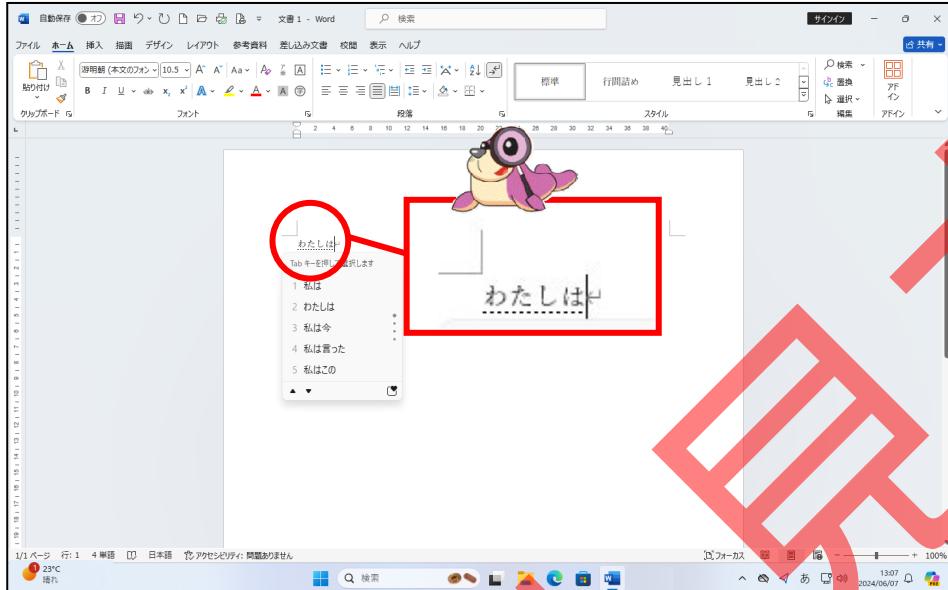
单独でも文節を構成することができる単語です。
(その語だけで意味がわかります。)

□ 付属語

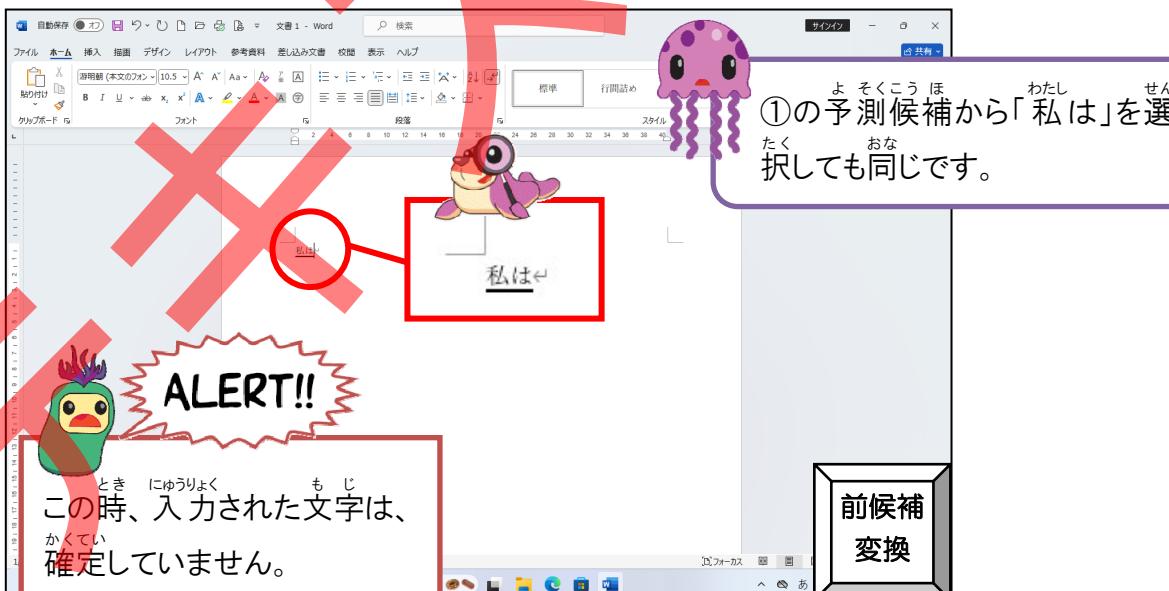
これだけだとどういう意味なのか、わかりません。
(単語を文節構成上の働きによって、大まかに区別した場合の一つです。)

操作をしてみましょう

1 「WA TA SI HA」にゅうりょく「わたしは」と入力しましょう



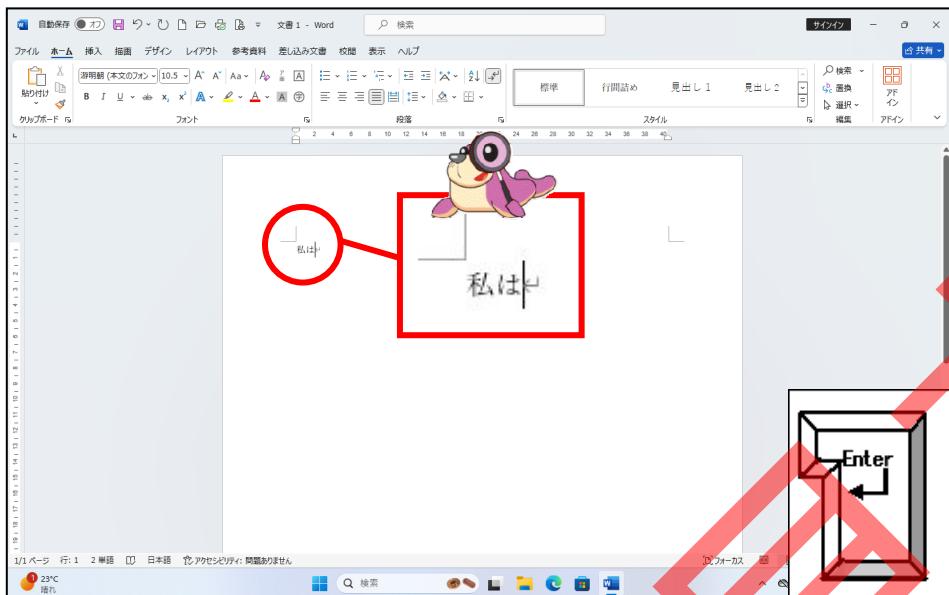
2 [変換]キーを押して、「私は」に変換しましょう



ひと
ひんかん
変換がわからない人は、レッスン 6-(12)を復習しましょう。

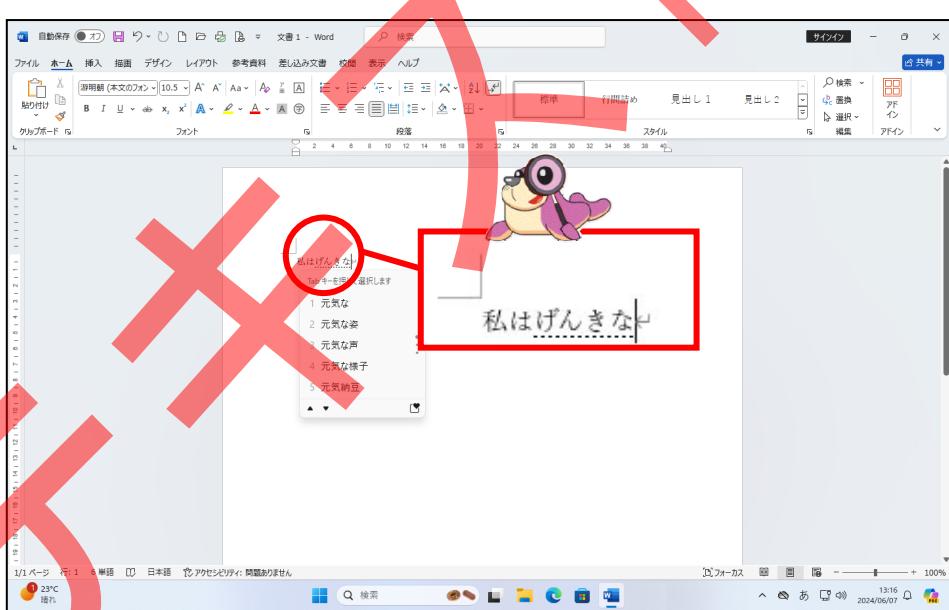
3

エンター [Enter] キーを押しましょう



4

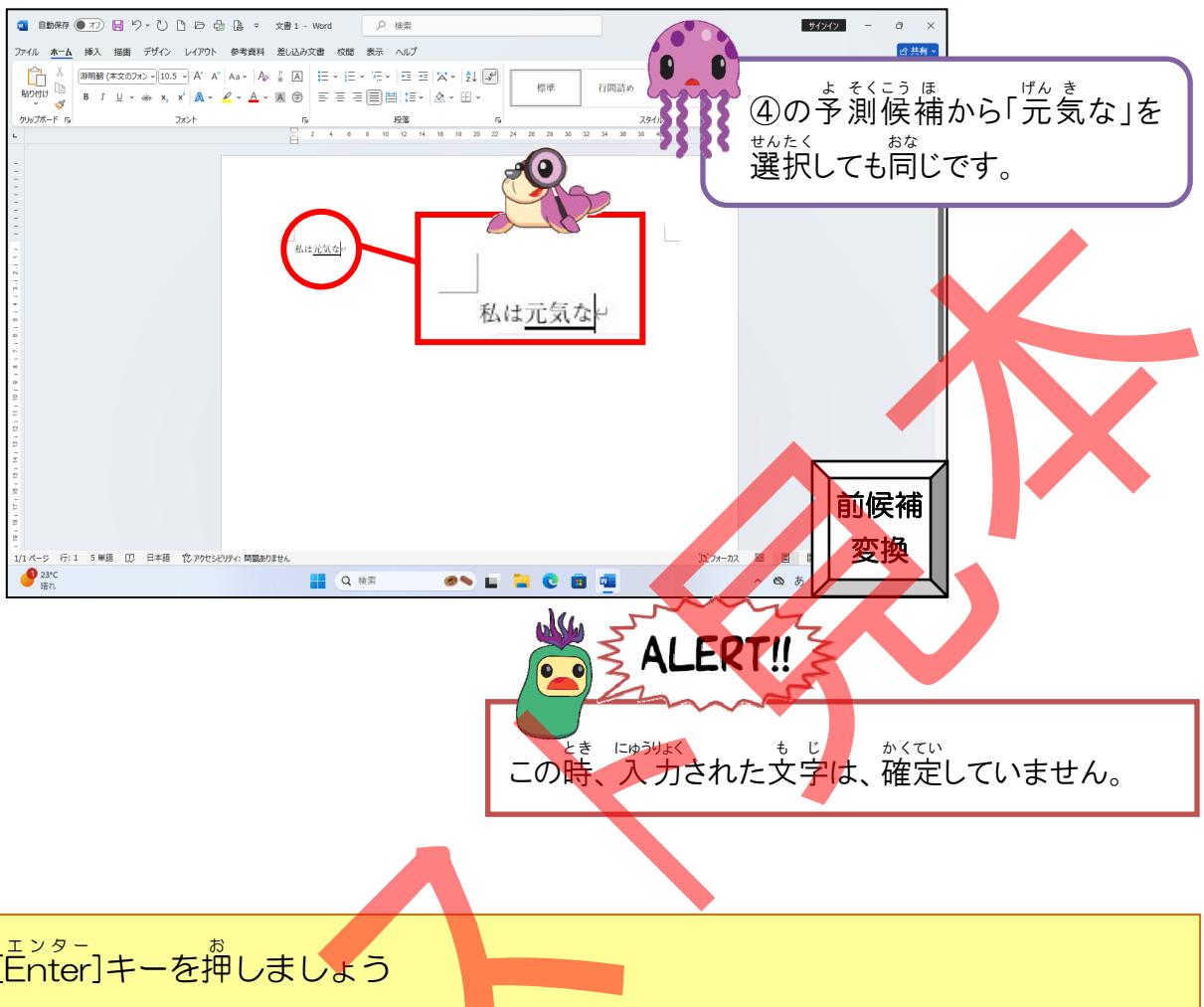
GE NN KI NA にゅうりょく
「げんきな」と入力しましょう



もじしたてんせん かくにん
文字の下が点線になっていることを確認しましょう。

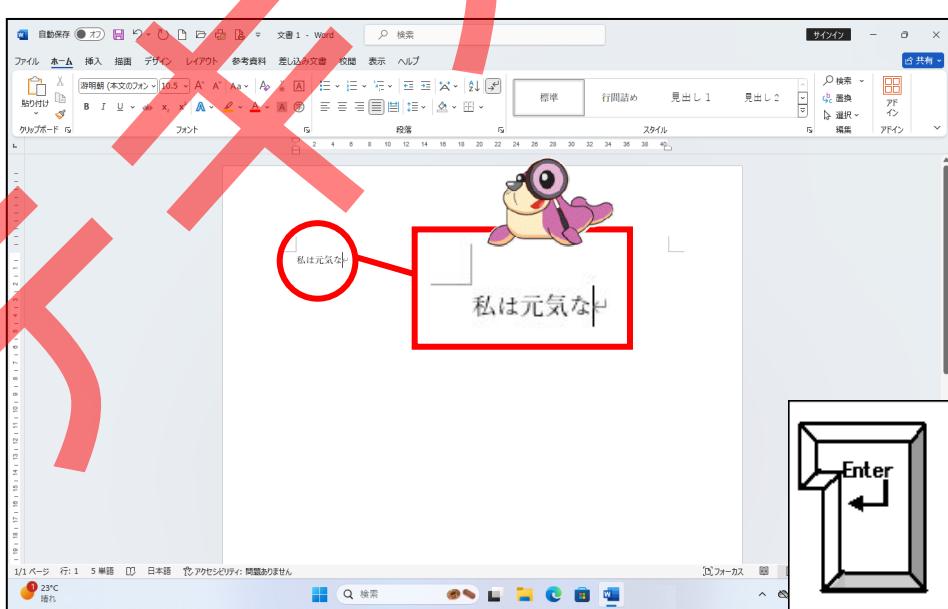
5

[変換]キーを押して、「元気な」に変換しましょう



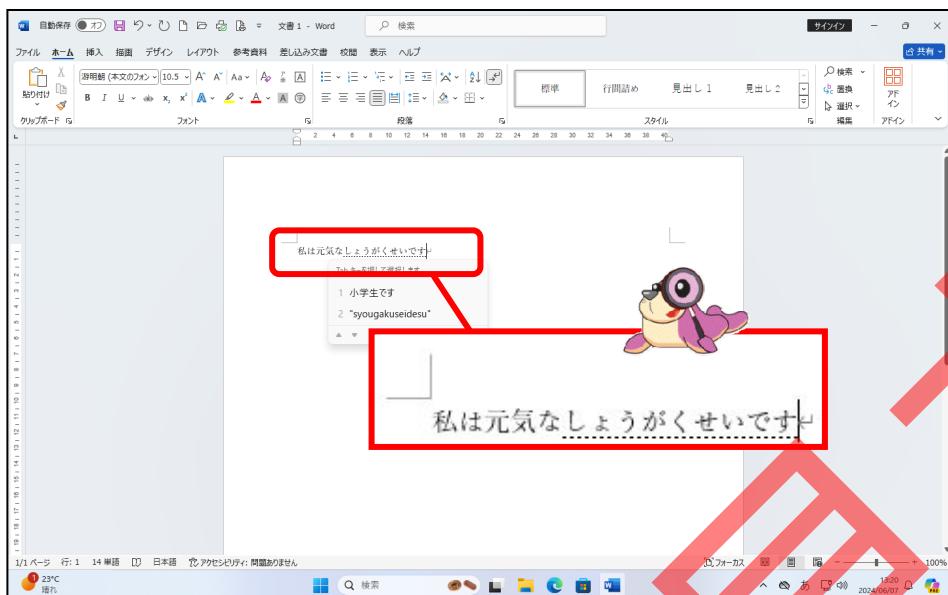
6

[Enter]キーを押しましょう



1

SYO U GA KU SE I DE SU にゅうりょく
「しょうがくせいです」と入力しましょう

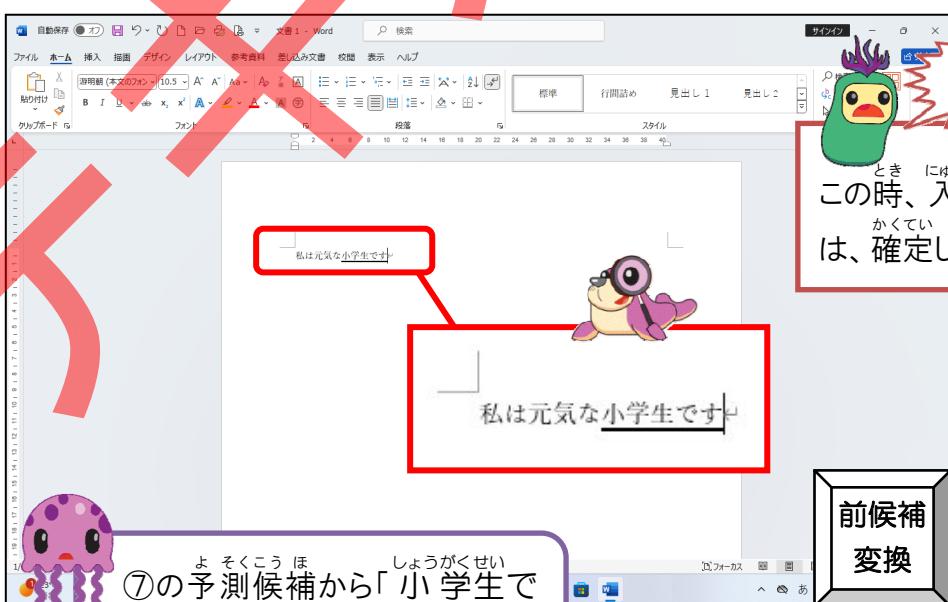


私は元気なしようがくせいです

文字の下が点線になっていることを確認しましょう。

8

へんかん お しょうがくせい へんかん [変換]キーを押して、「小学生です」に変換しましょう

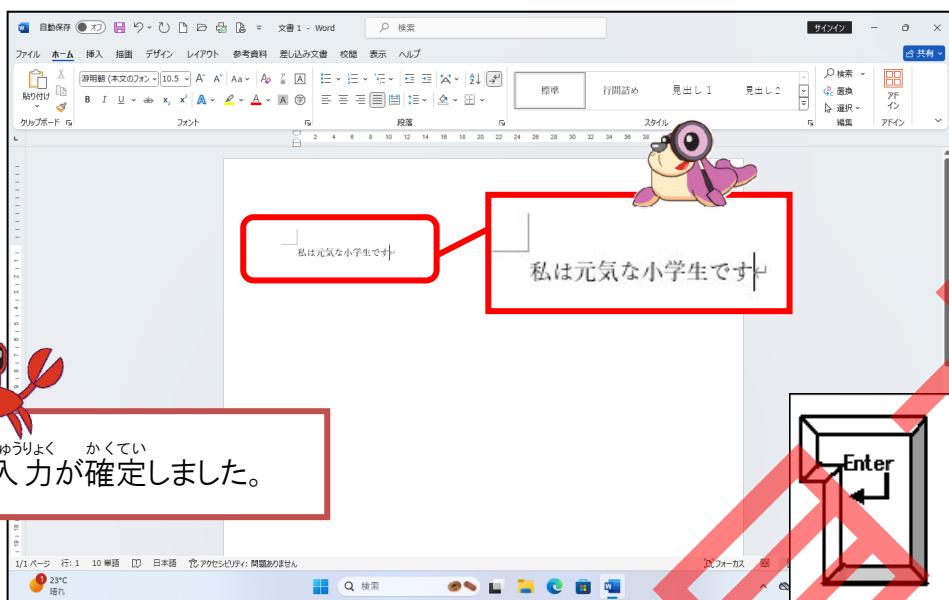


⑦の予測候補から「小学生で
す」を選択しても同じです。

前候補
変換

9

エントー^お[Enter]キーを押しましょう



つぎ そろさ 次の操作のために、文字はすべて消しておきましょう
もじ

ひと
わからぬ人は、レッスン
ふくしゅう
6-(10)を復習しましょう。





レッスン8 (2)

文書の入力を始めましょう

いちど ぶんしょう にゅうりょく はじ
～一度に文章を入力し、正しく文節を区切り
ましょう～

文節の区切り方で、入力内容の意味が変わることを理解しましょう

例：「きょうはいしゃにいく」を一度に入力しましょう。

文節の区切りを変えれば、2つの意味をもつ文章になります。
丸太に例えて、区切ってみましょう。

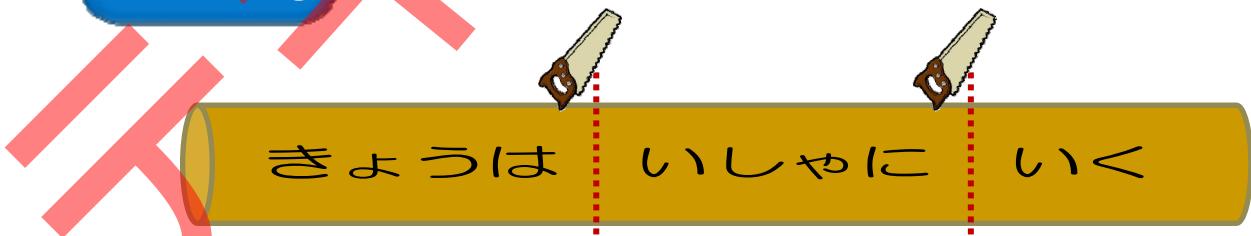
パターン①



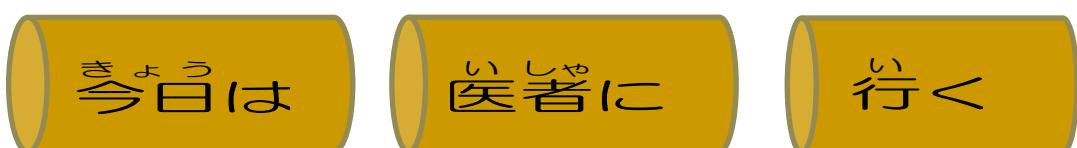
文節を区切って変換すると…



パターン②



文節を区切って変換すると…

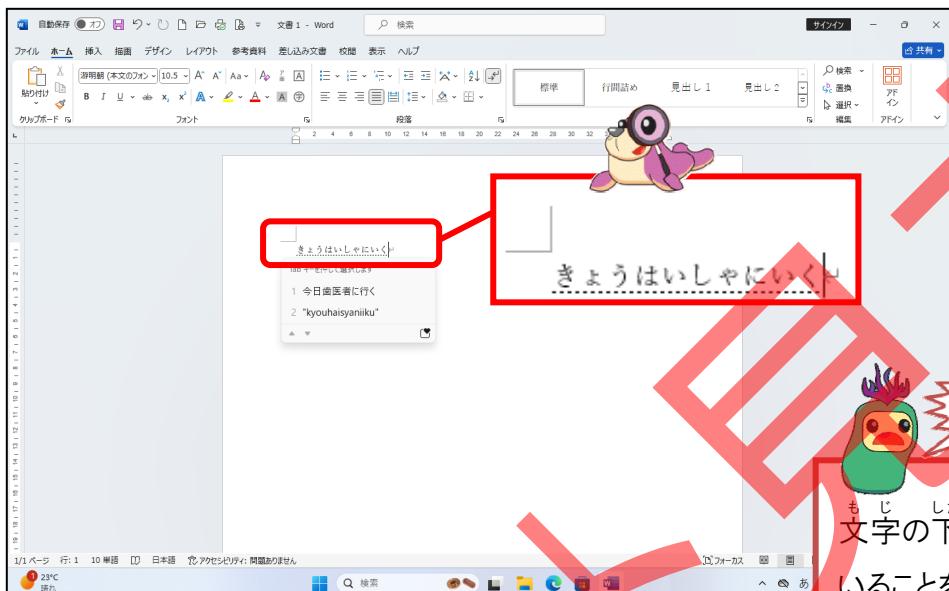


パターン1：「今日は歯医者に行く」

操作をしてみましょう

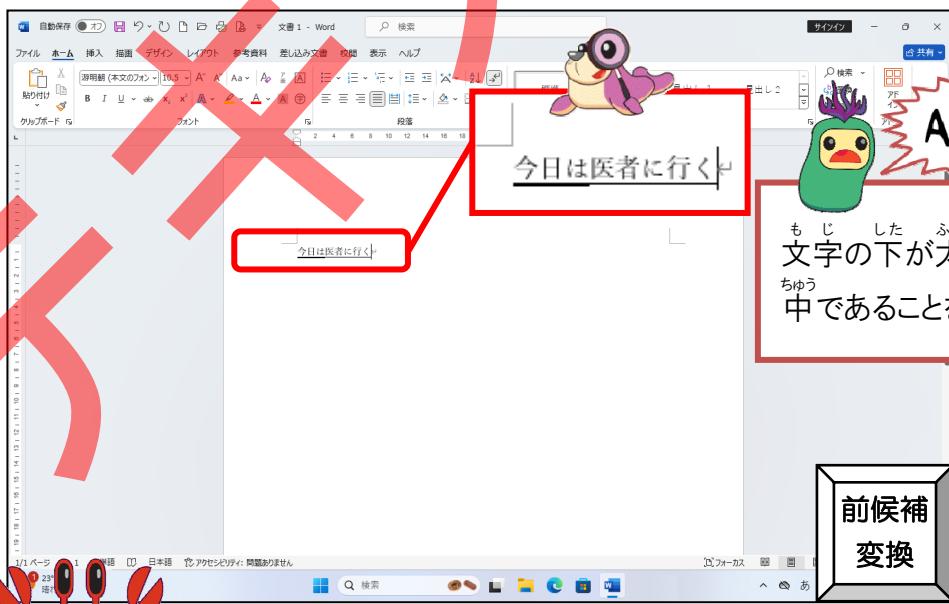
1

K Y O U H A I S Y A N I I K U にゅうりょく
「きょう う は い しや に い く」と入力しましょう



2

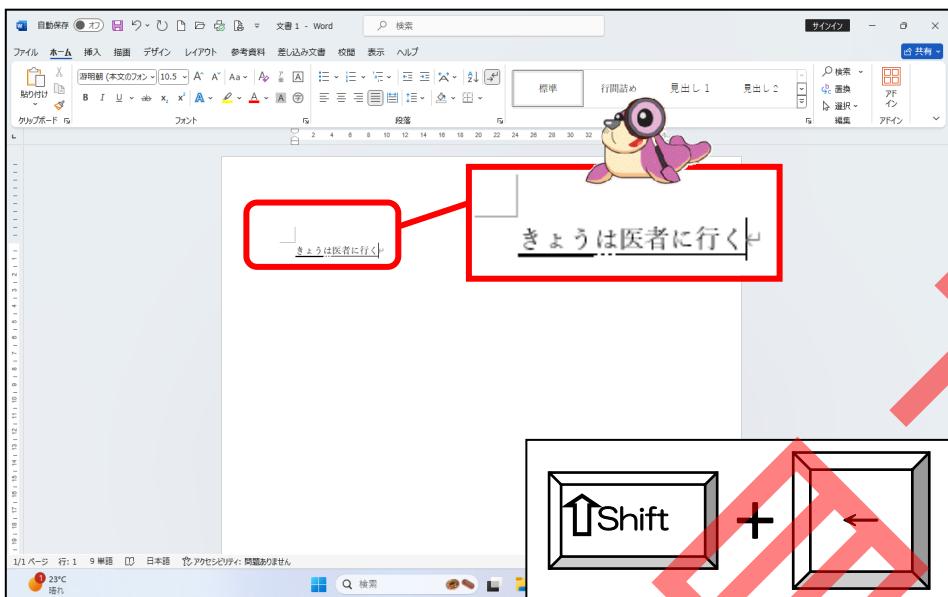
へんかん お きょう した ふとせん かくにん [変換]キーを押して、「今日は」の下が太線になったことを確認しましょう



へんかん お きょう は い しや い ひょうじ ひと すす [変換]キーを押して、「今日歯医者に行く」と表示された人は、⑧に進みエンター お [Enter]キーを押しましょう。

3

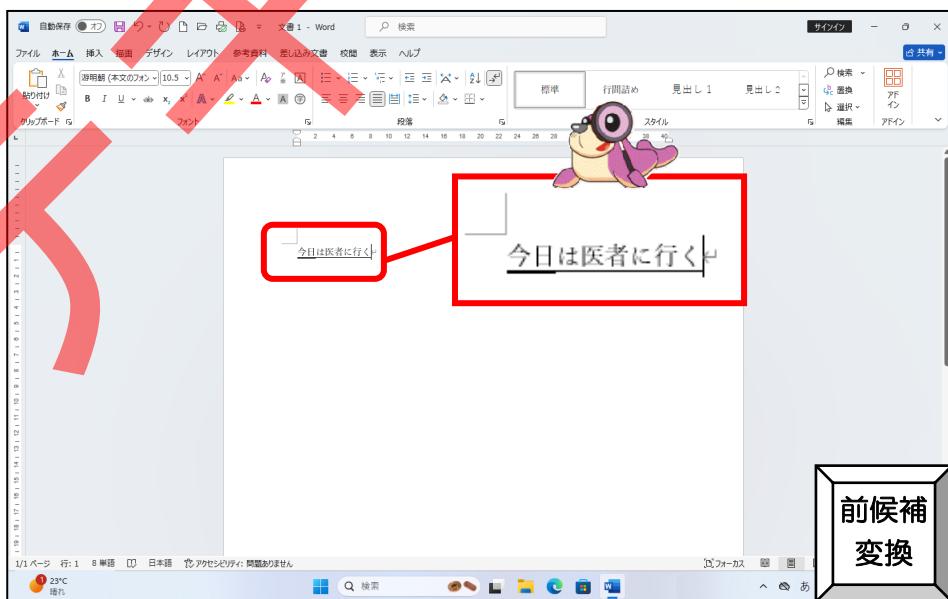
「きょう」に文節の区切りを変更するために、[Shift]キーを押しながら、[←]キーを押しましょう



ぶんせつ くぎ とき そうさ すす
「きょう」と文節が区切られている時は、③の操作をしないで、④の操作に進
みましょう。「今日は」の文字の下が太線になっていましたが、「きょう」だけが
ふとせん ふとせん 太線になりました。

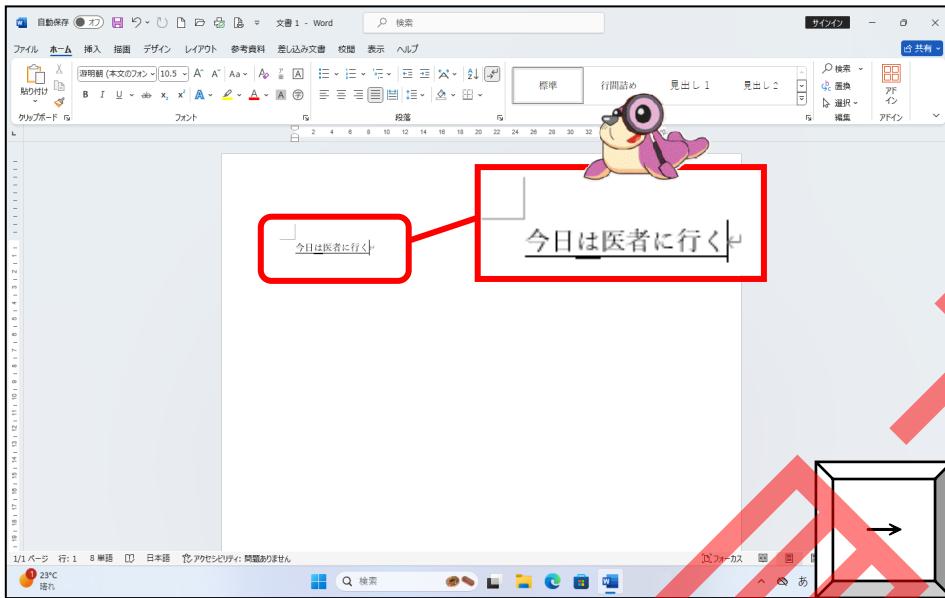
4

[変換]キーを押して、「今日」に変換しましょう



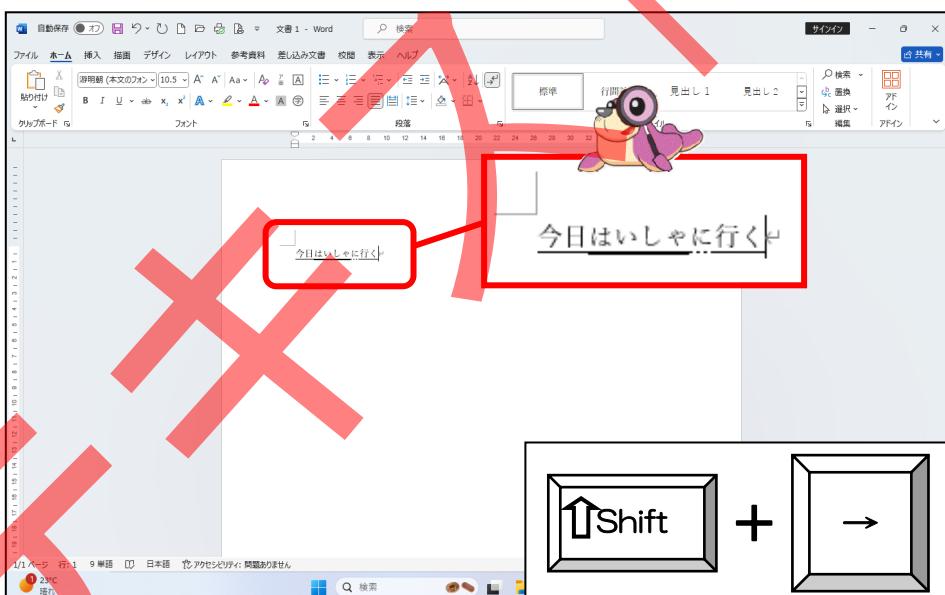
5

[→]キーを押して、「は」に太線を移動させましょう



6

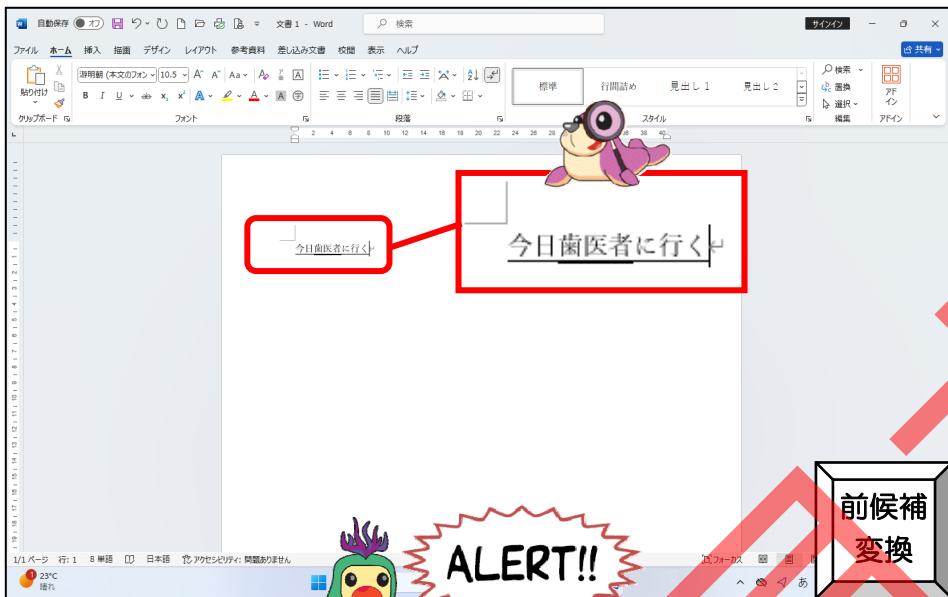
[Shift]キーを押しながら[→]キーを2回押して、「はいしや」を太線にしましょう



文字の下が太線になって、変換中であることを確認しましょう。
この時、「はいしやに」と文節が区切られている時は、⑥の操作をしないで、⑦の操作に進みましょう。

1

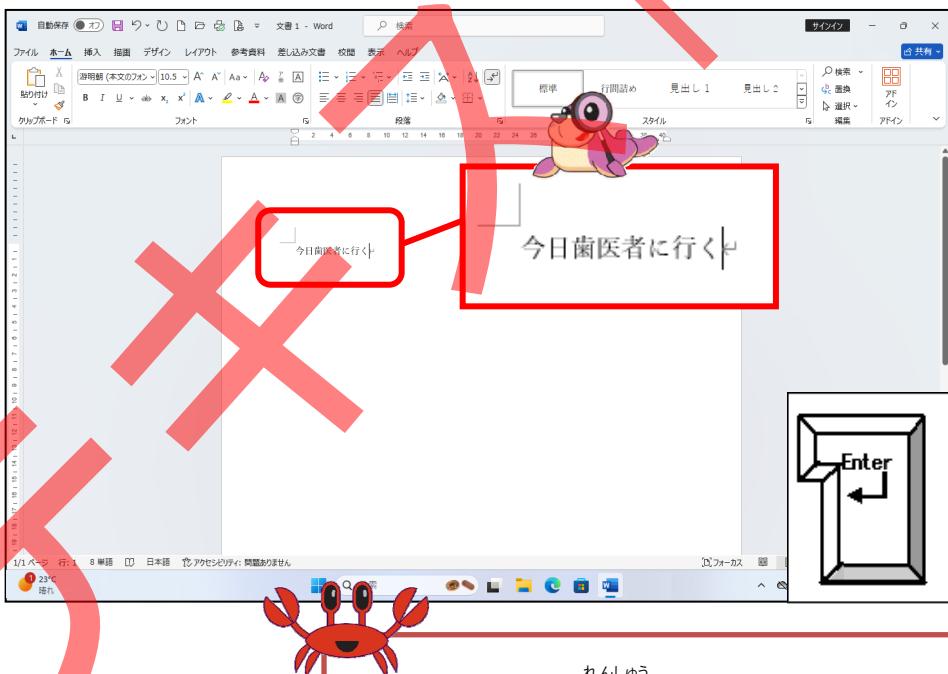
へんかん お はいしゃ へんかん
[変換]キーを押して、「歯医者」に変換しましょう



もじ した ふとせん へんかんちゅう かくにん
文字の下が太線になって、変換中であることを確認しましょう。

8

エンターキー [Enter]キーを押しましょう



れんしゅう
P156 パターン2も練習してみましょう。
むずか ひと いちど あと
難しかった人は、パターン1をもう一度やってみて、その後に
パターン2をやってみましょう。

つぎ そき もじ け
次の操作のために、文字はすべて消しておきましょう

ひと
わからない人は、レッスン
ふくしゅう
6-(10)を復習しましょう。

レッスン8 (3)

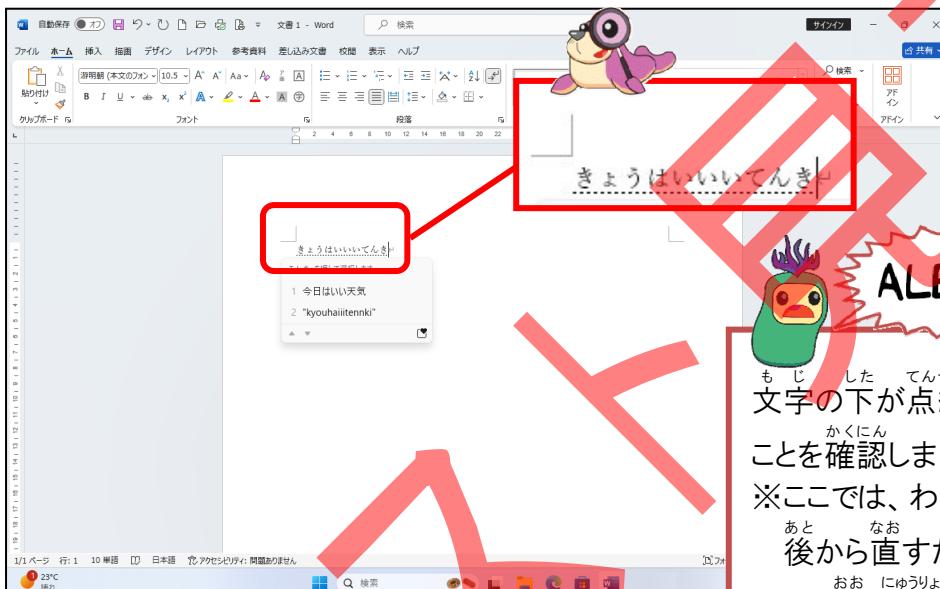
文書の入力を始めましょう

～入力中の文章を変換前に修正する方法～

操作をしてみましょう

①

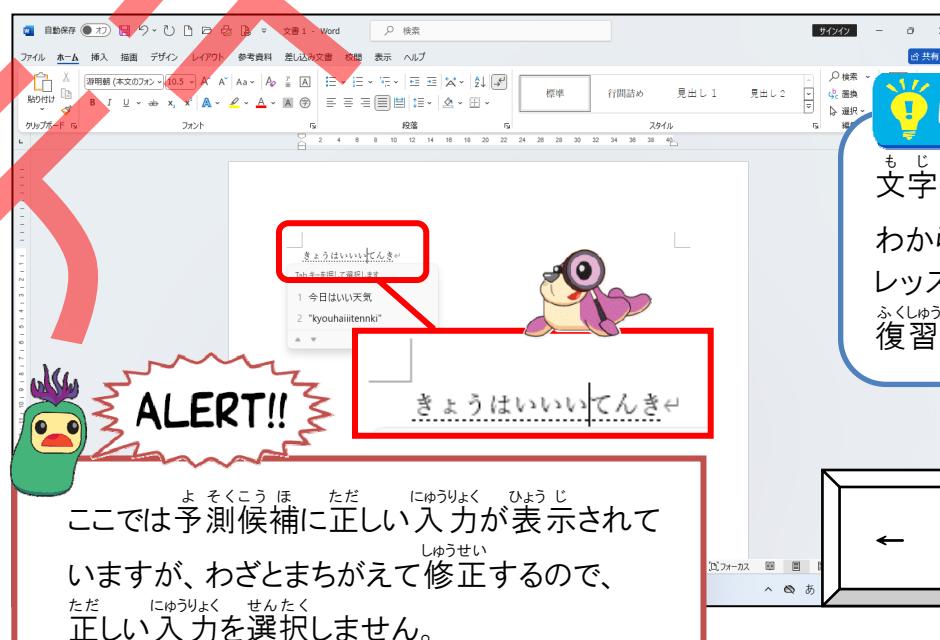
KYO U HA I I I TE NN KI
「きょう は い い い て ん き」と入力しましょう



もじじしたてんせん
文字の下が点線になっている
ことを確認しましょう。
※ここでは、わざとまちがえて、
あとなお
後から直すために、「い」を
おねにゅうりょく
1つ多く入力しましょう。

②

「い」を1つ消すために「て」の前までカーソルを移動させましょう

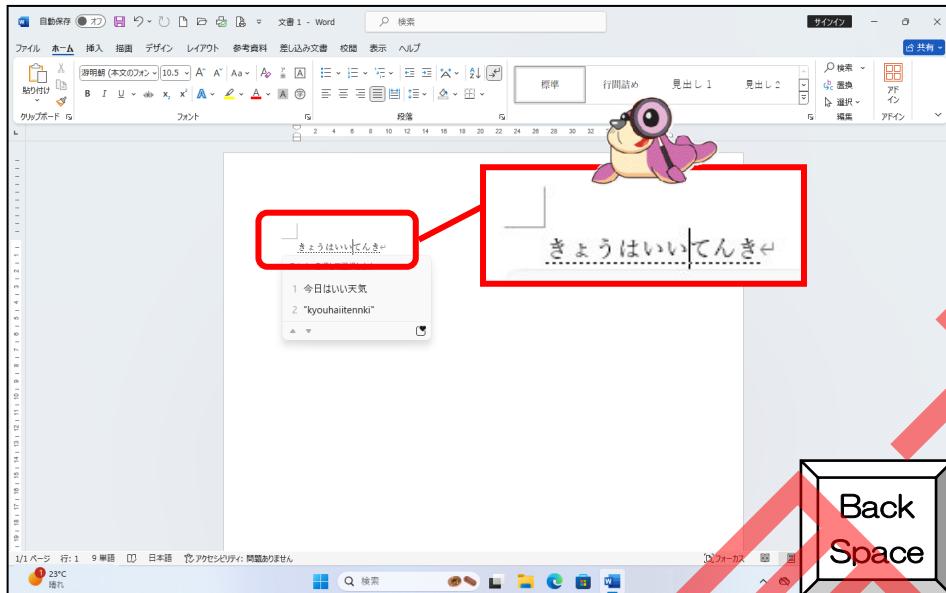


もじさくじよほうほう
文字の削除の方法が
ひと
わからない人は、
レッスン 6-(6)、(7)を
ふくしゅう
復習しましょう。

ここでは予測候補に正しい入力が表示されて
いますが、わざとまちがえて修正するので、
正しい入力を選択しません。

3

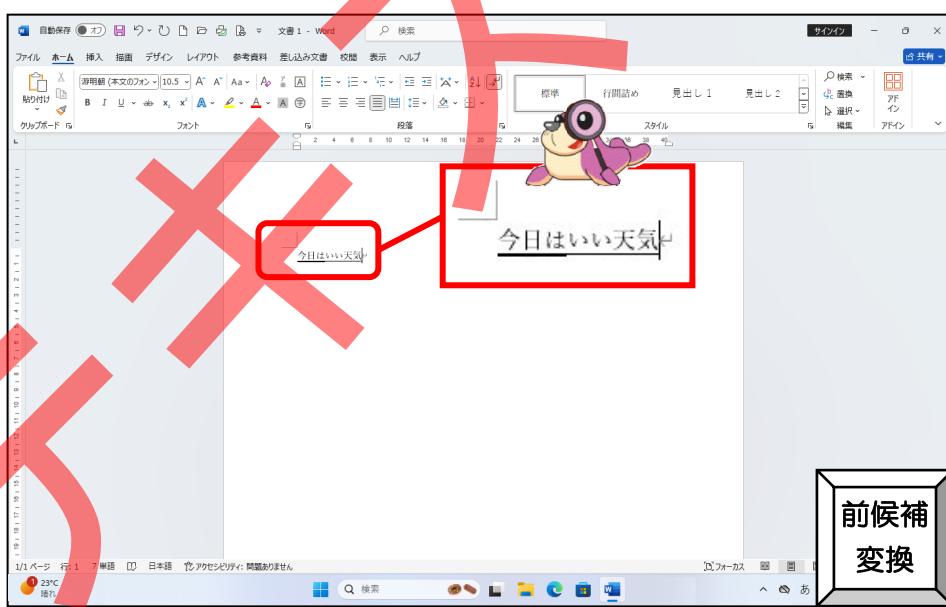
バック スペース [Back Space]キーを押して、「い」を1つ削除しましょう



「い」の前にカーソルがきている場合は、[Delete]キーで消すと同じ操作になります。

4

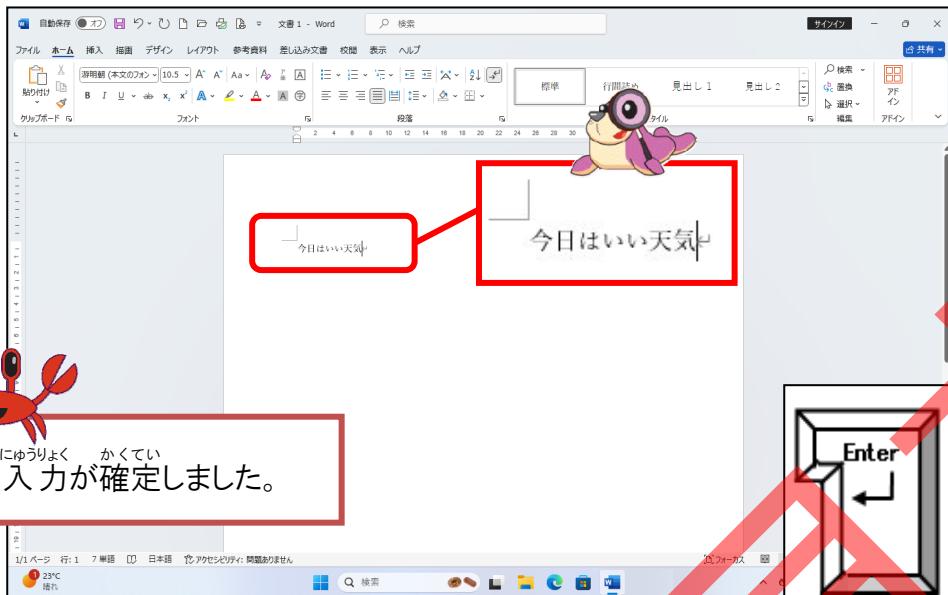
へんかん [変換]キーを押して、「今日はいい天気」に変換しましょう



③の予測候補から選択しても同じです。

5

エンター [Enter] キーを押しましょう



わからなひ人は、レッスン
ひと
ふくしゅう
6-(10)を復習しましょう。

つぎ そ う さ も じ け 次の操作のために、文字はすべて消しておきましょう





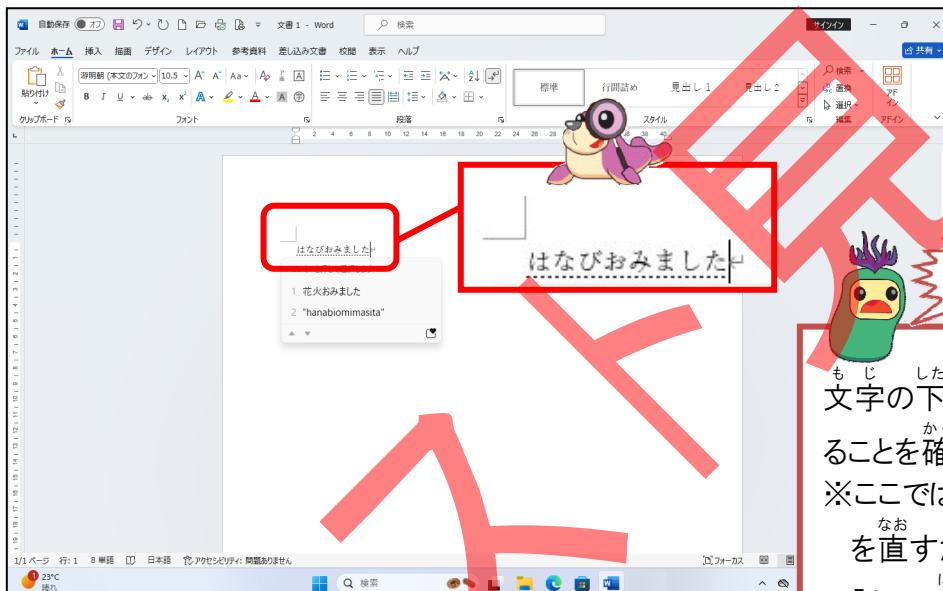
文書の入力を始めましょう

～変換中に修正する方法～

操作をしてみましょう

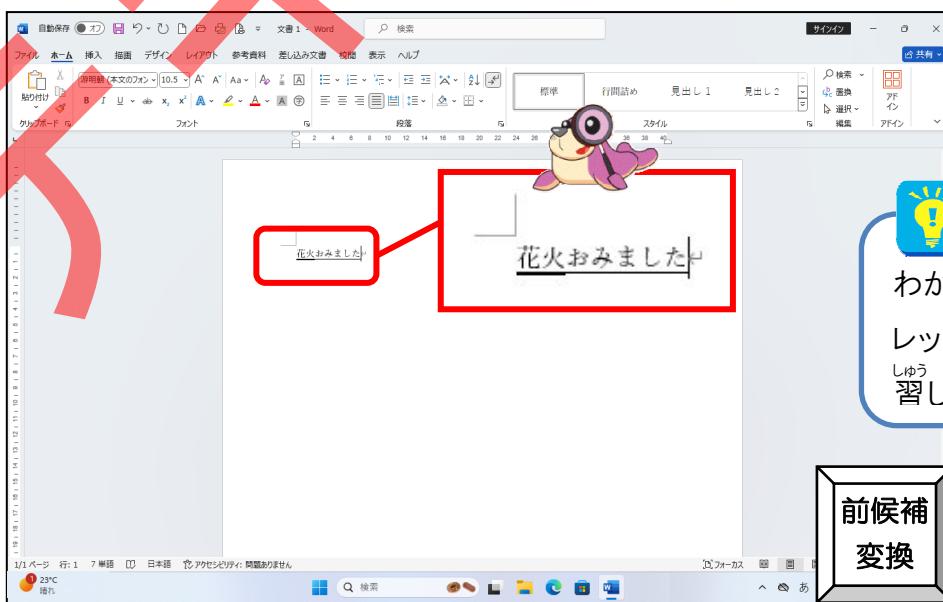
①

HA NA BI O MI MA SI TA にゅうりょく
「は な び お み ま し た」と入力しましょう



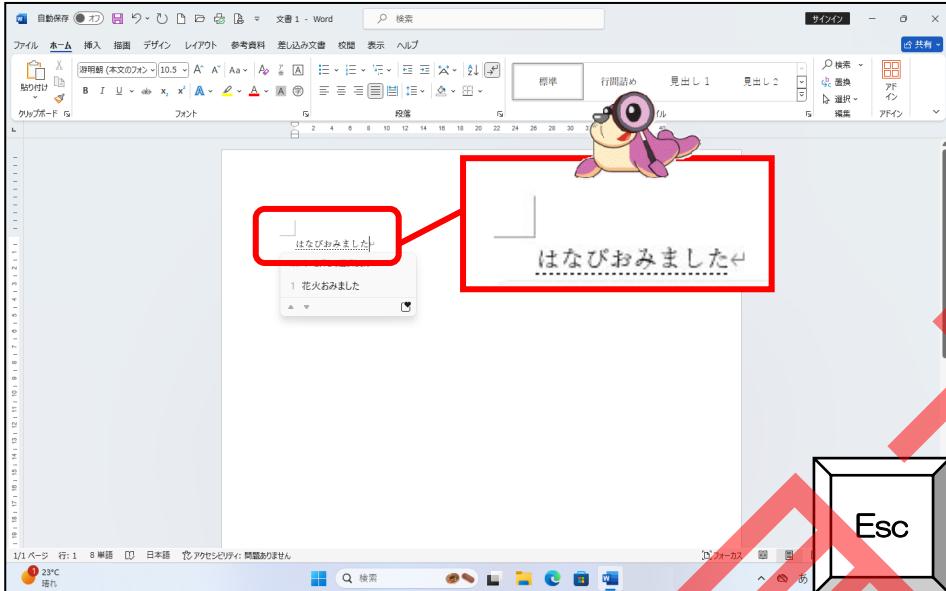
②

へんかん お かんじ へんかん
[変換]キーを押して、漢字に変換しましょう



3

エスケープ [Esc]キーを2回押して、すべてひらがなにしましょう

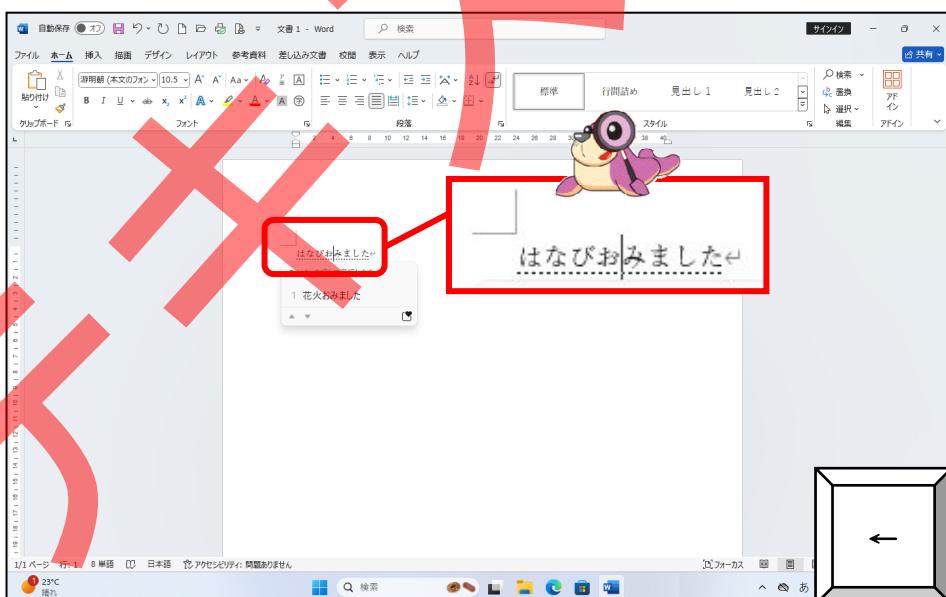


しゅうせい ほほう
くひらがなにもどさずに、修正する方法>

③の操作をとばして、④の操作をしても、同じように修正することができます。
この時、文節と漢字の変換はそのままになります。

4

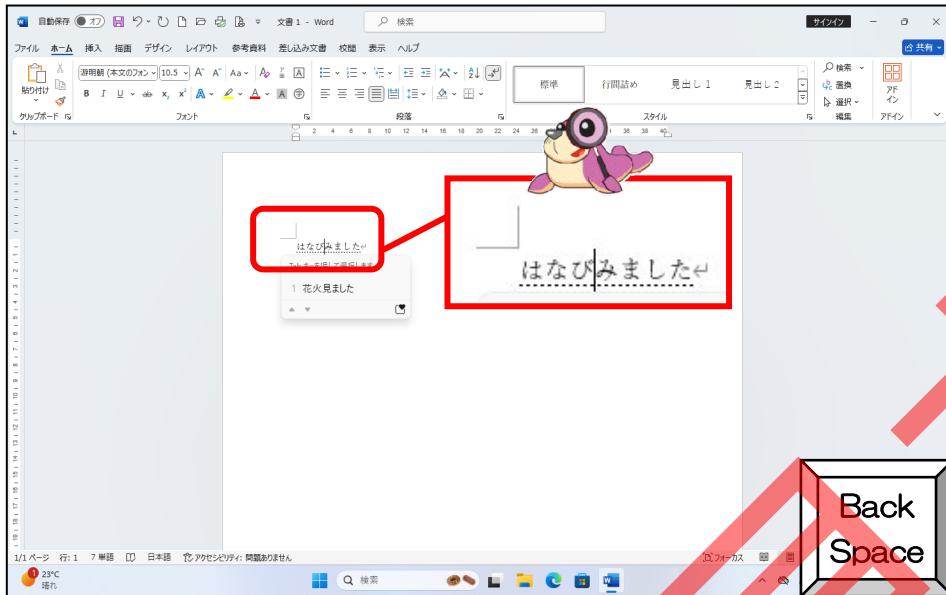
←]キーを押して、「み」の前まで、カーソルを移動させましょう



まえ ば あい デリート け おな そ う さ
「お」の前にカーソルがきている場合は、[Delete]キーで消すと同じ操作になります。

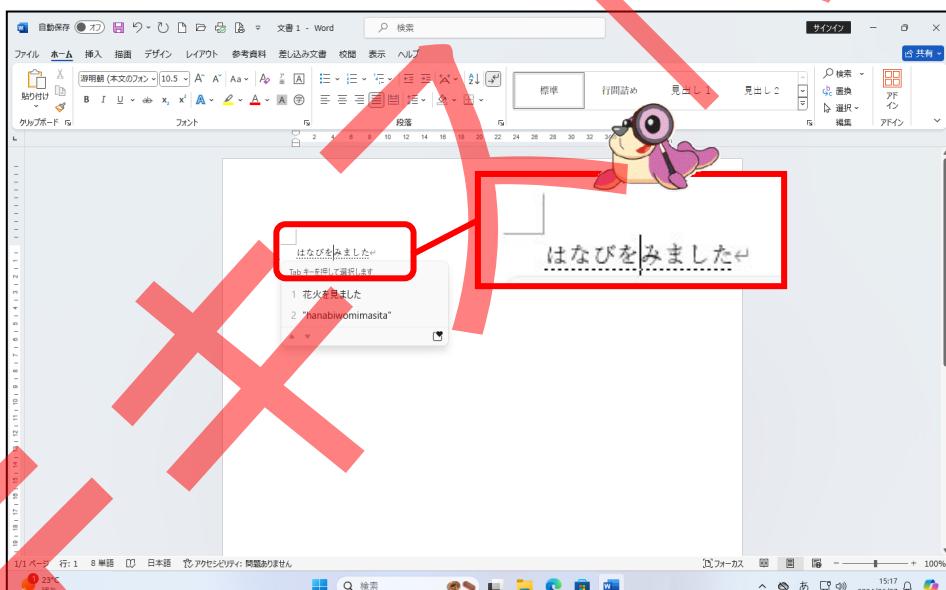
5

バック スペース お さくじょ
[Back Space]キーを押して、「お」を削除しましょう



6

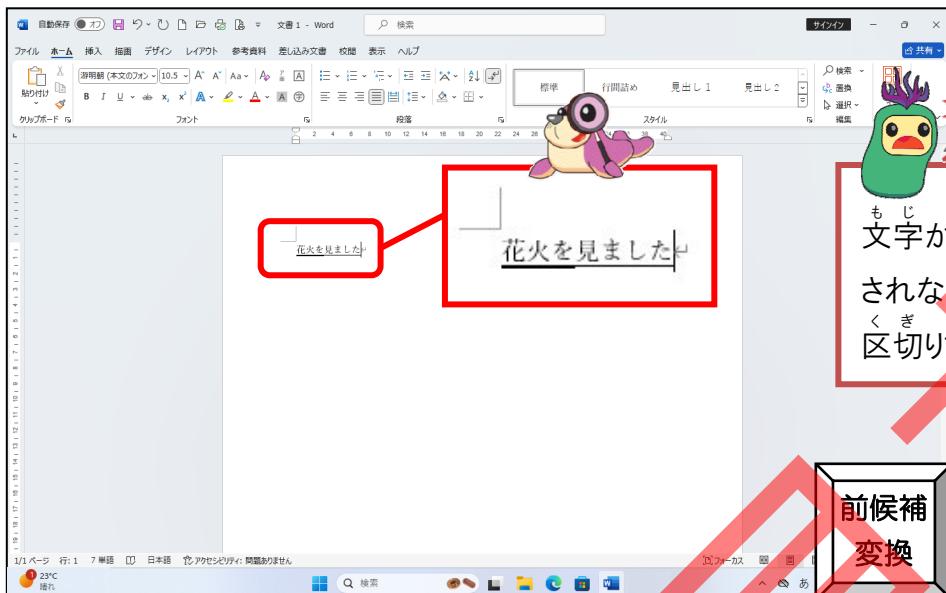
WO にゅうりょく
「を」を入力しましょう



WO にゅうりょく
「を」を入力した時に、一覧に正しく表示されていれば、⑦ の操作に進ま
ず、変換一覧から選択して⑧ に進みましょう。

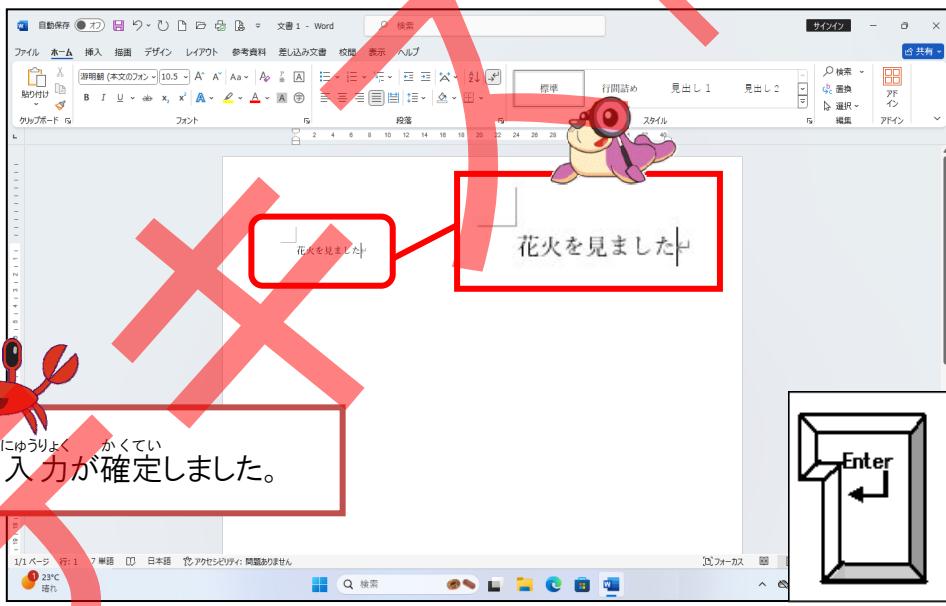
1

へんかん お はな び み へんかん
[変換]キーを押して、「花火を見ました」に変換しましょう



8

エンター お
[Enter]キーを押しましょう



つぎ そろさ もじ け
次の操作のために、文字はすべて消しておきましょう

HINT!
ひと
わからない人は、レッスン
ふくしゅう
6-(10)を復習しましょう。



レッスン8 (5)

文書の入力を始めましょう

～文章に必要な句読点を入力しましょう～

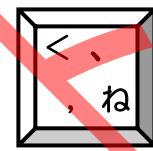
句読点について学びましょう

句読点とは？

書き言葉において、自分の伝えたいことを正しく伝えることを目的として、文のつくりや語句の関係を示すための記号のことです。また、くぎり符号とも言います。

◆ 読点 (、)

文を読みやすくし、意味の切れ目をわかりやすくするために打つ点のことです。
読点を打つ位置によって、同じ文章でも、意味が異なります。

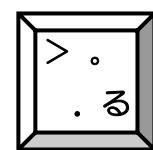


キーボードの表示

(パソコンによって、ちがう場合があります)

◆ 句点 (。)

文の終わりにつける丸のこと。「」の中の文にもつけます。



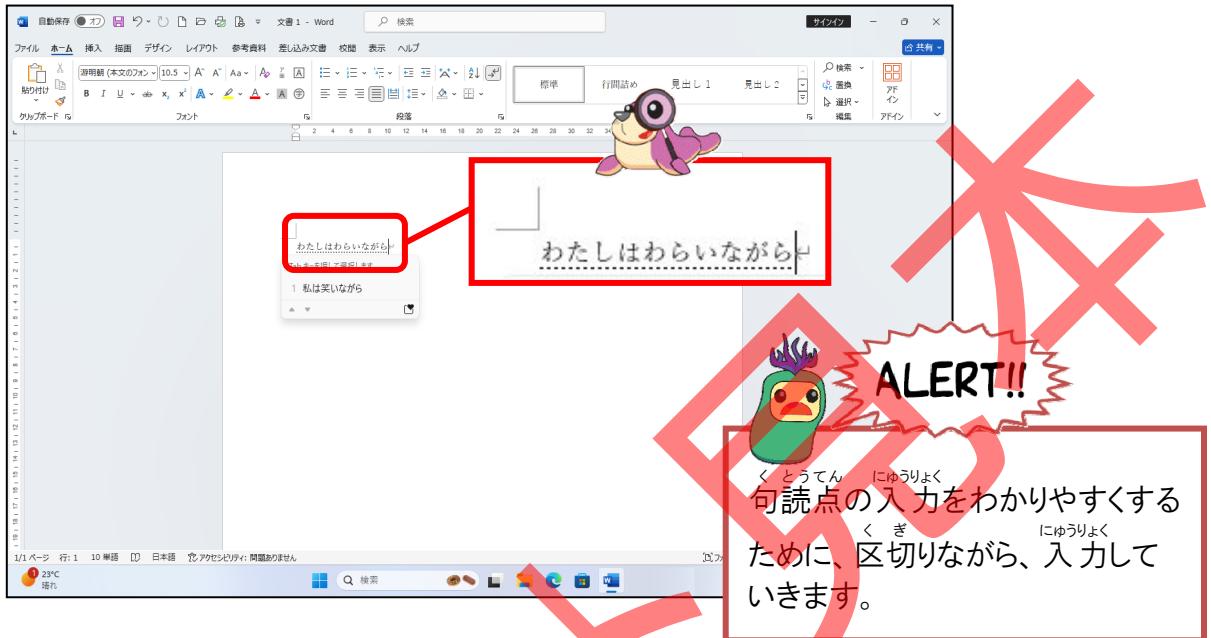
キーボードの表示

(パソコンによって、ちがう場合があります)

操作をしてみましょう

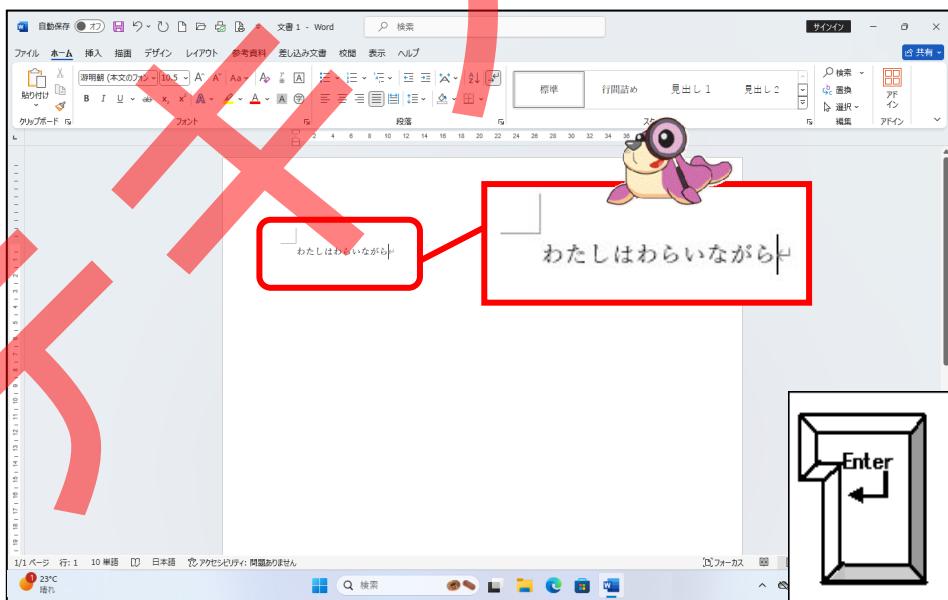
1

WA TA SI HA WA RA I NA GA RA
「わ た し は わ ら い な が ら」と入力しましょう



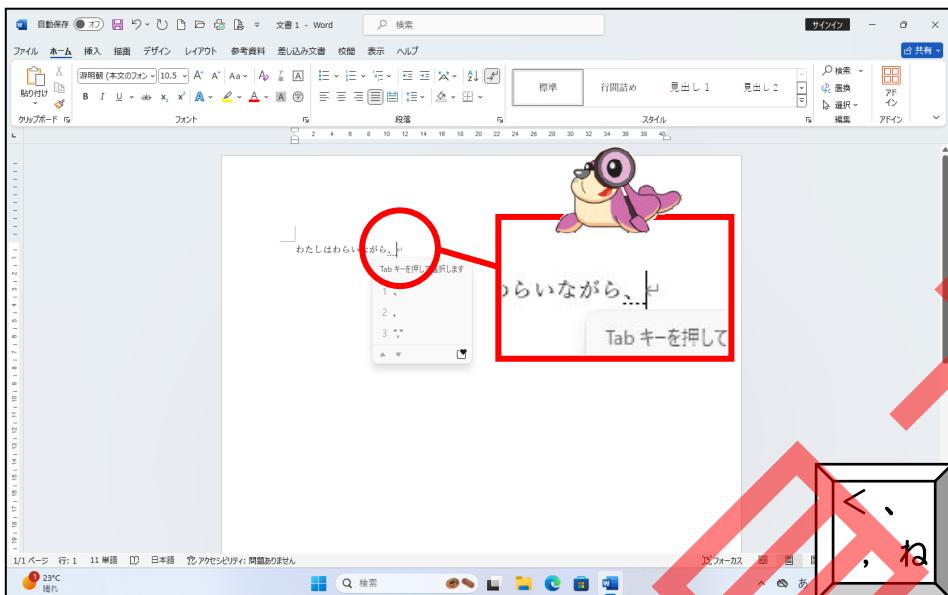
2

エンター [Enter] キーを押しましょう



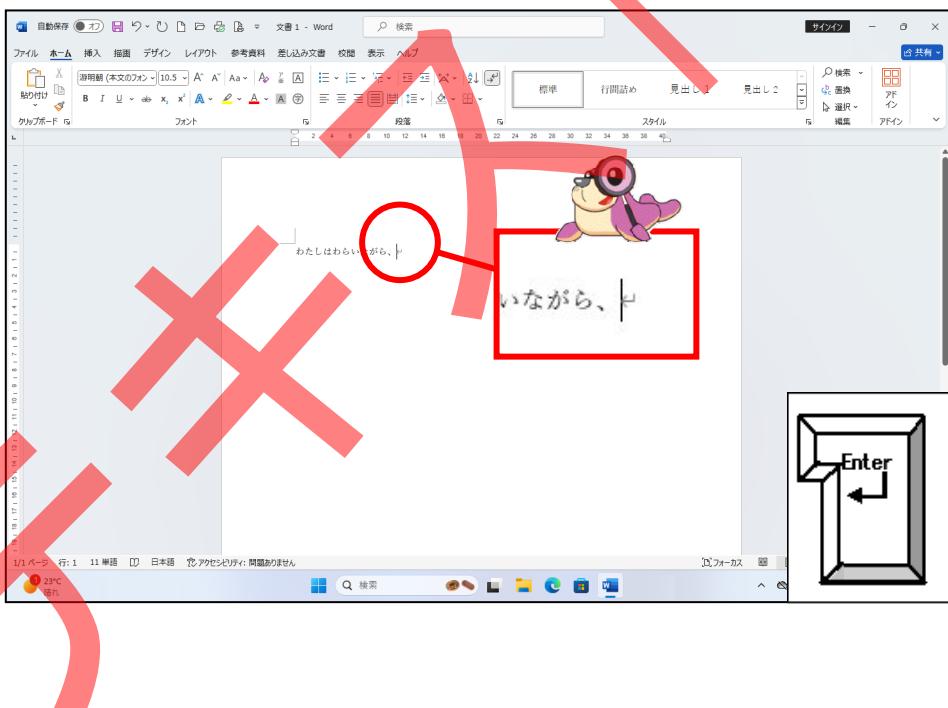
3

とうてん にゅうりょく 読点「、」を入力しましょう



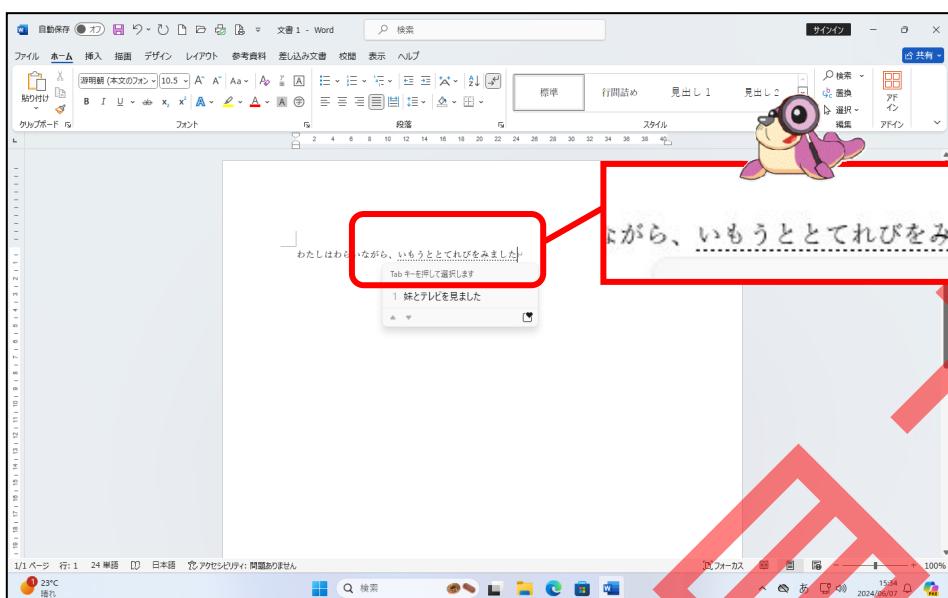
4

エンター お [Enter]キーを押しましょう

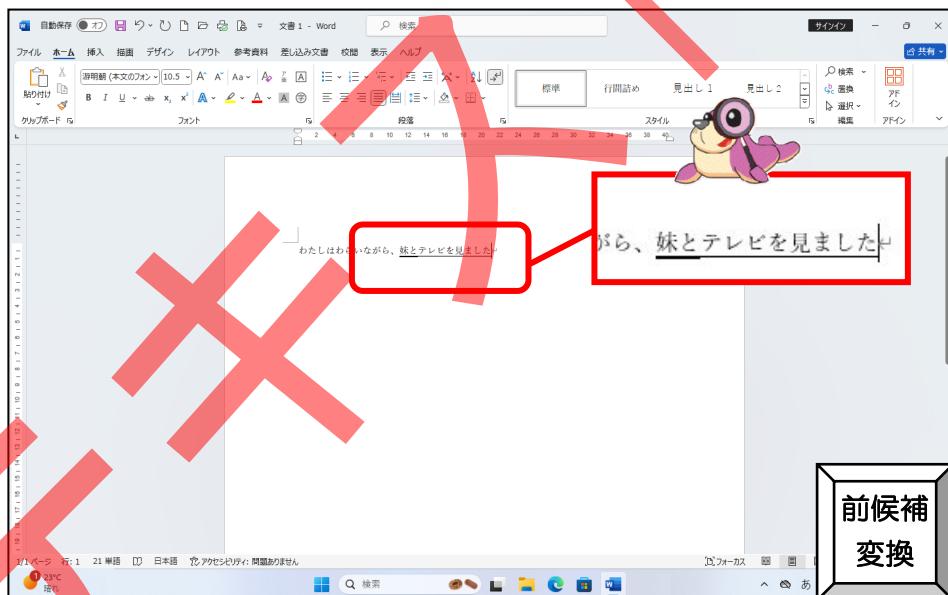


5

I MO U TO TO TE RE BI WO MI MA SI TA
「い もうと とてれび をみまし た」と入力しましょう



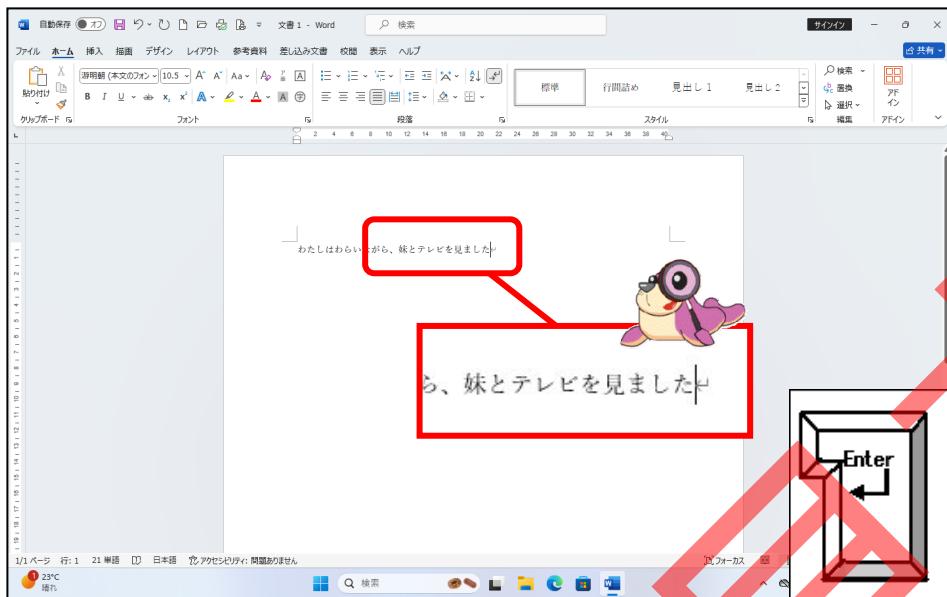
6
へんかん
[変換]キーを押しましょう



もじ かんじ へんかん ひと ぶんせつ くぎ
文字が漢字にうまく変換されない人は、文節を区切りましょう。

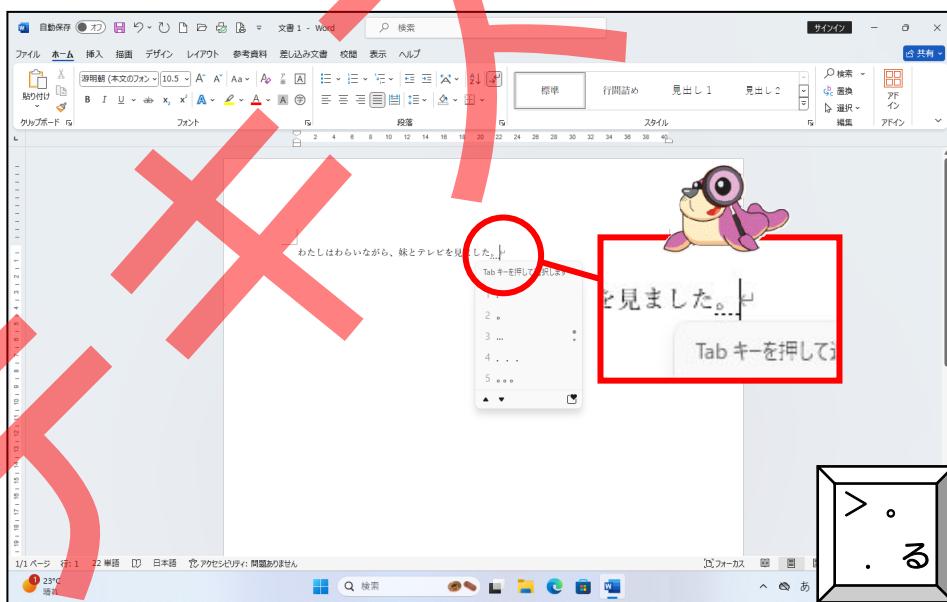
1

エンター [Enter] キーを押しましょう



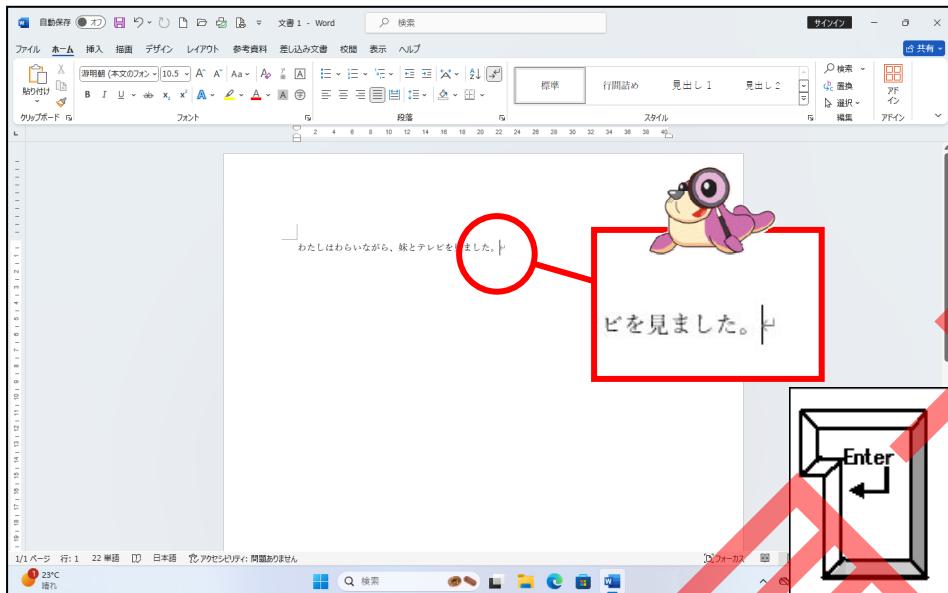
8

句点「。」を入力しましょう



9

エンター [Enter] キーを押しましょう



<句読点以外で、よく使うかっこなどの入力>

使用するキー	入力される記号	入力方法
? . , め	・ 中点	そのまま入力します。
= 一 ほ	一 長音	そのまま入力します。
{ 「 。 [「 開きかっこ(はじまり)	そのまま入力します。
} 」] む	」 閉じかっこ(おわり)	そのまま入力します。

つぎ そ う さ 次の操作のために、文字はすべて消しておきましょう



ひと
わからぬ人は、レッスン
ふくしゅう
6-(10)を復習しましょう。

れんしゅうもんだい
ここで、レッスン8の練習問題をしましょう。



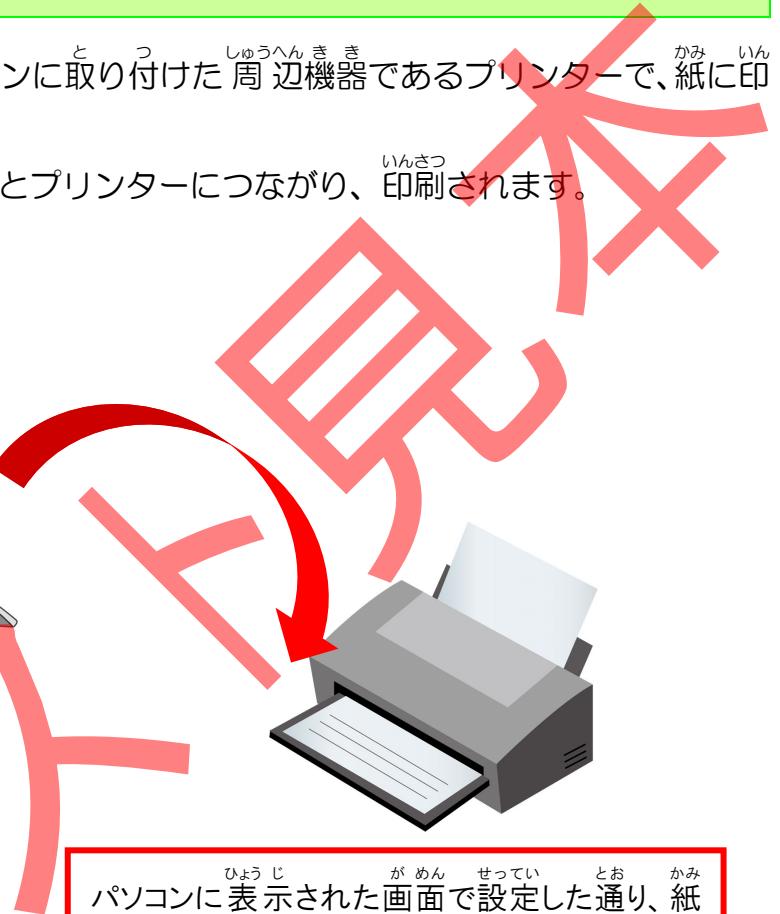
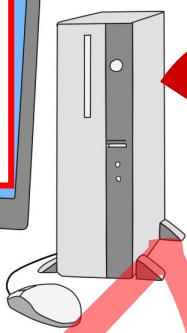
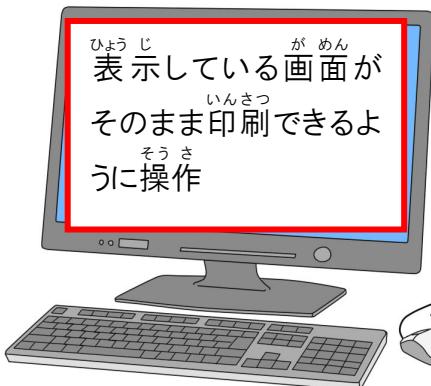
レッスン9 (1)

文書入力の仕上げをしましょう ～入力した文書を印刷しましょう～

印刷について学びましょう

パソコンに表示された画面は、パソコンに取り付けた周辺機器であるプリンターで、紙に印刷することができます。

印刷操作は、パソコンから指示を出すとプリンターにつながり、印刷されます。



パソコンに表示された画面で設定した通り、紙や写真用紙などに印刷できます。

操作をしてみましょう

1

「じこしょうかい」に自分のことを入力しましょう

じこしょうかい

じぶん なまえ
●自分の名前
ねん
●年れい
すきなたべもの
●すきなたべもの
●きらいなたべもの
●すきないろ
●行ってみたい國
くに
●しょうらいのゆめ

ALERT!!

「あざらし」と「きっず」の間に、[Space]キーを入れてください。[Space]キーは、□で表示されます。半角スペースは[Shift]キーを押しながら、[Space]キーを押します。半角スペースは、・で表示されます。

□が表示されていない場合は、[編集記号の表示／非表示]をクリックします。

段落

2

[ファイル]タブにポイントし、そのままクリックしましょう

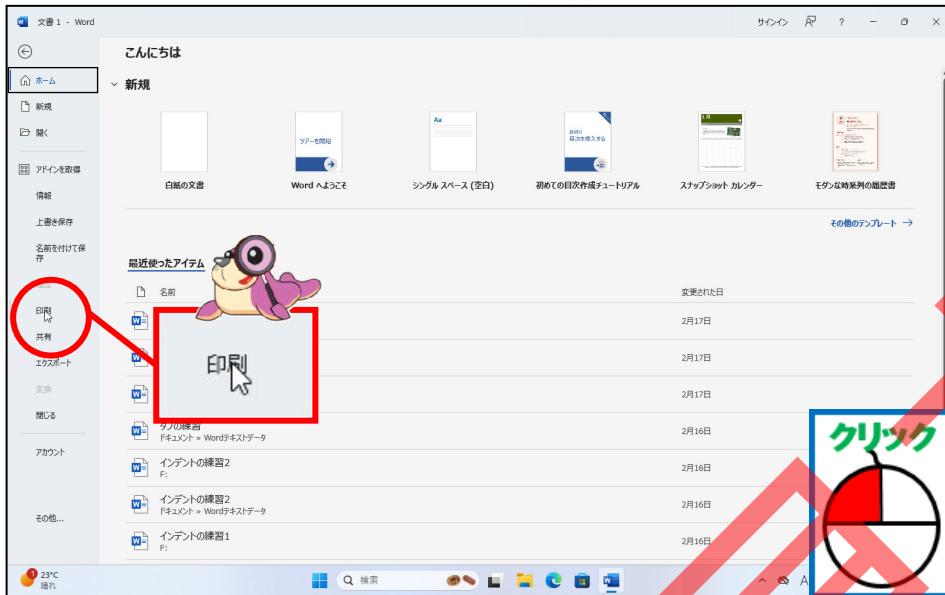
ファイル ホーム

名前は、あざらし きっずです。
年れいは、7さいです。
すきなたべものは、メロン・ケーキ・チョコレートです。
きらいなたべものは、いくらです。
すきないろは、青いろです。
行ってみたい国は、イタリアです。
しょうらいのゆめは、サッカーセン手です。

クリック

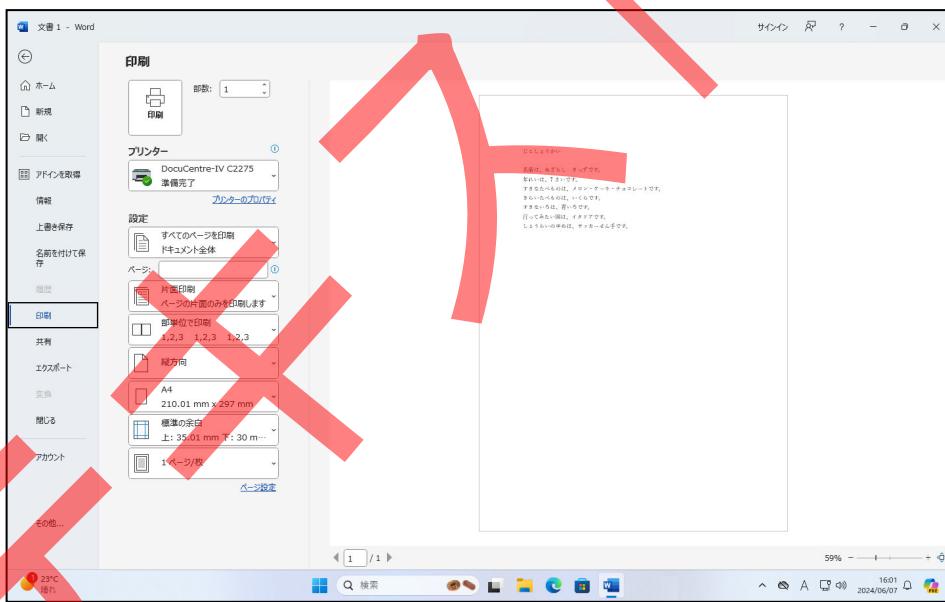
3

いんさつ
[印刷]にポイントし、そのままクリックしましょう



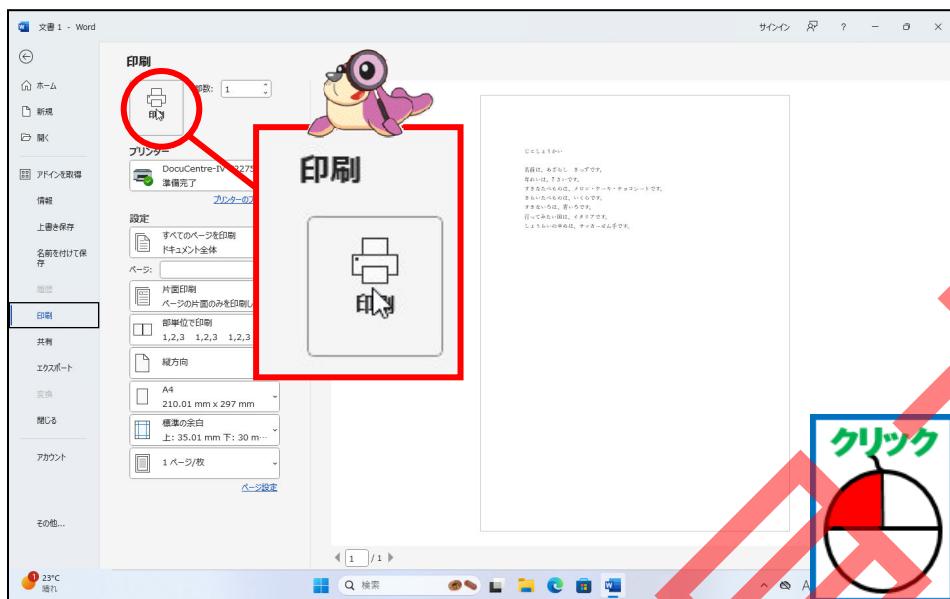
4

が めん か かくにん
画面が変わったことを確認しましょう



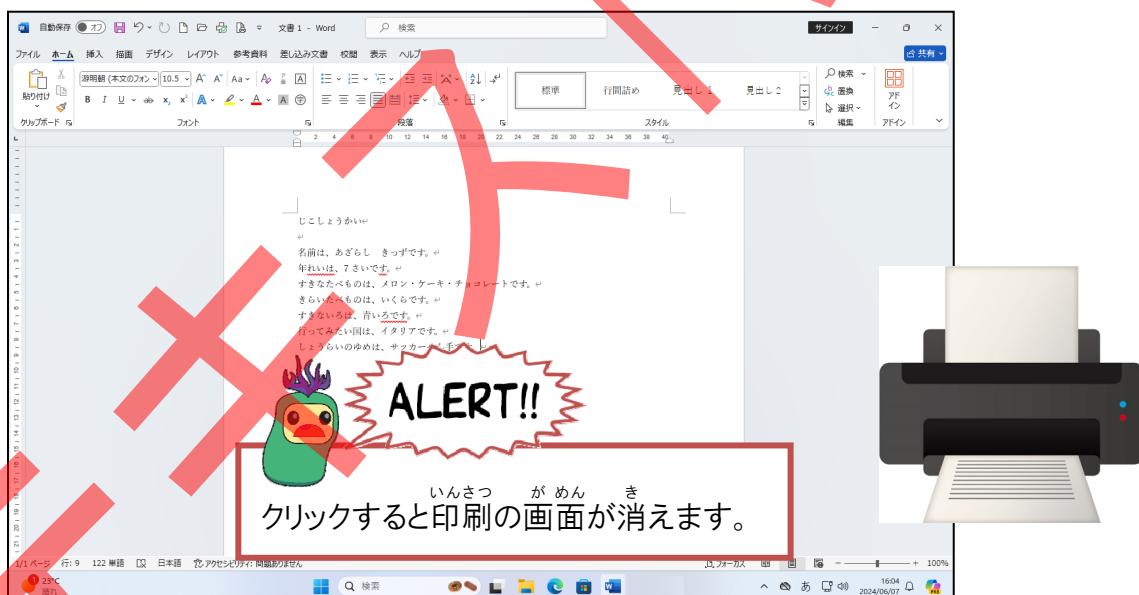
5

いんさつ [印刷]にポイントし、そのままクリックしましょう



6

いんさつ ようしで 印刷されて、用紙が出てきます



いんさつ じかん ま
印刷には、時間がかかるので、しばらく待ちましょう。

つぎ そ う さ が めん
次の操作のために画面は、そのままにしておきましょう

レッスン9 (2)



文書入力の仕上げをしましょう ～作成した文書を保存しましょう～

保存について学びましょう

◆ 保存とは？

アプリなどで、作成中のデータをハードディスクなどに記録することです。作成中のデータは基本的にメモリー上に置かれており、保存しないままアプリを終了させると、内容が消えてしまいます。

◆ 保存には、「名前を付けて保存」と「上書き保存」の2種類があります。

① 名前を付けて保存

ファイルを保存するときの方法の一つです。作業中のデータを新しいファイルとして保存します。また、既存のファイルを開いた状態で「名前を付けて保存」をすると、その内容は新しいファイルとして別に保存され、既存ファイルは変更されないまま残ります。

② 上書き保存

既存ファイルの内容を書き換えて、新しい内容に保存します。

◆ データの保存場所を選びます。

保存先	役割
パソコンのハードディスク	パソコンの中にデータを保存する場合
ユーズビー USBメモリー(テキストで使用) シーディー アール シーディー アールダブリュー C D - R • C D - R W	パソコンの外にデータを保存する場合
ディーブイディー アール ディーブイディー アールダブリュー D V D - R • D V D - R W	

※ C D - R と C D - R W 、 D V D - R と D V D - R W のちがい
C D と D V D のちがいは、保存できるデータの大きさのちがいで、 D V D の方がたくさんデータを保存できます。 C D には音楽や書類のデータの保存、 D V D には映画などの映像のデータを保存します。データに応じて使い分けましょう。両方に共通している「 R 」と「 R W 」のちがいは、「 R 」がデータの書き込みが1回だけでき、「 R W 」は、何度も書き込みができます。データを修正する場合は、 R W を使います。

USBメモリーについて学びましょう

USBメモリーとは？

USBフラッシュメモリーと呼びます。パソコンのUSB端子に直接さしてデータを読み書きするスティック型メモリーの総称です。データを記憶する装置の1つで、パソコンの中の写真などのデータを別のパソコンに移したい時、パソコンの外にデータを移すための装置です。数千枚の写真のデータを保存することができます。そして、データを何度も書き換えることができます。

USBメモリーの取り付け方

① USBメモリーのキャップをはずしましょう



USBメモリーによっては、キャップをはずさないものもあります。

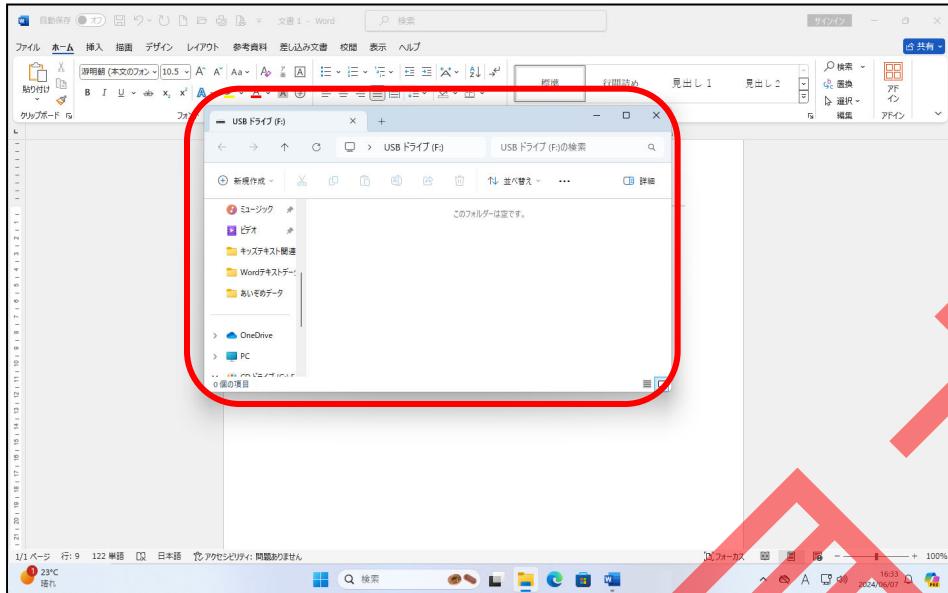
② USBメモリーのさしこみ口を確認して、さしこみましょう



パソコンによって、USBメモリーのさしこみ口の位置がちがいます。位置を確認しましょう。さしこむ時は、USBメモリーのさしこむ向きも確認しましょう。

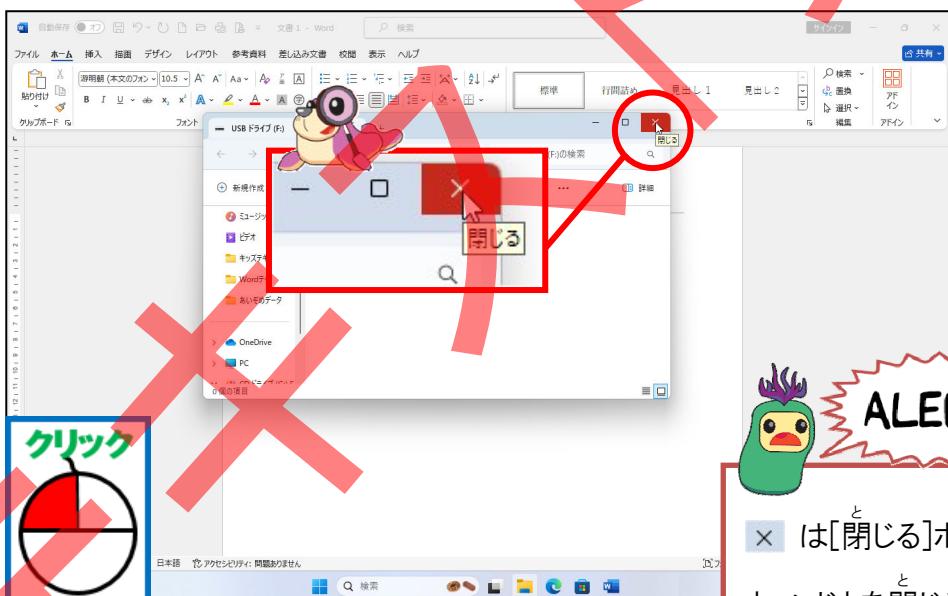
3

が めん し かく ひょう じ かくにん
画面に[エクスプローラー]の四角が表示されていることを確認しましょう



4

× にポイントし、そのままクリックしましょう



× は[閉じる]ボタンといい、
ウインドウを閉じるボタンです。

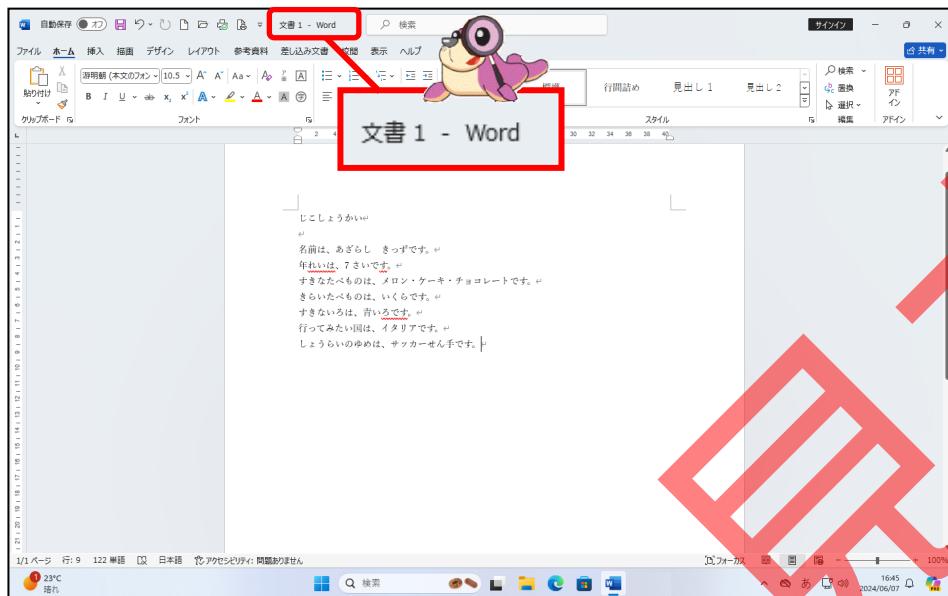


× はポイントすると、いろか
になり、色が変わります。

ほそん そうさ 保存の操作をしてみましょう

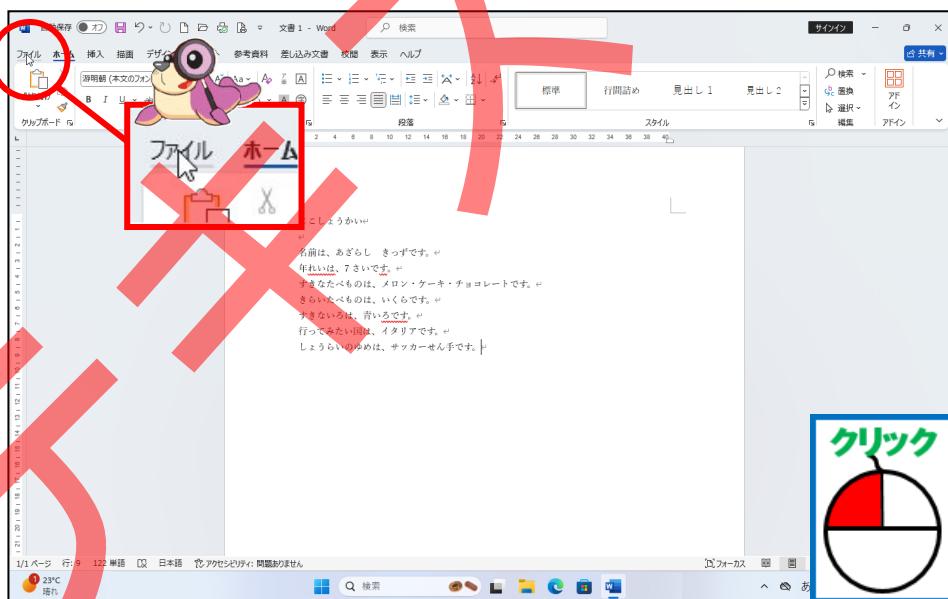
1

めい　ふんしょ　かくにん
ファイル名が「文書1」になっていることを確認しましょう



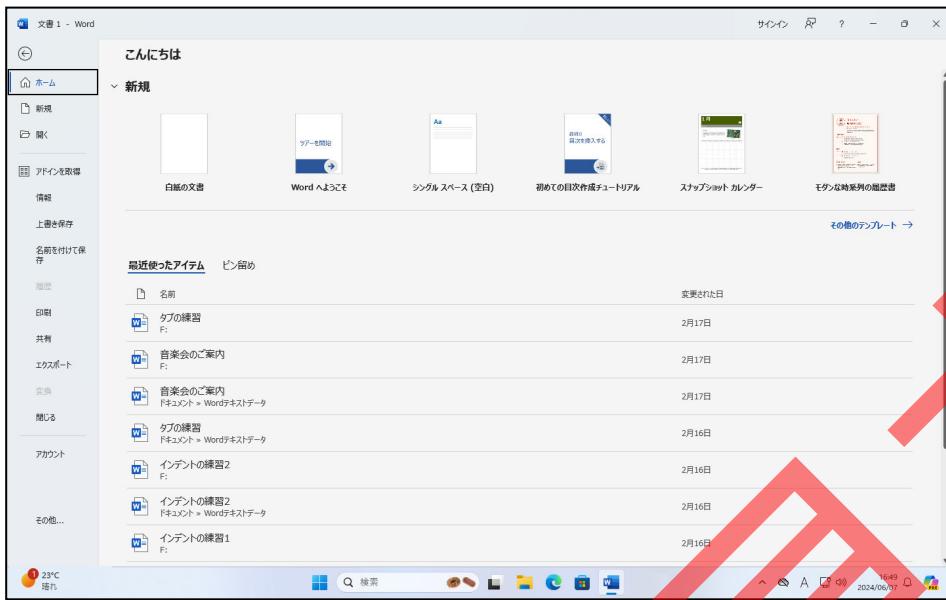
2

[ファイル]にポイントし、そのままクリックしましょう

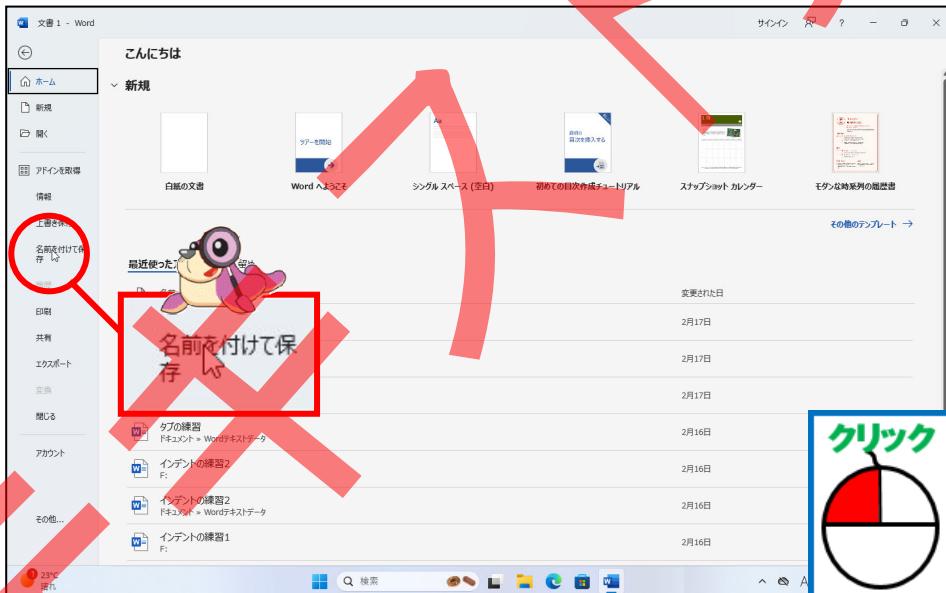


3

が めん か
画面が変わったことを、確認しましょう

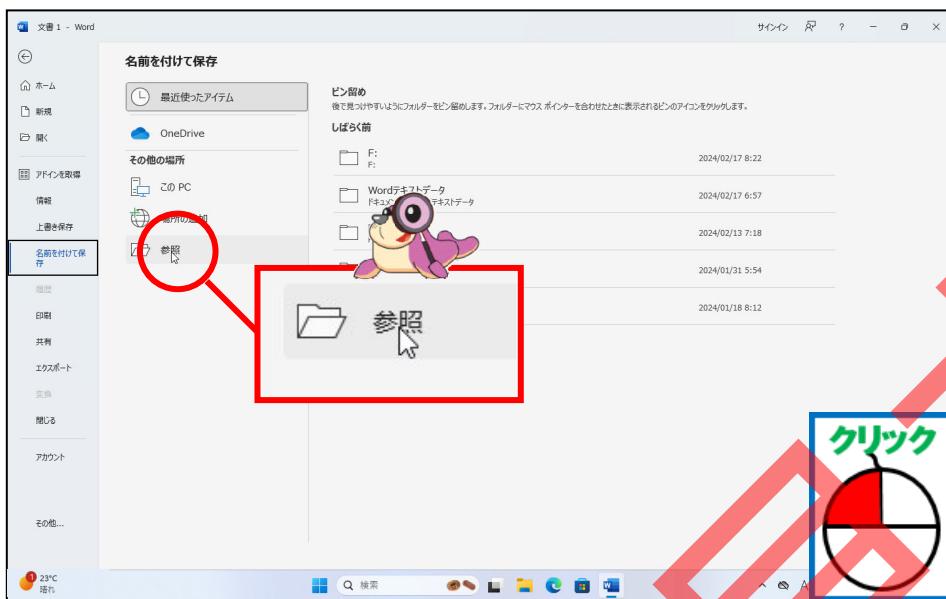


な まえ つ ほ そん
[名前を付けて保存]にポイントし、そのままクリックしましょう



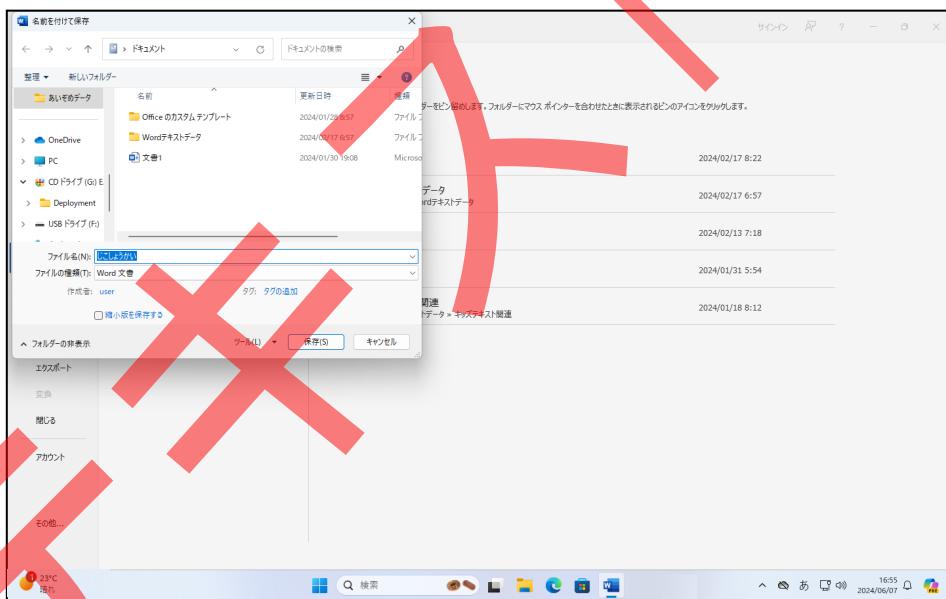
5

さんしゅう
[参照]にポイントし、そのままクリックしましょう



6

が めん か かくにん
画面が変わったことを確認しましょう

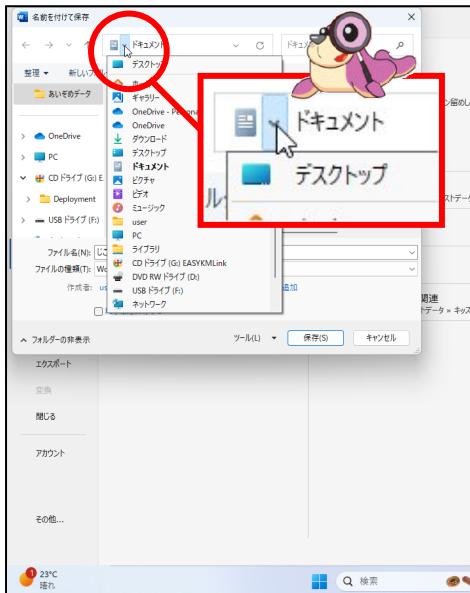


とき う づ ユーエスピー^{USB}
この時に右図のようにU S Bドライブが
ひょうじ 表示されていれば、⑩の操作に進みましょう。
ユースピー ユースピー ヒュウジ
U S BメモリーはU S Bドライブと表示されます。



1

ひだりがわ
ドキュメントの左側にある ➤ にポイントし、そのままクリックしましょう

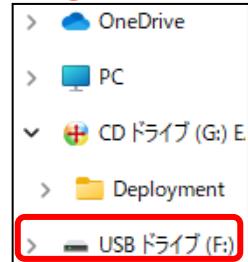


ALERT!!

ピシー ひだりがわ
PC の左側にある ➤ をクリック
すると、▼ が
変わります。

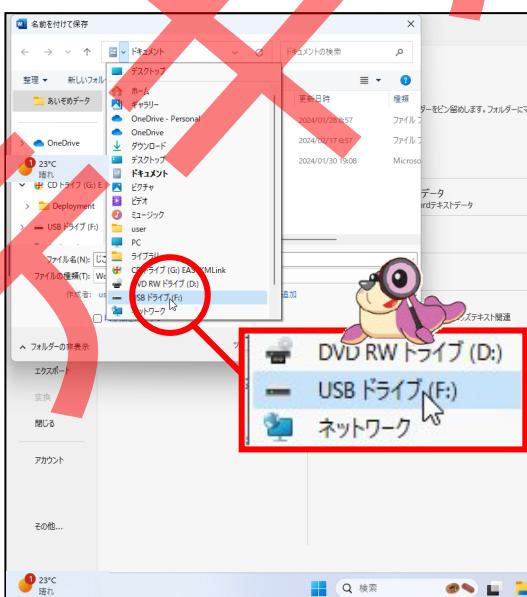


が めん ひだり
画面の左に「USB ドライブ」の文字が表示されれば、
そこをクリックして⑨ に進んでも大丈夫です。



8

ユーエスピー
[USB ドライブ]にポイントし、そのままクリックしましょう



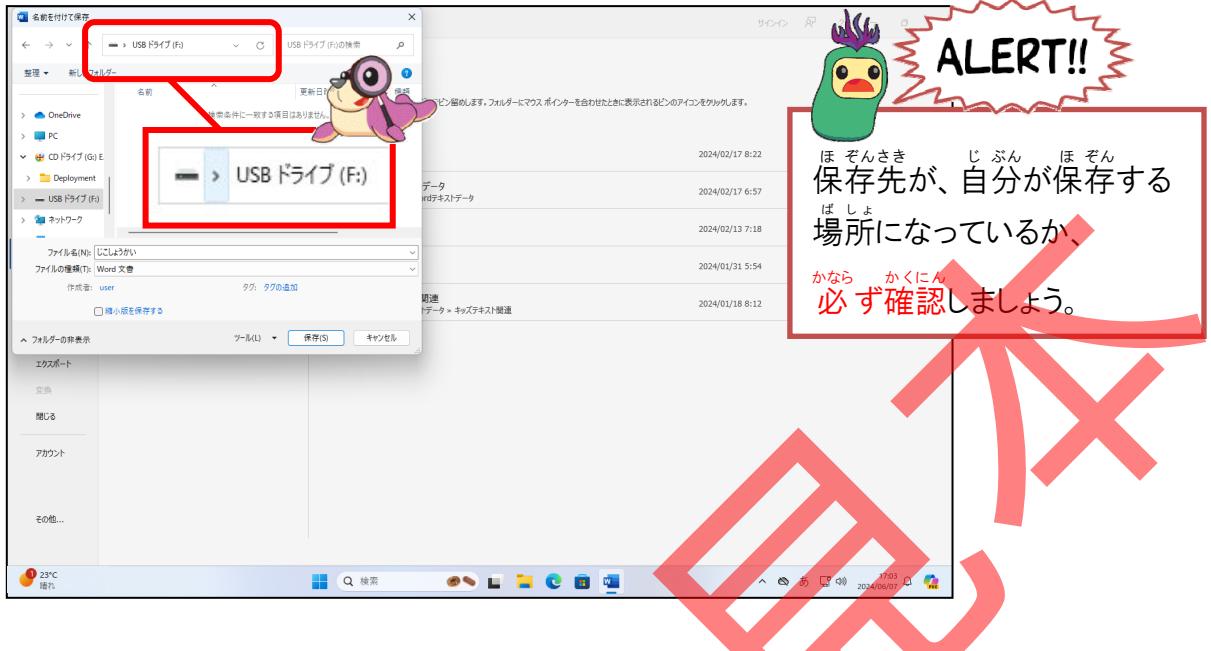
ALERT!!

ユーエスピー
U S B メモリーに保存する場
あい 合は、U S B ドライブを指定
します。



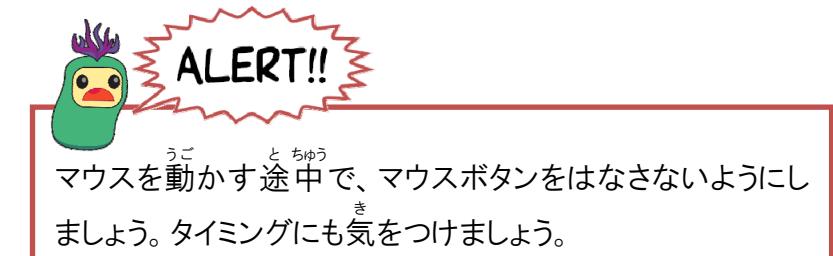
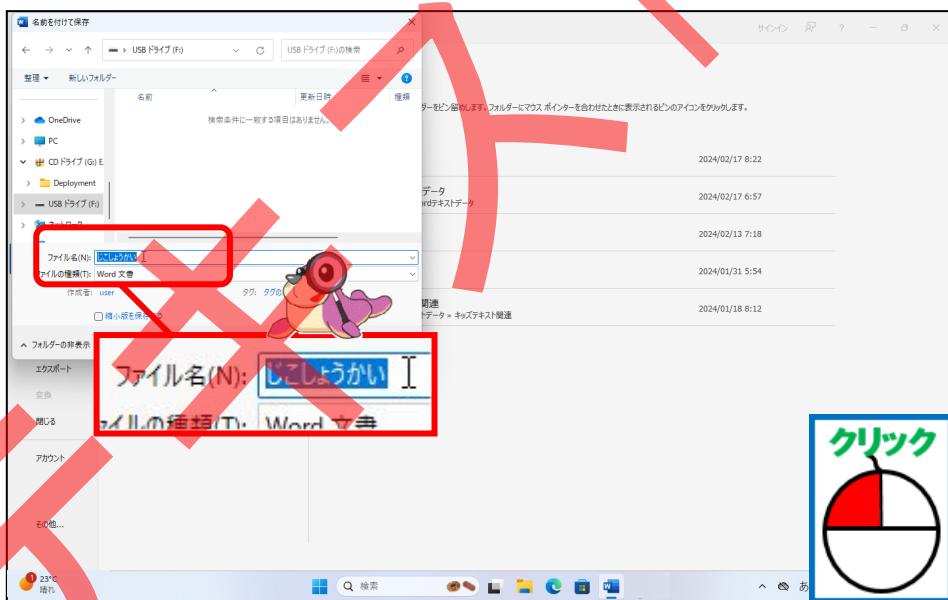
9

ほぞんさき ユーエスピー か
保存先がUSBドライブに変わったことを確認しましょう かくにん



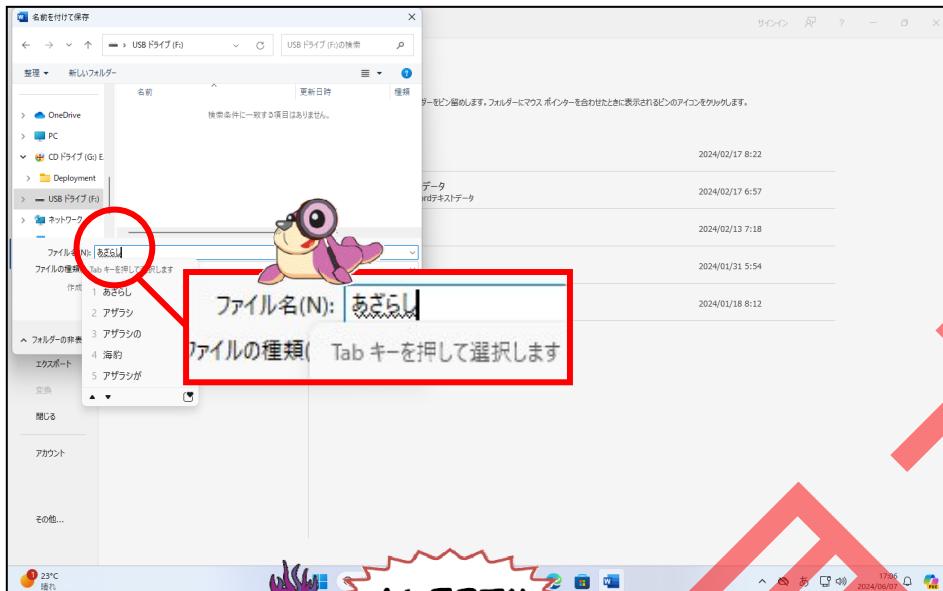
10

めいひょうじ せんたく
ファイル名に表示された「じこしょうかい」をクリックして選択しましょう



11

めい じ ぶん な まえ にゅうりょく
ファイル名に「自分の名前」を入力しましょう(テキストでは「あざらし」)



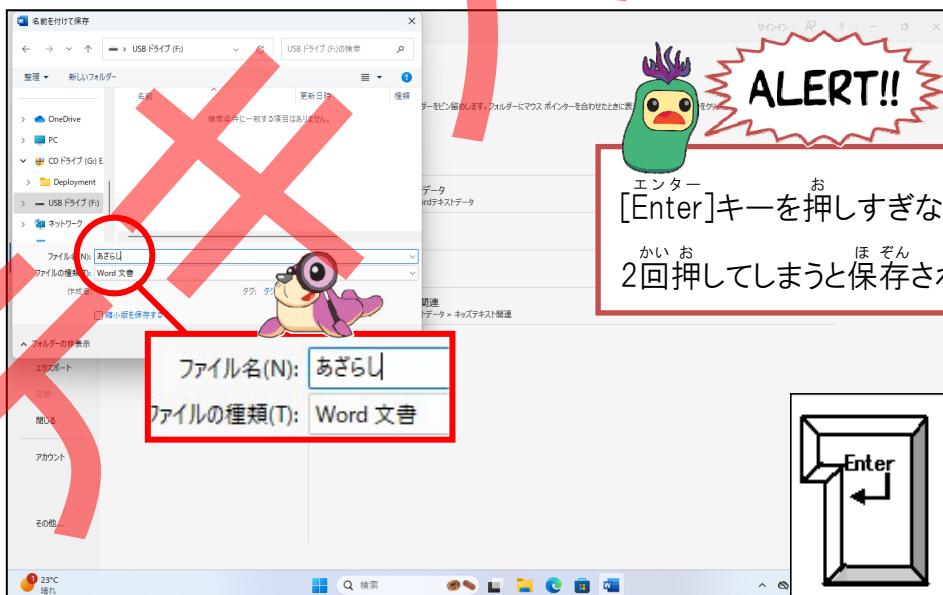
ALERT!!

とき した ず も じ せんたく ば あい
この時に、下の図のように文字がブルーで選択されていない場合は、
めい にゅうりょく も じ け な まえ にゅうりょく
ファイル名に入力されている文字を消してから、名前を入力しましょう。

ファイル名(N): じこしょうかい

12

エンター [Enter]キーを1回押しましょう

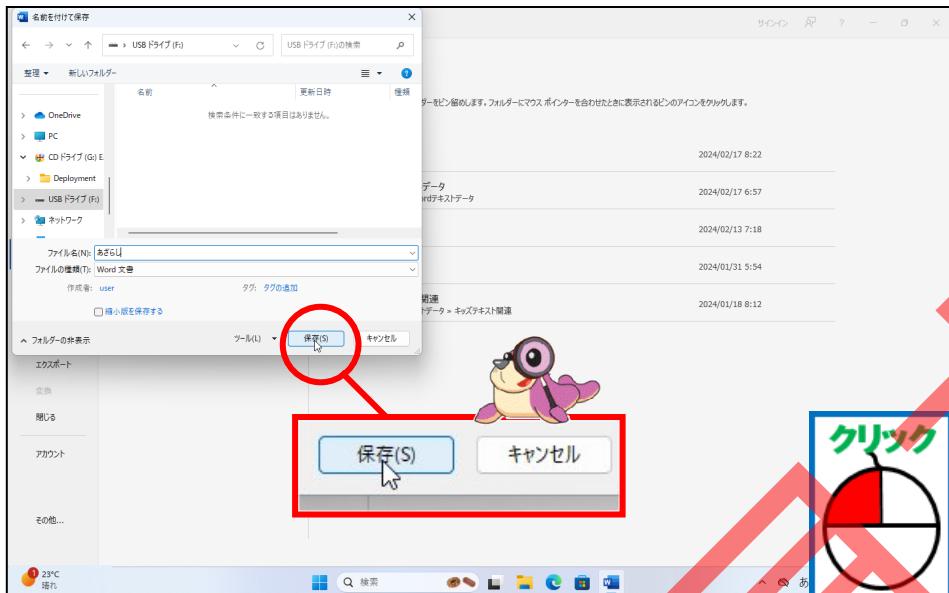


ALERT!!

エンター [Enter]キーを押しすぎないように！
かい お ほ ぞん
2回押してしまうと保存されてしまいます。

13

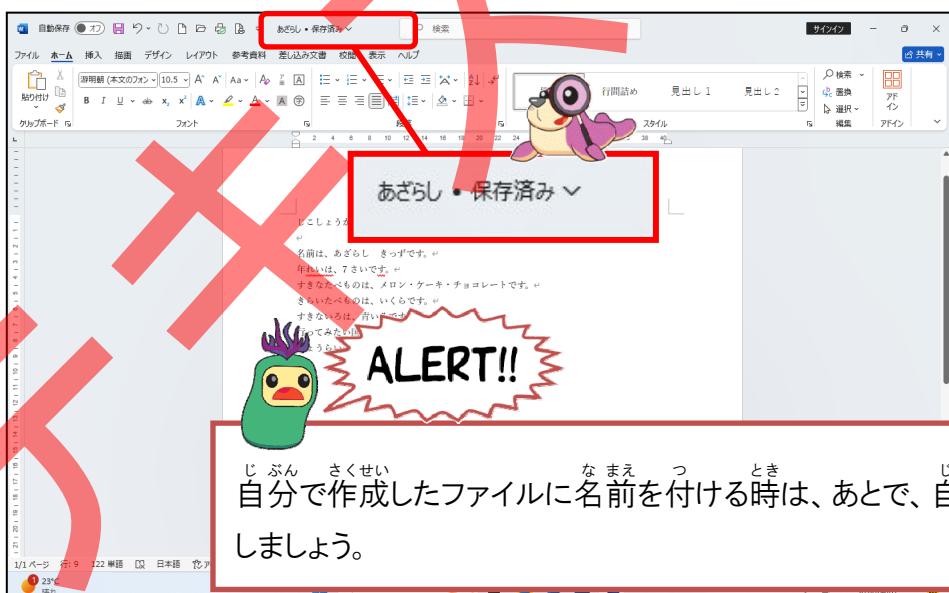
ほぞん
[保存]にポイントし、そのままクリックしましょう



べつ ほうほう
<別の方法>
エンター お ほぞん
[Enter]キーを押すと、[保存]をクリックしたことと同じ操作になります。

14

めい ぶんしょ
ファイル名が「文書1」から「あざらし」に変わったことを確認しましょう



つぎ そろさ
次の操作のために、ワードを閉じておきましょう

HINT!
ひと
わからない人は、レッスン
ふくしゅう
5-(1)を復習しましょう。

① [ファイル]にポイントし、クリックしましょう

② [名前を付けて保存]にポイントし、クリックしましょう

③ [参照]にポイントし、クリックしましょう

④ [ドキュメント]の左にある ▶ にポイントし、クリックしましょう

⑤ [USB ドライブ]にポイントし、クリックしましょう

⑥ ファイル名を入力しましょう

⑦ [保存]にポイントし、クリックしましょう



レッスン9 (3)

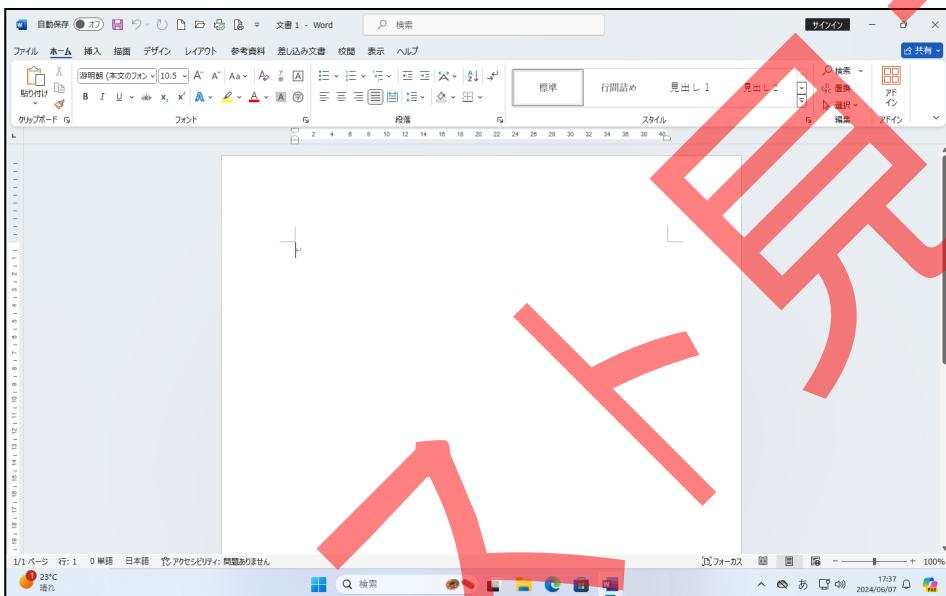
文書入力の仕上げをしましょう

～文書が保存できているか確認しましょう～

操作をしてみましょう

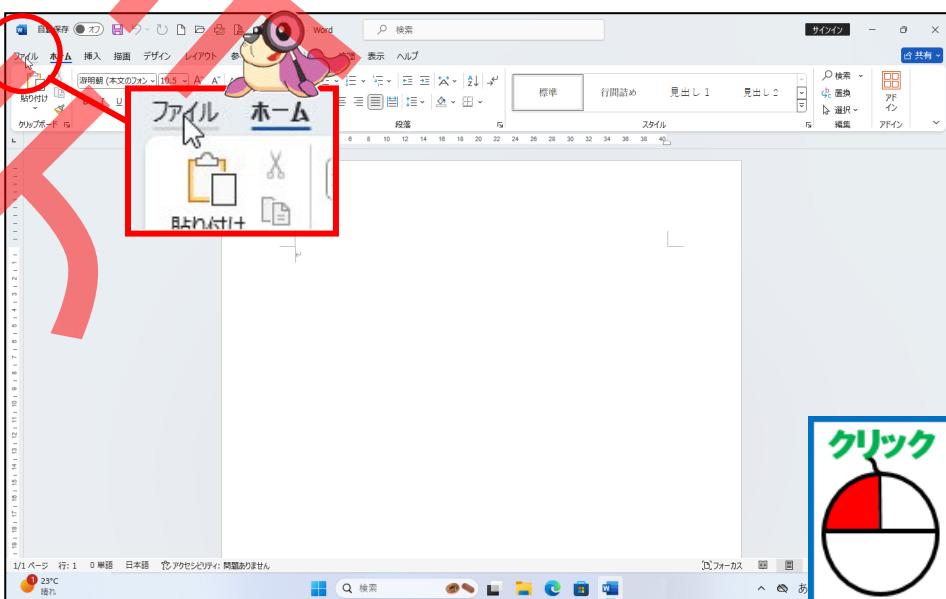
1

ワードを起動しましょう



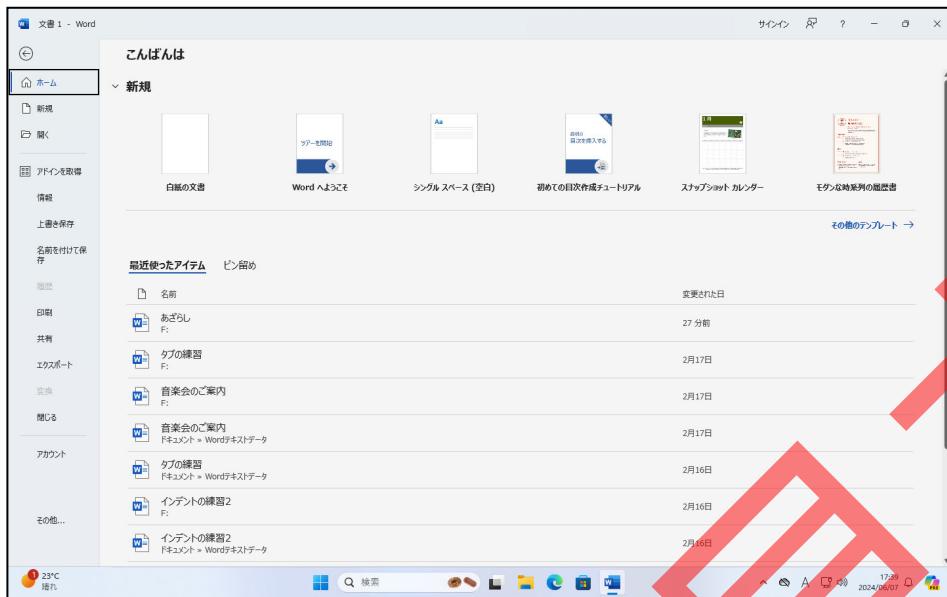
2

[ファイル]にポイントし、そのままクリックしましょう



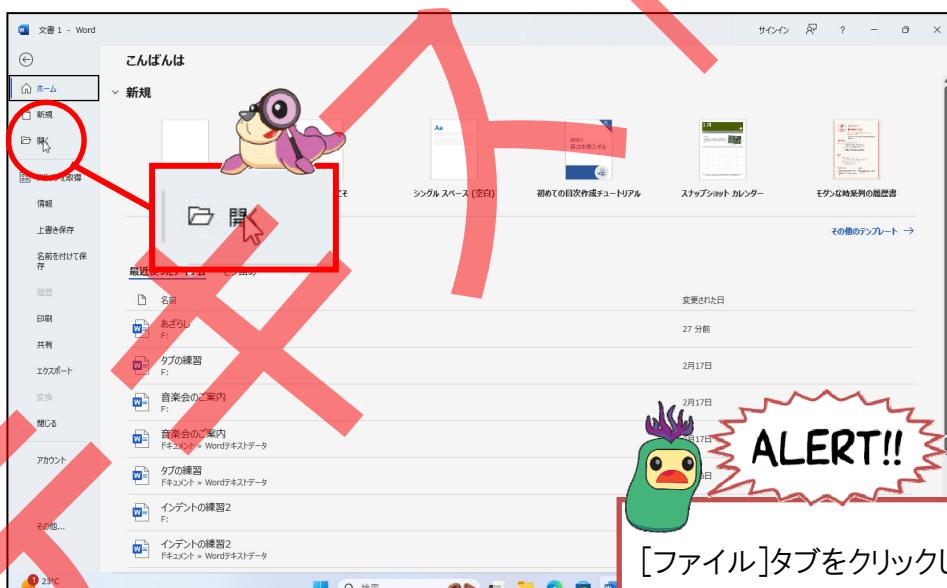
3

が めん か
画面が変わったことを確認しましょう



4

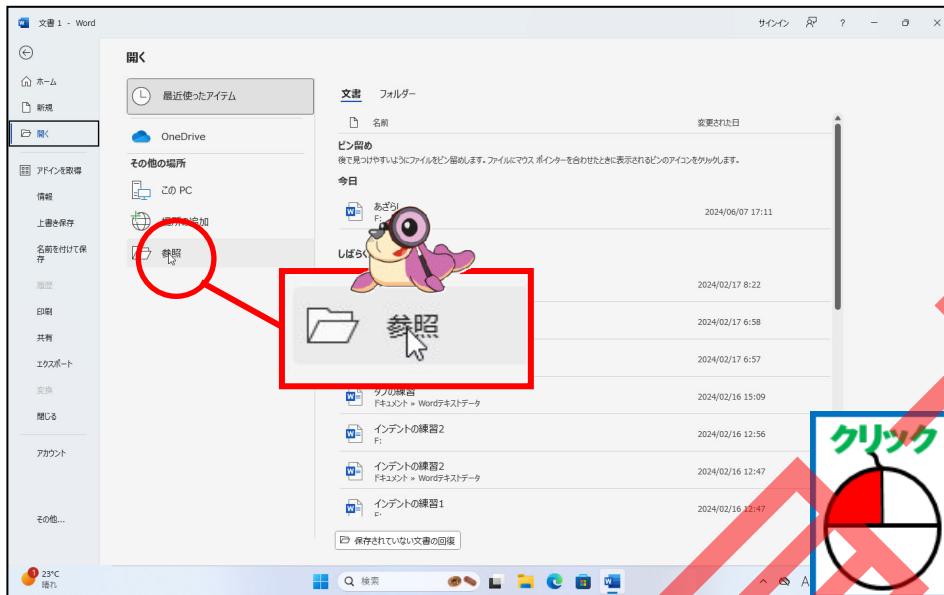
ひら
[開く]にポイントし、そのままクリックしましょう



ひら
[ファイル]タブをクリックしたとき、[開く]の
が めん ひょう じ 画面が表示されていた場合は、この操作
ひつよう ぱ あい そ う さ
は必要ありません。

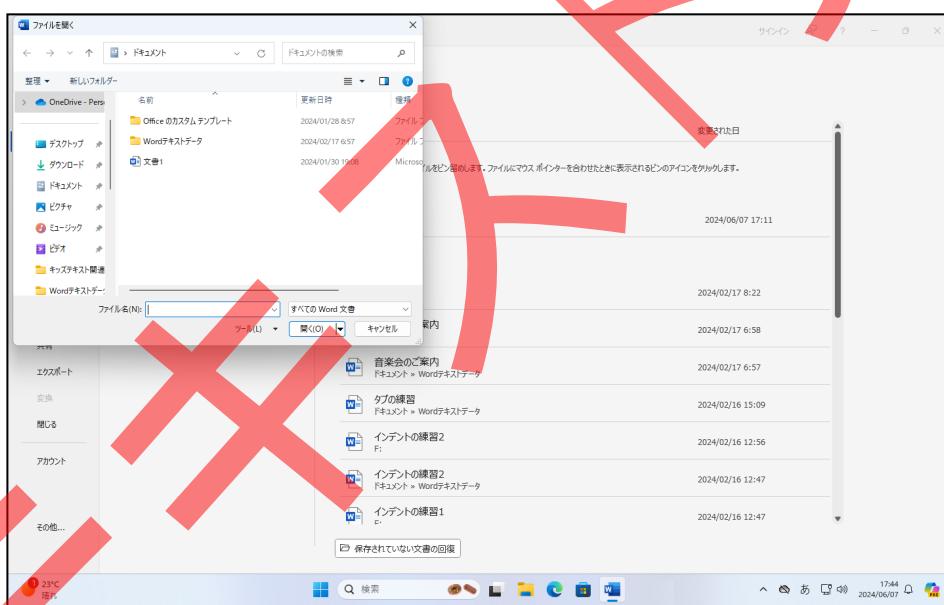
5

[参照]にポイントし、そのままクリックしましょう



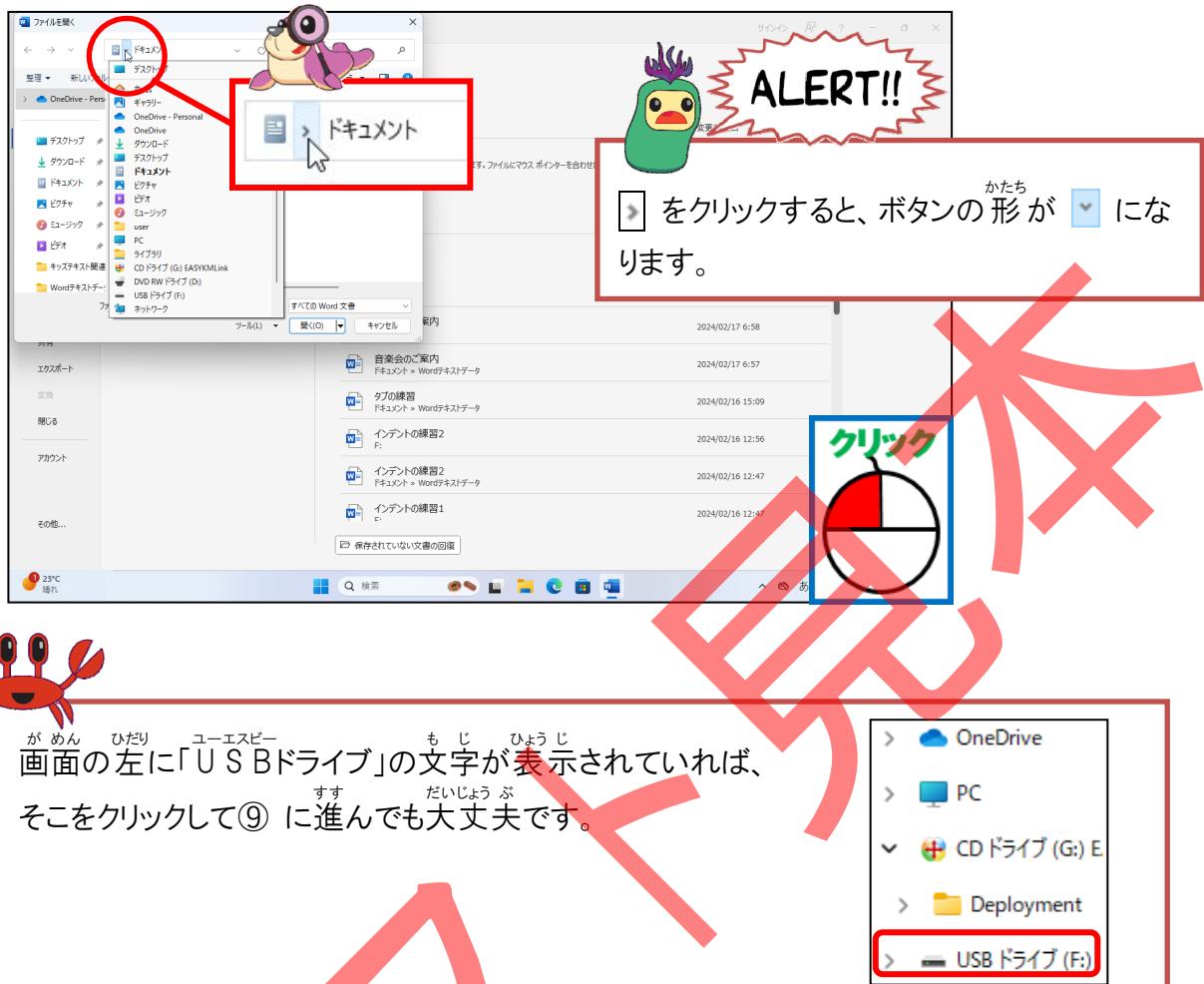
6

画面が変わったことを確認しましょう



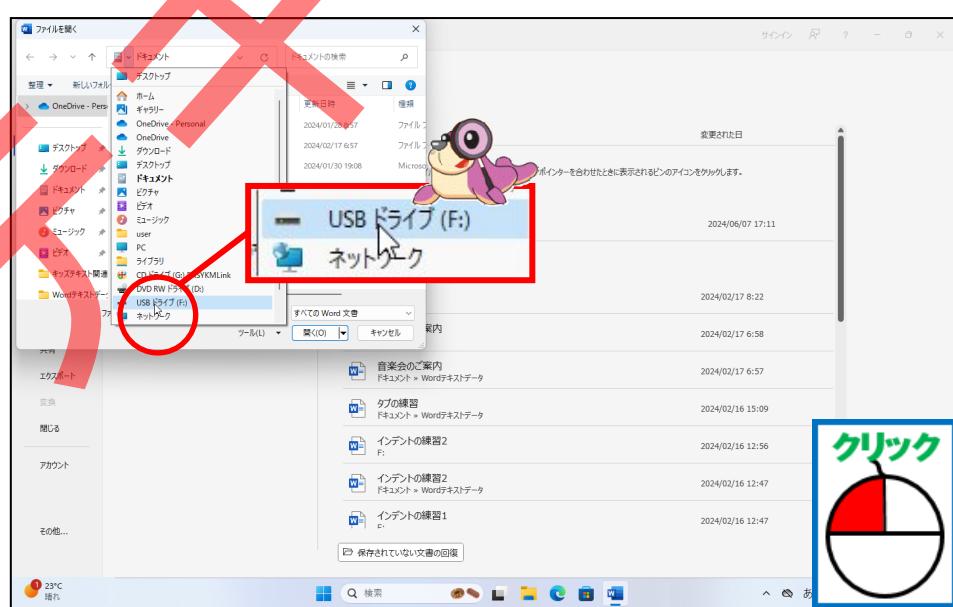
1

ひだりがわ
ドキュメントの左側にある ▶ にポイントし、そのままクリックしましょう



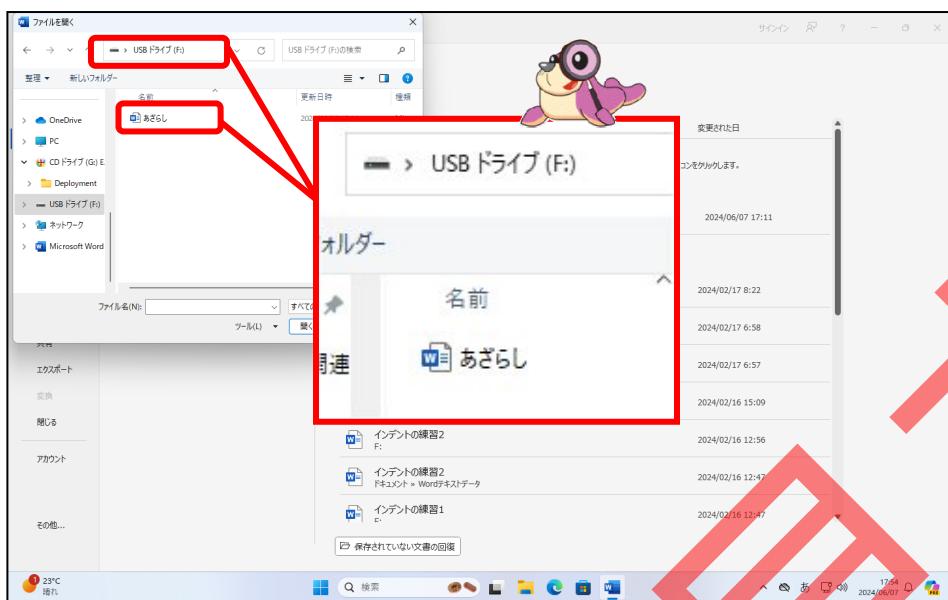
8

ユーエスピー
[USB ドライブ]にポイントし、そのままクリックしましょう



9

USBメモリーに自分がつけたファイル名(テキストでは、「あざらし」)で保存されていることを確認しましょう



ALERT!!

USBメモリーに自分が保存したファイル名で、保存できているか、確認しましょう。

USBメモリーはUSBドライブと表示されます。

レッスン9 (4)

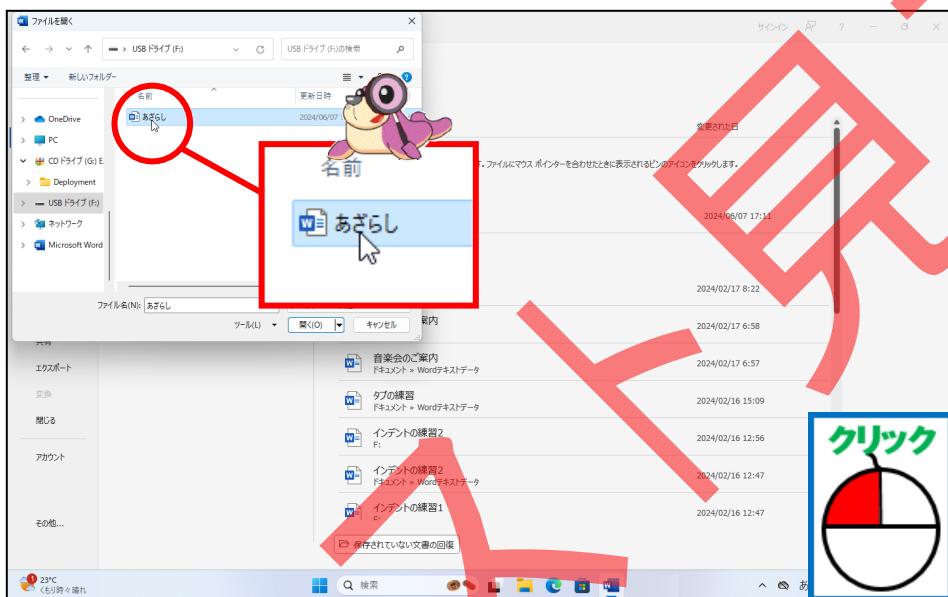


文書入力の仕上げをしましょう ～保存したファイルを開きましょう～

操作をしてみましょう

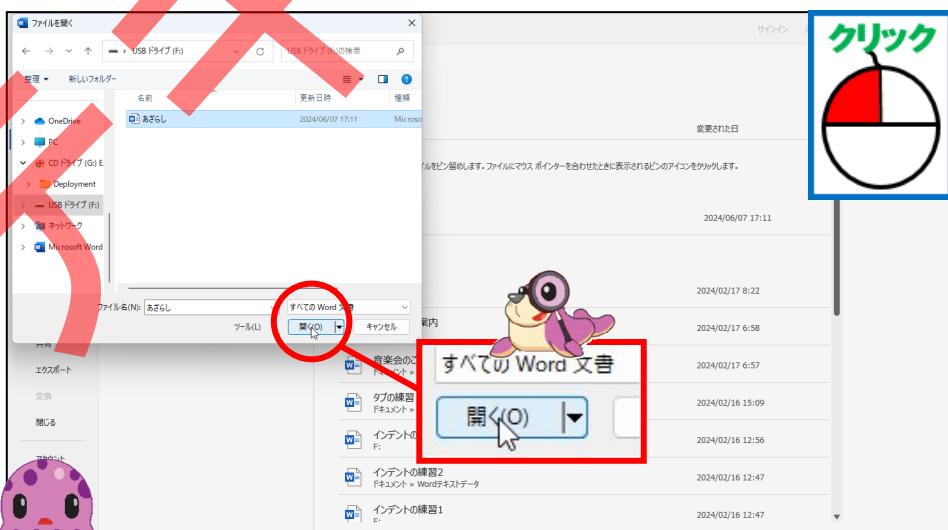
1

自分が付けたファイル名(テキストでは「あざらし」)にポイントし、そのままクリックしましょう



2

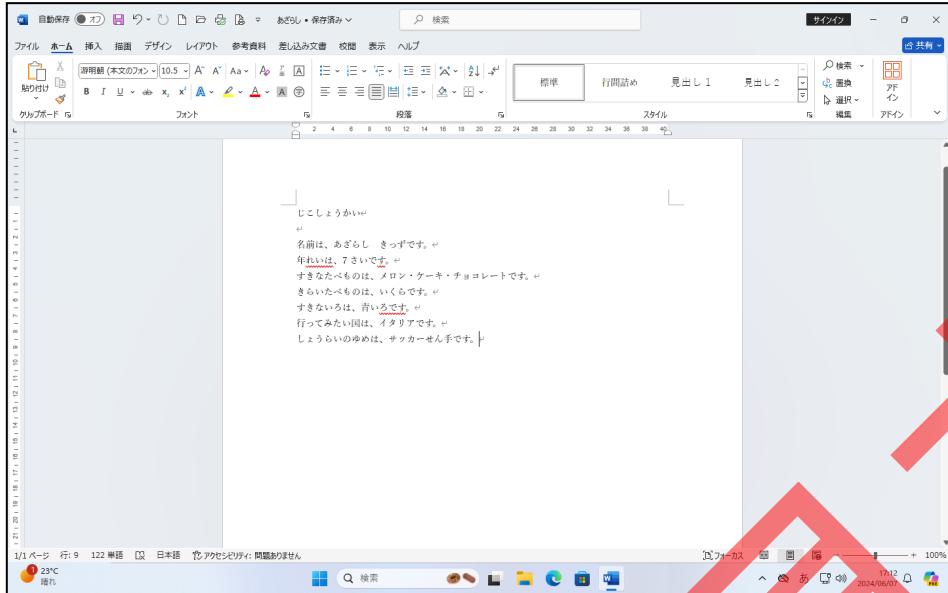
[開く]にポイントし、そのままクリックしましょう



ファイル名をダブルクリックしても、[開く]をクリックするのと同じ操作になります。

3

保存した文書が表示されたことを確認しましょう



つぎ そろそろ ワード しゅうりょう
次の操作のためにWord2021を終了しておきましょう

そろそろ じゅんばん かくにん
操作の順番を確認しましょう

① ワードを起動しましょう

② [ファイル]にポイントし、クリックしましょう

③ [開く]にポイントし、クリックしましょう

④ [参照]にポイントし、クリックしましょう

⑤ [ドキュメント]の左にある ▶ にポイントし、クリックしましょう

⑥ [USBドライブ]にポイントし、クリックしましょう

⑦ ファイル名にポイントし、クリックしましょう

⑧ [開く]にポイントし、クリックしましょう

レッスン9 (5)



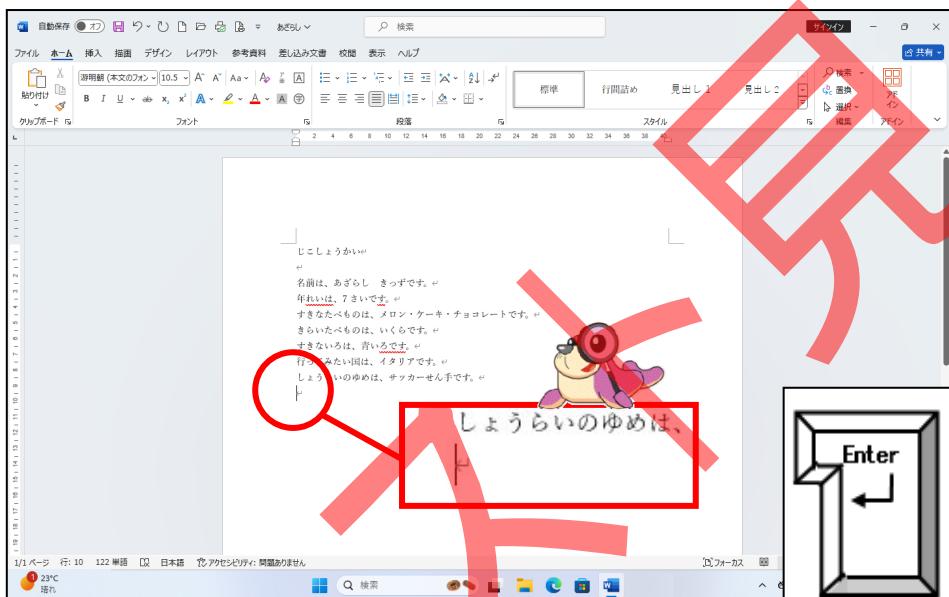
文書入力の仕上げをしましょう

～保存した文書の内容を変更して、
上書き保存しましょう～

操作をしてみましょう

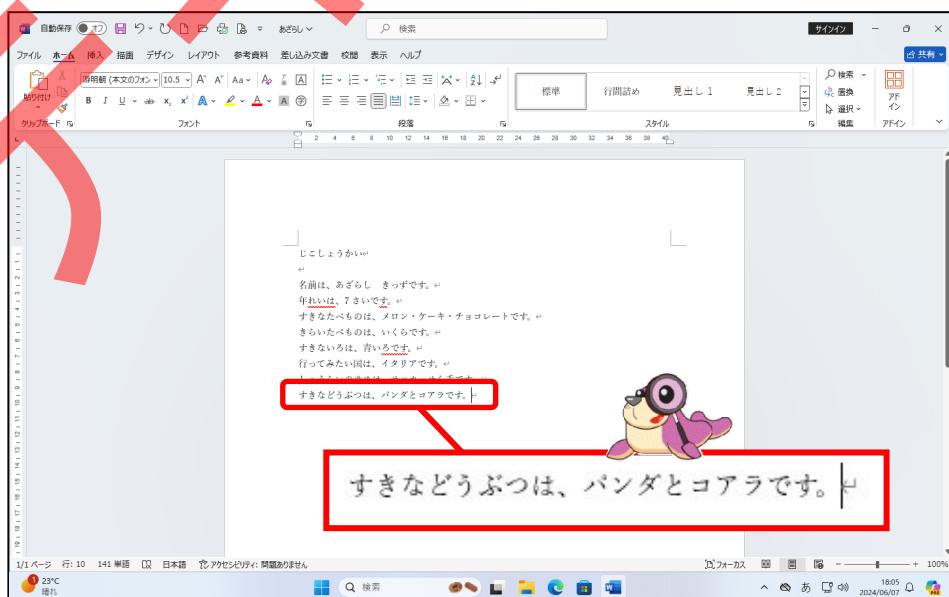
1

カーソルを文末に移動し、[Enter]キーを押して、改行しましょう



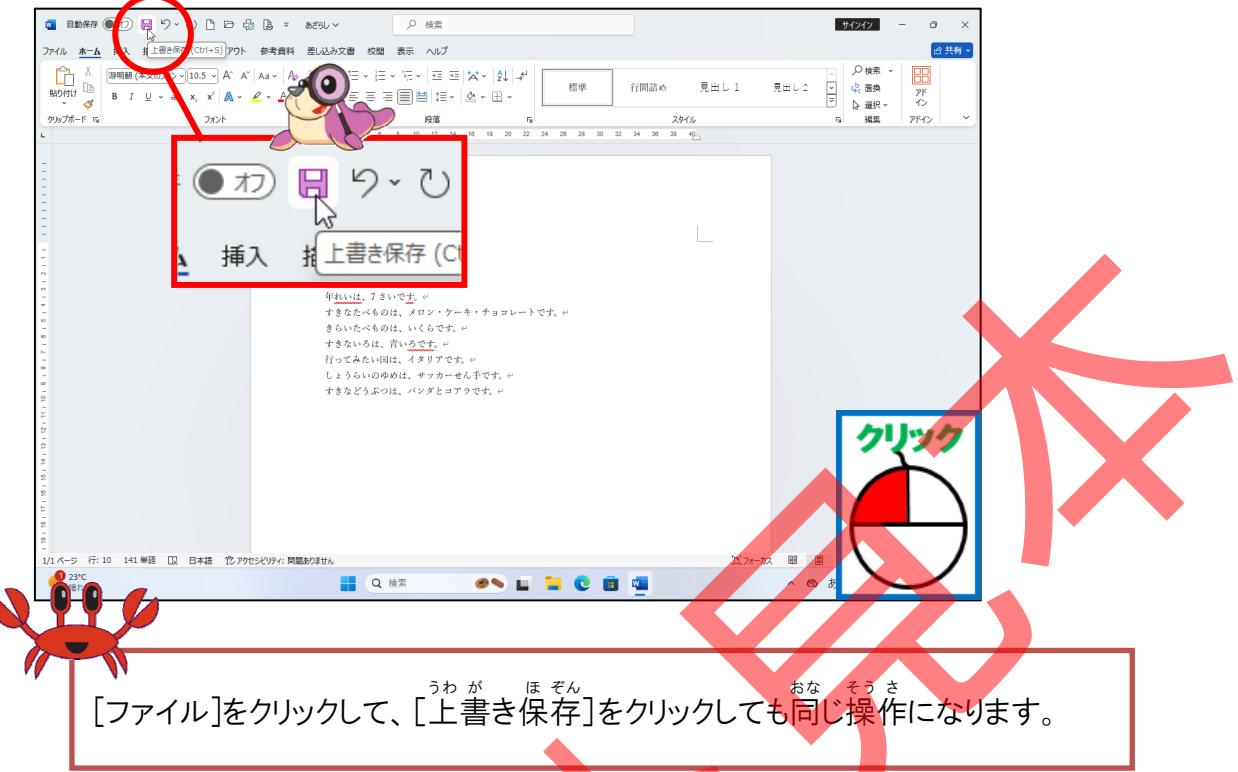
2

「すきなどうぶつは、」と入力し、続々に自分のすきなどうぶつを入力しましょう



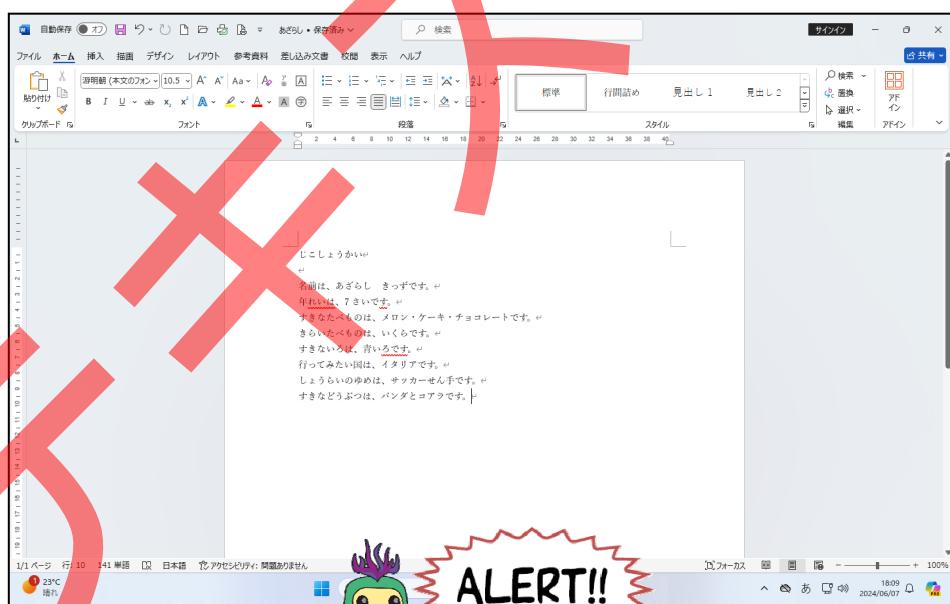
3

うわがほぞん [上書き保存]にポイントし、そのままクリックしましょう



4

うわがほぞん 上書き保存されたことを確認しましょう



うわがほぞん そうさ あと がめん ひょうじ か
上書き保存ボタンを操作した後の画面の表示は、変わりません。

つぎ そうさ がめん
次の操作のために、画面はそのままにしておきましょう



文書入力の仕上げをしましよう ～ファイルを閉じましょう～

「閉じる」のちがいについて学びましょう

◆ [ウィンドウ]を閉じる

クリックすると、ウィンドウが閉じられ、アプリが終了します。
(例) Word2021 がすべて終了しています。

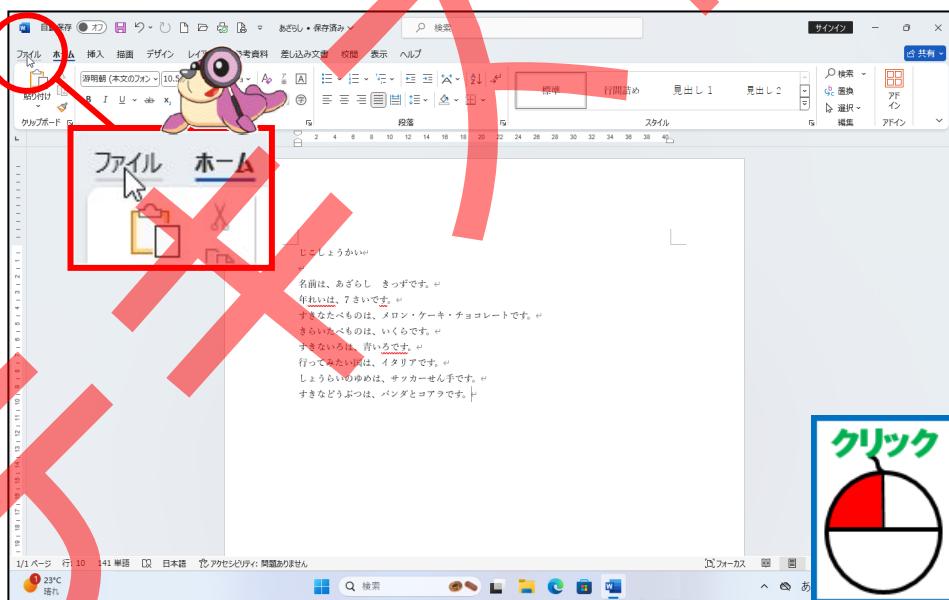
◆ [ファイル]を閉じる

指定したファイルだけが終了します。
(例) Word2021 は終了していません。

操作をしてみましょう

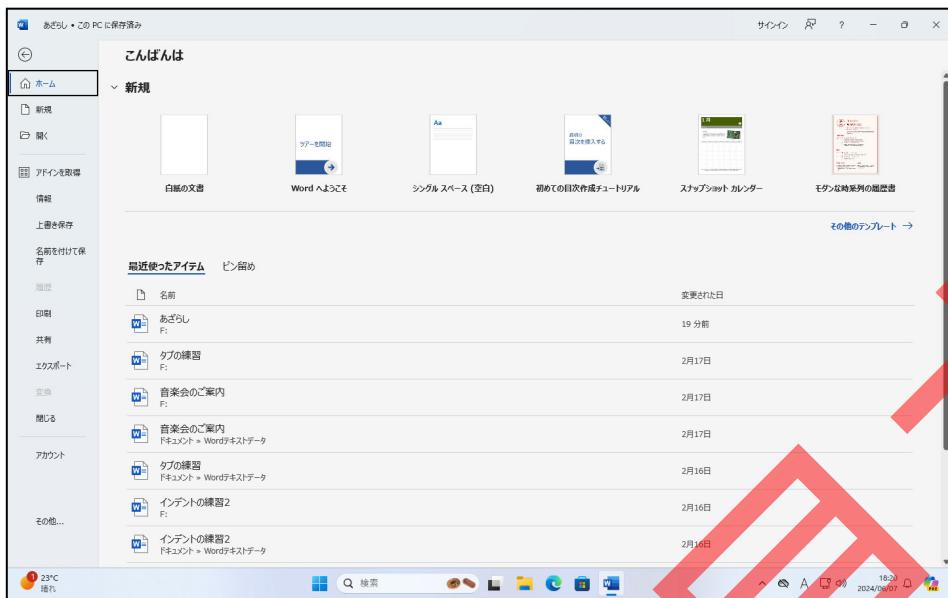
①

[ファイル]タブにポイントし、そのままクリックしましょう



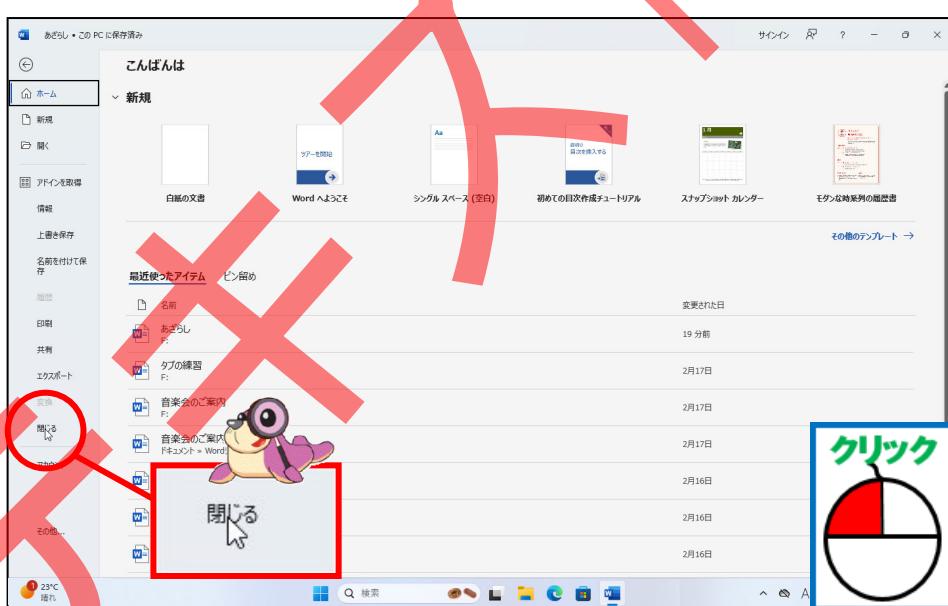
2

が めん
かくにん
画面が変わったことを確認しましょう



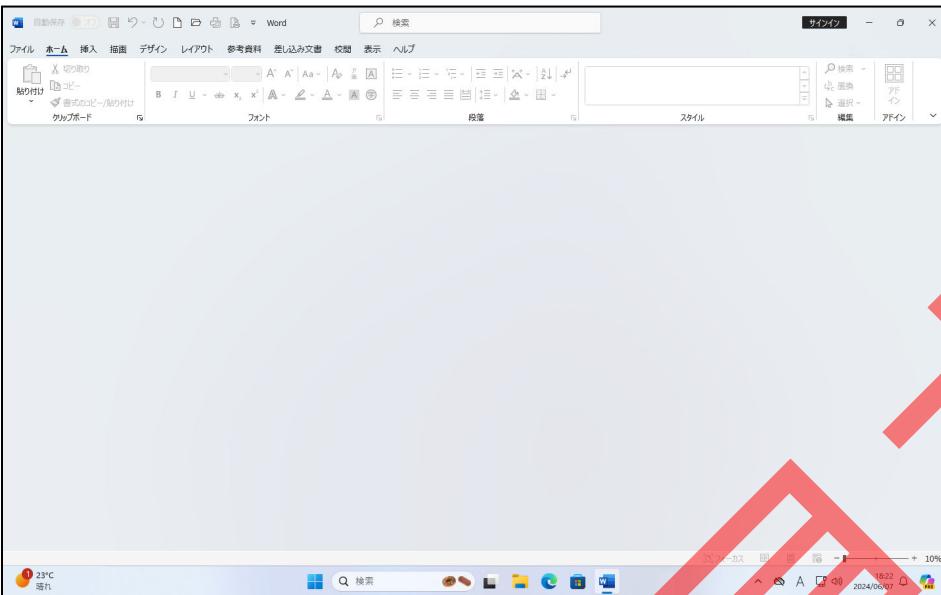
3

と
[閉じる]にポイントし、そのままクリックしましょう



4

ファイルが閉じられたことを確認しましょう



きどう なに ひら じょうたい
ワードは起動していますが、ファイルは何も開いていない状態です。

つぎ そろさ がめん
次の操作のために、画面はそのままにしておきましょう



レッスン9 (7)

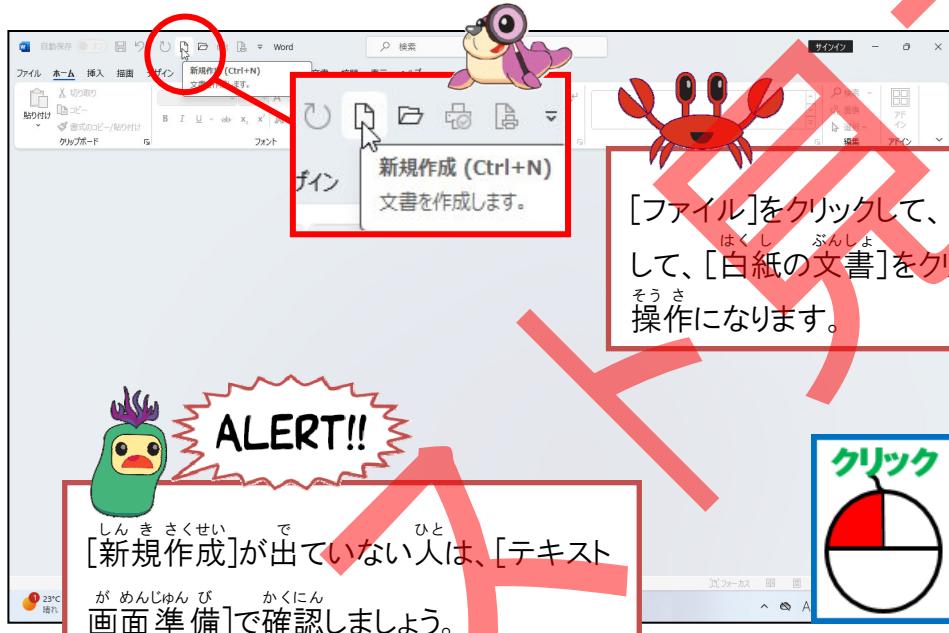


文書入力の仕上げをしましょう ～新規文書ウィンドウを開きましょう～

操作をしてみましょう

1

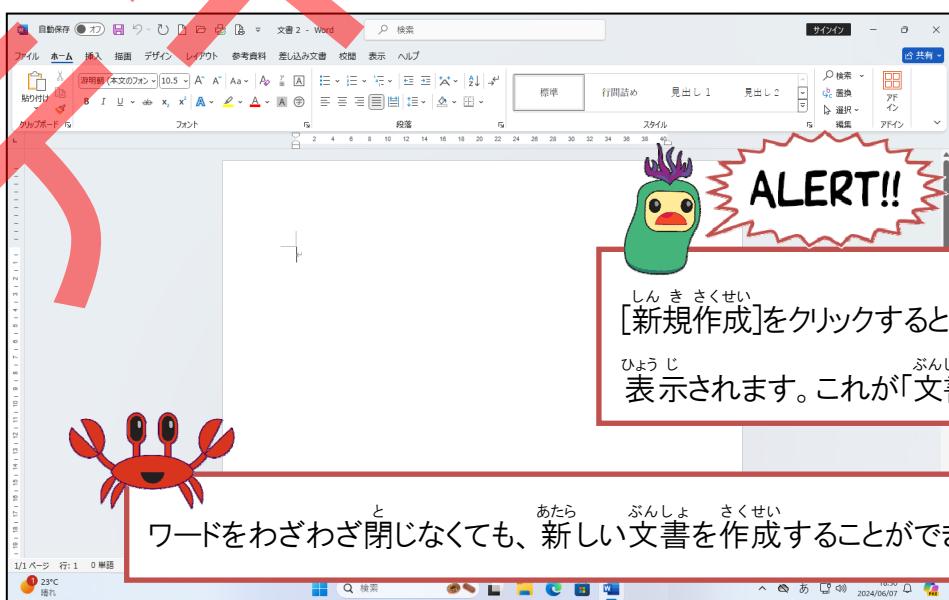
[新規作成]にポイントし、そのままクリックしましょう



[ファイル]をクリックして、[新規]をクリックして、[白紙の文書]をクリックしても同じ操作になります。

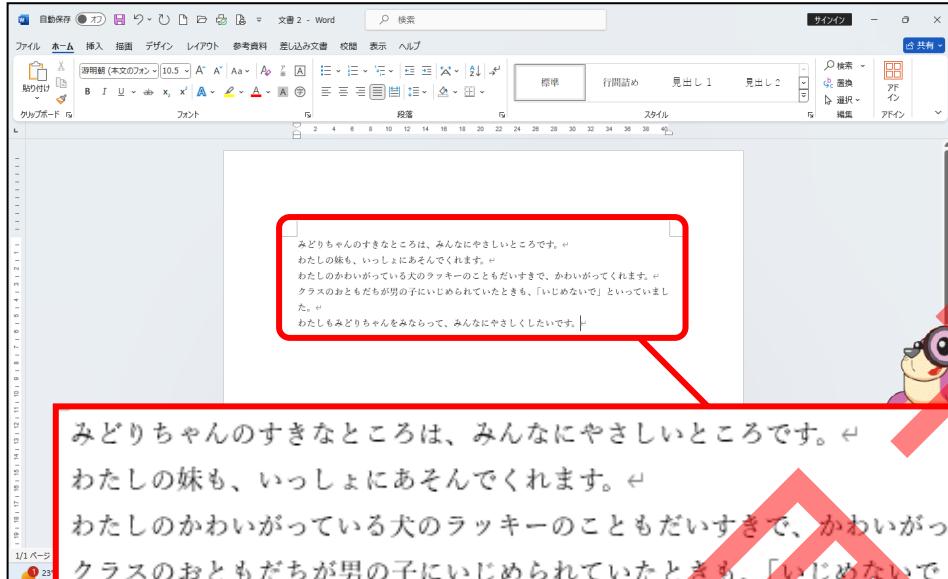
2

画面が変わったことを確認しましょう



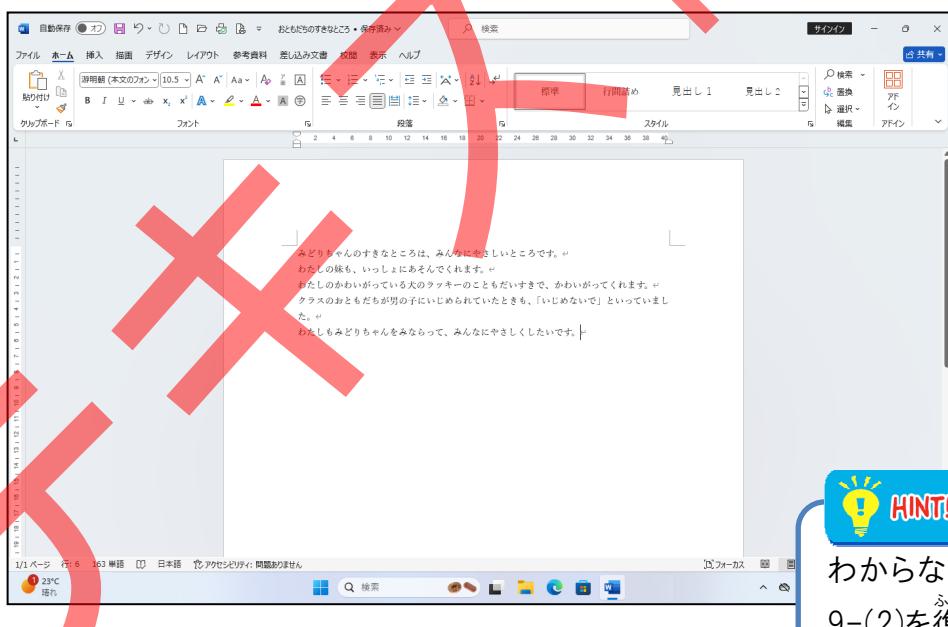
3

ともだち す お友達の好きなところを入力しましょう。



4

「おともだちのすきなところ」という名前を付けて、USBメモリーに保存しましょう



ひと
わからない人は、レッスン
ふくしゅう
9-(2)を復習しましょう。

つぎ そ う さ ワ ー ド しゅうりょう
次の操作のためにWord2021を終了しておきましょう

れんしゅうもんたい
ここで、レッスン9の練習問題をしましょう。＊

ユーエスピー USBメモリーの取りはずし方

① パソコンで操作すること

① すべてのパソコン操作を終了しましょう

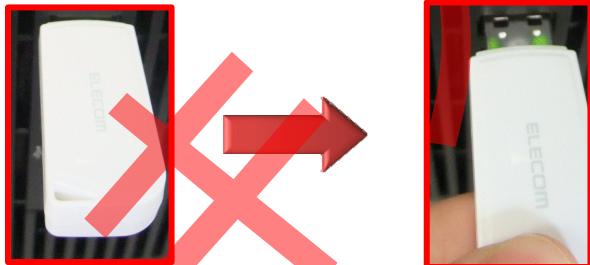
② パソコンの電源を切りましょう



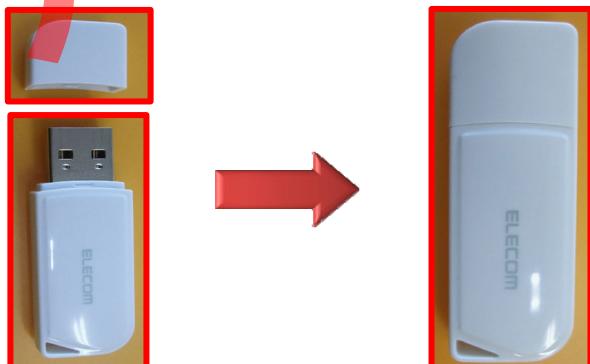
わからないう人は、レッスン1-(5)を復習しましょう。

② パソコン本体の電源が切れたことを確認しましょう

③ ユーエスピー USBのさしこみ口からUSBメモリーをぬきましょう



④ ユーエスピー USBメモリーのキャップをつけましょう



Step up

<電源が入ったままの状態で、USBメモリーをぬく場合>

①



画面の右下にあるタスクバーの にポイントし、クリックしましょう。

②



左の図が表示されます。
図の中でUSBメモリーは、 です。

③



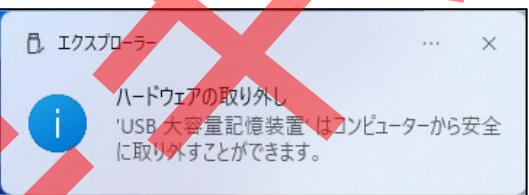
にポイントすると、「ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す」というメッセージが表示されます。
そのままクリックしましょう。

④



左の図の [MF-HMU2 の取り出し] にポイントし、クリックしましょう。
※USBメモリーによって表示される名前はちがいます。わからない場合は先生に確認しましょう。

⑤



左の図の [ハードウェアの取り外し] が表示されたら、クリックしましょう。

⑥ USBメモリーをぬきましょう。

テキストの学習がすべて終了しました。
最後まで、よくがんばりましたね。

Step1 はじめよう！たのしいパソコン

2025年 1月 1日 初版

第1刷発行

本書の無断複写複製(コピー)は、特定の場合を除き、著作者の権利侵害になります。

連絡先

- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。
- テキストに記載されている内容、仕様は予告なしに変更されることがあります。
- 本文中では、®や TM などのマークは省略しています。
- 本文中での挿絵は、フリーイラスト素材集「GATAG」、または「いらすとや」のパブリックドメインのライセンスのものを利用しています。